

# 平成 2 9 年 度

1. 各会計主要施策の成果報告書
2. 登別市土地開発基金運用状況報告書

登 別 市

## 1. 各会計主要施策の成果報告書

## 各会計主要施策の成果報告書 目次

	頁
1. 国及び北海道の経済情勢	1
2. 国の予算及び地方財政計画	1
3. 登別市の当初予算（一般会計）	2
4. 平成29年度の財政運営	2
5. 歳入の状況	6
6. 特別会計の状況	
(1) 国民健康保険特別会計	8
(2) 学校給食事業特別会計	11
(3) 簡易水道事業特別会計	12
(4) 介護保険特別会計	13
(5) カルルス温泉スキー場事業特別会計	18
(6) 後期高齢者医療特別会計	19
7. 主要施策の成果	

款・項	目	主要データ/説明	頁
1 議会費			
1 議会費	1 議会費	－ 主要データ①議決議案件数の推移	20
		－ 主要データ②会議開催状況	20
		1 議員報酬・期末手当・共済費	21
		2 議員旅費	21
		3 政務活動費交付金	21
2 総務費			
1 総務管理費	1 一般管理費	1 国民保護協議会経費	22
		2 いじめ調査委員会経費	22
		3 市史編さん事業費	22
		4 功労者・市民表彰経費	23
		5 国際交流推進事業費	23
		6 デンマーク友好都市中学生派遣交流事業費	24
		7 職員研修経費	24
		8 ふるさとまちづくり応援寄附金関係経費	25
		9 行政改革推進委員会経費	25
		10 政治倫理審査会経費	26
		11 職員倫理審査会経費	26
		12 特別職報酬等審議会経費	26
		13 地方公会計関係経費	27
		14 行政不服審査会経費	27
		15 旅券事務費	27
	2 財産管理費	1 庁舎等改修事業費	27
		2 施設統合交付金	28
	5 総務諸費	1 北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会開催補助金	28
		2 日本工学院北海道専門学校連携事業費	29
		3 北海道新幹線×nittan地域戦略会議経費	29
		4 登別・白石・海老名姉妹都市交流事業費	29
	6 企画費	1 市民自治推進委員会経費	30
		2 市民憲章推進事業補助金	30
		3 市民憲章推進経費	31
		4 コミュニティ助成事業補助金	31
		5 東京登別げんきかい交流経費	32
		6 ふるさと大使関係経費	32
		7 移住促進経費	32
		8 移住促進PR事業費	33
	7 市民活動センター費	1 市民活動センター運営管理経費	34
	9 行政情報費	1 広報広聴経費	34
		2 北海道電子自治体共同システム運用経費	35
		3 西いぶり広域連合共同電算事業負担金	35
		4 地域情報化の推進	36
		5 地域イントラネット維持管理経費（前年度繰越事業）	36
		6 個人番号カード交付事業費	37
		7 個人番号カード交付事業費（前年度繰越事業）	37

款・項	目	主要データ/説明	頁
2 総務費			
1 総務管理費	11 環境保全推進費	1 総合的な環境保全の推進経費・環境保全審議会経費 . . . . .	37
		2 電気自動車普及促進事業費 . . . . .	38
	12 男女共同参画推進費	1 男女共同参画社会づくり推進経費 . . . . .	38
		2 民間シェルター運営補助金 . . . . .	39
	13 幼稚園振興費	ー 主要データ①幼稚園園児数等の推移 . . . . .	39
		1 私立幼稚園就園奨励費補助金 . . . . .	39
		2 私立幼稚園協会教職員研修費補助金 . . . . .	40
		3 私立幼稚園教材教具費等補助金 . . . . .	40
2 徴税费	3 徴收费	1 債権回収等推進事業費 . . . . .	40
3 戸籍住民基本台帳費	1 戸籍住民基本台帳費	1 住民基本台帳システム等改修経費（翌年度繰越事業） . . . . .	41
5 防災費	1 防災費	1 防災会議経費 . . . . .	41
		2 防災対策強化事業費 . . . . .	42
		3 高台避難誘導看板設置事業費 . . . . .	42
		4 火山防災対策事業費 . . . . .	42
		5 総合防災訓練経費 . . . . .	43
3 民生費			
1 社会福祉費	1 社会福祉総務費	ー 主要データ①犯罪発生件数の推移 . . . . .	44
		1 社会福祉協議会補助金 . . . . .	44
		2 民生委員児童委員活動経費 . . . . .	44
		3 安心キット配付事業補助金 . . . . .	45
		4 社会福祉協議会貸付金（たすけあい金庫） . . . . .	45
		5 臨時福祉給付金給付事業費（前年度繰越事業） . . . . .	45
		6 生活困窮者自立支援事業費 . . . . .	46
		7 日胆はまなす里親会補助金 . . . . .	46
		8 室蘭登別防犯協会連合会助成金 . . . . .	46
		9 暴力追放運動推進団体連絡協議会助成金 . . . . .	47
		10 防犯灯設置事業補助金 . . . . .	47
		11 社会を明るくする運動登別地区推進委員会負担金 . . . . .	48
		12 登別地区保護司会補助金 . . . . .	48
		13 戦没者追悼式関係経費 . . . . .	48
		14 無料法律相談業務委託料 . . . . .	49
		15 生活交通路線維持対策事業費補助金 . . . . .	49
		16 アイヌ文化講座経費 . . . . .	49
		17 アイヌ民族文化祭2017補助金 . . . . .	50
		18 アイヌ文化普及啓発事業補助金 . . . . .	50
		19 連合町内会助成金 . . . . .	50
		20 町内会運営助成金 . . . . .	51
	2 障害者福祉費	ー 主要データ①身体障害者手帳保持者数の推移 . . . . .	51
		ー 主要データ②療育手帳保持者数の推移 . . . . .	51
		ー 主要データ③精神障害者保健福祉手帳保持者数の推移 . . . . .	51
		1 重度心身障害児介護手当支給経費 . . . . .	52
		2 地域生活支援事業費 . . . . .	52
		3 障害者介護給付費・訓練等給付費 . . . . .	56
		4 更生訓練費・施設入所者就職支度金給付費 . . . . .	56
		5 障害者補装具給付費 . . . . .	57
		6 高額障害者福祉サービス経費 . . . . .	57
		7 特別障害者手当等支給経費 . . . . .	57
		8 障害認定審査会経費 . . . . .	57
		9 自立支援医療費 . . . . .	58
		10 精神障害者社会復帰施設通所交通費助成金 . . . . .	58
		11 障害者自立更生促進助成事業費 . . . . .	59
		12 身体・知的障害者相談員設置事業費 . . . . .	59
		13 障害者自立支援給付支払等システム改修経費 . . . . .	59
		14 肢体不自由児（者）父母の会補助金 . . . . .	60
		15 重度障害者（児）福祉タクシー関係経費 . . . . .	60
		16 身体障害者自動車燃料費助成金 . . . . .	60
		17 身体障害者福祉協会補助金 . . . . .	61
		18 視力障害者協会補助金 . . . . .	61
		19 手をつなぐ育成会補助金 . . . . .	61
		20 障害者等生活支援経費 . . . . .	62
		21 軽度・中等度難聴児補聴器給付費 . . . . .	62
		22 いけまぜ夏フェス2017inのぼりべつ助成金 . . . . .	62
	3 医療助成費	1 重度心身障害者医療費助成経費 . . . . .	63
		2 ひとり親家庭等医療費助成経費 . . . . .	63
		3 乳幼児等医療費助成経費 . . . . .	63
		4 未熟児養育医療給付経費 . . . . .	64
	7 消費生活費	ー 主要データ①消費生活相談内容別件数の推移 . . . . .	64
		1 消費者行政推進経費 . . . . .	64
		2 消費生活展開催補助金 . . . . .	65
		3 消費者協会運営助成金 . . . . .	66
		4 消費者被害防止ネットワーク事業費 . . . . .	66

款・項	目	主要データ/説明	頁	
3 民生費				
2 高齢者福祉費	1 高齢者福祉総務費	ー 主要データ①高齢者人口及び高齢化率の推移	67	
		1 老人クラブ連合会補助金	67	
		2 老人クラブ運営補助金	67	
		3 敬老行事補助金	68	
		4 老人趣味の作業所運営経費	68	
		5 老人憩の家維持経費	68	
		6 老人憩の家解体経費	69	
		7 養護老人ホーム整備事業費補助金	69	
		8 特別養護老人ホーム増築事業資金借入元利補給金	69	
		9 介護サービス人材確保対策事業費	69	
		10 介護サービス提供基盤等整備事業費補助金	70	
	11 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金(前年度繰越事業)	70		
	2 高齢者保健福祉費	1 外国人高齢者・障害者福祉給付金	70	
		2 老人措置関係経費	71	
		3 高齢者等緊急通報機器設置経費	71	
		4 社会福祉法人利用者負担軽減助成金	71	
	3 後期高齢者医療費	1 後期高齢者保健事業費	72	
		2 後期高齢者健康診査経費	72	
		3 後期高齢者医療療養給付費負担金	72	
	3 児童福祉費	1 児童福祉総務費	ー 主要データ①出生数及び児童数の推移	73
			1 ひとり親家庭等自立支援給付事業費	73
			2 子育て支援センター運営経費	74
			3 仕事と家庭両立支援(ファミリーサポートセンター)事業費	74
			4 産後子育てママ派遣事業費	74
			5 家庭児童相談室・母子父子自立支援員経費	75
			6 富岸子育てひろば運営委託料	75
			7 登別子育て支援センター運営管理業務委託料	76
			8 子ども・子育て会議経費	76
			9 児童入所施設措置費(助産施設分)	76
			10 こどもショートステイ経費	76
11 認定こども園防犯対策強化事業補助金			77	
12 災害遺児手当支給経費			77	
13 児童手当支給経費			77	
14 児童扶養手当支給経費			78	
15 児童虐待防止啓発事業費		78		
2 保育所費		1 普通保育所運営管理経費	79	
		2 登別保育所運営管理業務委託料	79	
		3 延長保育実施経費	80	
		4 休日保育実施経費	80	
3 のぞみ園費		1 のぞみ園運営管理経費	80	
4 児童館費		1 児童館・児童センター運営管理経費	81	
		2 登別児童館移転改築事業費	81	
5 放課後児童育成費		1 放課後児童クラブ運営経費	82	
6 障害児福祉費		1 障害児通所給付費	82	
		7 教育・保育給付費	1 特定教育・保育施設等給付費	83
			2 一時預かり事業費	83
			3 延長保育事業費	84
4 特定教育・保育補足給付費		84		
4 生活保護費		1 生活保護総務費	ー 主要データ①生活保護相談延件数及び申請受理件数	85
	ー 主要データ②開始世帯状況		85	
	ー 主要データ③廃止世帯状況		85	
	ー 主要データ④延世帯数及び延人員		85	
	ー 主要データ⑤保護率		85	
	ー 主要データ⑥扶助別延人員		86	
	ー 主要データ⑦扶助別決算額		86	
	1 生活保護適正実施推進事業費		86	
	2 被保護者就労支援事業費		87	
	2 扶助費		1 生活保護扶助費	87
			1 交通安全総務費	87
5 交通安全費	1 交通安全総務費	ー 主要データ①交通事故数及び被害者数の推移	87	
		1 交通安全推進経費	88	
		2 交通安全協会交付金	88	
	3 交通傷害保険料	89		
	2 交通安全施設費	1 カーブミラー設置費	89	
2 照明灯設置事業費		90		
6 災害救助費	1 災害救助費	1 災害見舞金	90	

款・項	目	主要データ/説明	頁
4 衛生費			
1 保健衛生費	1 保健衛生総務費	1 北海道難病連運営事業助成金 2 母と子の健康づくり事業費 3 地域医療対策等経費 4 市立室蘭看護専門学院整備費負担金 5 広域救急医療対策事業負担金 6 初期救急医療対策事業負担金 7 小児救急医療支援事業負担金 8 周産期医療確保事業負担金 9 特定不妊治療費助成事業費	91 91 93 94 94 94 95 95 95
	2 予防費	1 エキノコックス症対策経費 2 予防接種経費 3 野犬掃討・畜犬登録等経費	96 96 97
	3 保健事業費	1 健康増進事業費 2 はつらつママリフレッシュ講座経費 3 若い世代の健康診査事業費	98 99 99
	4 環境衛生費	1 葬斎場運営管理経費 2 葬斎場中間改修事業費 3 墓地管理経費 4 墓参バス借上料 5 合同墓整備事業費	100 100 101 101 101
	5 公害対策費	ー 主要データ①公害苦情発生件数の推移 1 公害対策経費 2 自動車騒音常時監視委託料	102 102 102
	2 清掃費	1 清掃総務費 2 資源回収団体奨励金 3 ごみ減量化推進等経費 4 リサイクルまつり開催経費 5 不法投棄等防止経費 6 一般廃棄物（生活排水）処理基本計画改定業務委託料	103 103 104 105 105 106
		2 塵芥収集費 1 塵芥収集運搬業務委託料	106 106
	3 塵芥処理費	1 クリנקルセンター運営管理経費・最終処分場運営管理経費 2 クリנקルセンター中間改修事業費 3 最終処分場整備事業費	107 107 108
	4 し尿処理費	1 し尿収集業務委託料 2 し尿投入施設維持管理経費	108 109
5 労働費			
1 労働諸費	1 労働諸費	ー 主要データ①登別市の労働力調査 ー 主要データ②高卒就職状況の推移 ー 主要データ③有効求人倍率 1 登別市シルバー人材センター補助金 2 高校生就職フォローアップ事業費 3 雇用対策支援事業費 4 地域職業相談室運営管理経費 5 若年者等キャリアカウンセリング事業費 6 労働相談事業助成金 7 勤労者特別融資積立金	110 110 110 110 111 111 112 112 113 113
	4 職業訓練センター費	1 事業内職業訓練助成金	113
6 農林水産業費			
1 農業費	2 農業総務費	ー 主要データ①専業・兼業別農家数（農林業センサス） 1 傷病鳥獣等保護経費 2 有害鳥獣駆除経費 3 農業振興特別補助金 4 青年就農給付金（経営開始型） 5 登別産一次産品普及促進事業費	115 115 115 116 116 116
	3 畜産費	1 胆振西部乳牛検定組合補助金 2 酪農ヘルパー事業運営補助金 3 牧場管理経費 4 草地生産力向上支援特別対策事業費	117 117 117 118
	4 農地費	1 農業用施設等管理経費	118
	5 中山間地域対策費	1 中山間地域等直接支払交付金・中山間地域等直接支払推進事務費	118
	6 札内高原館費	1 札内高原館運営管理経費	119
2 林業費	1 林業振興費	1 民有林造林推進事業補助金 2 森林愛護啓蒙事業補助金 3 林業振興経費	120 120 120
3 水産業費	1 水産業総務費	ー 主要データ①漁業経営実態の推移 1 地場水産物消費拡大（登別漁港まつり）事業補助金 2 登別救難所運営事業補助金 3 漁業近代化資金利子補給金 4 ホッキ空貝処分事業補助金 5 水産鮮度保持施設整備事業補助金（前年度繰越事業）	121 121 121 122 122
	2 漁港管理費	1 登別漁港維持管理事業補助金 2 鷺別漁港維持管理事業補助金 3 鷺別漁港機能保全事業負担金	122 123 123

款・項	目	主要データ/説明	頁
7	商工費		
1	商工費		
	1 商工総務費	－ 主要データ①事業所数及び従業者数の推移（経済センサス）	124
		1 登別ブランド推進事業補助金	124
		2 ものづくり創出支援事業負担金	124
		3 創業支援事業費	125
		4 札幌のぼりべつ交流プラザ開催経費	125
		5 商談会等出展補助金	126
		6 中小企業相談事業補助金	126
		7 中小企業特別融資利子補給金	127
		8 中小企業特別融資積立金	127
		9 住宅改良促進特別融資積立金	128
		10 再生可能エネルギー普及促進事業費	128
		11 商店街活性化事業補助金	128
		12 商工会議所青年部第30回北海道ブロック大会登別大会補助金	129
		13 観光まちづくり促進事業補助金	129
	2 観光費		
	1 観光総務費	－ 主要データ①観光客入込数の推移	130
		－ 主要データ②外国人観光宿泊延数の推移	130
		1 登別観光協会助成金	130
		2 フラワーファンタジーロード事業補助金	131
		3 インフォメーションプラザ事業補助金	131
		4 観光振興特別対策事業補助金	132
		5 観光客誘客促進事業費	132
		6 観光ホスピタリティ推進事業補助金	133
		7 市民が育む登別観光事業費	133
		8 道内周遊ルート構築事業費	134
	2 観光施設費	1 観光施設維持管理経費	134
		2 観光施設維持管理委託料	135
		3 観光案内看板等整備事業費	135
	3 温泉供給管理費	1 温泉供給施設維持管理経費	135
8	土木費		
1	土木管理費		
	1 土木総務費	1 のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業費	137
2	道路橋梁費		
	1 道路橋梁総務費	1 道路台帳図作成委託料	137
		2 市道用地確定測量委託料	137
		3 市道用地買収費	138
	2 道路維持費	－ 主要データ①市道延長等の推移	138
		1 ロードマーク設置費	138
		2 除雪対策経費	138
		3 冬道対策経費	139
		4 市道常時補修費	139
		5 道路付属施設整備事業費	139
	3 道路新設改良費	1 道路排水対策事業費	140
		2 市道舗装排水整備事業費	140
		3 道道上登別室蘭線東通改良受託事業費	140
	4 橋梁維持費	1 橋梁維持補修経費	141
		2 橋梁長寿命化事業費	141
3	河川費	2 河川維持費	142
4	都市計画費	1 都市計画総務費	142
		1 空家等対策事業費	142
		2 景観みどり推進経費	142
	2 公園管理費	1 街区公園等清掃交付金	143
		2 公園維持管理経費	143
		3 都市公園施設長寿命化事業費	144
	3 緑化推進費	1 緑化推進経費	145
5	住宅費		
	2 建築指導費	－ 主要データ①市営住宅管理戸数の推移	145
		1 民間建築物の耐震化に対する支援（翌年度繰越事業）、（前年度繰越事業）	145
		2 耐震改修促進計画策定事業費（前年度繰越事業）	147
	3 住宅建設費	1 市営住宅（幌別東団地）外壁改修事業費	147
		2 市営住宅（千代の台団地）建替事業費	148
		3 市営住宅（登別温泉団地）浄化槽改修事業費	148
		4 市営住宅給水設備改修事業費	148
		5 市営住宅物置改修事業費	149
		6 市営住宅周辺整備事業費	149
9	消防費		
1	消防費		
	1 常備消防費	－ 主要データ①火災発生件数の推移	150
		－ 主要データ②救急車出動件数の推移	150
		1 救急救命士養成事業費	150
		2 消防職員防火衣更新事業費	150
	3 消防施設費	1 消防支署新庁舎建設事業費	151
		2 高規格救急自動車更新事業費	151

款・項	目	主要データ/説明	頁
10 教育費			
1 教育総務費	3 指導教育研究費	1 不登校・いじめ等対策経費 2 スクールカウンセラー活用事業費 3 心の教室相談員活動経費 4 スクールソーシャルワーカー活用事業費 5 いじめ重大事案対策委員会経費 6 学校図書館司書配置事業費 7 特色ある学校づくり推進経費 8 自然体験学習推進経費 9 小中学校情報教育推進事業費 10 コミュニティスクール活動支援事業費 11 言語障害通級指導教室運営経費 12 特別支援教育振興費 13 教育研究会運営事業補助金 14 教育実践研究奨励経費 15 教育指導研究奨励等経費 16 学校図書システム広域化事業費 17 情報教育システム広域化事業費	152 152 153 153 153 154 154 155 155 155 156 156 157 157 158 158 158
	4 交流教育推進費	1 外国青年招致経費	159
	5 生涯学習推進費	1 学校支援地域本部事業費	159
	6 教育財産管理費	1 教育施設運営管理委託料（市民会館・鷺別公民館・総合体育館・陸上競技場） 2 市民会館整備事業費	160 160
	7 教育諸費	1 児童生徒健康診断等経費 2 児童生徒遠距離通学費補助金 3 スクールバス・スクールタクシー運行経費	160 161 161
2 小学校費	1 学校管理費	－ 主要データ①小学校児童数等の推移 1 スキー授業推進経費 2 特別活動推進経費 3 特別支援教育推進経費	162 162 162 163
	2 施設管理費	1 小学校地下タンク整備事業費 2 幌別西小学校耐震化・改修事業費（翌年度繰越事業） 3 富岸小学校耐震化・改修事業費（翌年度繰越事業） 4 鷺別小学校建替事業費（前年度繰越事業）	163 163 164 164
	3 教育振興費	1 要保護・準要保護就学援助費 2 特別支援教育就学奨励費	165 165
3 中学校費	1 学校管理費	－ 主要データ①中学校生徒数等の推移 1 中学校体育連盟助成金 2 特別活動推進経費 3 特別支援教育推進経費	166 166 166 167
	2 施設管理費	1 西陵中学校屋上防水改修事業費 2 登別中学校耐震化・改修事業費（前年度繰越事業） 3 登別中学校便所洋式化事業費（前年度繰越事業）	167 167 168
	3 教育振興費	1 要保護・準要保護就学援助費 2 特別支援教育就学奨励費	168 168
4 社会教育費	1 社会教育総務費	1 胆振女性リーダー養成研修経費 2 市民生涯学習推進講座経費 3 P T A連合会助成金 4 登別市文化・スポーツ振興財団事業補助金 5 登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金	169 169 171 171 172
	2 婦人研修施設費	1 婦人研修の家維持管理経費	172
	4 図書館費	－ 主要データ①購入図書冊数等の推移 1 図書館運営管理経費 2 移動図書館車運行業務委託料 3 図書館ネットワークサービス広域化事業費 4 アーニス分館運営管理経費 5 ブックスタート・ライブラリースタート事業費 6 移動図書館車更新事業費	173 173 174 174 174 175 175
	5 青少年対策費	1 放課後子ども教室推進事業費 2 通学合宿「みんなで学ぶ「子ども村」」 3 少年の主張大会経費 4 青少年育成指導経費 5 成人祭経費 6 子ども会活動振興助成金	176 176 177 177 178 178
	6 郷土資料館費	1 郷土資料館運営管理経費	179
	7 文化振興費	1 文化振興助成金 2 児童・生徒文化振興助成金 3 西いぶり定住自立圏文化事業負担金 4 文化伝承館運営管理経費 5 のぼりべつ文化交流館運営管理経費 6 文化財保護経費	179 180 180 181 181 182
	8 自然体験学習施設費	1 ネイチャーセンター運営管理経費	182



款・項	目	主要データ/説明	頁
10 教育費			
5 保健体育費	1 保健体育総務費	1 子ども健康・体力改善事業費	183
		2 体育協会助成金	183
		3 生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成経費	183
		4 スポーツ少年団育成助成金	184
		5 児童生徒スポーツ振興助成金	184
		6 スポーツ推進委員会経費	185
		7 6市町スポーツ交流会事業費	185
		8 学校開放事業費	186
		9 2020東京オリパラで夢を育むスポーツ推進事業費	186
	2 体育施設費	1 岡志別の森運動公園等運営管理経費	187
	3 青少年会館費	1 青少年会館運営管理経費	187
	4 市民プール費	1 市民プール運営管理経費	188
		2 市民プールバスパック業務委託料	188
		3 市民プール整備事業費	188
11 公債費			
1 公債費	1 元金	－ 主要データ①公債費にかかる財政指標の推移	190
		－ 主要データ②市債（元金）年度末残高の推移	190
		1 市債償還元金	190
	2 利子	1 市債償還利子	190
		2 一時借入金利子	190
	3 公債諸費	1 公債発行等手数料	191
12 給与費			
1 給与費	1 職員給与費	－ 主要データ①職員数（全会計）	192
		－ 主要データ②平均給与・平均年齢・ラスパイレス指数	192
		1 職員等給与経費・非常勤職員等公務災害経費	192

## 1. 国及び北海道の経済情勢

平成29年度における国内の経済情勢は、4月以降も引き続き雇用環境が改善傾向で推移し、個人消費の持ち直しや企業収益の改善等を背景とした設備投資の増加が見られるなど、総じて緩やかな回復基調を続けてきました。今後は、少子高齢化が中長期的に経済成長を制約する要因となる中で、人材不足への対処とともに、生産性の向上による雇用・所得環境の改善等により経済の好循環が続くことが期待されます。

また、道内の経済情勢については、生産活動に持ち直しの動きが見られ、設備投資の面では前年度を上回って推移したほか、雇用・所得情勢で労働需給の着実な改善と雇用者所得の回復が見られる中、個人消費は総体として回復基調で推移しました。観光では、国内の来道客数、アジアを中心とした外国人観光客数がともに前年を上回るなど、緩やかに拡大の動きを見せました。また、有効求人倍率は、依然として全国平均を下回りましたが、人手不足の影響から前年を上回り、完全失業率は前年を下回って推移しました。

## 2. 国の予算及び地方財政計画

国の平成29年度予算は、「経済財政運営と改革の基本方針2015」に盛り込まれた「経済・財政再生計画」の2年目にあたり、この計画の着実な推進を基本としながら「経済再生」と「財政健全化」の両立を実現させるものとされ、保育士や介護人材等の処遇改善による社会保障のほか、教育分野における施策を通じた一億総活躍社会の実現や経済再生、働き方改革の推進など、成長と分配の好循環の確立に向けた予算の重点化が図られました。一方、「経済・財政再生計画」に掲げる歳出改革等について、改革工程表を踏まえて着実に実行し、財政健全化目標を達成するため、一般歳出や社会保障関係費の抑制を図るほか、国債発行額を引き続き縮減することとして予算を編成した結果、一般会計の予算規模は、97兆4,547億円（前年度比7,329億円、0.8%増）となりました。

地方財政計画においては、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源総額について、前年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として地方財政対策が講じられ、平成27年度に創設された「まち・ひと・しごと創生事業費」について、前年度に引き続き1兆円が確保されたほか、公共施設等の適正管理の推進や一億総活躍社会関連施策に要する経費が地方財政計画に盛り込まれました。地方交付税については、地方税の増収が見込まれ、前年度から3,705億円減の16兆3,298億円となりましたが、臨時財政対策債については、前年度から2,572億円増の4兆452億円が計上されました。

また、国は、生産性革命・人づくり革命、災害復旧等・防災・減災事業及び総合的なTPP等関連政策大綱実現に向けた施策などの実施に要する経費を盛り込んだ補正予算を計上し、地方財政においても、これに伴う所要の財政措置が講じられました。

### 3. 登別市の当初予算（一般会計）

本市の財政は、歳入面で、生産年齢人口の減少等により市税収入に大きな伸びが見込めないこと、歳出面では、公共施設等の老朽化対策のほか、高齢化の進展等による社会保障関係費の増嵩が見込まれるなど、依然として厳しい状況下に置かれています。

平成29年度の当初予算編成にあたっては、第3期基本計画第1次実施計画の2年目にあたり、重要施策展開の基本的な方向性に沿って取り組む事業に重点的な予算措置を行うことを基本方針とする一方で、現下の財政状況を踏まえ、歳入全般にわたりその確保に最大限努めるほか、最小の経費で最大の効果をあげるよう、すべての予算を対象に徹底したコスト意識を持って経費縮減を図るものとなりました。これらの方針により編成した予算の規模は、扶助費や繰出金などが増加しましたが、人件費や普通建設事業費が減少したことなどにより、200億3,000万円となり、前年度当初に比べ9億8,000万円、4.7%の減となりました。

歳入では、市税で対前年度比1.4%の増を見込みましたが、地方交付税では、国の地方財政計画や本市の特殊事情を踏まえ0.9%の減、市債では、鷺別小学校建替事業充当債の減に伴い建設事業債が減少したことなどにより33.9%の減を見込みました。歳出では、民生費で、鷺別児童館移転改築事業費や特定教育・保育施設等給付費の増加などにより対前年度比で7.9%の増、消防費で、消防支署新庁舎建設事業費の増加などから8.6%の増をそれぞれ見込んだ一方、教育費で、鷺別小学校建替事業費の減少の影響等により、62.9%の減を見込みました。

### 4. 平成29年度の財政運営

当初予算編成後、7回の補正を行い、最終予算額は210億4,097万9千円（繰越事業費繰越額を含む予算現額は220億7,368万2千円）となり、このうち、幌別西小学校耐震化・改修事業費外3件、8億3,250万3千円を翌年度に繰り越しました。

決算の状況では、歳入のうち、市税は51億7,964万7千円となり、当初予算を2,627万7千円下回りましたが、地方交付税が2億1,693万1千円、当初予算を上回ったほか、繰越金で3億3,233万8千円、市債で3億9,550万円、それぞれ当初予算を上回りました。

歳出では、台風18号接近に伴う災害応急対応などにより、災害応急対策経費が当初予算を1,311万5千円上回ったほか、除雪対策経費で7,059万円、道道上登別室蘭線東通改良受託事業費で9,830万4千円、それぞれ当初予算を上回りましたが、障害者介護給付費・訓練等給付費が当初予算を3,892万3千円下回ったほか、介護保険特別会計繰出金で3,434万4千円、下水道事業会計繰出金で2,853万4千円、それぞれ当初予算を下回りました。

これらにより、財源調整として当初予算に計上していた財政調整基金繰入金3億円、北海道市町村備荒資金組合支消還付金2億円のうち、北海道市町村備荒資金組合超過

納付金は、その全額について支消を取り止めることができませんでしたが、財政調整基金については1億4千万円の繰り入れを行わざるを得ない、厳しい財政運営となりました。

これらの結果、平成29年度一般会計は、歳入総額が212億5,102万4千円、歳出総額が206億7,970万円、歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は5億7,132万4千円となり、翌年度繰越事業の財源となる1億3,828万3千円を差し引いた4億3,304万1千円の剰余金をもって決算を了しました。

なお、財源対策に充てることができる基金等のうち、減債基金（ルール外）で2万円、北海道市町村備荒資金組合超過納付金で194万円、それぞれ前年度末残高に比して増となったものの、財政調整基金については、前年度末残高に比して1億3,989万8千円の減となりました。

また、平成30年度当初予算においても、財源不足対策として、財政調整基金3億円、北海道市町村備荒資金組合支消還付金2億7,000万円の計5億7,000万円の繰入金等を計上しており、本市の財政運営は引き続き厳しい状況に置かれています。

今後については、歳入面では、人口減少等の影響により市税の伸びを見込むことが難しく、地方交付税についても国の地方財政計画等の動向によっては減少することも懸念されます。一方、歳出面では、高齢化の進展等により社会保障関係費の増加が見込まれるほか、公債費については市民プールや葬斎場の建設などにより発行した市債の償還が順次終了を迎え、平成30年度を境に一時減少が見込まれるものの、現在進めている消防支署新庁舎の建設や市営住宅（千代の台団地）の建て替えのほか、老朽化が進む公共施設等への対応など取り組まなければならない新たな財政需要が多数控えていることなどから、引き続き、慎重な財政運営が求められています。

平成29年度中の補正予算は次のとおりです。

(単位：千円)

補正予算 議決月日	補正額	主な内容
当初予算 H29. 3. 23	当初 20,030,000	
第1号 H29. 6. 30	447,993	西いぶり広域連合共同電算事業負担金、ひとり親家庭等自立支援給付事業費（高等職業訓練促進給付金）、クリンクルセンター中間改修事業費、下水道事業会計繰出金、要緊急安全確認大規模建築物耐震化促進事業補助金、要緊急安全確認大規模建築物耐震化促進事業補助金（単独分）
第2号 H29. 9. 22	242,989	国・道支出金精算返還金、住民基本台帳システム等改修経費、障害者自立支援給付支払等システム改修経費、簡易水道事業特別会計繰出金、観光一般経費、道道上登別室蘭線東通改良受託事業費

第3号 H29.9.28 (専決処分)	21,796	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費
第4号 H29.12.14	264,638	民生委員児童委員活動経費、自立支援医療費、要緊急安全確認大規模建築物耐震化促進事業補助金、消防職員防火衣更新事業費、消防施設等整備基金積立金、要保護・準要保護就学援助費(小学校)、要保護・準要保護就学援助費(中学校)、西いぶり定住自立圏文化事業負担金
第5号 H29.12.14	10,654	議員報酬・手当・共済費、胆振海区漁業調整委員会委員補欠選挙費、職員等給与経費
第6号 H30.3.6	△292,566	国・道支出金精算返還金、西いぶり広域連合共同電算事業負担金、庁舎整備基金積立金、生活交通路線維持対策事業費補助金、身体障害者自動車燃料費助成金、後期高齢者保健事業費、後期高齢者健康診査経費、特定教育・保育施設等給付費、生活保護扶助費、学校教育実施等経費(小学校)、学校教育実施等経費(中学校)、図書館運営管理経費、事業費確定に伴う減額補正など
第7号 H30.3.8	315,475	除雪対策経費、幌別西小学校耐震化・改修事業費、富岸小学校耐震化・改修事業費、市債償還利子
補正予算計	1,010,979	
繰越事業費 繰越額	1,032,703	
予算現額	22,073,682	

平成29年度 登別市各会計決算の状況

(単位：千円)

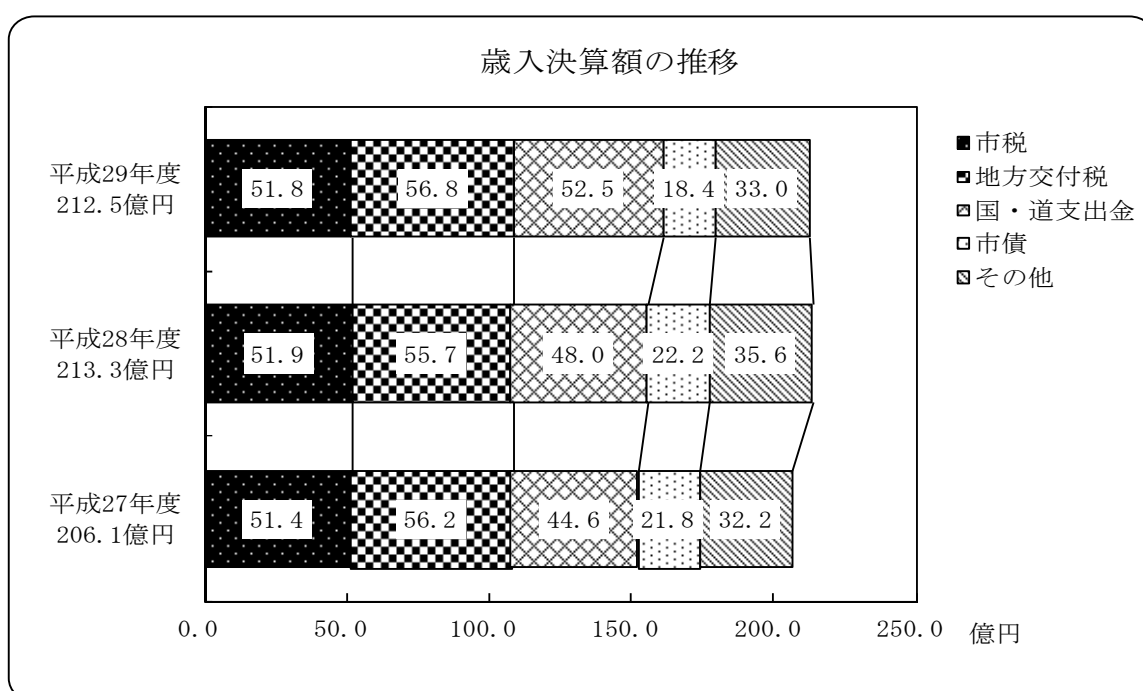
区 分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額	翌年度 繰越財源	実質収支額
一般会計	21,251,024	20,679,700	571,324	138,283	433,041
国民健康保険 特別会計	6,972,970	6,642,301	330,669	0	330,669
学校給食事業 特別会計	331,575	331,575	0	0	0
簡易水道事業 特別会計	40,811	40,811	0	0	0
介護保険特別会計	3,639,989	3,489,039	150,950	0	150,950
カルルス温泉スキー場 事業特別会計	107,976	107,976	0	0	0
後期高齢者医療 特別会計	736,014	735,155	859	0	859
合 計	33,080,359	32,026,557	1,053,802	138,283	915,519

## 5. 歳入の状況

歳入決算額の内訳

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度
市 税	5,179,647	5,187,664	5,136,728
地方交付税	5,678,931	5,568,300	5,622,034
国・道支出金	5,252,293	4,797,712	4,455,645
市 債	1,836,900	2,221,900	2,180,200
そ の 他	3,303,253	3,558,939	3,215,119
合 計	21,251,024	21,334,515	20,609,726



※表示単位未満を四捨五入しているため、積み上げ額が一致しない箇所があります。

### ● 市税

固定資産税や入湯税などが増加となりましたが、市民税、市たばこ税の減少により、前年度から801万7千円の減となりました。今後については、景気の動向にもよりますが、生産年齢人口の減少などにより、市税収入に大きな伸びを見込むことは難しく、厳しい状況が続くものと考えられます。

### ● 地方交付税

普通交付税において、社会福祉費やその他の教育費に係る基準財政需要額が増加したことなどから、対前年度比で1億1,063万1千円の増となりました。

また、臨時財政対策債についても前年度から増加しており、地方交付税に臨時財政対策債を加えた実質的地方交付税は、前年度と比べ1億6,763万1千円の増となりました。

※臨時財政対策債の元利償還金は100%、後年度の地方交付税に算入されます。

実質的な地方交付税の推移

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度
地方交付税	5,678,931	5,568,300	5,622,034
普通交付税	5,174,790	5,096,988	5,150,491
特別交付税	504,141	471,312	471,543
臨時財政対策債	644,200	587,200	724,700
合　　計	6,323,131	6,155,500	6,346,734

● 国・道支出金

国庫支出金は、社会福祉費に係る補助金が減少したほか、鷺別小学校建替事業費交付金が減少したことなどにより、対前年度比で2億3,025万7千円の減となりました。

また、道支出金は、介護サービス提供基盤等整備事業費交付金や水産鮮度保持施設整備事業交付金の増加などから、前年度に比べ6億8,483万8千円の増となりました。

● 市債

臨時財政対策債が5,700万円の増加となった一方で、鷺別小学校建替事業充当債の減少などの影響により普通建設事業費に係る市債が減少したことから、対前年度比で3億8,500万円の減となりました。

● その他

繰越金や諸収入、各基金等からの繰入金の減少などにより、前年度に比べ2億5,568万6千円の減となりました。



## 6. 特別会計の状況

### (1) 国民健康保険特別会計

国民健康保険は、国民皆保険制度のもと、わが国の医療保険の中核として地域住民の健康保持と増進に大きく貢献してきました。しかしながら、近年の急速な高齢化や医療技術の高度化、疾病構造の変化などにより医療費が高水準で推移している一方、国民健康保険の被保険者数は減少の一途をたどるなど、国民健康保険を取り巻く環境は一段と厳しいものとなっています。

本市の国民健康保険においても、被保険者数の減少や医療費の増加等により、厳しい財政運営となっており、平成 26 年度及び平成 27 年度には、国民健康保険給付費等準備基金を取り崩し、国民健康保険加入者の負担軽減を図ってきましたが、平成 27 年度末には当該基金残高が底を尽いたことから、財政運営の安定化を図るため、平成 28 年度及び平成 29 年度に国民健康保険税の税率を引き上げました。

また、生活習慣病の抑制と医療費の適正化を図るために平成 20 年度から各医療保険者に義務付けられた特定健康診査と特定保健指導の実施について、平成 29 年度は、第 2 期特定健康診査等実施計画に基づき、生活習慣病予防対策としての特定健康診査の受診率や特定保健指導の実施率の向上と、疾病予防や重症化の予防、健康づくりを目的とした保健事業について、継続して予算編成を行いました。

#### 【平成 29 年度の事業運営】

平成 29 年度の医療費（療養諸費＋高額療養費）は、45 億 1,300 万 5 千円の予算額に対し、決算額が 42 億 1,878 万 4 千円となり、2 億 9,422 万 1 千円の執行残となりました。

歳入では、保険税収納率が昨年度実績と比べ現年分で 0.88 ポイントの上昇、滞納分で 1.37 ポイントの上昇となり、合計で 2.84 ポイント上昇しました。

また、予算額に対し、療養給付費等負担金、国及び北海道の財政調整交付金、療養給付費等交付金などが減額になった一方、前期高齢者交付金、共同事業交付金、繰越金、諸収入については増額となりました。

この結果、歳入歳出差引は 3 億 3,066 万 9 千円となり、前年度からの繰越金 2 億 6,303 万円を除いた単年度収支は 6,763 万 9 千円の黒字となりました。

◇被保険者数の推移（各年度 3 月 31 日現在）（単位：人）

区分	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度
一般分	10,234	10,741	11,204
退職分	77	255	458
合計	10,311	10,996	11,662

## ◇国民健康保険税収納状況

(単位：円)

区分	調定額	収納額	還付未済額	不納欠損額	収納率
一般分（現年分）	921,788,653	859,877,641	56,359	0	93.28%
一般分（滞納分）	424,787,242	63,113,377	0	43,823,589	14.86%
退職分（現年分）	14,332,547	14,110,305	18,649	0	98.32%
退職分（滞納分）	13,662,798	3,446,357	0	1,606,690	25.22%
計	1,374,571,240	940,547,680	75,008	45,430,279	68.42%

## ◇収納率の全道平均及び道内順位（町村、広域連合は除く）

	現年分			滞納分			合計		
	全道平均 (%)	登別市 (%)	道内順位	全道平均 (%)	登別市 (%)	道内順位	全道平均 (%)	登別市 (%)	道内順位
H29	—	93.35	—	—	15.18	—	—	68.42	—
H28	94.13	92.47	29	19.50	13.81	29	78.52	65.58	33
H27	93.45	92.52	24	18.63	11.78	30	76.58	62.08	32

※平成29年度については、現時点で他市の状況が未公表のため本市の数値のみ掲載

## 【保健事業の状況】

## ●特定健康診査・特定保健指導

平成29年度は、特定健康診査については、未受診者に対する電話やはがきによる受診勧奨のほか、町内会回覧による健診の周知、検査結果の情報提供の協力依頼など、受診率向上に向けた取組を継続しました。

## ◇特定健康診査受診率（法定報告値）

健診区分	平成29年度（6月末現在速報値）	平成28年度（確定値）
特定健診（短期人間ドック・集団健診を含む）	2,626人（33.1%）	2,642人（31.7%）

特定保健指導については、積極的支援の対象となる40～50歳代の若い対象者ほど、実施するのが難しい実態にありますが、電話での利用勧奨など、多くの対象者が面接につながるよう努めました。また、特定保健指導の対象外でも健診結果で要指導域以上だった方などに対しても保健指導を実施し、生活習慣の改善に向けた取組を行いました。

## ◇特定保健指導実施率（法定報告値）

区分	平成29年度（6月末現在速報値）		平成28年度（確定値）	
	利用率	終了率	利用率	終了率
積極的支援	4人（6.9%）	5人（8.6%）	6人（10.5%）	6人（10.5%）
動機付け支援	45人（19.2%）	31人（13.2%）	53人（23.9%）	54人（24.3%）

その他の保健指導	平成29年度	平成28年度
特定保健指導対象外者等への保健指導	55人	89人

●特定健康診査以外の保健事業

特定健康診査以外の保健事業として、短期人間ドックや脳ドックに係る検査料の助成をはじめ、各種がん検診や肝炎検査、若い世代の健康診査に係る検査料の助成のほか、インフルエンザ予防接種の自己負担額と水中運動教室受講料の助成を行いました。

また、市民プール利用料の助成については、大学生以上の国保加入者を対象に助成を行いました。

項目	平成 29 年度	平成 28 年度
短期人間ドック（39歳以下）の検査料助成 ※	9人	11人
脳ドックの検査料助成	199人	211人
各種がん検診、肝炎検査、若い世代の健康診査の検査料助成	3,601人	3,042人
インフルエンザ予防接種料金の助成	2,598人	2,810人
水中運動教室の受講料助成	832人	884人
市民プールの利用料助成	52人	76人

※40歳以上の短期人間ドックは特定健診で計上

平成 29 年度中の補正予算は次のとおりです。

(単位：千円)

補正予算 議決月日	補正額	主な内容
当初予算 H29. 3. 23	当初 7,029,300	
第1号 H29. 9. 22	69,160	国民健康保険運営経費、国庫支出金等精算返還金
第2号 H29. 12. 14	78	特定健診・保健指導経費
第3号 H30. 3. 6	△9,706	国民健康保険運営経費、職員給与費、北海道国民健康保険団体連合会負担金、保険税収納率向上特別対策事業費、医療費適正化特別対策事業費、特定健診・保健指導経費
補正予算計	59,532	
予算現額	7,088,832	

## (2) 学校給食事業特別会計

学校給食センターは、成長期にある児童生徒に栄養バランスのとれた豊かな食事を提供し、健康の増進・体位の向上を図るとともに、児童生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う食育の推進を図ることを目的として事業を運営しています。

平成29年度は、市内小中学校の児童生徒、保育所の幼児など4,225人に給食を提供することを見込んで予算を編成しました。

給食収入の収納率は、昨年度と比較し、現年分で0.09ポイント、滞納分で2.84ポイント上昇し、合計では0.27ポイント上昇しました。この結果、3年連続で収入未済額が減少しました。

平成29年度の事業運営は、次のとおりです。

### ◆学校給食運営委員会

- ・委員数 10人（教育関係者 4人、学識経験者 6人）
- ・任期 平成28年12月1日～30年11月30日（2年間）
- ・委員会開催 2回

### ◆給食対象者

- |                 |        |        |        |
|-----------------|--------|--------|--------|
| ・小学校8校の児童       | 2,227人 | 小学校教職員 | 179人   |
| ・中学校6校の生徒（明日含む） | 1,417人 | 中学校教職員 | 119人   |
| ・保育所幼児（4所）      | 252人   |        |        |
| ・給食センター職員       | 31人    | 合計     | 4,225人 |

### ◆給食回数

- ・小中学校 185日（中学3年生 177日）
- ・保育所 206日

### ◆給食内容

- ・児童・生徒・教職員等 主食（パン・米飯・麺類）、牛乳、温食、副食
- ・保育所幼児 温食

給食対象者	給食日数	主食等回数				規 格			
		パン	米飯	麺	牛乳	パン	米飯	麺	牛乳
小学校 1.2年生・教職員	185日	39回	111回	35回	185回	50g	80g	140g	200cc
小学校 3-6年生・教職員						60g	90g	170g	
中学校 1.2年生・教職員						80g	100g	190g	
中学校 3年生	177日	36回	108回	33回	177回				
給食センター職員等	206日	43回	124回	39回	206回	80g	100g	190g	
保育所									温食のみ

※米飯給食 週3.0回実施

◆給食費収納状況 (単位：円)

区分	調 定 額	収 納 額	収入未済額	収納率
現 年 分	213,354,898	211,640,098	1,714,800	99.20%
滞納繰越分	9,471,687	2,568,210	6,903,477	27.11%
計	222,826,585	214,208,308	8,618,277	96.13%

◆収入未済額の推移 (単位：円)

区分	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度
現 年 分	1,714,800	1,955,920	2,608,240
滞納繰越分	6,903,477	7,515,767	7,315,657
計	8,618,277	9,471,687	9,923,897

平成 29 年度中の補正予算は、次のとおりです。

(単位：千円)

補正予算 議決月日	補正額	内容
当初予算 H29. 3. 23	当初 342,800	
第 1 号 H30. 3. 6	△790	職員給与費
補正予算計	△790	
予算現額	342,010	

### (3) 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業の運営については、地方財政法の規定により公営企業として特別会計を設けて運営することが定められており、平成 11 年度に「登別市簡易水道事業特別会計」を設置し、事業や運営体制を明確にしました。

現在、簡易水道事業は、札内及び来馬地区等の地域へ安全な水道水を供給しており、平成 29 年度の簡易水道事業特別会計予算では、経常的な維持管理費に加え、札内町の配水管の改良工事を実施しました。

平成 29 年度の事業の主な実績は、次のとおりです。

◇主な事業内容

事 業 内 容	事 業 実 施 内 容
札内町配水管改良工事その 1	φ 100mm L = 80.3m
札内町配水管改良工事その 2	φ 75mm L = 144.9m

◇使用状況 (単位：戸、栓)

使用者 事業所	給水戸数	給 水 栓 数				
		家事用	営農用	併用	事業用	合計
農 業	46	22	13	29	2	66
一 般	23	23	0	0	0	23
事 業	24	0	0	0	27	27
合 計	93	45	13	29	29	116

◇給水量 (単位：m<sup>3</sup>)

給水量	家事用	営農用	併用	事業用	合計
	6,581	22,200	25,964	38,562	93,307

平成 29 年度中の補正予算は次のとおりです。

(単位：千円)

補正予算 議決月日	補正額	主な内容
当初予算 H29.3.23	当初 42,900	
第 1 号 H29.9.22	127	簡易水道事業運営審議会経費
第 2 号 H30.3.6	△419	簡易水道施設管理経費、市債償還利子
補正予算計	△292	
予算現額	42,608	

#### (4) 介護保険特別会計

介護保険は、加齢による病気等で要介護状態となり、入浴・排せつ・食事等の介護、機能訓練、看護・療養上の管理等の医療が必要な人に対して保健医療サービス・福祉サービスを提供する制度として、国民の共同連帯の理念にもとづき、平成 12 年 4 月に創設されました。

また、平成 18 年には地域支援事業の創設などの制度改正が行われ、さらに、平成 27 年には、住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため介護・医療・生活支援・介護予防を充実する地域包括ケアシステムの構築を目指す大幅な制度改正が行われました。

介護保険事業は 3 年ごとに策定される介護保険事業計画に基づき事業運営を進めることになっており、平成 29 年度は第 6 期介護保険事業計画の最終年度であるため、当初予算にあたっては第 6 期介護保険事業計画及び平成 28 年度決算見込等を基に編成しました。

◇第1号被保険者数(各年度3月末現在)

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
被保険者数	17,165人	16,890人	16,654人

【保険給付費の状況】

保険給付費については、当初予算において32億5,920万円を計上しましたが、各サービス費の伸びが予想を下回ったことなどから、31億4,236万8千円の決算となり、9,283万2千円の執行残となりました。

◇要介護認定状況(平成30年3月末現在)

(単位：人)

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
786	539	686	347	235	268	175	3,036

◇第1号被保険者保険料収納状況

(単位：円)

区分	調定額	収納額	還付未済額	不納欠損額	収納率
特別徴収(現年分)	636,353,000	636,654,100	301,100	0	100.00%
普通徴収(現年分)	68,574,300	61,922,850	16,000	0	90.28%
普通徴収(滞納分)	15,982,740	2,582,740	0	5,317,800	16.16%
計	720,910,040	701,159,690	317,100	5,317,800	97.22%

◇保険給付状況

区分	給付額(千円)	年間受給者数(人・件)
居宅サービス	1,187,777	
居宅介護サービス給付費	765,813	9,487
介護予防サービス給付費	256,127	9,415
居宅介護福祉用具購入費	3,347	85
介護予防福祉用具購入費	3,710	124
居宅介護住宅改修費	7,249	90
介護予防住宅改修費	14,514	181
居宅介護サービス計画給付費	100,054	8,122
介護予防サービス計画給付費	36,963	8,436
地域密着型サービス	479,517	
地域密着型介護サービス給付費	476,778	3,162
地域密着型介護予防サービス給付費	2,739	31
施設介護サービス給付費	1,263,277	4,844
高額介護サービス	71,864	
高額介護サービス費	71,752	6,486
高額介護予防サービス費	112	74

区分	給付額(千円)	年間受給者数(人・件)
高額医療合算介護サービス	4,017	
高額医療合算介護サービス費	3,919	159
高額医療合算介護予防サービス費	98	12
特定入所者介護サービス	132,742	
特定入所者介護サービス費	132,164	4,151
特定入所者介護予防サービス費	578	72
審査支払手数料	3,174	56,769
計	3,142,368	

### 【地域支援事業の状況】

地域支援事業は、要介護状態又は要支援状態となることを予防し、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援することを目的とした事業で、介護予防・日常生活支援総合事業、包括的支援事業、任意事業の3つの柱からなっています。

#### ◆介護予防・日常生活支援総合事業

##### ◇介護予防・生活支援サービス事業

要支援者に対し、要介護状態になることの予防又は要介護状態への悪化の防止を図るため、訪問型サービス及び通所型サービス等の提供を行った。

区分	事業費(千円)	利用件数(件)
第1号訪問事業訪問介護	23,006	1,474
第1号通所事業通所介護	70,520	2,873
高額介護予防・生活支援サービス	41	16
高額医療合算介護予防・生活支援サービス	0	0
介護予防ケアマネジメント	10,115	2,238
審査支払手数料等	339	3,533
事業に要する事務費	117	

##### ◇一般介護予防事業

##### ○介護予防把握事業

当該年度満77歳に達する市民（要介護者及び要支援者を除く）に対し、日常的な活動及び健康に対する意識や取組を調査することにより、何らかの支援を要する高齢者の把握や、高齢者が必要とするサービスの把握を行いました。

調査実施数	介護予防の紹介及び参加を促した数
573人	118人



## ○活動支援事業

- ・自主的な介護予防活動の体制構築支援

住民団体において、自主的に介護予防に取り組み、継続的かつ活動が拡大できるよう、年間2回程度、団体が活動する会場に伺い、介護予防体操やレクリエーションなどの実施方法等のアドバイスをを行いました。また自主的に継続して介護予防に取り組めるよう、マニュアルの配布等を行いました。

実施回数	実施人数
54回	延人数 753人

- ・介護予防指導者の育成支援（研修会）

住民団体における介護予防の活動を中心となり実施できるよう、団体の代表や介護予防に興味がある方を対象に、市内3会場で各4回研修会を実施し、各種体操や口腔・栄養・認知症に関する知識などを身に付けられるよう支援しました。

実施回数	実施人数
12回	延人数 135人

## ○介護予防一次予防施策評価事業

一次予防事業について、ストラクチャー指標（事業を効果的かつ効率的に実施するための実施体制等に関する指標）、プロセス指標（事業を効果的かつ効率的に実施するための企画立案、実施過程等に関する指標）、アウトカム指標（事業成果の目標に関する指標）により評価を実施し、登別市介護保険運営協議会に報告しました。

## ◆包括的支援事業費

### ◇包括的支援事業

平成18年度から、市内の日常生活圏域を3つに分け、高齢者の総合的な相談窓口として各圏域に地域包括支援センターを設けております。

地域包括支援センターでは、被保険者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、必要な援助等を受けること及び住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務等を実施しました。また認知症地域支援推進員を配置し、認知症疾患医療センターや認知症初期集中支援チーム等の関係機関と切れ目のない連携を図り、地域における認知症ケア体制の強化の推進を図りました。

総合相談支援業務	延 3,690件
権利擁護業務	延 197件
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	延 431回
認知症地域支援専門員、認知症疾患医療センター、認知症初期集中支援チームとの連絡会議の実施	5回

※相談・指導をした件数

◇認知症地域支援・ケア向上推進事業

認知症カフェ事業にかかる経費の一部を助成し、認知症の人やその家族、地域住民等の誰もが集うことができる場づくりや情報交換等の拠点づくりに努めました。

助成件数	1 件
------	-----

◇認知症初期集中支援推進事業

認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の人やその家族へ早期に関わり、認知症の早期診断、早期対応への支援を行いました。

支援件数	19 件
------	------

◇在宅医療・介護連携推進事業準備経費

地域の医療・介護の関係機関が参加する在宅医療・介護連携推進会議を開催し、連携における課題の抽出を行いました。

◆任意事業費

国が定めた事業以外の事業で、次の事業を実施しました。

事業名	事業実績	件数等
高齢者等介護用品給付事業	給付決定者数	18 人
住宅改修支援事業	助成金支給件数	46 件
家族介護慰労事業	支給件数	0 件
認知症サポーター養成事業	受講者数	1,179 人
成年後見制度利用支援事業	市長申立て件数	2 件
成年後見支援センター事業	相談受付人数	38 人
認知症高齢者等GPS貸与事業	利用実件数	20 件

平成 29 年度中の補正予算は次のとおりです。

(単位：千円)

補正予算 議決月日	補正額	主な内容
当初予算 H29. 3. 23	当初 3,598,200	
第 1 号 H29. 6. 30	37,699	国庫支出金等精算返還金
第 2 号 H30. 3. 6	△23,156	介護保険運営事務管理経費、職員給与費、施設介護サービス給付費、介護予防サービス給付費、特定入所者介護サービス費、介護給付費準備基金積立金、介護予防・生活支援サービス事業費、介護予防ケアマネジメント事業費
補正予算計	14,543	
予算現額	3,612,743	

## (5) カルルス温泉スキー場事業特別会計

### 【平成 29 年度の決算及び運営状況】

平成 29 年度の営業日数は、前年度と同日数の 94 日となりました。

リフト乗車人数は、278,254 人で前年度と比較して 3,131 人、率にして 1.1%の減少となりました。減少理由としては、カルルス温泉冬まつり当日に雨が降ったことや、3月の降雨により、ゲレンデの状態が悪かったことが挙げられます。

歳入の決算額は、スキー場使用料金にあたるリフト使用料が 33,629 千円、事業収入が 50,803 千円、諸収入が 22 千円、営業収入合計で 84,454 千円となり、前年度と比較して 3,780 千円、率にして 4.7%の増加となりました。増加理由としては、インバウンドの利用が好調であることに加え、スキー修学旅行の来訪校が 1 校増えたことから、レンタル、スキー教室、団体食事等の売上が伸びたことが挙げられます。

なお、一般会計からの繰入額は 23,522 千円となっています。

また、歳出の決算額は一般管理経費が 419 千円、スキー場事業費が 107,557 千円、合計で 107,976 千円となり、前年度と比較して 6,448 千円、率にして 6.4%の増加となりました。

平成 29 年度の運営状況は次のとおりです。

#### ◇開業日数

区分	開業日数	開業期間
平成 29 年度	94 日	12 月 16 日～3 月 21 日 ※2 日クローズあり
平成 28 年度	94 日	12 月 17 日～3 月 20 日
平成 27 年度	86 日	12 月 27 日～3 月 21 日

#### ◇リフト乗車状況

区分		平成 29 年度	平成 28 年度	前年比
乗車人員	第 1 リフト	142,247 人	152,087 人	6.5%減
	第 2 リフト	休止	休止	
	第 3 リフト	136,007 人	129,298 人	5.2%増
乗車人員計		278,254 人	281,385 人	1.1%減

#### ◇修学旅行受入実績

区分	校数			延べ人数		
	道内	道外	合計	道内	道外	合計
平成 29 年度	6 校	8 校	14 校	2,206 人	2,332 人	4,538 人
平成 28 年度	7 校	6 校	13 校	2,652 人	1,622 人	4,274 人
平成 27 年度	8 校	6 校	14 校	2,852 人	1,673 人	4,525 人

平成 29 年度中の補正予算はありません。

## (6) 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度は、高齢化に伴う医療費の増加が見込まれる中、世代間の医療費負担を明確化し、医療保険制度の安定的な財政運営を維持していくために、これまでの老人保健制度に変わる制度として平成20年4月に創設されました。

この制度は、北海道内全ての市町村で構成する北海道後期高齢者医療広域連合が保険者として運営を行い、市町村は各種手続きの申請の受付や保険料徴収等の業務を担っています。

平成29年度事業の主な実績は、次のとおりです。

◇被保険者数 (単位：人)

年 度	総 数	75 歳以上	65 歳以上 75 歳未満
平成29年度末	8,528	8,190	338
平成28年度末	8,293	7,968	325
平成27年度末	8,100	7,762	338

◇収納状況 (単位：円)

区分	調定額	収納額	還付未済額	不納欠損額	収納率
特別徴収（現年分）	362,430,500	362,589,800	159,300	0	100.00%
普通徴収（現年分）	186,021,500	184,266,250	28,000	0	99.04%
普通徴収（滞納分）	6,783,975	2,439,890	0	1,700,800	35.97%
計	555,235,975	549,295,940	187,300	1,700,800	98.90%

平成29年度中の補正予算は次のとおりです。

(単位：千円)

補正予算 議決月日	補正額	主な内容
当初予算 H29.3.23	当初 748,500	
第1号 H30.3.6	△10,159	北海道後期高齢者医療広域連合納付金
補正予算計	△10,159	
予算現額	738,341	

## 7. 主要施策の成果

- 事務事業は、款・項・目の順に掲載し、総合計画第3期基本計画の章・節・施策の番号を付しています。
- 最終予算額の欄は、補正・流充用後の額とし、決算額及び前年度決算額の欄は千円未満を切上げし、それぞれ千円単位で記載しています。
- 予算説明書のページ数は、当初予算書のページ数であり、補正予算で追加した事業や前年度からの繰越事業には対応していません。
- 「事業内容及び実績」中の財源内訳については、市債充当事業や新規事業について記載しています。
- 「今後の方向性」については、今後も継続を予定する事業について記載しています。

### 【一般会計】

#### 第1款 議会費 項1 議会費

##### 【主要データ】

##### ① 議決議案件数の推移

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
市提案	99件	65件	103件
議員提案	3件	2件	6件
計	102件	67件	109件

##### ② 会議開催状況

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
定例会	24日	24日	24日
臨時会	1日	2日	1日
常任委員会	99日	88日	77日
特別委員会	0日	0日	23日
議会運営委員会	19日	17日	15日

目1 議会費 (予算説明書P51～P52)

1 議員報酬・期末手当・共済費 (議会事務局総務G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
—	—	—	134,103	134,818	134,817	131,028

2 議員旅費 (議会事務局総務G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
—	—	—	4,537	3,919	3,498	2,742
目的			総務・教育委員会、生活・福祉委員会、観光・経済委員会等の行政視察については、各委員会の所管事項について、先進地視察を通して、充実した政策提案につなげるとともに、課題解決の方策を探ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<b>【行政視察実績】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会運営委員会 三重県鳥羽市・伊賀市</li> <li>・ 総務・教育委員会 新潟県新発田市・燕市、千葉県白井市、東京都立川市</li> <li>・ 生活・福祉委員会 静岡県掛川市、山梨県北杜市、埼玉県小鹿野町、北海道函館市</li> <li>・ 観光・経済委員会 長野県軽井沢市・大町市、群馬県草津町</li> <li>・ 議会だより編集委員会 北海道石狩市・北広島市・旭川市</li> </ul>			

3 政務活動費交付金 (総務部総務G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	4,560	4,560	4,166	3,776
目的			議員の調査研究活動の充実を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			議員の調査研究に必要な経費の一部について、各会派に対し所属議員1人当たり月額2万円を交付した。 <b>【交付実績】</b> 20,000円×19人×12か月＝4,560,000円 <b>【使途状況】</b> 研修費、調査旅費、会議費、資料購入費など ※年度末に各会派の残金を戻入した (戻入額394,598円)			
今後の方向性			使途の明確化と市民への説明責任を果たす観点から、市議会ホームページ上での収支報告と、1円以上すべての領収書の写しの公開を継続する。			

## 第2款 総務費 項1 総務管理費

### 目1 一般管理費 (予算説明書P53～P56)

#### 1 国民保護協議会経費 (総務部総務G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	1	56	56	0	13
目的			武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律に基づき、市民の保護に関する重要事項を審議し、登別市国民保護計画の適正な見直しを行うことを目的とする。			
事業内容及び実績			平成29年度においては、同計画の見直しに係る重要審議案件が無かったため、開催されなかった。			
今後の方向性			同計画の見直しを行う必要がある場合に協議会を開催する。			

#### 2 いじめ調査委員会経費【新規】 (総務部総務G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	1	91	91	24	0
目的			いじめ防止対策推進法の規定に基づき、いじめによる重大事態に係る調査内容について調査審議を行うことにより、当該調査の公平性、中立性及び透明性を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			委員長及び副委員長を選任するため、委員会を開催した。 <b>【事業実績】</b> ・会議開催数：1回 ・出席委員数：5人			
今後の方向性			いじめに係る重大事態が発生した際には、委員会を開催し、いじめによる重大事態に係る調査について調査審議を行う。			

#### 3 市史編さん事業費 (総務部市史編さんG)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	3	2	1,710	886	665	250
目的			郷土に関する有形無形の歴史資料を整理保存するとともに、先人の足跡を長く後世に継承する市史を刊行することにより、郷土・登別に対する市民の理解と関心を深め、今後のまちづくりに資することを目的とする。			
事業内容及び実績			新しい市史を編さんするため、有形無形資料の収集のほか、原稿の執筆依頼、市史編さんだよりの発行などに取り組んだ。			

	<p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登別市史編さん委員会の開催 委員数 10人 開催回数 3回 内容 市史の刊行形態、市史の題名等</li> <li>・有形無形の資料の収集 市民等に対する個別の聞き取り 延べ98人 市民による昔を語る座談会 10回、69人 写真、文献等の有形資料の収集 331件</li> <li>・石碑等に関する情報の収集 市内にある石碑等の由来等調査</li> <li>・自然科学分野を中心とした原稿の執筆依頼</li> <li>・市史編さんだよりの発行 5回</li> </ul>
今後の方向性	市史編さん事業の取組について周知するとともに、有形無形の資料の収集を進め、それに基づき原稿の執筆を行う。

4 功労者・市民表彰経費（総務部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	1	2	2,569	763	762	652
目的			市民の総意による感謝の反映として、市勢の発展に寄与した方などの功績をたたえることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>市勢の振興発展に寄与した方や、本市の自治、社会、産業、教育文化、体育等の振興発展に顕著な功績のあった方を表彰した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・功労者表彰 6人</li> <li>・登別市表彰 自治貢献8人、社会貢献8人、教育文化貢献9人、篤志貢献1人</li> </ul>			
今後の方向性			市勢発展へ寄与された方などの功績をたたえるため、引き続き実施する。			

5 国際交流推進事業費（総務部企画調整G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	2	2	510	290	31	39
目的			本市における国際交流を推進し、市民の国際理解を深めることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>国際交流団体等と連携し、国際理解を深めるための事業や友好都市協定を締結している海外都市との交流事業を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解講座の開催 (講座内容：諸外国の文化・風土の紹介など)</li> </ul>			



	第1回 6月22日 参加者 43人 第2回 7月25日 参加者 27人 第3回 8月21日 参加者 38人 第4回 10月30日 参加者 37人 第5回 11月28日 参加者 24人 ・友好都市等からの民間訪問団及び研修生の受入支援 17人
今後の方向性	国際交流団体等との連携を強化するとともに、国際理解講座の講座内容の充実及び周知に努める。

#### 6 デンマーク友好都市中学生派遣交流事業費（総務部企画調整G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	2	2	2,428	1,567	1,567	2,126
目的			本市の中学生を友好都市のデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣し、青少年との交流や日本とは異なる生活・文化の体験を通じ、生徒の豊かな人間性と広い視野を育むとともに、ファボー・ミッドフュン市との交流を推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>ホームステイによる外国生活の体験、同年代の外国人生徒との交流等を図るため、市内中学校と明日中等教育学校前期課程の生徒から参加希望者を公募し、ファボー・ミッドフュン市に派遣した。</p> <p>また、さらなる参加希望者を募るため、募集PRポスターを作成し、市内中学校と明日中等教育学校へ掲示した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣期間 8月12日～8月19日</li> <li>派遣人数 中学生5人、引率者2人</li> <li>出国前の活動           <ul style="list-style-type: none"> <li>結団式の開催、英会話やデンマークの文化・歴史、派遣先でのプレゼンテーション等の事前研修（10回）</li> </ul> </li> <li>派遣先での活動内容           <ul style="list-style-type: none"> <li>学校訪問、授業体験、生徒との交流、ホームステイによる生活体験、歴史的施設などの見学</li> </ul> </li> <li>帰国後の活動           <ul style="list-style-type: none"> <li>報告書の作成などの事後研修（6回）、帰国報告会</li> </ul> </li> <li>募集PRポスターの作成・掲示</li> </ul>			
今後の方向性			派遣者等の意見等をもとに、必要な見直しを行い、事業内容の充実を図る。			

#### 7 職員研修経費（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	7,134	7,134	5,887	5,505
目的			職員の資質及び職務遂行能力の向上を図ることを目的とする。			

事業内容及び実績	<p>職員数が減少している中、職員一人ひとりの能力の向上が一層求められていることから、資質の向上や人材育成に向けた研修に取り組んだ。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本研修 件数 15件、受講者 366人 新規採用職員研修、監督者政策立案研修、公務員倫理研修、人事評価者研修等</li> <li>・特別研修 件数 72件、受講者 658人 市町村職員中央研修所、全国市町村国際文化研修所、自治大学校等での専門実務研修、ファシリテーション能力向上研修、eラーニング等</li> </ul>
今後の方向性	<p>既存の研修に加え、内部講師の活用や研修機関等における専門実務研修を拡充することにより、効率的かつ効果的な研修体制を整える。</p>

8 ふるさとまちづくり応援寄附金関係経費（総務部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
6	3	1	86,280	86,280	77,512	69,296												
目的			本市を応援する人々からの寄附金を財源に、寄附者の意思を受け、活力あるまちづくりに資することを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>寄附者に対して、感謝の気持ちを込めて特産品等を贈呈したほか、以下の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイント制の寄附が可能であるポータルサイトを新規導入し、新たな寄附者層から寄附をいただいた。</li> <li>・前年度の寄附者に寄附の実績を報告するとともに、最新版カタログを送付した。</li> <li>・雑誌やポータルサイトトップページに広告を掲載したほか、JR札幌駅内でのPRプロジェクトへの参加、都内飲食店でのパンフレット設置を行った。</li> </ul> <p><b>【事業実績】</b></p> <p>※返礼品の一例 エゾバフンウニ塩水パック、チーズセット、登別牛、登別ブランドセット、温泉宿泊券、日帰り入浴券など (参考) ふるさとまちづくり応援寄附金実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄附件数</td> <td>5,234件</td> <td>8,921件</td> <td>662件</td> </tr> <tr> <td>寄附金額</td> <td>127,949,500円</td> <td>167,092,051円</td> <td>15,215,000円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	寄附件数	5,234件	8,921件	662件	寄附金額	127,949,500円	167,092,051円	15,215,000円
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
寄附件数	5,234件	8,921件	662件															
寄附金額	127,949,500円	167,092,051円	15,215,000円															
今後の方向性			本市の魅力向上を図り発信するため、新たな返礼品の開発を行うとともに、広告等で本市のふるさと納税をPRする。															

9 行政改革推進委員会経費（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	297	297	76	86

目的	社会経済情勢の変化に対応した簡素で効率的な行政システムの確立と推進を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	登別市行政改革推進委員会を設置し、行政改革大綱の推進について審議等を行った。 【事業実績】 ・委員会開催 1回 ・出席委員数 13人
今後の方向性	条例に規定された調査及び審議を行うため、引き続き委員会を開催する。

10 政治倫理審査会経費（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	35	35	18	18
目的			市長等及び市議会議員に対する市民の信頼を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			登別市政治倫理審査会を設置し、審議等を行った。 【事業実績】 ・審査会開催 1回 ・出席委員数 3人			
今後の方向性			条例に規定された調査及び審査を行うため、引き続き審査会を開催する。			

11 職員倫理審査会経費（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	35	35	0	0
目的			職員に対する市民の信頼を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			平成29年度においては、審査等を行う案件が無かったため、審査会は開催されなかった。			
今後の方向性			条例に規定された事項の審査を行うため、必要に応じて審査会を開催する。			

12 特別職報酬等審議会経費（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	131	131	0	0
目的			議会の議員報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給与の額を適正な額に定め、市民の信頼を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			平成29年度においては、審議等を行う案件が無かったため、審議会は開催されなかった。			
今後の方向性			条例に規定された事項の審議を行うため、必要に応じて審議会を開催する。			

13 地方公会計関係経費（総務部財政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	3,888	3,888	3,888	5,940
目的			国が示す統一的な基準による地方公会計の整備を進めることにより、財政マネジメントの強化を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			公認会計士の業務支援を受けながら、固定資産台帳の更新及び平成28年度決算に係る財務書類の作成、公表を行った。 また、関係職員を対象とした研修を実施したほか、総務部の職員を構成員としたワーキンググループを立ち上げ、財務書類等の活用手法の研究を行った。			

14 行政不服審査会経費（総務部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	86	86	51	29
目的			市が行った行政処分その他公権力の行使に当たる行為に関し、市民の権利利益の救済を図るとともに、行政の適正な運営を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			審査請求のあった案件を審査するため、審査会を開催した。 <b>【事業実績】</b> ・会議開催数 2回 ・出席委員数 延べ9人			
今後の方向性			条例に規定された事項の審査を行うため、必要に応じて審査会を開催する。			

15 旅券事務費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	229	229	225	229
目的			旅券（パスポート）の交付事務を行うことにより、市民の利便性の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			北海道から権限移譲を受け、旅券の申請受付及び交付を行った。 <b>【事業実績】</b>			
			区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			旅券交付件数	602件	659件	567件
今後の方向性			市民の利便性を考慮し、旅券事務を継続して行う。			

目2 財産管理費（予算説明書P55～P56）

1 庁舎等改修事業費【新規】（総務部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	31,432	29,225	29,204	0

目的	庁舎等の改修を行うことにより、職員の職場環境の向上と市民等が安全・安心に利用できる環境を整備することを目的とする。								
事業内容及び実績	<p>老朽化が進んだ本庁舎の外壁等の改修を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁（正面側）下地改修、塗装工事</li> <li>・窓（正面側及び鷺別側）改修工事</li> <li>・屋上防水（議場）改修工事</li> <li>・屋内消火栓修繕</li> </ul> <p><b>【財源内訳】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29,204</td> <td>21,000</td> <td>8,204</td> </tr> </tbody> </table>	事業費	財源内訳		市債	一般財源	29,204	21,000	8,204
事業費	財源内訳								
	市債	一般財源							
29,204	21,000	8,204							

## 2 施設統合交付金【新規】（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	600	600	600	0
目的			公共施設等総合管理計画及び公共施設整備方針に基づき、施設の統合を進めることにより、公共施設等の適正管理を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>老人憩の家「東寿園」の市営住宅集会所「幌別東集会所」への統合にあたり、統合先の施設の指定管理者である幌別鉄南第八町内会に対し、交付金を交付した。</p> <p><b>【交付額内訳】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収納設備等整備事業分 500,000円</li> <li>・施設統合管理経費分 100,000円</li> </ul>			

## 目5 総務諸費（予算説明書P55～P58）

### 1 北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会開催補助金【新規】（総務部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	1	1,000	95	95	0
目的			北海道内に所在する駐屯地等と地方自治体が連携を図り、共に発展するための方策を検討することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会役員会、定期総会及び意見交換会の開催に要する経費の一部を補助した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 5月23日（火）</li> <li>・開催場所 登別市民会館 ほか</li> </ul>			

2 日本工学院北海道専門学校連携事業費（総務部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	2	8,690	5,745	5,333	2,538
目的			日本工学院北海道専門学校と連携・協力することにより、同校スタッフの高度な専門的知識や学生の活力をまちづくりに活用し、個性豊かな地域社会の形成・発展や未来を担う人材の育成、さらに市民の教育・文化活動の振興などを図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>包括連携協定に基づき、同校が行う学生確保に関する取組等に対し支援を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理経費補助金 827,933円</li> <li>留学生支援補助金（13人分） 4,495,000円</li> <li>学生への依頼による移動図書館車「こぐま号」のラッピングデザイン制作</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き包括連携協定に基づき支援を行う。			

3 北海道新幹線×nittan地域戦略会議経費（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	3	2,500	2,500	2,500	3,500
目的			北海道新幹線の開業を契機として胆振日高地域の交流人口を増加させ、地域経済の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>胆振日高地域の魅力を道内外に発信し、知名度の向上や交流人口の増加を図るため、胆振日高の18市町で構成される北海道新幹線×nittan地域戦略会議に対し負担金を支出するとともに、本市においても、当会議が実施する各種事業等に積極的に参加した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロモーション事業 道内外共同プロモーションの実施</li> <li>森蘭航路磨き上げ事業 森蘭航路を組み込んだ一般コンシューマー向けのモニターツアーの実施</li> <li>バスマップ作成事業 既存の交通ネットワーク（都市間バス及び路線バス）を可視化し、道外からの個人旅行客やF I Tの周遊促進を図ることを目的に、nittan地域の広域バスマップを作成</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き事業を実施することで地域経済の活性化を図る。			

4 登別・白石・海老名姉妹都市交流事業費（総務部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	2	1	3,634	3,101	2,792	3,556

目的	宮城県白石市、神奈川県海老名市との友好交流を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	姉妹都市等都市間交流協会と連携し交流事業を行った。 【事業実績】 ・幌別地区手づくり祭りにおいて、2市の物産展の受入れ ・白石市農業祭、えびな市民まつり等の物産展への出店 ・スポーツ交流事業、教育文化交流事業の実施 ・各団体が行う交流事業への支援
今後の方向性	市民レベルでの友好交流を推進し、姉妹都市である3市間の関係性をより強固にする。

## 目 6 企画費 (予算説明書 P57～P58)

### 1 市民自治推進委員会経費【新規】(市民生活部市民協働G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	1	1	100	100	31	0
目的			市の最高規範である「登別市まちづくり基本条例」の目的を達成するために、市民自治推進委員会を設置し、市民と行政による協働のまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			各部会共通のテーマを「健康」とし、第3期基本計画をもとに具体的な取組について議論し、各部会に所属する各団体が持つ特性と行政による協働のまちづくりの推進を図った。 【各部会の取組内容】 ・ぬくもり部会 特定健診の受診率向上のための取組 ・防災・環境部会 防災訓練による市民の防災意識の向上に向けた取組 ・産業躍動部会 地場産食材を利用した料理教室の実施 ・都市調和部会 きらり健康ふれあいウォーキングマップのリニューアル ・育み部会 公園の利活用 ・まちづくり部会 健康座談会(ロコモティブシンドロームの予防法)の開催			
今後の方向性			市民自治推進委員会に所属する各団体や市民活動団体と連携しながら、協働のまちづくりの推進を図る。			

### 2 市民憲章推進事業補助金(市民生活部市民協働G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	1	2	150	150	150	150
目的			市民が郷土を愛し、より豊かな郷土づくりを目指すため、登別市民憲章に掲げる理念の普及を図ることを目的とする。			

事業内容及び実績	啓発物品等の配布活動など、市民憲章の啓発活動を実施する登別市民憲章推進協議会に対し、補助金を交付した。 【協議会の事業実績】 ・市民憲章制定日にちなんだ啓発活動の実施 ・啓発物品の作製、配布 ・小学4年生を対象とした啓発標語コンクールの実施 ・広報のぼりべつを活用した市民憲章の周知及び啓発
今後の方向性	同協議会が実施する市民憲章の普及、啓発等の活動を支援する。

### 3 市民憲章推進経費（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	1	2	214	214	191	227
目的			市民が郷土を愛し、より豊かな郷土づくりを目指すため、登別市民憲章に掲げる理念の普及を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			市民憲章の普及を図るため、次の事業を実施した。 【主な事業実績】 ・市民憲章掲示板の新設 のぼりべつ文化交流館、ネイチャーセンター ・市民憲章啓発物品の作製、配布 ・平成30年度に実施の登別市民憲章制定50周年記念事業の事業計画作成及び会議の開催			
今後の方向性			平成30年度に市民憲章が制定50周年を迎えることを契機とし、改めて市民が市民憲章に触れる機会をつくることにより、市民憲章の普及を図る。			

### 4 コミュニティ助成事業補助金（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	1	2	1,900	1,900	1,900	1,500
目的			市民団体に対して、活動に必要な経費の一部を補助することにより、コミュニティ活動の促進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、市民団体に対して活動に必要な経費の一部を補助した。 【補助実績】 ・補助対象団体 郷土芸能「幌別駒おどり保存会」 ・補助事業の内容 幌別駒おどり活動用具整備事業			
今後の方向性			事業を通じ、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目指す。			



5 東京登別げんきかい交流経費（総務部企画調整G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	2	1	501	400	400	408
目的			首都圏在住の登別市出身者などで構成されるふるさと会『東京登別げんきかい』と本市との交流を図るとともに、同会の協力による首都圏での情報発信等を通じ、市の発展に寄与することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>総会や情報交換会で市の情報を発信するとともに、同会と本市相互の情報交換や親睦、交流を行った。</p> <p>また、同会のフェイスブックを通じて、市の情報を発信した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総会及び情報交換会への参加</li> </ul> <p>開催日 11月18日（土） 開催地 東京都渋谷区 参加者数 89人</p>			
今後の方向性			本市と首都圏をつなぐパイプ役として、ふるさと応援のための活動を活発に行っている『東京登別げんきかい』に対し、本市の情報を発信するなど、交流事業を継続する。			

6 ふるさと大使関係経費（総務部企画調整G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
6	2	1	17	17	2	12												
目的			さまざまな機会において、『登別市ふるさと大使』に本市を宣伝していただくことにより、市の発展に寄与することを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>本市にゆかりのある方などに委嘱している『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）へ、広報紙や観光パンフレット、PRカードなどを配布し、本市の魅力を情報発信していただくよう依頼した。</p> <p>・登別市ふるさと大使委嘱人数（各年度末）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委嘱人数</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本人</td> <td>21人</td> <td>21人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>外国人</td> <td>15人</td> <td>16人</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table>				委嘱人数	平成29年度	平成28年度	平成27年度	日本人	21人	21人	22人	外国人	15人	16人	19人
委嘱人数	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
日本人	21人	21人	22人															
外国人	15人	16人	19人															
今後の方向性			各地で本市の話題を宣伝していただくことは、市のPRとして有効であることから、引き続き、『登別市ふるさと大使』に対する情報提供に努める。															

7 移住促進経費（総務部企画調整G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	2	3	1,038	828	827	901
目的			本市の概要や各種イベント、セールスポイントなど、登別の魅力を発信し、本市への移住体験参加者及び定住者の増加を図ることを目的とする。			

<p>事業内容及び実績</p>	<p>本市の魅力が多角的に紹介し、移住体験参加者及び定住者の増加を図るため、次の取組を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道移住促進協議会を通じた情報発信</li> <li>・移住情報パンフレットの一部改訂</li> <li>・移住相談ワンストップ窓口の継続設置</li> <li>・北海道への移住希望者が参加する「北海道暮らしフェア 名古屋会場」及び「北海道へ本気の移住相談会（東京）」への出展</li> <li>・関係団体と連携した市内不動産物件の情報提供</li> <li>・移住希望者の生活スタイルに応じた公共施設や生活基盤となる施設を紹介する体験型パッケージツアーの実施</li> </ul> <table border="1" data-bbox="608 689 1461 909"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移住体験人数</td> <td>25組37人</td> <td>126組190人</td> <td>119組172人</td> </tr> <tr> <td>体験滞在日数</td> <td>延べ429日</td> <td>延べ2,017日</td> <td>延べ1,944日</td> </tr> <tr> <td>移住相談窓口 利用人数</td> <td>63人</td> <td>70人</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	移住体験人数	25組37人	126組190人	119組172人	体験滞在日数	延べ429日	延べ2,017日	延べ1,944日	移住相談窓口 利用人数	63人	70人	36人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度														
移住体験人数	25組37人	126組190人	119組172人														
体験滞在日数	延べ429日	延べ2,017日	延べ1,944日														
移住相談窓口 利用人数	63人	70人	36人														
<p>今後の方向性</p>	<p>移住情報パンフレットの情報を更新するほか、北海道への移住希望者が集まる「本気の移住相談会」等に参加するなど、様々な取組を通じて、交流人口等の増加と移住・定住の促進を図る。</p>																

8 移住促進PR事業費（総務部企画調整G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	2	3	1,000	900	900	1,000
目的			<p>移住体験事業「ちょっと暮らし」や生活拠点としての本市の魅力などをPRすることにより、本市への完全移住、二地域居住、ショートステイを促し、定住人口・交流人口の増加を図ることを目的とする。</p>			
事業内容及び実績			<p>移住を検討される方の多くがウェブによる情報収集を行っていることから、移住ポータルサイトの情報拡充を行うとともに、本サイトへの閲覧を促し、道内外の居住者、特に若年層に対する本市の魅力の更なる情報発信を行うため、次の取組を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスブックへの広告掲載</li> <li>・移住・定住ポータルサイトのSEO対策（検索エンジンの検索結果表示における上位表示対策）</li> <li>・移住・定住ポータルサイト誘導ポスターの作成</li> <li>・フリーペーパーへの広告掲載</li> </ul>			
今後の方向性			<p>都市圏居住者を対象にさらなる移住促進を図るため、ウェブ広告を活用し、移住検討者のニーズを把握するとともに、ポータルサイトの拡充を行い本市の魅力を発信する。</p>			

目 7 市民活動センター費 (予算説明書 P57～P58)

1 市民活動センター運営管理経費 (市民生活部市民協働G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
6	1	2	15,392	15,392	15,192	15,296												
目的			市民活動センターの運営を通じ、市民活動の総合的な促進を図ることを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>指定管理者による施設の管理運営により、市民活動団体のニーズ等の把握に努めるなど、民間の活力を最大限生かしながら市民活動の促進を図った。</p> <p>【指定管理者】 特定非営利活動法人おにスポ                  【指定管理期間】 平成25年度～平成29年度                  【事業実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>19,566人</td> <td>17,705人</td> <td>17,647人</td> </tr> <tr> <td>登録団体数</td> <td>180団体</td> <td>181団体</td> <td>191団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動に係る相談受け付け</li> <li>・のぼりん通信やのぼりんトピックスの発行 (各12回)</li> <li>・ホームページ、フェイスブック等を活用した各団体やイベント情報の紹介</li> <li>・人材育成のための実践体験 (市内中学生延べ41人参加)</li> <li>・のぼりん文化講座 (54回開催、延べ364人参加)</li> <li>・のぼりんナイトカルチャー (78回開催、延べ744人参加)</li> <li>・市民活動の紹介・展示</li> <li>・市民活動交流フェスタ (2月18日(日)に市民会館で開催、延べ33団体、約450人参加)</li> </ul>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用者数	19,566人	17,705人	17,647人	登録団体数	180団体	181団体	191団体
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
利用者数	19,566人	17,705人	17,647人															
登録団体数	180団体	181団体	191団体															
今後の方向性			指定管理者と密に連絡を取ることで連携強化を図り、施設の適切な維持管理及び中間支援機能の強化を行う。															

目 9 行政情報費 (予算説明書 P57～P58)

1 広報広聴経費 (総務部企画調整G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	1	3	14,758	14,150	13,340	13,148
目的			市民や地域の声・ニーズを的確にとらえ、市政に反映させるよう努めるとともに、市政情報を総合的に提供することにより、市民参加のまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			市政情報の提供を行うため、広報紙の発行等を行ったほか、市政への市民の声を聞くため、市長室フリータイムやパブリックコメントなどを実施した。			

	<p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報のぼりべつ（毎月発行）</li> <li>・ 市民便利帳の作成（8月発行） 電話帳との合冊版をN T Tタウンページ(株)と共同制作</li> <li>・ 広報モニター 市民7人（広報のぼりべつのアンケート評価）</li> <li>・ 市長室フリータイム 実施2回（平成28年度からの延期分1回を含む） 参加者数 3組3人</li> <li>・ 市職員出前フリートーク 実施53回 参加者数 3,624人</li> <li>・ パブリックコメント 13回</li> <li>・ 市民見学会 参加者数 20人</li> </ul>
今後の方向性	引き続き、広報紙やウェブサイトなど、さまざまな媒体を活用し、市政情報を発信するとともに、広報モニターや市民の意見を伺いながら、より見やすい広報紙やウェブサイトの作成に努める。また、市長室フリータイムや市職員出前フリートークなど、市民との対話の機会の確保に努める。

## 2 北海道電子自治体共同システム運用経費（総務部企画調整G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	2,248	2,248	2,154	2,245
目的			インターネットを通じて、申請業務等の行政サービスを提供することにより、市民の利便性の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			電子自治体の実現にあたって必要となる各種システムの共通基盤及び市町村電子申請システムについて、北海道と道内市町村の共同運用に係る経費の一部を負担した。 なお、本市は電子申請6種類、申請書ダウンロード91種類をサービス提供した。			
今後の方向性			道や他市町村と協力してシステムの運用を継続するとともに、国が進める社会保障・税番号制度及び情報セキュリティ対策の動向を注視しながら、更なる活用を検討する。			

## 3 西いぶり広域連合共同電算事業負担金（総務部企画調整G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	166,847	170,457	153,600	167,644
目的			西胆振3市1町が共同で電算システムを運用することにより、市民サービスの向上及び電算システム運用に係る経費の節減を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			西いぶり広域連合に対して、室蘭市、登別市、伊達市、壮瞥町の3市1町が共同運用する戸籍、住民基本台帳、課税な			

	<p>どの基幹業務システム運用に係る費用の一部を負担した。</p> <p>また、社会保障・税番号制度における情報連携業務について、年金情報が新たに情報連携対象となったほか、特定個人情報データ標準レイアウトが一部変更となったことから、関係する各業務システムの整備等を行った。</p>
今後の方向性	<p>市民サービスの向上や運用コストの削減など、一定の成果をあげていることから、共同による電算処理を継続し、さらなるサービスの向上と安定的な稼働のための調査研究を続けるとともに、各種制度改正及び情報セキュリティの強靱化に適切に対応する。</p>

#### 4 地域情報化の推進（総務部企画調整G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	56,430	55,781	53,658	40,802
目的			<p>行政事務の情報化を推進（継続）することにより、市民サービスの向上及び行政コストの節減を図ることを目的とする。</p>			
事業内容及び実績			<p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OA化推進経費 22,751千円 事務処理に必要なパソコン、プリンターなどの機器更新、維持管理及び庁内ネットワーク等の構成に要するサーバの維持管理を行った。</li> <li>・地域イントラネット維持管理経費 24,668千円 公共施設を結ぶイントラネット(光ファイバーネットワーク)機材などの維持管理を行った。</li> <li>・行政情報化経費 6,239千円 市民サービスに必要な窓口用パソコン、プリンターやメールサーバなどの維持管理を行った。</li> </ul>			
今後の方向性			<p>維持管理コストの低減に努めるとともに、機器トラブルによる業務の支障を回避するため、適正に機器類の管理・更新を行うほか、最新技術や業務に要するシステムの機能向上などの調査研究を続け、業務や事務の改善に努める。</p>			

#### 5 地域イントラネット維持管理経費（前年度繰越事業）（総務部企画調整G）

章	節	施策	繰越予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	10,380	10,380	—
目的			<p>公共施設を結ぶイントラネット(光ファイバーネットワーク)機材などの維持管理を行うことにより、効率的な行政活動を展開することを目的とする。</p>		
事業内容及び実績			<p>(株)NTT東日本北海道所有の電柱の移設に合わせ、共架している光ファイバーケーブルの移設を実施した。</p>		

6 個人番号カード交付事業費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	5,758	5,758	2,016	8,577
目的			行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、通知カード・個人番号カードの交付を円滑に行うことを目的とする。			
事業内容及び実績			通知カード・個人番号カードについて、製造、発行などの関連事務を委任している地方公共団体情報システム機構へ交付金を支払うとともに、窓口において個人番号カードの交付を行った。 【事業実績】 ・個人番号カード交付枚数 708枚（累計 4,951枚）			
今後の方向性			通知カード・個人番号カードの交付を円滑に行うとともに、個人番号カードの交付促進に向け周知を徹底し、普及率の向上を図る。			

7 個人番号カード交付事業費（前年度繰越事業）（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	繰越予算額	決算額	前年度決算額	
6	3	1	3,851	1,876	—	
目的			行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、通知カード・個人番号カードの交付を円滑に行うことを目的とする。			
事業内容及び実績			通知カード・個人番号カードについて、製造、発行などの関連事務を委任している地方公共団体情報システム機構へ交付金の支払いを行った。			

目 11 環境保全推進費（予算説明書P59～P60）

1 総合的な環境保全の推進経費・環境保全審議会経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	1	1	844	844	430	389
目的			地球温暖化対策の推進に関する法律や環境基本計画に基づき、環境保全の推進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			市民、事業者、行政の協働により、環境保全の取組を計画的に行った。 【事業実績】 ・総合的な環境保全の推進経費 92千円 小学生による環境ポスターの募集 小学生による「子ども環境家計簿」の夏・冬休み中の取組の実施 グリーン購入法に基づく調達方針の進行管理 環境講演会の開催			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全審議会の開催 338千円 環境の保全等に関する基本的事項の審議で4回開催</li> <li>・レジ袋削減の推進 マイバッグ等の持参によるレジ袋削減の取組</li> </ul>
今後の方向性	引き続き、環境保全の推進に係る活動を行う。

## 2 電気自動車普及促進事業費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額				
2	1	1	1,183	1,183	1,165	1,116				
目的			電気自動車の普及促進を図ることにより、地球温暖化防止及び低炭素社会の実現を図ることを目的とする。							
事業内容及び実績			<p>電気自動車及び急速充電器の適正な維持管理を行うとともに、電気自動車の普及促進のため、広報紙や市ホームページなどへの掲載のほか、リサイクルまつりでの電気自動車の展示など、周知・啓発活動を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>急速充電器 利用実績</td> <td>平成29年度 380件</td> <td>平成28年度 134件</td> <td>平成27年度 89件</td> </tr> </table>				急速充電器 利用実績	平成29年度 380件	平成28年度 134件	平成27年度 89件
急速充電器 利用実績	平成29年度 380件	平成28年度 134件	平成27年度 89件							
今後の方向性			電気自動車の普及促進のため、積極的に啓発活動を行うとともに、電気自動車及び急速充電器の適正な維持管理を行う。							

## 目 12 男女共同参画推進費（予算説明書P59～P60）

### 1 男女共同参画社会づくり推進経費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	4	1	145	145	92	96
目的			登別市男女共同参画基本計画に基づき、女性と男性がお互いを尊重し、それぞれの個性と能力を発揮して共に支え合う男女共同参画社会の形成を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>登別市男女共同参画社会づくり推進会議と意見交換を図りながら、登別市男女共同参画第2次基本計画（はあもにいプラン21）における実施計画（平成28年度～平成30年度）登載事業の推進と進行管理を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報紙「アンダンテ」の発行（年1回）</li> <li>・広報のぼりべつ小特集記事の掲載（年1回）</li> <li>・小学校4年生向け啓発冊子の作成・配布</li> <li>・男女共同参画に関するアンケートの実施</li> <li>・男女共同参画週間に合わせた作品展の開催</li> <li>・男女共同参画フォーラムの開催</li> <li>・男女共同参画に関する市民団体の活動支援（のぼりべつ男女平等参画懇話会、プラタナス）</li> <li>・女性活躍推進法に係る情報提供等</li> <li>・DVに関する相談業務等職員研修会の開催</li> </ul>			

今後の方向性	各事業等に関し、市民への周知により男女共同参画に対する関心を高めるとともに、男女共同参画社会の形成を図るため、登別市男女共同参画基本計画の実施計画掲載事業を推進する。
--------	---

## 2 民間シェルター運営補助金（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
1	4	1	300	300	300	300								
目的			配偶者やパートナーなどの親密な関係にある者からの暴力等の被害を受けた女性を守ることにより、女性の人権と尊厳を守り、男女が対等に生きることができる社会を実現することを目的とする。											
事業内容及び実績			配偶者やパートナーからの暴力に苦しむ女性の心身の安全を確保する活動や自立のための支援を行う「NPO法人ウィメンズネット・マサカーネ」が運営する民間シェルターの家賃と光熱水費の一部を補助し、活動を支援した。 <b>【民間シェルターの活動実績】</b> ・DVシェルターでの保護者数（登別市民） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者数</td> <td>13人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	保護者数	13人	3人	5人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
保護者数	13人	3人	5人											
今後の方向性			DV等被害者に寄り添った対応に努め、引き続き、民間シェルターに対して支援を行う。											

## 目 13 幼稚園振興費（予算説明書P59～P60）

### 【主要データ】

#### ① 幼稚園園児数等の推移

区分	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年
幼稚園数	1園	4園	4園	4園
園児数	87人	543人	543人	556人

※各年5月1日現在（平成29年は特定教育・保育施設を除く）

## 1 私立幼稚園就園奨励費補助金（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
1	3	1	30,048	26,448	25,805	78,479								
目的			園児の保護者の経済的負担を軽減することにより、子どもを安心して育てられる環境をつくることを目的とする。											
事業内容及び実績			保護者からの申請を受け、就園に係る費用の一部を補助した。 <b>【事業実績】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象者数</td> <td>192人</td> <td>612人</td> <td>590人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	補助対象者数	192人	612人	590人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
補助対象者数	192人	612人	590人											
今後の方向性			保護者の経済的負担を軽減することにより、幼児教育の充実を図る。											



2 私立幼稚園協会教職員研修費補助金（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	125	125	125	500
目的			私立幼稚園の教職員の資質の向上のため研修費を補助し、幼児教育の充実を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			登別市私立幼稚園協会に対し、教職員の研修に要する経費の一部を補助した。 【協会の活動実績】 ・対象研修 10件 ・市内私立幼稚園 1園 延べ参加人数20人			
今後の方向性			教職員の資質向上により、幼児教育の充実を図る。			

3 私立幼稚園教材教具費等補助金（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	700	344	344	2,176
目的			園児の保護者の経済的負担を軽減することにより、幼児教育の充実を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			園児の学習活動に必要な教材教具の購入に係る経費の一部を補助した。 【補助実績】 ・対象者86人×4,000円			
今後の方向性			保護者の経済的負担を軽減することにより、幼児教育の充実を図る。			

第2款 総務費 項2 徴税費

目3 徴收費（予算説明書P61～P62）

1 債権回収等推進事業費【新規】（市民生活部税務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	2,797	1,376	731	0
目的			登別市債権管理条例に基づき、市が有する非強制徴収債権の回収等を推進することにより、同債権の滞納解消等を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			非強制徴収債権に係る滞納案件について、弁護士への委託により民事訴訟手続きを行うなど、債権の回収等を進めた。 また、本取組について、広報や新聞報道を通じて周知したことにより、滞納者に対する納付折衝において相談や分割納付に応ずるケースが増加し、滞納額の減少とともに収納率の向上が図られた。			
今後の方向性			引き続き事業を継続し、滞納額の縮減を図る。			

## 第2款 総務費 項3 戸籍住民基本台帳費

### 目1 戸籍住民基本台帳費 (予算説明書P63～P64)

#### 1 住民基本台帳システム等改修経費 (翌年度繰越事業) 【新規】 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
6	3	1	0	6,465	2,072	0								
目的			住民基本台帳システム等の改修を行い、女性活躍推進等に対応した個人番号カード等の記載事項の充実を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>国からの要請を受け、希望者に対して住民票及び個人番号カード等に旧姓の併記が可能となるよう、システム改修に要する経費について補正予算を計上し、平成29年度は、改修にあたり必要となる基本設計及び詳細設計に係る負担金を支出し、改修経費については、翌年度に繰り越した。</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2,072</td> <td style="text-align: center;">2,071</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		国庫支出金	一般財源	2,072	2,071	1
事業費	財源内訳													
	国庫支出金	一般財源												
2,072	2,071	1												
今後の方向性			平成30年度のシステム改修完了に向け、事務を進める。											

## 第2款 総務費 項5 防災費

### 目1 防災費 (予算説明書P67～P68)

#### 1 防災会議経費 (総務部総務G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	1	240	240	13	30
目的			登別市地域防災計画による防災対応の実施を推進するほか、地域に係る防災に関する重要事項を審議し、同計画の適正な見直しを行うことを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>防災会議を開催し、同計画の一部見直しや総合防災訓練の実施に関することなどについて審議・協議を行った。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議開催数 1回</li> <li>・出席委員数 25人</li> </ul>			
今後の方向性			防災会議の開催を通して、災害状況や防災施策等を共有するとともに、同計画の適正な見直しを行うほか、平成31年度の総合防災訓練の実施に向けて準備を進める。			

2 防災対策強化事業費（総務部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	1	1,604	1,398	1,398	1,604
目的			東日本大震災等を教訓に、災害の備えとして備蓄品等を整備し、防災対策の強化を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			自然災害等に備えるため、備蓄整備方針に基づき、防災備蓄品等を購入し、分散備蓄した。 <b>【購入実績】</b> ・非常食 4,600食 ・育児用ミルク 420食 ・乾電池 300本 ・備蓄燃料 256L			
今後の方向性			備蓄品の定期的な点検等により、適切な管理を行うとともに、備蓄整備方針に基づき備蓄品の整備に努める。			

3 高台避難誘導看板設置事業費（総務部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	1	2,299	2,299	2,198	1,127
目的			平時における津波防災の啓発を図るとともに、大津波警報等発表時における市民等の安全な避難行動に資することを目的とする。			
事業内容及び実績			津波時における高台避難場所付近及びその避難経路等に誘導看板を設置した。 ・設置箇所数 57箇所			
今後の方向性			平成30年度の設置完了を目指し、津波浸水予測図において浸水が予測される地区と協議を行い、誘導看板の設置を進める。			

4 火山防災対策事業費（総務部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	1	59	59	59	81
目的			常時観測火山である倶多楽について、活動火山対策特別措置法に基づき、火山防災協議会を設置し、防災関係機関等と連携して避難計画を作成することなどにより、適切な防災対応を図り、住民等の安全を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			火山専門家を含む防災関係機関等で構成する火山防災協議会及びコアグループ会議を開催した。 また、火山防災に係る情報共有と火山防災知識の習得等のため、国や北海道、その他関係機関等が主催する会議や研修会等へ参加した。 <b>【協議会の主な事業実績】</b> ・協議会開催 1回 ・コアグループ会議開催 4回 ・国や北海道が主催する会議への参加 2回（札幌・東京）			

今後の方向性	火山防災協議会の活動を推進するとともに、火山防災に係る情報共有と知識の習得等のため、関係会議や研修会等へ参加し、火山現象の状況に応じた警戒避難体制の整備を図る。
--------	--

5 総合防災訓練経費（総務部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	1	2,351	1,837	1,833	0
目的			地域住民及び防災関係機関等の参加による総合防災訓練を実施し、防災関係機関の災害発生時の応急対策を確認するとともに、地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>地域住民をはじめ、防災関係機関、災害協定締結機関等の参加により総合防災訓練を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <p>実施日 9月30日（土）</p> <p>実施場所 登別中学校グラウンド、時代村社員寮付近、アオノ産資付近、金毘羅寺付近 等</p> <p>災害想定 地震、津波</p> <p>主な内容 津波避難訓練、会場実動訓練、体験・展示ブースの設置</p>			
今後の方向性			平成31年度に総合防災訓練を実施するため、訓練日時や場所をはじめ、災害想定の見直しや関係機関との調整などの準備を進めていく。			

### 第3款 民生費 項1 社会福祉費

#### 目1 社会福祉総務費 (予算説明書P73～P74)

##### 【主要データ】

##### ①犯罪発生件数の推移

(各年12月末現在)

区分	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年
発生件数	222件	226件	206件	261件	232件	291件

#### 1 社会福祉協議会補助金 (保健福祉部社会福祉G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	1	47,608	47,608	46,952	45,000
目的			社会福祉法人登別市社会福祉協議会の基盤強化に対し補助することにより、地域福祉の推進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			社会福祉法人登別市社会福祉協議会の法人運営事業や地域福祉事業などに対し補助を行った。 <b>【協議会の主な事業内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人運営事業 社会福祉協議会活動の推進、法人運営の推進・強化</li> <li>・地域福祉事業 きずな活動推進事業、小地域ネットワーク活動推進事業</li> <li>・ボランティアセンター事業 ボランティア活動支援事業、ボランティアセンター運営事業</li> <li>・在宅福祉事業 福祉車両貸出事業、福祉用具貸与事業</li> <li>・生活支援事業 生活あんしんサポートセンター事業、高齢者等訪問見守り事業</li> </ul>			
今後の方向性			社会福祉協議会における、町内会を基盤とした地域支え合い活動である小地域ネットワーク活動の推進や、社会的孤立や権利擁護等の多様な生活課題に対応するための生活支援活動の強化を支援する。			

#### 2 民生委員児童委員活動経費 (保健福祉部社会福祉G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	1	12,928	13,072	12,863	12,612
目的			市内各地区の民生委員児童委員の活動を支援することにより、地域福祉の推進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			民生委員児童委員協議会に対して補助金を交付するなど、民生委員児童委員の活動支援を行った。 <b>【補助内訳】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員児童委員協議会補助金 <span style="float: right;">3,691千円</span></li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員児童委員協議会経費 1,384千円</li> <li>・民生委員児童委員活動経費（委員132人） 7,788千円</li> </ul>
今後の方向性	誰もが安心して暮らすことができる「福祉のまちづくり」を進めるため、引き続き、民生委員児童委員の活動を支援する。

### 3 安心キット配付事業補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
1	1	1	100	100	100	455												
目的			社会福祉法人登別市社会福祉協議会が実施する地域支え合い活動である小地域ネットワーク活動を支援することにより、地域福祉の推進を図ることを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>社会福祉協議会が推進する小地域ネットワーク活動に関し、支援対象者の的確な状況把握手段として実施する安心キット配付に要する経費について補助を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>配付数</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>きずな安心キット</td> <td>482本</td> <td>596本</td> <td>2,007本</td> </tr> <tr> <td>きずなづくり台帳</td> <td>823枚</td> <td>1,029枚</td> <td>3,610枚</td> </tr> </tbody> </table>				配付数	平成29年度	平成28年度	平成27年度	きずな安心キット	482本	596本	2,007本	きずなづくり台帳	823枚	1,029枚	3,610枚
配付数	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
きずな安心キット	482本	596本	2,007本															
きずなづくり台帳	823枚	1,029枚	3,610枚															
今後の方向性			引き続き、災害時や緊急時を意識した平常時からの支え合い・見守り活動を推進するため、安心キット配付事業を支援する。															

### 4 社会福祉協議会貸付金（たすけあい金庫）（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
1	1	4	5,000	5,000	5,000	5,000												
目的			低所得者世帯の経済的な安定を促進し、福祉の向上を図ることを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>低所得者世帯に応急援護資金、高額療養費などの貸付を行うため、社会福祉協議会に対しその原資の貸付を行った。</p> <p><b>【貸付内容】</b>          応急生活費、高額療養費、教育の臨時的経費、就職の臨時的経費、災害臨時的経費</p> <p><b>【貸付実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>64人</td> <td>59人</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td>貸付額</td> <td>2,312千円</td> <td>1,965千円</td> <td>2,930千円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	件数	64人	59人	79人	貸付額	2,312千円	1,965千円	2,930千円
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
件数	64人	59人	79人															
貸付額	2,312千円	1,965千円	2,930千円															
今後の方向性			低所得者の生活安定化を図るため、事業を継続する。															

### 5 臨時福祉給付金給付事業費（前年度繰越事業）（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	繰越予算額	決算額	前年度決算額
1	1	4	192,714	163,173	41,539
目的			消費税率の引上げに際し、低所得者に与える影響に鑑み、臨時福祉給付金を給付することにより、経済的負担を軽減することを目的とする。		

事業内容及び実績	平成28年度臨時福祉給付金の給付対象者を対象に、一人につき1万5千円を給付した。			
	【給付実績】			
	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	人数	10,065人	9,750人	10,256人
給付額	150,975千円	29,250千円	61,536千円	

6 生活困窮者自立支援事業費（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	4	1,430	1,430	181	311
目的			包括的な支援を行うことにより、生活困窮状態からの自立を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			生活困窮者からの相談に包括的な対応をするとともに、早期に寄り添い型の支援を実施することにより、生活課題の解消、自立生活の維持を支援した。			
			【事業実績】			
			区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			新規相談件数	23件	30件	54件
			住宅確保給付金	0件	0件	0件
今後の方向性			生活困窮者に対するセーフティネットとして、包括的な支援を実施することで生活課題を解決し、自立生活の維持のために必要な事業展開を検討し、継続する。			

7 日胆はまなす里親会補助金（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	30	30	30	30
目的			里親制度の普及により、児童福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			胆振、日高管内の里親で構成される日胆はまなす里親会の運営に対し補助を行った。			
			【会の事業実績】			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会、総会（5月）</li> <li>・日胆はまなす里親会研修会・交流会（7月）</li> <li>・全国里親会北海道地区里親研修大会（10月）</li> <li>・全国里親会全国大会、里子プレゼント事業（12月）</li> <li>・「会報誌」はまなす発行（4月）</li> </ul>			
今後の方向性			里親制度は要保護児童を家庭的環境の中で養育する最も望ましい養育形態であることから、支援を継続する。			

8 室蘭登別防犯協会連合会助成金（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	5	650	650	650	650
目的			住民の防犯意識を高め、犯罪や事故のない安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			

事業内容及び実績	<p>関係機関・団体などと緊密な連携を図り、効果的な地域安全活動を展開して、安全で安心な地域社会の実現のために活動する室蘭登別防犯協会連合会に対し、室蘭市と共同で事業運営費の一部を助成した。</p> <p><b>【連合会の事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域安全ニュースの発行（毎月1回） ※点訳版についても発行した</li> <li>・登下校時における児童の見守り、あいさつ活動</li> <li>・各種街頭啓発（春の地域安全運動、夏の暴力追放運動、全国地域安全運動、歳末特別警戒）</li> </ul>
今後の方向性	引き続き、同連合会の活動を支援する。

9 暴力追放運動推進団体連絡協議会助成金（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	5	500	500	500	500
目的			市内から暴力を追放・排除し、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>暴力追放のために活動する登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会に対し、事業運営費の一部を助成した。</p> <p><b>【協議会の事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登別市、各関係機関等との連携により、市内各地区での啓発活動の実施（巡回街頭啓発、歳末防犯パトロール等）</li> <li>・啓発広告の掲載</li> <li>・啓発旗の配布、啓発用品の配布</li> <li>・暴力団参入排除活動として幌別地区手づくり祭りの支援</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、同協議会の活動を支援する。			

10 防犯灯設置事業補助金（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
2	3	5	15,000	15,000	14,777	13,593												
目的			防犯灯の設置を促進することにより、犯罪を未然に防止し、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>町内会等に対して、防犯灯の設置費や改修費等の一部を補助した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>補助実績</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水銀灯等</td> <td>0基</td> <td>0基</td> <td>2基</td> </tr> <tr> <td>省エネルギー型</td> <td>491基</td> <td>448基</td> <td>438基</td> </tr> </tbody> </table> <p>※省エネルギー型防犯灯の普及啓発を図るため、平成24年度から平成29年度までの時限措置として、省エネルギー型防犯灯に関する補助上限額の引き上げを行っている。</p>				補助実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度	水銀灯等	0基	0基	2基	省エネルギー型	491基	448基	438基
補助実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
水銀灯等	0基	0基	2基															
省エネルギー型	491基	448基	438基															
今後の方向性			節電対策及びCO <sub>2</sub> 削減に伴う地球温暖化防止対策の観点から、省エネルギー型防犯灯への移行を推奨しており、今後、すべての防犯灯が省エネルギー型防犯灯に切り替わるよう、引き続き普及促進に努める。															



11 社会を明るくする運動登別地区推進委員会負担金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	5	180	180	180	180
目的			犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めることにより、犯罪のない明るい社会を構築することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>社会を明るくする運動登別地区推進委員会が行う犯罪防止に関する啓発活動経費の一部を負担し、その活動を支援した。</p> <p><b>【主な事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージ伝達式</li> <li>・啓発活動</li> <li>・公開ケース研究会</li> <li>・地域住民との懇談会</li> <li>・社会を明るくする運動作文、標語募集</li> <li>・子ども育成者懇談会</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、同委員会の活動を支援する。			

12 登別地区保護司会補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	5	250	250	250	250
目的			罪を犯した人たちの更生を支援するとともに、犯罪予防の啓発に努めることにより、明るい社会が実現することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>登別地区保護司会に対して、活動に要する経費の一部を補助した。</p> <p><b>【会の主な事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護司活動充実のための研修会や情報交換</li> <li>・街頭啓発や補導活動等による犯罪予防活動の推進</li> <li>・就労支援等更生援助活動の推進</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、同会の活動を支援する。			

13 戦没者追悼式関係経費（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	5	434	434	433	453
目的			戦没者の霊を慰め追悼するとともに、平和を祈念し、二度と惨禍の起こることのない平和な社会の実現を目的とする。			
事業内容及び実績			<p>戦没者の霊を慰め、追悼の誠を捧げるため、国などが行う式に準じて、市の戦没者追悼式を開催した。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 8月22日</li> <li>・会場 登別市民会館中ホール</li> <li>・参加者 72人</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、同内容で実施する。			

14 無料法律相談業務委託料（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	6	195	195	195	195
目的			市民生活における法律上の諸問題を解決し、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			交通事故や金銭貸借、損害賠償などに関する法律問題を解決するため、札幌弁護士会室蘭支部に相談業務を委託し、鉄南ふれあいセンターにおいて無料法律相談を実施した。			
			区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			相談人数	37人	44人	36人
今後の方向性			市民生活における法律上の諸問題を解決するため、引き続き、札幌弁護士会室蘭支部に相談業務を委託し、無料法律相談を実施する。			

15 生活交通路線維持対策事業費補助金（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	3	1	5,407	5,701	5,701	4,920
目的			市民の生活に必要なバス路線を維持することにより、地域生活における交通手段を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			国及び北海道と適切な役割分担を図りながら、乗合バス事業者に対して、生活交通路線運行に係る経費の一部を補助した。			
			<b>【補助実績】</b>			
			・補助対象期間等 平成28年10月1日から平成29年9月30日までの運行実績に基づく			
			・補助対象運行系統数 市内路線3系統			
今後の方向性			市民の交通手段の確保、利便性の維持のためにも、バスの利用促進を図るとともに、生活バス路線の維持が困難になっている路線に対して引き続き支援を行う。			

16 アイヌ文化講座経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	3	2	280	280	280	280
目的			市民にアイヌ文化を伝承し、アイヌ民族への理解・関心を深めることを目的とする。			
事業内容及び実績			市民を対象にアイヌ文化講座を開催した。			
			<b>【事業実績】</b>			
			・開催回数 10回			
			・実施内容 アイヌ文様刺繍			
			・参加人数 25人			
今後の方向性			引き続き、事業を実施する。			

## 17 アイヌ民族文化祭2017補助金（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	3	2	30	30	30	30
目的			アイヌ民族の尊厳の確立と文化の保存及び伝承を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>公益社団法人北海道アイヌ協会に対して、アイヌ民族の文化伝承等を目的に開催されたアイヌ民族文化祭の開催費用の一部を補助した。</p> <p><b>【開催内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 11月4日</li> <li>・開催場所 旭川市</li> <li>・内容 アイヌ文化講演・公演</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、支援を行う。			

## 18 アイヌ文化普及啓発事業補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	3	2	200	200	200	200
目的			アイヌ民族の社会的地位向上と文化の保存及び伝承を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>アイヌ民族の社会的地位の向上と文化保存伝承活動を行う登別アイヌ協会に対して、運営費の一部を補助した。</p> <p><b>【主な事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌ民族の文化伝承活動に係る各種行事の開催や文化実践講座の実施</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、支援を行う。			

## 19 連合町内会助成金（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	1	2	2,400	2,400	2,400	2,400
目的			単位町内会などの意見・意思を集約する連合町内会の活動を支援することにより、市民と行政の協働による住みよいまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>単位町内会と11地区の連合町内会を取りまとめる統括組織である登別市連合町内会に対して、その活動費の一部を助成した。</p> <p><b>【連合町内会の主な事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会共催事業の推進</li> <li>・各種研修会の開催及び参加促進</li> <li>・花いっぱい運動</li> <li>・クリーン作戦の実施</li> <li>・防災、防犯及び交通安全啓発運動の推進</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、連合町内会の活動を支援する。			

20 町内会運営助成金（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	1	2	35,135	31,472	31,472	35,042
目的			町内会の活動を支援することにより、市民と行政の協働による住みよいまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			地域の発展を目的に活動する町内会、町会、自治会に対して、その運営費や市行政に協力するための活動費の一部を助成した。			
			助成実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			交付団体数	94町内会等	94町内会等	94町内会等
			団体割	2,790,000円	2,790,000円	2,790,000円
			世帯割	8,709,500円	8,781,000円	8,885,000円
			防犯灯割	19,224,400円	22,804,700円	23,187,400円
今後の方向性			引き続き、各単位町内会等の活動を支援する。			

目2 障害者福祉費（予算説明書P75～P78）

【主要データ】

① 身体障害者手帳保持者数の推移

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
1級	755人	752人	732人
2級	346人	344人	364人
3級	371人	388人	394人
4級	651人	656人	672人
5級	175人	175人	184人
6級	123人	123人	127人
計	2,421人	2,438人	2,473人

② 療育手帳保持者数の推移

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
A	149人	130人	128人
B	290人	253人	226人
計	439人	383人	354人

③ 精神障害者保健福祉手帳保持者数の推移

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
1級	58人	56人	57人
2級	222人	203人	201人
3級	59人	53人	49人
計	339人	312人	307人

1 重度心身障害児介護手当支給経費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	6,570	6,570	6,410	6,720
目的			障がい児世帯の経済的負担を軽減することにより、福祉の増進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			心身に重度の障がいのある児童（20歳未満）の保護者に対し、介護手当（月額10,000円）を支給した。			
			支給実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			支給対象者数	58人	63人	68人
今後の方向性			引き続き障がい児世帯の経済的負担の軽減を図り、福祉の増進に努める。			

2 地域生活支援事業費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	56,483	56,483	51,267	50,874
目的			障がい者（児）の地域における生活を支援することを目的とする。			
今後の方向性			引き続き、障害者総合支援法に基づき、障がい者（児）の地域生活支援に係る各種事業を実施する。			

○日常生活用具給付費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	15,109	15,109	13,558	15,151
事業内容及び実績	<p>在宅の障がい者（児）の日常生活を容易にするための用具の給付を行った。</p> <p><b>【給付実績】</b></p> <p>介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具 居宅生活動作補助用具</p>			
	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	給付件数	1,431件	1,485件	1,423件

○社会参加事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	190	190	190	190
事業内容及び実績	<p>障がい者（児）への情報の提供により社会参加を促進するため、声の広報及び点字広報等を作成し、視覚障がいのある方に配布等を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発行広報 広報のぼりべつを音声化、点字化して発行</li> <li>発行件数 毎月発行 声の広報 5件 点字広報 4件</li> </ul>			

○総合相談支援事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
	15,574	15,574	15,296	14,917								
事業内容及び実績	<p>障がい者（児）のニーズと地域の社会資源を適切に結びつけ、安心した自立生活を送れるよう、相談支援専門員を配置する指定特定相談支援事業者に事業を委託し、個々の相談支援を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援事業</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>4,911件</td> <td>5,577件</td> <td>5,622件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害者地域自立支援協議会 地域課題解決に向けた協議や指定特定相談支援事業者の運営評価等を行った。 協議会開催回数 3回</li> </ul>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	相談件数	4,911件	5,577件	5,622件
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度									
相談件数	4,911件	5,577件	5,622件									

○コミュニケーション支援事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	195	195	158	154
事業内容及び実績	<p>聴覚、言語機能、音声機能、その他の障がいによって意思疎通に支障がある人の日常生活を支援するため、手話通訳者の派遣を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣回数 52回</li> <li>実利用人員 18人 延利用人数 52人</li> </ul>			

○移動支援事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
	1,666	1,666	941	963												
事業内容及び実績	<p>屋外での移動が困難な障がい者（児）の社会参加を促進するため、外出のための個別的支援を行った。</p> <p>なお、グループ移動支援については平成29年度における利用実績はなかった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実績</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別移動支援</td> <td>14人</td> <td>12人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>グループ移動支援</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>				事業実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度	個別移動支援	14人	12人	16人	グループ移動支援	0件	0件	0件
事業実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度													
個別移動支援	14人	12人	16人													
グループ移動支援	0件	0件	0件													

○訪問入浴サービス事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
	2,074	2,074	1,839	1,173								
事業内容及び実績	<p>自宅で入浴が困難な身体障がい者（児）の家族介護の負担を軽減し、在宅生活を継続するため、訪問入浴事業者が自宅に浴槽を持ち込んで入浴サービスを行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実績</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>				事業実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用者数	3人	3人	3人
事業実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度									
利用者数	3人	3人	3人									

○日中一時支援事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	1,612	1,612	586	848
事業内容及び実績	障がい者（児）の家族の就労等を支援するとともに、障がい者（児）を日常的に介護している家族の一時的な休息を確保するため、日帰りショートステイを実施した。			
		平成29年度	平成28年度	平成27年度
	利用人数	9人	12人	22人

○成年後見制度利用支援事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	409	409	120	124
事業内容及び実績	障がい者の権利擁護を図るため、判断能力が不十分な障がい者のうち、親族等による裁判所への申し立てが困難な方を対象として、親族等に代わって裁判所への申し立てを行うほか、成年後見人への報酬相当額を給付する事業であり、平成29年度は成年後見人への報酬相当額を1件給付した。			
	利用件数	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	申し立て	0件	1件	0件
	成年後見人報酬	1件	1件	1件

○社会参加等事業補助金

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	371	371	100	100
事業内容及び実績	障がい者（児）の社会参加を促進するため、障がい者団体のボランティア活動を支援した。このほか、手話通訳者及び要約筆記者の養成、スポーツ・レクリエーション指導員の養成に係る経費の助成を行うため予算を措置したが、平成29年度の実績はなかった。			
	<b>【事業実績】</b> ・障がい者団体ボランティア活動支援 団体名 登別回復者クラブひまわりサークル （会員数13人）			

○地域活動支援センター事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	16,661	16,661	16,661	15,945
事業内容及び実績	障がい者の社会参加を促進するため、登別市社会福祉協議会への委託により、創作的活動の機会の提供、機能訓練、社会適応訓練、入浴サービス等を実施した。			
	利用者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	（月平均）	34人	36人	39人

○重度障害児入浴サービス事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	1,448	1,448	686	651
事業内容及び実績	障がい児の生活の質の向上と保護者の介護負担の軽減を図るため、自宅での入浴が困難な重度の障がい児を対象に入浴サービスを実施した。			
	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	利用者数	2人	2人	2人

○あいサポーター養成事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	410	410	407	440
事業内容及び実績	障がいの特性や障がいのある方が困っていることを正しく理解してもらう研修会を開催し、障がいのある方が困っているときなどに、ちょっとした手助けをする応援者（あいサポーター）を養成した。			
	事業実績		平成29年度	平成28年度
	あいサポーター研修回数		26回	11回
	あいサポーター数		583人	320人
	あいサポート企業・団体数		25企業・団体	4企業・団体

○手話推進支援員養成等事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	240	240	201	122
事業内容及び実績	講座の開催や研修会への参加経費の助成を行い、手話推進支援員の養成等を行った。			
	【事業実績】			
	・手話推進支援員養成講座			
	区分	平成29年度	平成28年度	
	受講者数	9人	3人	

○成年後見支援センター事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	524	524	524	96
事業内容及び実績	西いぶり定住自立圏で設置した「室蘭成年後見支援センター〔西いぶり2市3町〕」で、成年後見制度等の利用促進を図るとともに、権利擁護に関する総合的な相談や支援を行った。			
	区分	平成29年度	平成28年度	
	養成講座研修回数	6回	6回	
	相談者数	38人	50人	
	うち障がい者数	5人	5人	
※前年度決算額は、「成年後見支援センター運営負担金」について記載。				



3 障害者介護給付費・訓練等給付費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																																																																												
1	1	3	991,117	991,117	952,194	902,451																																																																												
目的			障がい者（児）の自立した日常及び社会生活を確保し、福祉の向上を図ることを目的とする。																																																																															
事業内容及び実績			<p>障がい者（児）に対して、有する能力及び適性に応じ、必要とする障害福祉サービスに係る給付、その他の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>給付実績</th> <th>29年度</th> <th>28年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">訪問系サービス</td> </tr> <tr> <td>居宅介護</td> <td>52人</td> <td>48人</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>重度訪問看護</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>同行援護</td> <td>8人</td> <td>8人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">日中活動系サービス</td> </tr> <tr> <td>療養介護</td> <td>9人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>生活介護</td> <td>150人</td> <td>137人</td> <td>126人</td> </tr> <tr> <td>自立訓練（生活訓練）</td> <td>4人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>就労移行支援</td> <td>10人</td> <td>6人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援（A型）</td> <td>35人</td> <td>30人</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援（B型）</td> <td>145人</td> <td>149人</td> <td>147人</td> </tr> <tr> <td>短期入所（ショートステイ）</td> <td>9人</td> <td>11人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">居宅系サービス</td> </tr> <tr> <td>共同生活援助（グループホーム）</td> <td>103人</td> <td>88人</td> <td>84人</td> </tr> <tr> <td>施設入所支援</td> <td>78人</td> <td>76人</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>宿泊型自立訓練</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>特定障害者特別給付</td> <td>173人</td> <td>157人</td> <td>159人</td> </tr> <tr> <td>計画相談支援</td> <td>413人</td> <td>363人</td> <td>345人</td> </tr> </tbody> </table>				給付実績	29年度	28年度	27年度	訪問系サービス				居宅介護	52人	48人	57人	重度訪問看護	1人	1人	1人	同行援護	8人	8人	11人	日中活動系サービス				療養介護	9人	10人	10人	生活介護	150人	137人	126人	自立訓練（生活訓練）	4人	1人	1人	就労移行支援	10人	6人	15人	就労継続支援（A型）	35人	30人	31人	就労継続支援（B型）	145人	149人	147人	短期入所（ショートステイ）	9人	11人	14人	居宅系サービス				共同生活援助（グループホーム）	103人	88人	84人	施設入所支援	78人	76人	75人	宿泊型自立訓練	4人	4人	2人	特定障害者特別給付	173人	157人	159人	計画相談支援	413人	363人	345人
給付実績	29年度	28年度	27年度																																																																															
訪問系サービス																																																																																		
居宅介護	52人	48人	57人																																																																															
重度訪問看護	1人	1人	1人																																																																															
同行援護	8人	8人	11人																																																																															
日中活動系サービス																																																																																		
療養介護	9人	10人	10人																																																																															
生活介護	150人	137人	126人																																																																															
自立訓練（生活訓練）	4人	1人	1人																																																																															
就労移行支援	10人	6人	15人																																																																															
就労継続支援（A型）	35人	30人	31人																																																																															
就労継続支援（B型）	145人	149人	147人																																																																															
短期入所（ショートステイ）	9人	11人	14人																																																																															
居宅系サービス																																																																																		
共同生活援助（グループホーム）	103人	88人	84人																																																																															
施設入所支援	78人	76人	75人																																																																															
宿泊型自立訓練	4人	4人	2人																																																																															
特定障害者特別給付	173人	157人	159人																																																																															
計画相談支援	413人	363人	345人																																																																															
今後の方向性			引き続き、障がい者（児）の自立のために必要なサービスを給付する。																																																																															

4 更生訓練費・施設入所者就職支度金給付費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	56	56	0	0
目的			障がい者の就労を支援し、自立を促進することにより、福祉の増進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			更生訓練の利用者負担軽減及び施設利用者の一般就労への移行を促進するため、施設入所（通所）の利用者に対して更生訓練費の支給を行うほか、入所（通所）施設を退所し、一般就労等を行う方に就職支度金を支給する事業であるが、平成29年度の支給はなかった。			
今後の方向性			引き続き、支給する。			

5 障害者補装具給付費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	22,324	22,324	17,831	19,315
目的			障がい者（児）、難病患者の日常生活の便宜を図り、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			障がい者（児）、難病患者に補装具の給付を行った。 【給付（購入・修理）実績】			
			区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			障がい者	133件	124件	130件
			障がい児	51件	41件	61件
今後の方向性			引き続き、日常生活に必要な補装具の給付を行う。			

6 高額障害者福祉サービス経費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	100	100	57	0
目的			障害福祉サービスの利用に伴う経済的負担を軽減することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			世帯における障害福祉サービス等の利用者負担額の合計が基準額を超えた場合、高額障害福祉サービス費を支給した。 【支給実績】			
			区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			支給人数	8件	0件	0件
今後の方向性			引き続き、法令等に基づき支給する。			

7 特別障害者手当等支給経費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	23,406	21,703	21,661	22,410
目的			障がい者（児）の介護に伴う経済的負担を軽減し、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			重度の障がいにより、日常生活において常時介護を必要とする障がい者（児）に対し、手当を支給した。			
			支給実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			特別障害者手当	53人	54人	57人
			障害児福祉手当	33人	38人	43人
			経過的福祉手当	3人	3人	3人
今後の方向性			引き続き、障がい者（児）の介護に伴う経済的負担の軽減を図り、福祉の増進に努める。			

8 障害認定審査会経費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	1,978	1,978	1,512	1,309

目的	障がい者の心身の状態を総合的に判断し、障害支援区分の審査・判定を行うことを目的とする。												
事業内容及び実績	障がい者に係る障害支援区分の審査・判定を行った。 【事業実績】 ・委員数 10人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>11回</td> <td>11回</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>主治医意見書作成件数</td> <td>121件</td> <td>73件</td> <td>88件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	開催回数	11回	11回	11回	主治医意見書作成件数	121件	73件	88件
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度										
開催回数	11回	11回	11回										
主治医意見書作成件数	121件	73件	88件										
今後の方向性	障害者総合支援法に基づき、サービス利用者の障害支援区分や支給決定の審査を行う。												

9 自立支援医療費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																
1	1	3	73,996	103,996	101,085	78,221																
目的	障がい者（児）の心身の障がい除去・軽減するための医療の受診に係る経済的負担を軽減するほか、療養介護に係る医療費を給付することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。																					
事業内容及び実績	障害者総合支援法に基づき、人工透析や免疫療法等を受ける身体障害者手帳保持者等に対し、医療費の一部を給付したほか、療養介護を利用している障がいのある方に対し、医療に要した費用について療養介護医療費を給付した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>給付実績</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>更生医療</td> <td>182人</td> <td>114人</td> <td>125人</td> </tr> <tr> <td>育成医療</td> <td>20人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>療養介護医療</td> <td>9人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>						給付実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度	更生医療	182人	114人	125人	育成医療	20人	17人	17人	療養介護医療	9人	10人	10人
給付実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
更生医療	182人	114人	125人																			
育成医療	20人	17人	17人																			
療養介護医療	9人	10人	10人																			
今後の方向性	障がい者（児）の経済的負担を軽減し身体機能の改善や日常生活の負担軽減を図るため、引き続き事業を実施する。																					

10 精神障害者社会復帰施設通所交通費助成金（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
1	1	3	183	183	79	66								
目的	精神障がい者の自立と社会復帰を支援することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。													
事業内容及び実績	精神障がい者に対し、社会復帰施設への通所に要した交通費の一部を助成した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>助成実績</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給対象者数</td> <td>8人</td> <td>7人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>						助成実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給対象者数	8人	7人	8人
助成実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
支給対象者数	8人	7人	8人											
今後の方向性	精神障がい者は、身体・知的障がい者と比べ交通費の助成制度が整備されていないことから、引き続き、通所に要する費用の一部を助成する。													

11 障害者自立更生促進助成事業費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
1	1	3	443	443	4	215												
目的			在宅障がい者に対し、自立更正に要する経済的負担を軽減するため、自動車運転免許取得費等の費用を助成することにより、社会活動への参加促進を図ることを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>在宅の障がい者の社会活動への参加を促進するため、自立更生に要する経費の一部を助成する事業であるが、平成29年度の助成はなかった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助成実績</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自動車運転免許取得費助成</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>自動車改造費助成</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>				助成実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度	自動車運転免許取得費助成	0件	2件	0件	自動車改造費助成	0件	0件	0件
助成実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
自動車運転免許取得費助成	0件	2件	0件															
自動車改造費助成	0件	0件	0件															
今後の方向性			引き続き、自動車運転免許取得費等の費用を助成する。															

12 身体・知的障害者相談員設置事業費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
1	1	3	111	111	101	101												
目的			身体・知的障害者相談員を設置し、障がい者本人又はその保護者等からの相談に応じ、必要な指導、助言を行うことにより、障がい者の福祉の向上を図ることを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>身体・知的障がい者の日常的な相談に応じ、必要な助言・指導を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実績</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談員</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>37件</td> <td>79件</td> <td>65件</td> </tr> </tbody> </table>				事業実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度	相談員	4人	4人	4人	相談件数	37件	79件	65件
事業実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
相談員	4人	4人	4人															
相談件数	37件	79件	65件															
今後の方向性			障がい者の多様なニーズを把握するため、相談員相互のネットワーク化を図るほか、市と相談員の連携により様々な相談事例や各種情報の共有化を図る。															

13 障害者自立支援給付支払等システム改修経費【新規】（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	0	5,637	3,028	0
目的			障害者総合支援法及び児童福祉法の改正等に伴い、障害者自立支援給付支払等システムの改修を行うことにより、システムを整備することを目的とする。			
事業内容及び実績			障害者自立支援給付支払等システムの改修を行った。			
今後の方向性			引き続き、障害者自立支援給付支払等システムの改修を行う。			

14 肢体不自由児（者）父母の会補助金（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	200	200	200	200
目的			登別肢体不自由児者父母の会の活動を支援することにより、会員の自立更生や社会参加の促進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			会員交流及び関係機関との連携、勉強会などを行う登別肢体不自由児者父母の会に対し、運営費の一部を補助した。 <b>【会の事業内容】</b> 果物狩り、クリスマス会、ふれあいフェスティバル、障害者週間記念事業、お祝い会			
今後の方向性			肢体不自由児（者）の自立更生と社会参加を図るため、同会に対する支援を継続する。			

15 重度障害者（児）福祉タクシー関係経費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
1	1	3	4,576	4,576	4,258	4,320												
目的			障がい者（児）のタクシー利用による経済的負担を軽減し、在宅で生活する重度障がい者（児）の生活圏拡大を促進することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。															
事業内容及び実績			重度障がい者（児）を対象に福祉タクシー利用券を交付し、1人年間36回を限度に基本料金相当分を助成した。															
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>助成実績</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付者数</td> <td>586人</td> <td>600人</td> <td>586人</td> </tr> <tr> <td>利用枚数</td> <td>8,864枚</td> <td>9,027枚</td> <td>10,017枚</td> </tr> </tbody> </table>				助成実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度	交付者数	586人	600人	586人	利用枚数	8,864枚	9,027枚	10,017枚
助成実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
交付者数	586人	600人	586人															
利用枚数	8,864枚	9,027枚	10,017枚															
今後の方向性			引き続き事業を実施し、重度障がい者（児）の経済的負担の軽減及び生活圏拡大の促進に努める。															

16 身体障害者自動車燃料費助成金（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
1	1	3	543	704	658	511								
目的			身体障がい者（児）の自動車利用に係る経済的負担を軽減し、自立更生と社会参加を促進することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			障害者総合支援法に基づき車いすを受給している障がい者等で、免税購入資格者として自動車を購入した方を対象に、月30リットル分を限度に自動車燃料費の税相当分を助成した。											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>助成実績</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給人数</td> <td>29人</td> <td>31人</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table>				助成実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給人数	29人	31人	31人
助成実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
支給人数	29人	31人	31人											
今後の方向性			引き続き事業を実施し、身体障がい者（児）の経済的負担の軽減及び自立更生と社会参加の促進に努める。											

17 身体障害者福祉協会補助金（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	460	460	460	460
目的			身体障がい者の自立更生と社会参加を促進するため、登別身体障害者福祉協会の活動を支援することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			福祉啓蒙事業や社会研修事業等を行う登別身体障害者福祉協会に対し、運営費の一部を補助した。 【協会の事業内容】 ボッチャ、ゲーリング大会、三市交流パークゴルフ大会、軽スポーツ大会、障害者週間記念事業、福祉出前講座、健康教室、調理実習			
今後の方向性			身体障がい者の社会参加を促進し事業の継続を図るため、引き続き、同協会に対する支援を行う。			

18 視力障害者協会補助金（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	50	50	50	50
目的			視覚障がい者の自立更生と社会参加を促進するため、登別視力障害者協会の活動を支援することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			社会研修事業や学習会等を行う登別視力障害者協会に対して運営費の一部を補助した。 【協会の事業内容】 声の広報活動、治療奉仕活動、ふれあいフェスティバル、社会研修、障害者週間記念事業、福祉出前講座			
今後の方向性			視覚障がい者の社会参加を促進し事業の継続を図るため、引き続き、同協会に対する支援を行う。			

19 手をつなぐ育成会補助金（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	100	100	100	100
目的			知的障がい者（児）の自立更生と社会参加を促進するため、登別市手をつなぐ育成会の活動を支援することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			知的障がい者（児）の地域生活支援や社会研修事業等を行う登別市手をつなぐ育成会に対して、運営費の一部を補助した。 【会の事業内容】 療育旅行、料理教室、ふれあいフェスティバル、果物狩り、障害者週間記念事業、北海道育成会全道大会			
今後の方向性			知的障がい者（児）の社会参加を促進し事業の継続を図るため、引き続き、同会に対する支援を行う。			

20 障害者等生活支援経費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																
1	1	3	1,027	1,027	1,027	1,018																
目的			障がい者等在宅世帯の地域生活での経済的負担を軽減することにより、障がい者福祉の向上を図ることを目的とする。																			
事業内容及び実績			<p>市内に居住する障がい者（身体障がい者1・2級、IQ50以下の知的障がい者、精神障がい者1・2級）在宅世帯及び65歳以上ねたきり高齢者在宅世帯に対して、家庭系指定ごみ袋30ℓ用を交付したほか、し尿汲み取り世帯に対しては、し尿処理無料券1枚を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実績</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付世帯数</td> <td>794世帯</td> <td>833世帯</td> <td>820世帯</td> </tr> <tr> <td>ごみ袋</td> <td>15,438枚</td> <td>15,985枚</td> <td>15,607枚</td> </tr> <tr> <td>し尿処理無料券</td> <td>72枚</td> <td>84枚</td> <td>90枚</td> </tr> </tbody> </table>				事業実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度	交付世帯数	794世帯	833世帯	820世帯	ごみ袋	15,438枚	15,985枚	15,607枚	し尿処理無料券	72枚	84枚	90枚
事業実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
交付世帯数	794世帯	833世帯	820世帯																			
ごみ袋	15,438枚	15,985枚	15,607枚																			
し尿処理無料券	72枚	84枚	90枚																			
今後の方向性			し尿汲み取り世帯と水洗化世帯との公平性の観点から、し尿処理無料券交付のあり方について検討を進める。																			

21 軽度・中等度難聴児補聴器給付費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
1	1	3	111	111	37	37								
目的			身体障害者手帳の交付基準に該当しない軽度・中等度難聴児の日常生活の便宜を図ることにより、福祉の向上を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>身体障害者手帳の交付基準に該当しない軽度・中等度難聴児に補聴器の給付を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助成実績</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支給人数</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>				助成実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支給人数	1人	1人	0人
助成実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
支給人数	1人	1人	0人											
今後の方向性			軽度・中等度難聴児が、不自由なく生活できるよう、引き続き事業を実施する。											

22 いけまぜ夏フェス2017inのぼりべつ助成金【新規】（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	300	300	300	0
目的			登別市内で開催される「いけまぜ夏フェス2017inのぼりべつ」の運営を支援することにより、障がいのある子どもの社会参加の促進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>全道各地から障がいのある子どもとその家族が集まり、支援者や地域住民と交流し、レクリエーションや食事をともに楽しむキャンプイベントの運営に係る費用の一部を助成した。</p> <p>・開催日：7月29日（土）～30日（日）</p>			

目3 医療助成費 (予算説明書P77～P78)

1 重度心身障害者医療費助成経費 (保健福祉部年金・長寿医療G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																
1	1	3	118,553	118,553	110,227	113,163																
目的			重度心身障がい者の医療費に係る経済的負担を軽減し、障がい者福祉の向上を図ることを目的とする。																			
事業内容及び実績			<p>市内に住所を有する重度心身障がい者に対し、医療費の一部を助成した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診件数</td> <td>21,917件</td> <td>22,417件</td> <td>21,884件</td> </tr> <tr> <td>月平均受給者数</td> <td>1,127人</td> <td>1,158人</td> <td>1,179人</td> </tr> <tr> <td>医療助成費</td> <td>103,543千円</td> <td>106,277千円</td> <td>112,304千円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	受診件数	21,917件	22,417件	21,884件	月平均受給者数	1,127人	1,158人	1,179人	医療助成費	103,543千円	106,277千円	112,304千円
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
受診件数	21,917件	22,417件	21,884件																			
月平均受給者数	1,127人	1,158人	1,179人																			
医療助成費	103,543千円	106,277千円	112,304千円																			
今後の方向性			医療費の助成を継続するとともに、引き続き関係部署と連携し、制度の周知に努める。																			

2 ひとり親家庭等医療費助成経費 (保健福祉部年金・長寿医療G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																
1	1	4	23,845	23,845	19,943	21,994																
目的			ひとり親家庭等の母子又は父子の医療費に係る経済的負担を軽減し、児童の健やかな育成を支援することを目的とする。																			
事業内容及び実績			<p>市内に住所を有するひとり親家庭等の母又は父及び児童に対し、医療費の一部を助成した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診件数</td> <td>7,668件</td> <td>8,507件</td> <td>8,948件</td> </tr> <tr> <td>月平均受給者数</td> <td>1,421人</td> <td>1,491人</td> <td>1,548人</td> </tr> <tr> <td>医療助成費</td> <td>17,302千円</td> <td>19,095千円</td> <td>18,525千円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	受診件数	7,668件	8,507件	8,948件	月平均受給者数	1,421人	1,491人	1,548人	医療助成費	17,302千円	19,095千円	18,525千円
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
受診件数	7,668件	8,507件	8,948件																			
月平均受給者数	1,421人	1,491人	1,548人																			
医療助成費	17,302千円	19,095千円	18,525千円																			
今後の方向性			医療費の助成を継続するとともに、引き続き関係部署と連携し、制度の周知に努める。																			

3 乳幼児等医療費助成経費 (保健福祉部年金・長寿医療G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	61,837	61,837	55,597	57,535
目的			乳幼児等の医療費に係る経済的負担を軽減し、乳幼児等の健やかな育成を支援することを目的とする。			



事業内容及び実績	市内に住所を有する0歳から就学前の乳幼児及び小学校就学児童に対し、医療費の一部を助成した。			
	【事業実績】			
	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	受診件数	31,312件	31,863件	31,917件
	月平均受給者数	3,673人	3,718人	3,862人
医療助成費	48,109千円	49,940千円	52,052千円	
今後の方向性	平成30年8月診療分より、「子ども医療費助成」とし、住民税非課税世帯の小学生の通院、中学生の入院及び通院に対しても助成対象とする。			

#### 4 未熟児養育医療給付経費（保健福祉部年金・長寿医療G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	4,885	4,885	1,477	2,319
目的			医療を必要とする未熟児に対して養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績	入院治療を必要とする未熟児に対して、その治療に要する医療の給付を行った。					
	【事業実績】					
	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度		
	受診件数	16件	23件	11件		
	給付者数	9人	11人	3人		
医療給付費	1,477千円	2,318千円	1,207千円			
今後の方向性	母子保健法等に基づき、医療費の給付を継続するとともに、引き続き関係機関と連携し、制度の周知に努める。					

### 目7 消費生活費（予算説明書P79～P80）

#### 【主要データ】

##### ① 消費生活相談内容別件数の推移

区分	総数	価格料金	表示広告	販売方法	契約解除	接客対応	その他
平成29年度	502	40	39	170	221	17	15
平成28年度	387	23	41	126	150	23	24
平成27年度	317	35	33	98	125	8	18

#### 1 消費者行政推進経費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	4	720	720	432	547
目的			市民の消費者としての権利及び利益を保護し、もって消費生活の安定と向上を図ることを目的とする。			

事業内容及び実績	<p>消費生活センターによる出前講座の開催等や消費生活への意識啓発を行うとともに、消費生活センターによる消費生活相談を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者被害の未然防止等の啓発 出前講座、消費生活センター用車両による街頭啓発、市民サービスグループだより発行など</li> <li>・消費生活相談の実施</li> <li>・消費生活相談員の研修参加</li> <li>・商品試買量目調査の委託</li> </ul>
今後の方向性	<p>市民が消費者被害に遭わないよう未然防止に努めるとともに、変化する社会環境に対応するため、相談員が外部機関で開催する研修に参加する等、引き続き相談対応能力の向上を図る。</p>

## 2 消費生活展開催補助金（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	4	300	300	300	300
目的			消費生活展の開催を支援することにより、消費生活に関する知識の向上を図り、消費生活の安定と向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>消費生活展を開催する登別消費者協会に対し、その開催に要する経費の一部を補助した。</p> <p><b>【消費生活展開催実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成29年10月20日（金）～21日（土）</li> <li>・開催場所：登別市民会館中ホール</li> <li>・テーマ：安全・安心な「暮らし」をもとめて</li> <li>・実施内容：展示コーナー 燃料価格調査の結果、古傘の布を活用したマイバッグ・エプロンの展示、消費者協会1年間の活動実績</li> <li>体験コーナー 紙すき・絵手紙作成体験、ペットボトルを利用した小物作り</li> <li>試食コーナー 「地元食材」を活用した料理のレシピ配布、エゾシカ肉入り混ぜご飯等</li> </ul> <p><b>【移動消費生活展】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：平成29年11月1日（水）～3日（金）</li> <li>・開催場所：登別市婦人センター</li> <li>・実施内容：暮らしの安全に関する啓発活動（消費生活に関するパネル展示及び啓発物品の配布）</li> </ul>			
今後の方向性			消費生活の正しい知識を向上させるため、同協会が開催する消費生活展に対し、引き続き支援を行う。			

3 消費者協会運営助成金（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	4	300	300	300	300
目的			登別消費者協会の活動を支援することにより、消費生活の安定と向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>消費生活知識の普及、啓発など、消費者擁護のために活動する登別消費者協会に対して、運営費の一部を助成した。</p> <p><b>【協会の活動実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消協だよりの発行 年8回発行</li> <li>・「くらしの総合講座」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>くらしの安全・安心セミナー年5回（平成29年6月、9月、10月、11月、平成30年1月）</li> <li>食の安全・安心セミナー年4回（平成29年7月、11月、平成30年2月）7月については2回実施</li> </ul> </li> <li>・消費者大会の開催（開催日：平成29年10月20日（金））</li> <li>・消費者意識の啓発（出前講座、街頭啓発の実施）等</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、同協会の円滑な運営を支援する。			

4 消費者被害防止ネットワーク事業費【新規】（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
2	3	4	626	626	444	0								
目的			関係機関・団体と連携し、消費者に対して、消費生活に関する情報の提供及び消費者教育、啓発活動を推進するとともに、適切な相談活動等を通して、高齢者等の悪質商法等による消費者被害の防止を目的とする。											
事業内容及び実績			<p>関係機関の構成員（民生委員や介護サービス事業者等）との連携を図り、高齢者見守りのため、消費者被害の「未然防止」「早期発見」「拡大防止」に努め、消費者被害に関する情報発信を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者被害に関する情報収集</li> <li>・各構成機関、市民への情報発信</li> <li>・定例会議の開催（年1回）</li> <li>・幹事会議の開催</li> </ul> <p><b>【財源内訳】</b></p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>444</td> <td>427</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		道支出金	一般財源	444	427	17
事業費	財源内訳													
	道支出金	一般財源												
444	427	17												
今後の方向性			関係機関との連携を密にし、消費者被害の「早期発見」「未然防止」「拡大防止」を図る。											

### 第3款 民生費 項2 高齢者福祉費

#### 【主要データ】

##### ① 高齢者人口及び高齢化率の推移

区分		平成29年度	平成27年	平成22年	平成17年
人口		48,519人	49,625人	51,526人	53,135人
うち高齢者人口		17,104人	16,602人	14,612人	13,065人
高齢化率	登別市	35.3%	34.0%	28.4%	24.6%
	北海道	—	29.1%	24.7%	21.5%
	全 国	—	26.6%	23.0%	20.3%

※平成29年度は年度末人口

※平成17～27年は国勢調査人口（高齢化率は人口から年齢不詳者を控除した数値で算出）

#### 目1 高齢者福祉総務費（予算説明書P81～P82）

##### 1 老人クラブ連合会補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	2	1,535	1,535	1,535	1,735
目的			老人クラブ連合会の活動を支援することにより、高齢者福祉の推進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			老人クラブ連合会に対して、運営費の一部を補助した。 【連合会の事業実績】 ・高齢者相互支援事業、社会奉仕活動の推進 ・交通安全・防災対策運動の推進 ・女性リーダーの育成推進			
今後の方向性			引き続き老人クラブ連合会を支援し、老人福祉の増進に努める。			

##### 2 老人クラブ運営補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	2	2,048	1,931	1,931	1,996
目的			各地域の老人クラブの活動を支援することにより、高齢者の社会参加を促進し、もって高齢者福祉の推進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			市内各地区の老人クラブに対して、運営費の一部を補助した。 【事業実績】			
			区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			補助団体数	37団体	38団体	38団体
			対象者数	1,829人	1,912人	2,003人
今後の方向性			引き続き各老人クラブの運営を支援し、高齢者の生きがいづくりの場と機会の充実を図る。			

3 敬老行事補助金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
1	1	2	7,588	7,412	7,412	7,182												
目的			市民の敬老意識の高揚を図り、高齢者福祉の推進を図ることを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>敬老行事を行った町内会等に対して、75歳以上の市民（9月30日現在）を対象に、一人当たり1,000円を補助した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助団体数</td> <td>82団体</td> <td>84団体</td> <td>85団体</td> </tr> <tr> <td>対象者数</td> <td>7,412人</td> <td>7,182人</td> <td>7,043人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	補助団体数	82団体	84団体	85団体	対象者数	7,412人	7,182人	7,043人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
補助団体数	82団体	84団体	85団体															
対象者数	7,412人	7,182人	7,043人															
今後の方向性			今後の事業のあり方について、市連合町内会と協議を進める。															

4 老人趣味の作業所運営経費（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	2	271	271	227	233
目的			高齢者の地域での活動の場を提供し、高齢者の生きがいづくりに寄与することにより、老後の生活を豊かなものとし、もって高齢者福祉の充実を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>高齢者が陶芸などの趣味活動を行う老人趣味の作業所を運営した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動期間 4月～11月</li> <li>・事業内容 陶芸教室、陶芸体験指導 陶芸作品の展示会への出品、即売 各団体への指導・助言など</li> <li>・窯焼実績 10回</li> <li>・施設利用延べ人数 678人</li> </ul>			
今後の方向性			概ね60歳以上の市民に対し、趣味の作業ができる環境を提供することにより、老後の生きがいを豊かにする。			

5 老人憩の家維持経費（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	2	14,469	14,469	13,953	7,775
目的			老人の心身の健康と福祉の増進を図るとともに、地域住民の活動拠点として住民同士の連携を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>町内会等が指定管理者となっている38か所の老人憩の家の維持管理を行ったほか、施設修繕を実施した。</p> <p>なお、平成29年度中に東寿園は廃止となったことから、現在は37か所となっている。</p> <p><b>【修繕実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和光園：外壁屋根等修繕</li> <li>・常盤の家：床修繕</li> </ul>			

今後の方向性	指定管理者である町内会等と連携し、適切な維持管理に努める。
--------	-------------------------------

6 老人憩の家解体経費【新規】(市民生活部市民協働G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	2	3,200	2,841	2,841	0
目的			公共施設整備方針に基づき、同一地域に集中している集会施設の統廃合を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			老人憩の家「東寿園」を廃止し、解体を行った。			

7 養護老人ホーム整備事業費補助金(保健福祉部社会福祉G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	2	16,316	16,316	16,316	16,485
目的			社会福祉法人が行った養護老人ホーム移転改築事業に対して支援を行うことにより、高齢者福祉の充実を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			社会福祉法人彩咲会が行った養護老人ホームの移転改築事業に係る借入金の返済額の一部を補給した。 【補助内容】 ・交付先 社会福祉法人彩咲会 ・期間 平成22年度～平成42年度			
今後の方向性			債務負担行為に基づき、平成42年度まで所要額を補助する。			

8 特別養護老人ホーム増築事業資金借入元利補給金(保健福祉部社会福祉G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	2	13,753	13,753	13,753	14,036
目的			社会福祉法人が行った特別養護老人ホーム増築事業に対して支援を行うことにより、高齢者福祉の充実を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			社会福祉法人登別千寿会が行った特別養護老人ホームの増築事業に係る借入金の返済額の一部を補給した。 【補助内容】 ・交付先 社会福祉法人登別千寿会 ・期間 平成10年度～平成29年度			

9 介護サービス人材確保対策事業費(保健福祉部高齢・介護G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	2	500	500	82	52
目的			介護従事者等の人材確保と人材育成を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			介護職員初任者研修を受講した方に対し、受講料の一部を助成した。また、福祉・介護の仕事に関心を有する人を対象に、介護事業所への就労を促進するための研修を開催したほ			

	<p>か、登別青嶺高等学校の生徒を対象に出前講座と介護施設見学を実施した。なお、本事業について町内会回覧や広報紙等により、介護事業者や保育所及び幼稚園の保護者、ハローワーク等へ周知を行い、助成事業の利用者及び研修の受講者の拡大を図った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護職員初任者研修に係る助成</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>就労促進に係る研修</td> <td>1回開催 (8人受講)</td> <td>1回開催 (3人受講)</td> <td>1回開催 (4人受講)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	介護職員初任者研修に係る助成	1件	0件	0件	就労促進に係る研修	1回開催 (8人受講)	1回開催 (3人受講)	1回開催 (4人受講)
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度										
介護職員初任者研修に係る助成	1件	0件	0件										
就労促進に係る研修	1回開催 (8人受講)	1回開催 (3人受講)	1回開催 (4人受講)										
今後の方向性	<p>本事業の周知を積極的に行い、より多くの方を対象とした研修や助成事業を実施することで、介護職への就労促進を図る。</p>												

10 介護サービス提供基盤等整備事業費補助金（保健福祉部高齢・介護G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	2	160,460	157,660	157,660	0
目的			第6期介護保険事業計画における介護サービス目標量及び整備目標を達成することを目的とする。			
事業内容及び実績			対象となる市内の特別養護老人ホームの建設（地域密着型介護老人福祉施設）の整備に係る費用の一部を助成した。			

11 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金（前年度繰越事業）  
（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	繰越予算額	決算額	前年度決算額
1	1	2	5,348	5,348	—
目的			既存高齢者施設等の安全・安心を確保するため、スプリンクラーの整備を支援するとともに、防犯対策の強化を推進することを目的とする。		
事業内容及び実績			<p>株式会社元気な介護に対し、住宅型有料老人ホームのスプリンクラー整備に係る経費を補助した。</p> <p><b>【補助対象】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者 株式会社元気な介護</li> <li>・施設名 住宅型有料老人ホームくらしさ登別</li> </ul>		

目2 高齢者保健福祉費（予算説明書P81～P82）

1 外国人高齢者・障害者福祉給付金（保健福祉部高齢・介護G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	2	120	120	0	0
目的			国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者及び障がい者に福祉給付金を支給することにより、自立と安定した生活の継続を支援することを目的とする。			

事業内容及び実績	年金を受給していない在日外国人高齢者及び障がい者に対して、福祉給付金に要する予算を措置したが、平成29年度の支給実績はなかった。
今後の方向性	転入者等の制度該当者に備えるため、予算措置する。

## 2 老人措置関係経費（保健福祉部高齢・介護G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	2	174,156	168,156	163,902	160,075
目的			生活環境上の理由や経済的な理由、虐待等により、在宅生活が困難な高齢者を養護することを目的とする。			
事業内容及び実績			在宅生活において養護を受けることが困難な高齢者に対し、養護老人ホームへの入所措置を行った。 【事業実績】			
			措置人数	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			チボリの森	67人	66人	65人
			その他	15人	16人	16人
今後の方向性			対象となる高齢者に対して必要な措置を講じ、心身の健康の保持及び生活の安定を図る。			

## 3 高齢者等緊急通報機器設置経費（保健福祉部高齢・介護G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	2	14,841	13,641	13,339	13,639
目的			在宅高齢者の日常生活の不安解消や人命の安全確保を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			一人暮らしの高齢者等に対して、緊急通報機器を貸与した。 【事業実績】			
			区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			固定型設置台数	197台	213台	215台
			携帯型設置台数	108台	104台	99台
			緊急通報件数	29件	28件	43件
			緊急外通報件数	423件	418件	446件
今後の方向性			引き続き、在宅高齢者の日常生活の不安解消や人命の安全確保に努める。なお、事業開始当初と比較し社会情勢が大きく変化していることから、事業のあり方を含め、見直しを検討する。			

## 4 社会福祉法人利用者負担軽減助成金（保健福祉部高齢・介護G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	2	543	543	358	232
目的			社会福祉法人による介護サービス利用者の自己負担額軽減に対し助成することにより、介護サービスの円滑な実施を図ることを目的とする。			



事業内容及び実績	介護保険サービスの利用者負担の軽減を行う社会福祉法人に対して、その軽減した額の一部を助成した。 【事業実績】 ・利用者負担軽減を実施した法人 3法人
今後の方向性	低所得で特に生計を維持することが困難である者が、安心して介護サービスを利用できるよう、引き続き助成を行う。

### 目3 後期高齢者医療費 (予算説明書P81～P82)

#### 1 後期高齢者保健事業費 (保健福祉部年金・長寿医療G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	5	7,246	7,956	7,707	6,780
目的			検診や運動教室に係る高齢者の経済的負担を軽減し、検診受診と運動の機会を増加させることにより、高齢者の健康の保持・増進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			後期高齢者医療制度の被保険者を対象に各種検診の受診、水中運動教室への参加に要した費用の一部を助成した。 【事業実績】			
			区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			短期人間ドック	200人	161人	164人
			千円ドック	117人	115人	103人
			脳ドック	57人	59人	57人
			水中運動教室	延べ346人	延べ294人	延べ278人
今後の方向性			疾病の予防及び早期発見を促進するため、制度の周知に努め、受診率及び利用者数の向上を目指す。			

#### 2 後期高齢者健康診査経費 (保健福祉部年金・長寿医療G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	5	15,253	16,184	15,518	13,671
目的			後期高齢者医療制度の被保険者を対象に健康診査を実施することにより、高齢者の健康の保持・増進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			実施義務者である北海道後期高齢者医療広域連合から委託を受け、後期高齢者医療制度の被保険者の健康診査を実施した。 【事業実績】			
			区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			受診者数	1,743人	1,533人	1,452人
今後の方向性			疾病の予防及び早期発見を促進するため、制度の周知に努め、受診率の向上を目指す。			

#### 3 後期高齢者医療療養給付費負担金 (保健福祉部年金・長寿医療G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	5	782,857	781,245	781,245	744,082

目的	後期高齢者医療制度の被保険者の医療費の一部を拠出することにより、高齢者医療の充実及び健康の増進を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	後期高齢者医療制度に基づき、保険者である北海道後期高齢者医療広域連合に対し、本市被保険者分療養給付費に係る負担対象額の1/12相当額を負担した。
今後の方向性	保健事業・健康診査事業の周知に努め、医療費の抑制に努める。

### 第3款 民生費 項3 児童福祉費

#### 【主要データ】

#### ① 出生数及び児童数の推移

(各年度末現在)

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
人口	48,519人	49,090人	49,630人
出生数	282人	309人	321人
児童数(18歳未満)	6,456人	6,627人	6,756人

#### 目1 児童福祉総務費 (予算説明書P83～P84)

##### 1 ひとり親家庭等自立支援給付事業費 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	4	2,436	2,790	2,413	0
目的			ひとり親の職業能力開発を促進することにより、ひとり親家庭の所得水準の向上と社会的自立を促すことを目的とする。			
今後の方向性			ひとり親家庭の自立を支援するため、事業を継続する。			

##### ○高等職業訓練促進給付金

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	2,046	2,400	2,400	0
事業内容及び実績	ひとり親の資格取得のための養成機関における修業に際し、その生活の支援のため、高等職業訓練促進給付金を支給した。 【事業実績】 対象者：2名			

##### ○自立支援教育訓練給付金

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	240	240	13	0
事業内容及び実績	ひとり親の職業能力開発を促進するため、教育訓練終了後の自立支援教育訓練給付金を支給した。 【事業実績】 対象者：1名			

○高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金【新規】

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	150	150	0	0
事業内容及び実績	ひとり親家庭の社会的自立を支援するため、高等学校卒業程度認定試験合格支援支給経費として予算措置したが、平成29年度は対象者がいなかった。			

2 子育て支援センター運営経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	1,099	1,099	1,095	784
目的			子育て親子の交流を促進する場を設けることにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>育児に不安などを感じている保護者に対し、育児相談や子育て講座を開催したほか、子育て情報誌の発行、移動子育て支援を開催するなど、子育て家庭に対する支援活動を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児相談への対応（相談件数197件）</li> <li>・子育て講座・センター開放事業</li> <li>・育児サークルの育成・支援</li> <li>・移動子育て支援センターの開設（参加親子人数772人）</li> </ul>			
今後の方向性			保護者の子育てをサポートするため、様々な育児支援を実施する。			

3 仕事と家庭両立支援（ファミリーサポートセンター）事業費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
1	3	1	7,818	7,818	7,818	7,550												
目的			育児の援助を受けたい人と、提供したい人が相互に支援を行い、仕事と育児の両立を図ることを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>子どもの預かり相互援助組織である登別市ファミリーサポートセンターを設置し、預かりの調整、預かりのための研修を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <p>委託先 登別市社会福祉協議会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>2,648件</td> <td>2,533件</td> <td>2,678件</td> </tr> <tr> <td>会員数</td> <td>1,189人</td> <td>1,144人</td> <td>1,090人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用件数	2,648件	2,533件	2,678件	会員数	1,189人	1,144人	1,090人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
利用件数	2,648件	2,533件	2,678件															
会員数	1,189人	1,144人	1,090人															
今後の方向性			相互支援に対する需要が高いことや、仕事と育児の両立を図るため事業を継続する。															

4 産後子育てママ派遣事業費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	119	119	38	0

目的	出産後間もない母親の育児・家事の負担を軽減することを目的とする。												
事業内容及び実績	<p>家事援助ヘルパーを派遣し、産後間もない母親の育児・家事を支援した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>派遣延べ日数</td> <td>10日</td> <td>0日</td> <td>5日</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用件数	1件	0件	1件	派遣延べ日数	10日	0日	5日
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度										
利用件数	1件	0件	1件										
派遣延べ日数	10日	0日	5日										
今後の方向性	制度の周知に努め、産後間もない母親の育児・家事の負担を軽減し、地域での子育てを支援する。												

5 家庭児童相談室・母子父子自立支援員経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																											
1	3	1	15	15	10	20																											
目的	ひとり親家庭や寡婦の福祉の充実と社会的自立を推進することを目的とする。																																
事業内容及び実績	<p>家庭児童相談室に相談員を配置し、ひとり親家庭の母又は父、寡婦に自立のための助言や情報提供を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td colspan="2">2件</td> <td colspan="2">6件</td> <td colspan="2">7件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">自立支援相談件数</td> <td>母子</td> <td>90件</td> <td>母子</td> <td>185件</td> <td>母子</td> <td>210件</td> </tr> <tr> <td>父子</td> <td>4件</td> <td>父子</td> <td>4件</td> <td>父子</td> <td>6件</td> </tr> </tbody> </table>						区分	平成29年度		平成28年度		平成27年度		相談件数	2件		6件		7件		自立支援相談件数	母子	90件	母子	185件	母子	210件	父子	4件	父子	4件	父子	6件
区分	平成29年度		平成28年度		平成27年度																												
相談件数	2件		6件		7件																												
自立支援相談件数	母子	90件	母子	185件	母子	210件																											
	父子	4件	父子	4件	父子	6件																											
今後の方向性	教育訓練の受講を勧めるなどの助言や情報提供を行い、ひとり親家庭等の社会的自立を支援する。																																

6 富岸子育てひろば運営委託料（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	7,486	7,486	7,486	7,486
目的	子育て親子の交流を促進する場を設けることにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。					
事業内容及び実績	<p>子育て親子が気軽に集い、相互に交流できるひろばを開設し、子育てに関する相談や情報提供などの支援を民間事業者への委託により行った。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 亀田記念公園わんぱく内</li> <li>・実施内容 ひろば開放・子育て勉強会・出張子育てひろば等</li> <li>・委託先 特定非営利活動法人登別自然活動支援組織 モモンガくらぶ</li> </ul>					
今後の方向性	子育ての不安や負担感を解消するため、提供するサービスの充実を図る。					

## 7 登別子育て支援センター運営管理業務委託料（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	7,553	7,553	7,553	7,453
目的			子育て親子の交流を促進する場を設けることにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>登別保育所と一体的な運営を行うため、登別子育て支援センターの運営管理を同保育所の受託法人に委託した。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 登別保育所内</li> <li>・実施内容 一般開放・子育て相談・あそびの広場等</li> <li>・委託先 学校法人登別立正学園</li> </ul>			
今後の方向性			民間事業者の発想により、支援事業の企画等を含め工夫がなされていることから、運営委託を継続する。			

## 8 子ども・子育て会議経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	344	344	52	0
目的			登別市子ども・子育て会議条例に基づき会議を開催し、子ども・子育て支援施策に関し必要な事項を調査審議することを目的とする。			
事業内容及び実績			平成29年度の子ども・子育て事業に係る情報提供及び登別市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて協議した。			
今後の方向性			次期、登別市子ども・子育て支援事業計画の作成や保育所民営化に関する審議を行う。			

## 9 児童入所施設措置費（助産施設分）（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	420	420	0	0
目的			経済的理由が出産を妨げないよう支援することにより、安心して出産できる環境づくりを行うことを目的とする。			
事業内容及び実績			経済的理由により入院助産を受けることができない妊婦を入院措置するための経費として予算措置したが、平成29年度においては対象者がいなかった。			
今後の方向性			入院助産に係る経費の支援を必要とする妊婦が安心して出産できるよう、事業を継続する。			

## 10 こどもショートステイ経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	164	164	39	33
目的			一時的に養育が困難となった保護者に代わって子どもを養育することにより、子どもの健全育成を図ることを目的とする。			

事業内容及び実績	疾病等により一時的に養育困難になった家庭の子どもを、委託により児童養護施設で養育した。			
	【事業実績】			
	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
対象件数	1件	2件	0件	
今後の方向性	引き続き、緊急時の子どもの受入態勢の連携を図る。			

11 認定こども園防犯対策強化事業補助金【新規】(保健福祉部子育てG)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
1	3	1	6,075	5,016	4,674	0								
目的			認定こども園の防犯対策に要する経費の一部を補助し、防犯対策強化の推進を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>学校法人登別立正学園に対し、認定こども園の防犯対策に要する経費の一部を補助した。</p> <p>【施工概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認定こども園白菊幼稚園 防犯カメラの設置及び正面玄関へフェンスを設置</li> <li>認定こども園白雪幼稚園 防犯カメラの設置</li> </ul> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>4,674</td> <td>3,009</td> <td>1,665</td> </tr> </table>				事業費	財源内訳		国庫支出金	一般財源	4,674	3,009	1,665
事業費	財源内訳													
	国庫支出金	一般財源												
4,674	3,009	1,665												

12 災害遺児手当支給経費(保健福祉部子育てG)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
1	3	1	120	120	0	0								
目的			災害遺児を養育する保護者の負担軽減を図り、子どもの健全な育成を支援することを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>自然災害、交通事故により父母又は父母のいずれかが死亡若しくは重度の障がいとなった子ども(遺児)を養育する保護者に手当(遺児が中学校修了まで月額10,000円)を支給する事業であるが、平成29年度においては対象者がいなかった。</p> <p>【事業実績】</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> <tr> <td>対象遺児数</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	対象遺児数	0人	0人	0人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
対象遺児数	0人	0人	0人											
今後の方向性			災害遺児を養育する保護者を支援する。											

13 児童手当支給経費(保健福祉部子育てG)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	649,755	636,680	633,985	647,125
目的			次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。			

事業内容及び実績	中学校修了までの子どもの父母などに手当を支給した。 【事業実績】			
	支給対象児童数	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	3歳未満被用者	8,139人	7,853人	7,828人
	3歳未満非被用者	1,330人	1,498人	1,846人
	3歳以上小学校修了前			
	第1、2子	29,176人	30,319人	32,222人
	第3子以降	4,504人	4,465人	4,439人
	中学生	12,551人	13,095人	12,853人
特例給付	1,424人	1,149人	877人	
今後の方向性	子育て家庭の安定を図り、子どもの健全な育成を支援する。			

14 児童扶養手当支給経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	268,318	263,518	262,249	269,058
目的			ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進することを目的とする。			
事業内容及び実績	ひとり親世帯の所得に応じ手当を支給した。 【事業実績】					
	区分		平成29年度	平成28年度	平成27年度	
	受給者数		568人	581人	605人	
	全部支給		260人	276人	288人	
	一部支給		251人	251人	255人	
	全部停止		57人	54人	62人	
対象児童数		754人	774人	796人		
今後の方向性			ひとり親世帯の自立を支援するため、事業を継続する。			

15 児童虐待防止啓発事業費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	2	249	249	246	100
目的			子どもへの虐待に対する関心と理解を訴え、地域がひとつになって子どもを守ることを目的とする。			
事業内容及び実績	市民一人ひとりが子ども虐待に意識を向けるよう啓発活動を行った。 【事業実績】					
	・新聞・広報紙・ホームページを利用した啓発					
	・民生委員・児童委員との懇談会の開催					
	・各施設において児童虐待防止ポスターの掲示					
	・新聞、ホームページ、広報紙による児童虐待防止キャンペーンの実施					
	・児童虐待防止啓発ポスターの掲示					
	・児童虐待防止啓発リーフレット等の配布					
・児童虐待防止啓発ポケットティッシュ等の配布（随時）						
・児童虐待防止啓発リーフレット等の配布						

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待防止啓発ポケットティッシュ等の配布（随時）</li> <li>・各町内会回覧板による児童虐待防止啓発</li> <li>・各種研修へ参加することによる児童虐待予防に関する知識の習得。</li> </ul>								
	<table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>平成29年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>要保護児童等数</td> <td>38人</td> <td>37人</td> <td>59人</td> </tr> </table>	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	要保護児童等数	38人	37人	59人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
要保護児童等数	38人	37人	59人						
今後の方向性	児童虐待の未然防止のため、引き続き啓発活動に取り組む。								

## 目 2 保育所費 （予算説明書 P83～ P86）

### 1 普通保育所運営管理経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																				
1	3	1	64,117	64,117	63,728	60,193																				
目的			保護者の家庭と仕事の両立を支援するとともに、安心して子どもを生み育てる環境をつくり、子どもの健全育成を図ることを目的とする。																							
事業内容及び実績			<p>共働きや病人の介護などにより家庭における子どもの保育が困難な世帯に保育サービスを提供した。</p> <p><b>【事業実績】</b> ※各年度末現在</p> <table border="1"> <tr> <td>入所児童数</td> <td>平成29年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>富士保育所</td> <td>110人</td> <td>103人</td> <td>110人</td> </tr> <tr> <td>鷺別保育所</td> <td>103人</td> <td>96人</td> <td>95人</td> </tr> <tr> <td>栄町保育所</td> <td>88人</td> <td>79人</td> <td>87人</td> </tr> <tr> <td>幌別東保育所</td> <td>103人</td> <td>95人</td> <td>76人</td> </tr> </table>				入所児童数	平成29年度	平成28年度	平成27年度	富士保育所	110人	103人	110人	鷺別保育所	103人	96人	95人	栄町保育所	88人	79人	87人	幌別東保育所	103人	95人	76人
入所児童数	平成29年度	平成28年度	平成27年度																							
富士保育所	110人	103人	110人																							
鷺別保育所	103人	96人	95人																							
栄町保育所	88人	79人	87人																							
幌別東保育所	103人	95人	76人																							
今後の方向性			安心して子どもを預けられるよう保育サービスの充実を図るほか、保育所の民営化を図っていく。																							

### 2 登別保育所運営管理業務委託料（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
1	3	1	81,706	76,224	74,134	70,511								
目的			保護者の家庭と仕事の両立を支援するとともに、安心して子どもを生み育てる環境をつくり、認定子ども園、保育所で区分することなく、子どもの健全な育成を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>隣接する白雪幼稚園の事業者である学校法人登別立正学園に登別保育所の運営を委託した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通保育委託料 69,541 千円</li> <li>・延長保育委託料 1,303 千円</li> <li>・一時保育委託料 547 千円</li> <li>・地域活動事業委託料 252 千円</li> <li>・送迎バス運行委託料 2,491 千円 ※各年度末現在</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>平成 29 年度</td> <td>平成 28 年度</td> <td>平成 27 年度</td> </tr> <tr> <td>入所児童数</td> <td>53 人</td> <td>48 人</td> <td>53 人</td> </tr> </table>				区分	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	入所児童数	53 人	48 人	53 人
区分	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度											
入所児童数	53 人	48 人	53 人											



今後の方向性	幼稚園と保育所のそれぞれの利点を生かした保育の充実が図られていることから、運営委託を継続する。
--------	---

### 3 延長保育実施経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
1	3	1	380	380	276	249												
目的			保護者の就労形態の多様化を踏まえ保育時間を延長し、子どもの健全育成及び保護者の負担軽減を図ることを目的とする。															
事業内容及び実績			保育時間の延長ニーズに対応するため、全保育所で延長保育を実施した。（普通保育料とは別に1日200円を徴収） <b>【事業実績】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用実人数</td> <td>185人</td> <td>176人</td> <td>173人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用件数</td> <td>2,933件</td> <td>3,611件</td> <td>4,185件</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用実人数	185人	176人	173人	延べ利用件数	2,933件	3,611件	4,185件
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
利用実人数	185人	176人	173人															
延べ利用件数	2,933件	3,611件	4,185件															
今後の方向性			仕事と子育ての両立のための支援策として、保護者のニーズに対応するため事業を継続する。															

### 4 休日保育実施経費（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
1	3	1	130	130	88	46												
目的			保護者の就労形態の多様化に伴い、保育を必要とする子どもの健全育成を図ることを目的とする。															
事業内容及び実績			保育所の閉所日である日曜・祝日において、富士保育所を拠点とし、普通保育の内容と同様の保育を実施した。 <b>【事業実績】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用実人数</td> <td>16人</td> <td>9人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>延べ利用件数</td> <td>216件</td> <td>119件</td> <td>157件</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用実人数	16人	9人	11人	延べ利用件数	216件	119件	157件
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
利用実人数	16人	9人	11人															
延べ利用件数	216件	119件	157件															
今後の方向性			保護者の就労支援のため、事業を継続する。															

## 目3 のぞみ園費（予算説明書P85～P86）

### 1 のぞみ園運営管理経費（保健福祉部障がい福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	41,325	41,325	41,280	41,154
目的			障がい児や発達に不安のある児童に対し、日常生活における基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練を行うことにより、児童の発育、発達を支援することを目的とする。			
事業内容及び実績			のぞみ園において、児童福祉法に基づく児童発達支援、放課後等デイサービス及び保育所等訪問支援のほか、発達障がいに関する相談・助言等を行う子ども発達支援センター事業を実施した。			

	<p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援、放課後等デイサービス及び保育所等訪問支援</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>157人</td> <td>155人</td> <td>147人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども発達支援センター事業 (事業内容) 面談、専門機関同行・連携、体験療育、電話相談、理学療法士支援等</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用延件数</td> <td>568件</td> <td>606件</td> <td>678件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用者数	157人	155人	147人	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用延件数	568件	606件	678件
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度														
利用者数	157人	155人	147人														
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度														
利用延件数	568件	606件	678件														
今後の方向性	引き続き、業務委託により児童発達支援、放課後等デイサービス及び保育所等訪問支援事業等を実施するとともに、委託事業の拡大を検討し、事業の更なる充実に努める。																

#### 目4 児童館費 (予算説明書P85～P86)

##### 1 児童館・児童センター運営管理経費 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
1	3	1	12,551	12,851	12,157	10,420								
目的			子どもに健全な遊びを与え、その情操を育み、健康を増進することにより、子どもの健全な育成を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>市内11か所の児童館・児童センター・児童室において、子どもに遊びの場を提供した。</p> <p>また、市内全児童館、児童室、児童センターにおいて昼食持参での利用許可や、青葉児童館、常盤児童館及び登別児童館において小学生が授業終了後、一旦帰宅せずに直接児童館へ利用できる「直接来館」を本格実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <p>児童館8施設、児童センター1施設、児童室2施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>36,046人</td> <td>37,195人</td> <td>44,733人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用者数	36,046人	37,195人	44,733人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
利用者数	36,046人	37,195人	44,733人											
今後の方向性			引き続き、子どもの自主性や社会性、創造性がより高まるよう指導・支援する。											

##### 2 鷺別児童館移転改築事業費 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	127,032	121,199	121,147	18,188
目的			児童の安全・安心な放課後等の活動拠点を確保することを目的とする。			

事業内容及び実績	<p>鷲別小学校隣接地へ移転改築し、放課後児童クラブ、子育て支援センターを併設した複合型の施設として整備するため、本体工事を行った。</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td colspan="4">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>道支出金</td> <td>市債</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>121,147</td> <td>15,939</td> <td>15,939</td> <td>70,100</td> <td>19,169</td> </tr> </table>	事業費	財源内訳				国庫支出金	道支出金	市債	一般財源	121,147	15,939	15,939	70,100	19,169
	事業費		財源内訳												
国庫支出金		道支出金	市債	一般財源											
121,147	15,939	15,939	70,100	19,169											
今後の方向性	<p>新児童館の外構工事を実施するとともに、旧児童館の除却を行う。</p>														

## 目5 放課後児童育成費 (予算説明書P85～P88)

### 1 放課後児童クラブ運営経費 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																																
1	3	1	4,056	4,056	3,904	3,781																																
目的			<p>保護者が就労等により日中不在となる小学生に遊びや生活の場を提供することにより、その健全な育成を図るとともに、保護者の就労を支援することを目的とする。</p>																																			
事業内容及び実績			<p>放課後児童クラブにおいて、保護者が日中不在の小学校児童を対象に、遊びや生活の場を提供した。</p> <p>【事業実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富岸児童クラブ</td> <td>51人</td> <td>57人</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>常盤児童クラブ</td> <td>21人</td> <td>23人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>若草児童クラブ</td> <td>43人</td> <td>46人</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>青葉児童クラブ</td> <td>24人</td> <td>25人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>幌別西児童クラブ</td> <td>30人</td> <td>19人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>鷲別児童クラブ</td> <td>26人</td> <td>33人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>登別児童クラブ</td> <td>17人</td> <td>16人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	富岸児童クラブ	51人	57人	64人	常盤児童クラブ	21人	23人	32人	若草児童クラブ	43人	46人	34人	青葉児童クラブ	24人	25人	18人	幌別西児童クラブ	30人	19人	28人	鷲別児童クラブ	26人	33人	35人	登別児童クラブ	17人	16人	6人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																			
富岸児童クラブ	51人	57人	64人																																			
常盤児童クラブ	21人	23人	32人																																			
若草児童クラブ	43人	46人	34人																																			
青葉児童クラブ	24人	25人	18人																																			
幌別西児童クラブ	30人	19人	28人																																			
鷲別児童クラブ	26人	33人	35人																																			
登別児童クラブ	17人	16人	6人																																			
今後の方向性			<p>引き続き、保護者が日中不在の小学校児童を対象に、遊びや生活の場を提供する。</p>																																			

## 目6 障害児福祉費 (予算説明書P87～P88)

### 1 障害児通所給付費 (保健福祉部障がい福祉G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	3	73,838	73,838	73,328	51,157
目的			<p>障がいのある児童や発達に不安のある児童の発育や発達を支援することにより、福祉の向上を図ることを目的とする。</p>			
事業内容及び実績			<p>心身に障がいがある又は発達に不安があり、通所による療育が必要と認められる児童に対し、次の給付を行った。</p>			

	<b>【事業実績】</b>			
	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	児童発達支援事業	55人	70人	71人
	放課後等デイサービス	133人	103人	96人
	保育所等訪問支援	6人	3人	
	障害児相談支援	100人	54人	37人
今後の方向性	児童福祉法の規定に基づく事業であり、療育等が必要と認められる児童が通所支援を受けられるよう、引き続き児童の状態やニーズに応じた適正な給付に努める。			

目7 教育・保育給付費 (予算説明書P87～P88)

1 特定教育・保育施設等給付費 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額									
1	3	1	273,876	277,052	274,798	501									
目的			特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業における教育・保育を円滑に行うことを目的とする。												
事業内容及び実績			<p>子ども・子育て支援法に基づき、特定教育・保育施設における教育・保育に要する費用（公定価格）について、施設型給付費として給付を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>給付対象者数</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内認定子ども園等</td> <td>437人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>市外認定子ども園等</td> <td>17人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>				給付対象者数	平成29年度	平成28年度	市内認定子ども園等	437人	0人	市外認定子ども園等	17人	1人
給付対象者数	平成29年度	平成28年度													
市内認定子ども園等	437人	0人													
市外認定子ども園等	17人	1人													
今後の方向性			引き続き、必要な教育・保育に係る給付を行う。												

2 一時預かり事業費【新規】 (保健福祉部子育てG)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	5,000	5,000	4,852	0
目的			保護者の就労形態の多様化を踏まえ、施設型給付を受ける私立幼稚園等において一時預かり事業を実施し、子どもの健全育成及び保護者の負担軽減を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>子ども・子育て支援法に基づき、施設型給付を受ける私立幼稚園及び認定こども園を利用する1号認定（教育利用）を受けた在園児に対し、教育時間の前後や長期休業日等における預かり保育の実施を委託した。</p> <p><b>【事業実施施設】</b></p> <p>登別カトリック聖心幼稚園、認定こども園白菊幼稚園、認定こども園白雪幼稚園、認定こども園さくら幼稚園（白老町）、文化学園大学附属幼稚園（室蘭市）</p>			

	<b>【事業実績】</b>			
	区分	平成29年度		
	利用延人数	8,198人		
	<b>【財源内訳】</b>			
	事業費	財源内訳		
		国庫支出金	道支出金	一般財源
	4,852	1,660	1,617	1,575
今後の方向性	引き続き、在園児等が安心して利用できるよう、事業者を支援する。			

### 3 延長保育事業費【新規】（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	3,200	516	0	0
目的			保護者の就労形態の多様化を踏まえ保育時間を延長する認定こども園等に対して、その運営に要する費用の一部を補助し、子どもの健全育成及び保護者の負担軽減を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			保育時間の延長ニーズに対応するため、全保育所で延長保育を実施するものであるが、国の実施要件を満たす延長保育の利用者がいなかったため実施はなかった。 <b>【事業実績】</b>			
			区分	平成29年度		
			給付対象者数	0人		
今後の方向性			引き続き、在園児等が安心して利用できるよう、事業を継続する。			

### 4 特定教育・保育補足給付費【新規】（保健福祉部子育てG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	420	420	0	0
目的			低所得で生計が困難な家庭の子どもについて、実費徴収費用の一部を補助することにより、子どもの健やかな成長を支援することを目的とする。			
事業内容及び実績			子ども・子育て支援法に基づき、特定教育・保育施設における教育・保育に要する費用（公定価格）について、施設型給付費として給付する事業であるが、平成29年度の支給はなかった。 <b>【事業実績】</b>			
			区分	平成29年度		
			給付対象者数	0人		
今後の方向性			引き続き、必要な教育・保育に係る給付を行う。			

### 第3款 民生費 項4 生活保護費

#### 【主要データ】

##### ① 生活保護相談延件数及び申請受理件数

区分	相談件数	申請件数	却下件数	取下件数
平成29年度	236	102	2	2
平成28年度	210	99	2	2
平成27年度	211	96	1	1

##### ② 開始世帯状況

区分	総数	世帯類型				開始理由				
		高齢	母子	傷病・障害	その他	世帯主の傷病	世帯員の傷病	死別・離別	収入の減	その他
平成29年度	95	30	14	31	20	17	0	7	49	22
平成28年度	95	34	7	24	30	17	1	3	57	17
平成27年度	94	31	10	30	23	26	1	12	27	28

##### ③ 廃止世帯状況

区分	総数	世帯類型				廃止理由				
		高齢	母子	傷病・障害	その他	傷病治癒	死亡・失踪	就労収入増	不就労収入増	その他
平成29年度	74	35	7	16	16	0	33	17	1	23
平成28年度	100	40	18	20	22	0	33	19	1	47
平成27年度	77	26	12	19	20	0	18	25	6	28

##### ④ 延世帯数及び延人員

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	H29-H28	H28-H27
被保護世帯数	9,456	9,364	9,401	92	△37
被保護人員	12,378	12,413	12,810	△35	△397

※被保護世帯数は月別保護世帯数の合計、被保護人員は月別保護人員の合計です。

##### ⑤ 保護率

(単位：%)

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
登別市	2.14	2.10	2.14	2.10	2.09
全道		3.09	3.13	3.14	3.16
全国			1.70	1.70	1.70

## ⑥ 扶助別延人員

区分	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	H29-H28	H28-H27
生活扶助	10,158	10,351	10,785	△193	△434
住宅扶助	9,434	9,736	10,193	△302	△457
教育扶助	672	809	920	△137	△111
介護扶助	1,575	1,630	1,511	△55	119
医療扶助	10,814	11,154	11,063	△340	91
生業扶助	229	271	356	△42	△85
出産扶助	1	1	2	0	△1
葬祭扶助	29	2	10	27	△8
施設事務費	11	0	0	11	0
冬季薪炭費	0	0	1	0	△1
就労自立支援 給付費	1	12	1	△11	11
計	32,924	33,966	34,842	△1,042	△876

※冬季薪炭費は延世帯数です。

## ⑦ 扶助別決算額

(単位：千円)

区分	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	H29-H28	H28-H27
生活扶助	535,041	551,075	565,911	△16,034	△14,836
住宅扶助	170,365	173,399	176,685	△3,034	△3,286
教育扶助	8,214	9,803	11,150	△1,589	△1,347
介護扶助	15,447	14,593	13,714	854	879
医療扶助	1,363,065	1,323,395	1,239,961	39,670	83,434
生業扶助	3,894	5,434	6,791	△1,540	△1,357
出産扶助	469	384	849	85	△465
葬祭扶助	5,219	3,430	2,145	1,789	1,285
施設事務費	1,798	0	0	1,798	0
冬季薪炭費	0	0	1	0	△1
就労自立支援 給付費	62	504	78	△442	426
計	2,103,574	2,082,017	2,017,285	21,557	64,732

## 目 1 生活保護総務費 (予算説明書 P 89～P 90)

### 1 生活保護適正実施推進事業費 (保健福祉部社会福祉 G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	4	3,152	3,152	2,857	2,981
目的			生活保護の適正な運営を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			扶養義務者の調査、職員の資質向上のための研修への参加などを行った。 <b>【事業内容】</b> 診療報酬明細書等点検、扶養義務調査、関係職員等研修・啓発事業等			

今後の方向性	引き続き、生活保護の適正な運営を確保する。
--------	-----------------------

## 2 被保護者就労支援事業費（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
1	1	4	100	100	100	99												
目的			生活保護受給者の経済的自立を促すことを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>就労支援相談員により、被保護者に対して各種就労支援を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援内容 市の窓口での就労相談、公共職業安定所への同行訪問、被保護者に見合った新規職業の情報提供（郵送）等</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援件数</td> <td>29件</td> <td>22件</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>支援人数</td> <td>55人</td> <td>49人</td> <td>49人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	支援件数	29件	22件	29件	支援人数	55人	49人	49人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
支援件数	29件	22件	29件															
支援人数	55人	49人	49人															
今後の方向性			被保護者世帯の自立を促すため、積極的に事業を推進する。															

## 目2 扶助費（予算説明書P89～P90）

### 1 生活保護扶助費（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	4	2,105,520	2,137,520	2,103,574	2,082,017
目的			生活困窮者に対し、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。			
事業内容及び実績			生活保護受給者に対し、保護の適正化等の確保（保護費支給含む）や個別援助の充実、各自立に向けた事業等を実施した。			
今後の方向性			要保護者の把握、保護の適正化の確保等、生活保護法に基づき事業を継続する。			

## 第3款 民生費 項5 交通安全費

### 【主要データ】

#### ①交通事故数及び被害者数の推移

区分	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年
交通事故数	64件	78件	120件	110件	136件
死亡者数	2人	0人	1人	0人	1人
傷患者数	81人	104人	145人	130人	169人



目 1 交通安全総務費 (予算説明書 P91～P92)

1 交通安全推進経費 (市民生活部市民サービス G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	3	993	993	822	895
目的			市民の交通安全意識の高揚と交通事故の防止を図ることにより、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>交通安全協会等の関係機関とも連携を図り、交通安全教育や全市的な交通安全運動を推進した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入学児童に対する交通安全啓発運動 (4月)</li> <li>・ジャンボ街頭啓発運動 (6月)</li> <li>・人と旗の波街頭啓発運動 (5回、市内8地区)</li> <li>・パトライト夜間街頭啓発運動 (適宜)・二輪車交通安全啓発運動 (適宜)</li> <li>・外国人観光客に対する人と旗の波街頭啓発運動 (8月)</li> <li>・交通安全標語の募集・表彰 (12月)</li> <li>・歳末交通安全啓発運動、交通安全歳末特別警戒運動 (12月)</li> <li>・こぐまクラブ交通安全啓発運動 (2月)</li> <li>・シートベルト調査 (年4回)</li> </ul> <p><b>【飲酒運転による死亡交通事故発生に伴う飲酒運転根絶緊急対策の実施】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報車における地域住民への周知</li> <li>・ショッピングセンターにおける啓発活動 (11月30日)</li> <li>・事故現場における人と旗の波街頭啓発 (12月5日)</li> <li>・交通事故撲滅緊急決起集会 (12月8日)</li> </ul>			
今後の方向性			登別市交通安全計画に基づき、交通安全意識を高め、交通事故が減少するよう各種啓発活動等を実施する。			

2 交通安全協会交付金 (市民生活部市民サービス G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	3	4,300	4,300	4,300	4,300
目的			交通安全の啓発活動等を行う登別市交通安全協会の活動を支援することにより、市民の交通安全意識の高揚と交通事故の防止を図り、もって安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>指導員の教育活動や広報活動を行う同協会に対し、運営費の一部を交付した。</p> <p><b>【協会の事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入学児童に対する交通安全啓発運動 (4月)</li> <li>・市内全中学1年生へ自転車交通ルールに関するパンフレットを配布</li> <li>・パトライト啓発 (市内4か所) 16回</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校通学路での女性指導員による交通指導</li> <li>・幼稚園及び小学校での交通安全教室 16回</li> <li>・町内会及び老人クラブでの交通安全講習会 10回</li> <li>・シルバー交通安全推進研修会の開催（6月）</li> <li>・老人クラブ等へ高齢者の危険行動の改善事例や、道路交通法一部改正の内容が記されたパンフレットを配布</li> <li>・人と旗の波街頭啓発（年7回：市内11か所）</li> </ul>
今後の方向性	交通安全意識を高め、交通事故防止の徹底を図るため、引き続き、同協会の活動を支援する。

### 3 交通傷害保険料（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																				
2	3	3	864	864	705	711																				
目的			交通事故により傷害を受けた際の保険制度を市民に対して安価に提供することにより、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。																							
事業内容及び実績			<p>小額の保険料で加入できる市民交通傷害保険の加入促進と加入手続きを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報のぼりべつ（3月号）に加入啓発チラシの折り込み</li> <li>・市民サービスグループだよりによる周知（町内会回覧）</li> <li>・市ホームページ掲載</li> <li>・高齢者交通安全研修会等でのPR</li> </ul> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加入者数</td> <td>1,400人</td> <td>1,392人</td> <td>1,287人</td> </tr> <tr> <td>加入口数</td> <td>2,006口</td> <td>2,002口</td> <td>1,853口</td> </tr> <tr> <td>給付件数</td> <td>5件</td> <td>7件</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>給付額</td> <td>160千円</td> <td>450千円</td> <td>270千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成29年度からは過年度給付は含まない。</p>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	加入者数	1,400人	1,392人	1,287人	加入口数	2,006口	2,002口	1,853口	給付件数	5件	7件	7件	給付額	160千円	450千円	270千円
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																							
加入者数	1,400人	1,392人	1,287人																							
加入口数	2,006口	2,002口	1,853口																							
給付件数	5件	7件	7件																							
給付額	160千円	450千円	270千円																							
今後の方向性			広報誌、町内会回覧、各種交通安全研修会等で積極的な保険制度の周知を行い、加入促進を図る。																							

## 目2 交通安全施設費（予算説明書P91～P92）

### 1 カーブミラー設置費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	3	365	365	316	200
目的			カーブミラーの設置により、安全確認の円滑化と交通事故の防止を図り、安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>市内の見通しの悪い交差点などの危険箇所に、カーブミラーを設置した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置箇所数 4か所 (若山町・常盤町・千歳町・登別東町)</li> </ul>			

今後の方向性	車及び歩行者の通行の安全を確保するため、見通しの悪いカーブや交差点にカーブミラーを設置する。
--------	--

## 2 照明灯設置事業費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	3	367	367	341	335
目的			市内の交通危険箇所の解消と交通事故防止を目的とする。			
事業内容及び実績			市民要望などを踏まえ、交差点などの危険箇所で交通安全上必要であると判断した箇所に照明灯を設置した。 【事業実績】 ・設置箇所数 2か所（鷺別町・若草町）			
今後の方向性			夜間の歩行者及び車両の安全を確保するため、交通量の多い交差点や急カーブ、通学路等の危険箇所に照明灯の設置を継続的に行う。			

## 第3款 民生費 項6 災害救助費

### 目1 災害救助費（予算説明書P93～P94）

#### 1 災害見舞金（保健福祉部社会福祉G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	4	300	340	340	110
目的			災害で被害を受けた市民の早期復旧等を支援し、福祉の増進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			火災や自然災害により被害を受けた被災者に対し、被害状況に応じて災害見舞金を支給した。 【事業実績】 ・支給被災者 5人			
今後の方向性			被災者の生活が早期に安定するよう、事業を継続する。			

## 第4款 衛生費 項1 保健衛生費

### 目1 保健衛生総務費 (予算説明書P95～P96)

#### 1 北海道難病連運営事業助成金 (保健福祉部健康推進G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	1	1	50	50	50	50
目的			難病患者とその家族の社会的自立活動を推進し、福祉の向上・増進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>難病問題の社会的啓蒙と難病に関する正しい知識の普及啓発活動を行っている一般財団法人北海道難病連に対して、その運営費の一部を助成した。</p> <p><b>【北海道難病連の主な活動内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難病患者や家族への療育指導及び相談活動</li> <li>・ 難病患者等の各団体の育成援助</li> <li>・ 難病に関する調査研究等</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、北海道難病連の活動を支援する。			

#### 2 母と子の健康づくり事業費 (保健福祉部健康推進G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	2	1	26,166	24,791	23,644	24,845
目的			妊産婦及び乳幼児の健康保持・増進を図ることを目的とする。			
今後の方向性			妊娠期から乳幼児期までを切れ目なく一貫して支援する体制を強化し、子育てアンケートを活用しながら親の育児不安の解消に努める。			

#### ○食育事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	297	297	296	226
事業内容及び実績	<p>食に関する講話・調理実習・試食などを通して、日頃の食生活の悩みに応える栄養相談・栄養教室を第1子の親を中心に実施した。</p> <p>また、子育て期にある母親自身の生活習慣病予防とバランス食を中心とした食育の推進のため、体組成計測定を取り入れた「へるしー親子相談」を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もぐもぐ食育広場 (年6回実施 91人参加)</li> <li>・ 食育おやこ料理教室 (年5回実施 107人参加)</li> <li>・ へるしー親子相談 (年12回実施 70人参加)</li> </ul>			

○幼児歯科保健対策経費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																
	669	669	667	675																
事業内容及び実績	<p>将来にわたり健康な歯を維持するため、むし歯予防のための生活習慣の啓蒙等を内容とするむし歯予防教室、歯質の強化を目的とするフッ素塗布を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親子むし歯予防教室（年2回実施） （実施内容）歯科医による講話、歯科検診、ブラッシング指導、フッ素塗布（希望者）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施人数</td> <td>82人</td> <td>86人</td> <td>67人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>フッ素塗布 （対象）1歳6か月～4歳未満の希望者</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施人数</td> <td>652人</td> <td>604人</td> <td>581人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	実施人数	82人	86人	67人	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	実施人数	652人	604人	581人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																	
実施人数	82人	86人	67人																	
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																	
実施人数	652人	604人	581人																	

○妊婦保健事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																								
	22,884	21,509	20,441	21,653																								
事業内容及び実績	<p>妊婦の健康管理を図るために、母子健康手帳を交付して保健指導を行うとともに、医療機関で実施する妊婦一般健康診査（14回分）及び超音波検査（4回分）の検査費用を定額助成した。</p> <p>また、妊婦とその家族を対象に、体験型のマタニティ教室を開催した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦健康診査（延件数）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般健康診査</td> <td>3,552件</td> <td>3,948件</td> <td>3,928件</td> </tr> <tr> <td>超音波検査</td> <td>1,110件</td> <td>1,216件</td> <td>1,240件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>すこやかマタニティ教室 （実施回数） 1日コース×年3回、2日間コース×年4回 （実施内容） 妊娠・出産・育児をイメージできるよう、妊婦体操や沐浴実習、赤ちゃんの抱き方の実習、先輩ママとの交流、妊娠中の栄養に関するグループワークを実施</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>参加者数</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊婦</td> <td>50人</td> <td>61人</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td>父親（家族）</td> <td>46人</td> <td>49人</td> <td>54人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	一般健康診査	3,552件	3,948件	3,928件	超音波検査	1,110件	1,216件	1,240件	参加者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度	妊婦	50人	61人	71人	父親（家族）	46人	49人	54人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
一般健康診査	3,552件	3,948件	3,928件																									
超音波検査	1,110件	1,216件	1,240件																									
参加者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
妊婦	50人	61人	71人																									
父親（家族）	46人	49人	54人																									

○乳幼児保健事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	2,316	2,316	2,240	2,291
事業内容及び実績	乳幼児の順調な発達の確認及び疾病の早期発見のため、乳幼児期の成長・発達の節目にあたる月齢児を対象に、小児科医等による健康診査を実施した。また、保健師等による乳幼児家庭訪問及び保健指導を実施した。			
	【事業実績】			
	・健康診査			
	(4～5か月児健康診査)			
	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	対象者	294人	331人	280人
	受診者	290人	327人	271人
	受診率	98.6%	98.8%	96.8%
	(1歳6か月児健康診査)			
	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
対象者	336人	307人	311人	
受診者	326人	301人	301人	
受診率	97.0%	98.0%	96.8%	
(3歳児健康診査)				
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	
対象者	298人	321人	342人	
受診者	291人	315人	328人	
受診率	97.7%	98.1%	95.9%	
・乳幼児家庭訪問及び保健指導、育児支援				
(対象) 妊産婦、新生児、乳児、幼児の家庭を訪問				
※市民以外(里帰り等)を含む。				
訪問者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度	
妊産婦	368人	346人	326人	
未熟児	21人	17人	22人	
新生児	219人	178人	160人	
乳児	126人	161人	160人	
幼児	43人	28人	51人	

3 地域医療対策等経費(保健福祉部健康推進G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	2	3	1,375	1,375	1,374	1,349
目的			地域における歯科医療及び訪問看護体制を確保することにより、歯科医療と在宅ケアの充実を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			室蘭歯科医師会との連携により、年末年始、日曜日等の救急歯科診療を確保するとともに、口腔がんの早期発見・早期治療のため口腔がん検診を実施した。 また、本市に訪問看護ステーションを設置している北海道総合在宅ケア事業団に対し、会費を支出した。			

	<p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急歯科診療の実施 委託料 492千円（委託先：室蘭歯科医師会）</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>平成29年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>41人</td> <td>42人</td> <td>43人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>口腔がん検診普及推進事業負担金 182千円</li> <li>北海道総合在宅ケア事業団会費 700千円</li> </ul>	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用者数	41人	42人	43人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
利用者数	41人	42人	43人						
今後の方向性	継続して実施する。								

4 市立室蘭看護専門学院整備費負担金（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	2	3	180	180	180	183
目的			地域で活躍する看護師の養成機能を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			平成21年度に実施した市立室蘭看護専門学院の移転及び定員拡大に伴う施設改修に係る経費の一部を負担した。			
今後の方向性			債務負担行為に基づき、平成36年度まで負担金を支出する。			

5 広域救急医療対策事業負担金（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	2	3	8,297	8,297	8,297	8,305
目的			2次救急医療体制を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>西胆振2次医療圏7病院の輪番制により、休日・夜間診療を実施する広域救急医療対策事業に係る費用の一部を負担した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象範囲 西胆振6市町</li> <li>対応医療機関 市立室蘭総合病院、日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院、JCHO登別病院、大川原脳神経外科病院、伊達赤十字病院、洞爺協会病院</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、西胆振6市町で共同して実施することにより、救急医療体制の確保に努める。			

6 初期救急医療対策事業負担金（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	2	3	3,507	3,507	3,495	3,327
目的			1次救急医療体制を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。			

事業内容及び実績	登別・室蘭市内の5病院の輪番制により、休日・夜間診療を実施する初期救急医療対策事業に係る費用の一部を負担した。 【事業実績】 ・対象範囲 登別市及び室蘭市 ・対応医療機関 市立室蘭総合病院、日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院、JCHO登別病院、大川原脳神経外科病院
今後の方向性	引き続き、室蘭市と共同して実施することにより、救急医療体制の確保に努める。

7 小児救急医療支援事業負担金（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	2	3	2,384	2,384	2,384	2,773
目的			小児救急医療体制を確保することにより、地域医療の充実を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			西胆振2次医療圏2病院の輪番制により、休日・夜間診療を実施する小児救急医療支援事業に係る費用の一部を負担した。 【事業実績】 ・対象範囲 西胆振6市町 ・対応医療機関 日鋼記念病院、製鉄記念室蘭病院			
今後の方向性			引き続き、西胆振6市町で共同して実施することにより、小児救急医療体制の確保に努める。			

8 周産期医療確保事業負担金（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	2	3	9,316	9,316	9,316	3,052
目的			地域周産期母子医療センターを支援することにより、安心して出産できる医療環境を維持することを目的とする。			
事業内容及び実績			西胆振2次医療圏で唯一の地域周産期母子医療センターを設置している医療機関に対し、当該センターの体制維持に係る費用の一部を負担した。 【事業実績】 ・対象範囲 西胆振6市町 ・対応医療機関 日鋼記念病院			
今後の方向性			引き続き、西胆振6市町で共同して実施することにより、周産期医療体制の確保に努める。			

9 特定不妊治療費助成事業費【新規】（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	3	1	3,500	3,875	3,875	0
目的			特定不妊治療を受ける市民等の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。			



事業内容及び実績	<p>一定の要件を満たす対象者に対し、特定不妊治療に要した費用の一部を助成した。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成人数 27人</li> </ul> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>繰入金</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>3,875</td> <td>1,000</td> <td>2,875</td> </tr> </table>	事業費	財源内訳		繰入金	一般財源	3,875	1,000	2,875
事業費	財源内訳								
	繰入金	一般財源							
3,875	1,000	2,875							
今後の方向性	<p>北海道の助成事業に上乘せをして、市独自の助成事業を継続していくことで、不妊に悩む夫婦が安心して治療を継続することができるよう努める。</p>								

## 目2 予防費 (予算説明書P95～P96)

### 1 エキノコックス症対策経費 (保健福祉部健康推進G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
1	2	2	83	83	49	38								
目的			<p>エキノコックス症の感染予防及び予防啓発を促進することにより、保健予防活動の充実を図ることを目的とする。</p>											
事業内容及び実績			<p>北海道エキノコックス症対策実施要領に基づき、採血による検診(第1次検診)を実施した。</p> <p>また、広報紙による検診の周知や立て看板を設置するなど、感染予防啓発を行った。</p> <p>【事業実績】</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> <tr> <td>検査人数</td> <td>15人</td> <td>8人</td> <td>7人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙掲載(年1回)</li> <li>・立て看板の点検・補修(市内15カ所)</li> </ul>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	検査人数	15人	8人	7人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
検査人数	15人	8人	7人											
今後の方向性			<p>引き続き、エキノコックス症検診(第1次検診)を実施する。</p>											

### 2 予防接種経費 (保健福祉部健康推進G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	2	2	148,449	138,449	130,516	137,054
目的			<p>感染症による病気の発生を未然に防ぎ、保健予防活動の充実を図ることを目的とする。</p>			

事業内容及び実績	予防接種法に基づき、各種予防接種(定期接種)を実施した。 【事業実績】			
	個別接種 延べ接種者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	ポリオ	19人	39人	64人
	B C G	291人	335人	285人
	三種混合	0人	0人	1人
	四種混合	1,157人	1,325人	1,147人
	二種混合	329人	371人	395人
	麻しん風しん混合	618人	631人	590人
	ヒトパピローマ ウイルス	0人	0人	0人
	ヒブ	1,153人	1,321人	1,176人
	小児肺炎球菌	1,155人	1,320人	1,162人
	水痘	609人	578人	640人
	日本脳炎	2,945人	3,252人	
	B型肝炎	860人	511人	
	高齢者インフルエンザ	8,870人	9,082人	8,889人
	高齢者肺炎球菌	1,657人	1,630人	1,530人
※ヒトパピローマウイルスワクチンの接種については、国からの通知により、積極的な接種勧奨を行っておりません。				
今後の方向性	各種予防接種(定期接種)を実施するとともに、対象者に接種勧奨を行うことにより接種者の増加を図る。			

### 3 野犬掃討・畜犬登録等経費(市民生活部環境対策G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																												
2	1	1	7,050	6,611	6,520	6,020																												
目的			狂犬病のまん延を未然に防ぎ、公共衛生の向上を図るとともに、野犬の掃討、蜂やカラスの巣の駆除等を行うことにより、市民の安全な生活を確保することを目的とする。																															
事業内容及び実績			狂犬病予防法に基づき、畜犬の登録及び狂犬病の予防接種を実施した。また、野犬の掃討、蜂やカラスの巣の駆除等を実施した。 【事業実績】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>畜犬登録数</td> <td>2,411頭</td> <td>2,410頭</td> <td>2,426頭</td> </tr> <tr> <td>予防接種数</td> <td>1,737頭</td> <td>1,760頭</td> <td>1,794頭</td> </tr> <tr> <td>野犬捕獲数</td> <td>19頭</td> <td>9頭</td> <td>3頭</td> </tr> <tr> <td>小動物死骸処理数</td> <td>65件</td> <td>71件</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>カラスの巣の駆除数</td> <td>39件</td> <td>46件</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td>蜂の巣の駆除数</td> <td>7件</td> <td>6件</td> <td>200件</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	畜犬登録数	2,411頭	2,410頭	2,426頭	予防接種数	1,737頭	1,760頭	1,794頭	野犬捕獲数	19頭	9頭	3頭	小動物死骸処理数	65件	71件	64件	カラスの巣の駆除数	39件	46件	38件	蜂の巣の駆除数	7件	6件	200件
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																															
畜犬登録数	2,411頭	2,410頭	2,426頭																															
予防接種数	1,737頭	1,760頭	1,794頭																															
野犬捕獲数	19頭	9頭	3頭																															
小動物死骸処理数	65件	71件	64件																															
カラスの巣の駆除数	39件	46件	38件																															
蜂の巣の駆除数	7件	6件	200件																															
今後の方向性			引き続き、狂犬病予防注射接種率向上の促進や、野犬の掃討、蜂やカラスの巣の駆除等に努める。																															

目3 保健事業費 (予算説明書P95～P98)

1 健康増進事業費 (保健福祉部健康推進G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	2	1	44,519	42,019	39,406	36,204
目的			死因第1位であるがんの早期発見や生活習慣病予防対策として、積極的な検診の受診勧奨を実施し、市民の主体的な健康づくりの意識の向上を図ることを目的とする。			
今後の方向性			引き続き、各種検診の受診促進のために、個人通知や未受診者への受診勧奨を実施し、受診者の増加を図る。 また、自殺予防対策については、自殺対策計画の策定に向け、引き続き、庁内関係部署や関係機関との連携を図る。			

○健康づくり事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	1,044	1,044	865	846
事業内容及び実績	<p>「健康通信きらり」を作成し、広報紙への折り込みを行ったほか、健康教室、健康相談を実施し、健康知識の啓発に取り組んだ。</p> <p>また、自殺対策の取組として、若年層を対象とした「こころの健康教室」を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康通信きらりの発行 (年4回)</li> <li>・健康教室 内容：生活習慣病予防について、がん検診について、食生活について、こころの健康について(自殺対策) 実施回数：年16回 (うち自殺対策3回) 参加者数：297人 (うち自殺対策65人)</li> <li>・健康相談 相談者数：103人 相談内容：生活習慣病に関する相談 食生活(栄養)相談 等</li> </ul>			

○健康診査事業費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	43,475	40,975	38,541	35,358
事業内容及び実績	<p>市民を対象に健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、歯周疾患検診、ピロリ菌検査を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査、各種検診の対象者 子宮頸がん検診：20歳以上 前立腺がん検診：50歳以上 上記以外のがん検診：40歳以上 健康診査：40歳以上の医療保険未加入者</li> </ul>			

<p>歯周疾患検診：年度内に満40歳、50歳、60歳、70歳になる人（歯科通院中の人を除く）</p> <p>ピロリ菌検査：成人 年度内に満50歳～65歳になる人 中学生 市内の中学2年生（平成28年度のみ中学3年生を含む）</p> <p>※子宮頸がん検診、乳がん検診、肝炎ウイルス検査については、特定の年齢を対象にクーポン券による無料検診を実施</p>			
受診者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度
健康診査	6人	12人	7人
肺がん検診	3,324人	2,945人	3,116人
胃がん検診	1,214人	813人	949人
大腸がん検診	2,425人	2,132人	2,667人
乳がん検診	1,234人	910人	937人
前立腺がん検診	1,213人	1,061人	1,135人
子宮頸がん検診	826人	754人	768人
歯周疾患検診	166人	53人	58人
肝炎ウイルス検査	788人	810人	1,057人
ピロリ菌検査（成人）	206人	391人	488人
ピロリ菌検査（中学生）	406人	715人	

## 2 はつらつママリフレッシュ講座経費（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
1	2	1	871	871	794	799												
目的			将来的な生活習慣病の発症予防及び母親の育児ストレスの解消を図ることを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>4歳未満の子どもを持つ母親を対象に、運動講座及び健康講演会を実施した。また、母親が安心して参加できるよう、託児を併せて行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動講座（1クール10回を年間4クール実施）</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>平成29年度</td> <td>平成28年度</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>42人</td> <td>40人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康講演会（年2回実施）</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>平成29年度</td> <td>平成28年度</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>13人</td> <td>19人</td> </tr> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	参加者数	42人	40人	区分	平成29年度	平成28年度	参加者数	13人	19人
区分	平成29年度	平成28年度																
参加者数	42人	40人																
区分	平成29年度	平成28年度																
参加者数	13人	19人																
今後の方向性			引き続き事業を実施し、健康づくりの意識向上に努める。															

## 3 若い世代の健康診査事業費（保健福祉部健康推進G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	2	2	1,096	1,096	901	826
目的			健康診査を受ける機会の少ない若い世代を対象に健康診査を実施することにより、生活習慣病の早期発見と疾病初期での早期治療を推進し、市民の健康の保持・増進を図ることを目的とする。			

事業内容及び実績	19～39歳の市民を対象に、健康診査を実施した。 【事業実績】											
	・健診内容 血液検査、尿検査、血圧測定、身体計測、体脂肪測定 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集団健診</td> <td>114人</td> <td>112人</td> <td>108人</td> </tr> <tr> <td>個別健診</td> <td>23人</td> <td>17人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	集団健診	114人	112人	108人	個別健診	23人	17人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度									
集団健診	114人	112人	108人									
個別健診	23人	17人										
今後の方向性	引き続き、受診者の増加に努める。											

#### 目4 環境衛生費 (予算説明書P97～P98)

##### 1 葬斎場運営管理経費 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
2	2	1	34,525	34,525	34,508	35,849								
目的			葬斎場の適切な運営管理を行うことにより、市民の利便性を維持することを目的とする。											
事業内容及び実績			指定管理委託により葬斎場の運営管理を行った。 【指定管理委託期間】 平成28年度～平成32年度 【事業実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火葬件数</td> <td>598件</td> <td>648件</td> <td>541件</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	火葬件数	598件	648件	541件
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
火葬件数	598件	648件	541件											
今後の方向性			指定管理者制度による民間の能力を活用して、住民サービスの向上と経費の削減を図る。											

##### 2 葬斎場中間改修事業費 (市民生活部市民サービスG)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
2	2	1	6,372	6,264	6,264	0								
目的			葬斎場の計画的な設備改修を行い、設備の機能維持を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			供用開始から13年を経過した葬斎場の長寿命化を図るため、施設・設備の計画的な改修を行った。 【改修箇所】 ・主燃焼炉耐火物積替 (3号炉) ・再燃焼炉耐火物積替 (3号炉) 【財源内訳】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,264</td> <td>4,600</td> <td>1,664</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	6,264	4,600	1,664
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
6,264	4,600	1,664												
今後の方向性			葬斎場の長寿命化を図るとともに、費用負担の平準化を図るため、施設・設備の計画的な改修を行う。											

3 墓地管理経費（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	2	1	5,236	5,236	4,676	4,699
目的			墓地の適切な維持管理を行うことにより、市民の利便性を維持することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>市内10カ所の墓地の維持管理及び周辺整備等を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈り（年3回、ただし、富岸墓地は年2回、中登別南墓地、カルルス墓地は年1回）</li> <li>・支障木の伐採</li> <li>・トイレ、水道の維持管理</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、利用者の利便性の向上に努める。			

4 墓参バス借上料（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
2	2	1	148	148	148	105								
目的			無料墓参バスを運行することにより、墓参者の利便性の向上を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>市街地から離れて位置する富浦墓地及び第二富浦墓地、亀田霊園への無料墓参バスを運行した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <p>運行日 8月13日（日）</p> <p>運行ルート</p> <p>富浦墓地・第二富浦墓地行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1ルート 美園・上鷺別・鷺別・新川・幌別・登別地区 主に国道36号線</li> <li>・第2ルート 若草・新生・桜木・片倉・富士・千歳地区 主に道道上登別室蘭線</li> </ul> <p>亀田霊園行</p> <p>イオン登別店前バス停～亀田霊園（市バス利用）</p> <p>墓参バスの利用者数（富浦墓地・亀田霊園行きの合計）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>78人</td> <td>70人</td> <td>76人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用者数	78人	70人	76人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
利用者数	78人	70人	76人											
今後の方向性			引き続き無料墓参バスを運行し、墓参者の利便性を確保する。											

5 合同墓整備事業費【新規】（市民生活部市民サービスG）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	2	1	2,673	2,565	2,565	0
目的			少子化や核家族化等の社会環境の変化に伴い、新たな埋蔵形態が求められていることから、将来にわたり安心して焼骨を埋蔵できる環境を整備することを目的とする。			

事業内容及び実績	合同墓の設置に向け、地質・測量調査及び実施設計を行った。		
	【財源内訳】		
	事業費	財源内訳	
	2,565	市債	一般財源
		2,500	65
今後の方向性	平成30年11月の供用開始を目指し、整備を進める。		

目5 公害対策費 (予算説明書 P97～P98)

【主要データ】

① 公害苦情発生件数の推移

(単位：件)

区分	総数	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	土壌汚染
H29年度	6	3		1		2	
H28年度	8	2	2	1		3	
H27年度	19	4	7	1		7	

1 公害対策経費 (市民生活部環境対策G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	1	1	1,272	1,272	1,133	1,152
目的			公害の発生を防止することにより、健康で住みよい生活環境を形成することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>市内の河川の水質調査、大気ダイオキシン類測定調査を実施した。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川水質調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>登別川、サト岡志別川 3回</li> <li>上記以外の9河川 2回</li> </ul> </li> <li>ダイオキシン類大気測定調査 2回</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、公害状況の調査を実施する。			

2 自動車騒音常時監視委託料 (市民生活部環境対策G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	1	1	2,528	2,528	2,409	2,376
目的			自動車騒音常時監視を円滑に行うことにより、沿線地域で生活する市民に直接影響のある市内の自動車騒音の実態を把握することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>道路に面する地域の自動車騒音や交通量等を測定し、これらの測定値から個別の住居等がどの程度影響を受けるかの評価(面的評価)を実施した。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>面的評価区間 3路線4区間 12.2km</li> </ul>			

今後の方向性	引き続き、沿線地域における自動車騒音調査を実施する。
--------	----------------------------

#### 第4款 衛生費 項2 清掃費

##### 目1 清掃総務費 (予算説明書P99～P100)

###### 1 衛生団体連合会運営事業助成金 (市民生活部環境対策G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	1	2	500	500	500	500
目的			公衆衛生の向上やリサイクルの啓発などに取組む団体の活動を支援することにより、きれいで住みよいまちづくりを進めるとともに、循環型社会の構築を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>ごみ減量やリサイクルに関する普及啓発、環境美化推進員(クリーンリーダー)の育成事業などを行う衛生団体連合会に対して、運営費の一部を助成した。</p> <p><b>【連合会の活動実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーン作戦の実施 (登別市連合町内会と共催) <ul style="list-style-type: none"> <li>春のクリーン作戦 4月16日(日)実施 燃やせないごみの回収量 3,470kg</li> <li>秋のクリーン作戦 10月15日(日)実施 燃やせないごみの回収量 2,070kg</li> </ul> </li> <li>・研修事業の実施 クリーンリーダー研修会等</li> <li>・衛団連だよりの発行 活動実績等を町内会に周知</li> <li>・表彰事業の実施 環境美化活動において、その功績が優れている個人6人を表彰</li> <li>・各種事業への参加 登別消費生活展、不法投棄・ポイ捨て・犬のふんの放置防止の街頭啓発、リサイクルまつり</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、同連合会の活動を支援する。			

###### 2 資源回収団体奨励金 (市民生活部環境対策G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	1	2	4,500	4,500	3,854	4,006
目的			資源の有効活用の促進及びごみ減量化の啓発を行うことにより、循環型社会の構築を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			新聞紙や段ボール、びんなど再商品化や再利用が可能な資源の回収を行う町内会や子ども会などの登録団体に対して、回収量に応じて奨励金を支給した。			



	<b>【事業実績】</b>			
	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	実施団体数	87団体	85団体	85団体
	回収量	1,285 t	1,336 t	1,366 t
今後の方向性	引き続き、資源回収団体に対し、奨励金を支給する。			

### 3 ごみ減量化推進等経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	1	2	34,295	29,991	29,451	29,425
目的			ごみの減量化及び循環型社会の実現を図ることを目的とする。			
今後の方向性			<p>引き続き、ごみの減量化や資源再利用の促進、ごみステーション周辺の生活環境の維持に努める。</p> <p>なお、リサイクル・啓発経費のうち、不用品ダイヤル市については、成立件数が減少傾向にあることなどから、平成29年度をもって終了とした。</p> <p>また、ごみステーションネット化推進事業補助金については、事業の目的を一定程度達成できたと判断されることから、平成30年度をもって終了する。</p>			

#### ○ごみ袋管理経費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額															
	33,469	29,165	28,745	28,691															
事業内容及び実績	<p>家庭系ごみの有料化に要するごみ袋の製作、ごみ袋の保管、取扱店への搬送等を行った。</p> <p><b>【製作枚数】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>40リットル</th> <th>30リットル</th> <th>20リットル</th> <th>10リットル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可燃用ごみ袋</td> <td>420,000枚</td> <td>630,000枚</td> <td>495,000枚</td> <td>210,000枚</td> </tr> <tr> <td>不燃用ごみ袋</td> <td>15,000枚</td> <td>12,000枚</td> <td>0枚</td> <td>27,000枚</td> </tr> </tbody> </table>				区分	40リットル	30リットル	20リットル	10リットル	可燃用ごみ袋	420,000枚	630,000枚	495,000枚	210,000枚	不燃用ごみ袋	15,000枚	12,000枚	0枚	27,000枚
区分	40リットル	30リットル	20リットル	10リットル															
可燃用ごみ袋	420,000枚	630,000枚	495,000枚	210,000枚															
不燃用ごみ袋	15,000枚	12,000枚	0枚	27,000枚															

#### ○リサイクル・啓発経費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																				
	722	722	654	654																				
事業内容及び実績	<p>びんやペットボトルの再商品化を行うほか、不用品ダイヤル市を実施した。</p> <p>・不用品ダイヤル市 登録件数118件 成立件数67件</p> <p><b>【リサイクル量等】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>びん</td> <td>512 t</td> <td>552 t</td> <td>601 t</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル</td> <td>142 t</td> <td>124 t</td> <td>137 t</td> </tr> <tr> <td>小型家電回収量</td> <td>54.9 t</td> <td>55.5 t</td> <td>57.2 t</td> </tr> <tr> <td>パソコン回収量</td> <td>7.7 t</td> <td>8.0 t</td> <td>8.4 t</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	びん	512 t	552 t	601 t	ペットボトル	142 t	124 t	137 t	小型家電回収量	54.9 t	55.5 t	57.2 t	パソコン回収量	7.7 t	8.0 t	8.4 t
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																					
びん	512 t	552 t	601 t																					
ペットボトル	142 t	124 t	137 t																					
小型家電回収量	54.9 t	55.5 t	57.2 t																					
パソコン回収量	7.7 t	8.0 t	8.4 t																					

○ごみステーションネット化推進事業補助金

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	104	104	52	80
事業内容及び実績	<p>ごみステーション周辺の生活環境維持及びごみ収集の効率化を図るため、ごみステーションをネット化する町内会に助成を行う衛生団体連合会に対して、助成に要する経費を補助した。</p> <p><b>【連合会の活動実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成町内会 14町内会</li> <li>・助成枚数 40枚（1枚あたり1,300円助成）</li> </ul>			

4 リサイクルまつり開催経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	1	2	73	73	69	56
目的			ごみの減量化やリサイクルに関する普及啓発を行うことにより、循環型社会の構築を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>リサイクルまつりを開催した。</p> <p><b>【開催内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 7月2日（日）</li> <li>・会場 クリソルセンター</li> <li>・来場者数 約2,000人</li> <li>・イベント内容 フリーマーケット、堆肥化製品の無料配布、電気自動車の展示・試乗会、スプレー缶の穴開け体験など</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、ごみの減量やリサイクル意識向上に資するイベントを実施する。			

5 不法投棄等防止経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	1	2	244	244	132	146
目的			廃棄物の不法投棄等の防止啓発、不法投棄廃棄物の回収等を行うことにより、良好な生活環境を維持し、きれいで住みよいまちづくりを進めることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>不法投棄の防止に関する街頭啓発、不法投棄防止パトロールを実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民への街頭啓発活動 室蘭警察署、登別市衛生団体連合会との合同による街頭（市内3か所）での不法投棄・ポイ捨て・犬のふんの放置防止の啓発を実施 開催日 6月8日（木） 会場 イオン登別店 ショッピングセンターアーニス コープさっぽろのぼりべつ東店</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄防止パトロール（夜間・早朝） 不法投棄多発地域を室蘭警察署及び陸上自衛隊幌別駐屯地の協力を得て重点的に実施した。 実施日時 5月30日（火）午後6時30分～8時00分 5月31日（水）午前6時00分～7時00分</li> <li>随時パトロール 毎週月曜日に不法投棄多発地域を重点的に実施した。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>平成29年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>不法投棄件数</td> <td>20件</td> <td>26件</td> <td>33件</td> </tr> </table>	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	不法投棄件数	20件	26件	33件
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
不法投棄件数	20件	26件	33件						
今後の方向性	引き続き、不法投棄の防止活動を行う。								

6 一般廃棄物（生活排水）処理基本計画改定業務委託料【新規】  
（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	1	2	1,988	1,836	1,836	0
目的			生活排水処理に関する計画を整備し、生活排水等の適正処理や施設の適切な管理を行うことにより、良好な生活環境を維持することを目的とする。			
事業内容及び実績			中登別町の下水道計画区域における個別排水処理施設事業の実施に伴い、一般廃棄物（生活排水）処理基本計画を改定した。			

目2 塵芥収集費（予算説明書P99～P100）

1 塵芥収集運搬業務委託料（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
2	1	2	129,212	129,212	129,212	129,212								
目的			家庭ごみの収集を効率的に実施することにより、適正なごみ処理を行い、良好な生活環境の維持を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>家庭から出される「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」「粗大ごみ」「有害ごみ」の収集・運搬業務を、民間事業者への委託により実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>平成29年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>ごみステーション数</td> <td>1,719か所</td> <td>1,708か所</td> <td>1,694か所</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃やせるごみ・燃やせないごみ等収集運搬業務 収集運搬日数：310日 収集運搬車両：5台</li> <li>資源ごみ・粗大ごみ収集運搬業務 収集運搬日数：309日 収集運搬車両：2台</li> </ul>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	ごみステーション数	1,719か所	1,708か所	1,694か所
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
ごみステーション数	1,719か所	1,708か所	1,694か所											
今後の方向性			引き続き、家庭ごみの収集・運搬を民間事業者への委託により実施する。											

目3 塵芥処理費 (予算説明書P99～P100)

1 クリnulセンター運営管理経費・最終処分場運営管理経費  
(市民生活部環境対策G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																																																									
2	1	2	643,351	639,338	632,888	614,610																																																									
目的			クリnulセンター及び廃棄物管理型最終処分場等で廃棄物の適正な処理を行うことにより、生活環境の保全及び循環型社会の構築を図ることを目的とする。																																																												
事業内容及び実績			<p>クリnulセンター及び廃棄物管理型最終処分場等において廃棄物の適正な処理等を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b>                      クリnulセンター運営管理経費 588,073千円                      最終処分場運営管理経費 44,815千円                      ・クリnulセンター年間処理実績(登別市+白老町)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>焼却処理施設(燃やせるごみ、破碎可燃物等、汚泥)</td> <td>24,244.53 t</td> <td>24,768.82 t</td> <td>25,579.85 t</td> </tr> <tr> <td>破碎処理施設(燃やせないごみ、粗大ごみ)</td> <td>2,008.85 t</td> <td>1,967.25 t</td> <td>2,029.21 t</td> </tr> <tr> <td>資源化施設(資源ごみ)</td> <td>1,501.43 t</td> <td>1,518.55 t</td> <td>1,545.67 t</td> </tr> <tr> <td>高速堆肥化処理施設(事業系生ごみ)</td> <td>569.99 t</td> <td>556.28 t</td> <td>541.20 t</td> </tr> <tr> <td>堆肥生産量</td> <td>24.38 t</td> <td>31.30 t</td> <td>40.35 t</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">再生展示施設</td> <td>展示数</td> <td>135点</td> <td>137点</td> <td>129点</td> </tr> <tr> <td>提供数</td> <td>118点</td> <td>116点</td> <td>114点</td> </tr> <tr> <td>施設見学・施設利用者数</td> <td>2,172人</td> <td>2,677人</td> <td>2,993人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・廃棄物管理型最終処分場年間埋立実績(登別市)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>焼却残さ</td> <td>1,597.97 t</td> <td>1,610.91 t</td> <td>1,715.88 t</td> </tr> <tr> <td>破碎残さ</td> <td>305.71 t</td> <td>293.47 t</td> <td>284.27 t</td> </tr> <tr> <td>資源化残さ</td> <td>120.92 t</td> <td>123.74 t</td> <td>111.15 t</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,024.60 t</td> <td>2,028.12 t</td> <td>2,111.30 t</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	焼却処理施設(燃やせるごみ、破碎可燃物等、汚泥)	24,244.53 t	24,768.82 t	25,579.85 t	破碎処理施設(燃やせないごみ、粗大ごみ)	2,008.85 t	1,967.25 t	2,029.21 t	資源化施設(資源ごみ)	1,501.43 t	1,518.55 t	1,545.67 t	高速堆肥化処理施設(事業系生ごみ)	569.99 t	556.28 t	541.20 t	堆肥生産量	24.38 t	31.30 t	40.35 t	再生展示施設	展示数	135点	137点	129点	提供数	118点	116点	114点	施設見学・施設利用者数	2,172人	2,677人	2,993人	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	焼却残さ	1,597.97 t	1,610.91 t	1,715.88 t	破碎残さ	305.71 t	293.47 t	284.27 t	資源化残さ	120.92 t	123.74 t	111.15 t	計	2,024.60 t	2,028.12 t	2,111.30 t
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																												
焼却処理施設(燃やせるごみ、破碎可燃物等、汚泥)	24,244.53 t	24,768.82 t	25,579.85 t																																																												
破碎処理施設(燃やせないごみ、粗大ごみ)	2,008.85 t	1,967.25 t	2,029.21 t																																																												
資源化施設(資源ごみ)	1,501.43 t	1,518.55 t	1,545.67 t																																																												
高速堆肥化処理施設(事業系生ごみ)	569.99 t	556.28 t	541.20 t																																																												
堆肥生産量	24.38 t	31.30 t	40.35 t																																																												
再生展示施設	展示数	135点	137点	129点																																																											
	提供数	118点	116点	114点																																																											
施設見学・施設利用者数	2,172人	2,677人	2,993人																																																												
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																																												
焼却残さ	1,597.97 t	1,610.91 t	1,715.88 t																																																												
破碎残さ	305.71 t	293.47 t	284.27 t																																																												
資源化残さ	120.92 t	123.74 t	111.15 t																																																												
計	2,024.60 t	2,028.12 t	2,111.30 t																																																												
今後の方向性			引き続き、クリnulセンター及び廃棄物管理型最終処分場等の効率的かつ適切な維持管理を行い、廃棄物の適正処理に努める。																																																												

2 クリnulセンター中間改修事業費(市民生活部環境対策G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	1	2	207,177	210,384	210,384	241,953
目的			クリnulセンター長寿命化のための計画的な改修を行うことにより、効率的なごみ処理を推進することを目的とする。			

事業内容及び実績	供用開始から18年が経過したクリンクルセンターについて、長寿命化計画に基づき改修を行った。 <b>【事業実績（工事内容）】</b> ・焼却処理施設改修工事 175,824千円 ・破碎・資源化処理施設改修工事 34,560千円 <b>【財源内訳】</b>										
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>諸収入</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>210,384</td> <td>186,400</td> <td>5,726</td> <td>18,258</td> </tr> </table>	事業費	財源内訳			市債	諸収入	一般財源	210,384	186,400	5,726
事業費	財源内訳										
	市債	諸収入	一般財源								
210,384	186,400	5,726	18,258								
今後の方向性	引き続き、焼却処理施設及び破碎・資源化処理施設の計画的な改修を行う。										

### 3 最終処分場整備事業費【新規】（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
2	1	2	19,311	17,950	17,950	0								
目的			廃棄物管理型最終処分場の施設機能の維持を図ることにより、廃棄物の適正な処分を行うことを目的とする。											
事業内容及び実績			供用開始から18年目を迎え、経年劣化が見られる廃棄物管理型最終処分場浸出水処理施設の電気計装設備について、改修工事を実施した。 <b>【財源内訳】</b>											
			<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> <tr> <td>17,950</td> <td>13,400</td> <td>4,550</td> </tr> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	17,950	13,400	4,550
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
17,950	13,400	4,550												

## 目4 し尿処理費（予算説明書P101～P102）

### 1 し尿収集業務委託料（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																							
2	1	3	34,971	34,971	34,938	34,884																							
目的			し尿収集を効率的に実施することにより、し尿収集世帯の良好な生活環境の維持を図ることを目的とする。																										
事業内容及び実績			し尿収集運搬業務を民間事業者への委託により実施した。 <b>【事業実績】</b>																										
			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>汲取り戸数</th> <th>汲取り人口</th> <th>収集量</th> <th>1戸あたり収集量</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">処理対象</td> <td>一般家庭</td> <td>1,533戸</td> <td>2,817人</td> <td>3,138kℓ</td> <td>2,046ℓ/年</td> </tr> <tr> <td>事業所</td> <td>187戸</td> <td></td> <td>1,334kℓ</td> <td>7,133ℓ/年</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,720戸</td> <td>2,817人</td> <td>4,472kℓ</td> <td>2,600ℓ/年</td> </tr> </table>				区分		汲取り戸数	汲取り人口	収集量	1戸あたり収集量	処理対象	一般家庭	1,533戸	2,817人	3,138kℓ	2,046ℓ/年	事業所	187戸		1,334kℓ	7,133ℓ/年	計		1,720戸	2,817人	4,472kℓ	2,600ℓ/年
区分		汲取り戸数	汲取り人口	収集量	1戸あたり収集量																								
処理対象	一般家庭	1,533戸	2,817人	3,138kℓ	2,046ℓ/年																								
	事業所	187戸		1,334kℓ	7,133ℓ/年																								
計		1,720戸	2,817人	4,472kℓ	2,600ℓ/年																								
今後の方向性			引き続き、し尿収集を民間事業者への委託により実施する。																										

2 し尿投入施設維持管理経費（市民生活部環境対策G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	1	3	48,775	48,775	44,566	46,512
目的			し尿及び浄化槽汚泥を下水道で処理するための前処理を行うし尿投入施設の維持管理を行い、生活排水の適正な処理を行うことにより、良好な生活環境の維持を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			し尿投入施設の維持管理に要する経費を下水道事業会計に対し、負担金として支出した。			
今後の方向性			引き続き、し尿投入施設の効率的かつ適正な維持管理を行い、生活排水の適正処理に努める。			

## 第5款 労働費 項1 労働諸費

### 【主要データ】

#### ①登別市の労働力調査

区分	平成27年度	平成22年度	平成17年度
就業者数	21,048人	21,938人	23,026人
労働力人口	22,277人	23,996人	25,146人
完全失業者	1,229人	2,058人	2,120人
完全失業率	5.52%	8.58%	8.43%

※労働力人口とは、15歳以上の者で、就業者及び完全失業者（就業希望し、求職活動をしているが仕事についていない者）の総数をいう。

#### ②高卒就職状況の推移

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
就職希望者数	62人	48人	41人
就職者数	60人	48人	41人
就職達成率	96.8%	100.0%	100.0%

#### ③有効求人倍率

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
全国	1.39	1.26	1.11
全道	1.11	1.04	0.97
室蘭	1.37	1.25	1.14

※年度の平均値（小数点第3位以下四捨五入）

### 目1 労働諸費（予算説明書P103～P104）

#### 1 登別市シルバー人材センター補助金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
1	1	2	8,800	8,800	8,800	8,800												
目的			公益社団法人登別市シルバー人材センターの運営を支援し、高齢者の就業機会の確保や生きがいの充実、社会参加を促進することにより、高齢者の能力を生かした活力のある地域社会づくりを図ることを目的とする。															
事業内容及び実績			就業の場を確保し、提供するなど高齢者事業を推進する同センターに対し、運営費の一部を補助することにより、高齢者の就業機会確保や社会参加の促進が図られた。 <b>【事業実績】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度末会員数</td> <td>390人</td> <td>394人</td> <td>378人</td> </tr> <tr> <td>受注件数 (請負及び派遣)</td> <td>2,282件</td> <td>2,499件</td> <td>2,435件</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	年度末会員数	390人	394人	378人	受注件数 (請負及び派遣)	2,282件	2,499件	2,435件
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
年度末会員数	390人	394人	378人															
受注件数 (請負及び派遣)	2,282件	2,499件	2,435件															
今後の方向性			引き続き、同センターの活動を支援する。															

2 高校生就職フォローアップ事業費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																																												
3	1	2	172	172	157	157																																												
目的			進路選択を控えた高校生に、就職応援講座や就業体験などを支援することで、勤労観や職業観の醸成を図ることを目的とする。																																															
事業内容及び実績			<p>登別市・室蘭市・伊達市の三市合同で、就業の適性把握や就職活動の心構えなどの就職応援講座等を実施した。</p> <p>また、市内の高校に在学する生徒を対象に、高校やハローワーク、商工会議所などの関係機関と連携し、地元企業の協力を得ながらインターンシップ事業（就業体験）を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校3年生向け就職応援講座 3日（3会場）開催 （職業興味検査、就職活動の心構え、個別・集団面接等）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>64人</td> <td>71人</td> <td>46人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校2年生向けキャリア教育講座 3日（3会場）開催 （基礎知識セミナー、職業興味検査等）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>82人</td> <td>76人</td> <td>43人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ事業</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般企業</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  受入企業数</td> <td>41社</td> <td>24社</td> <td>32社</td> </tr> <tr> <td>  参加人数</td> <td>89人</td> <td>61人</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>看護体験</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  受入病院数</td> <td>7病院</td> <td>6病院</td> <td>5病院</td> </tr> <tr> <td>  参加人数</td> <td>34人</td> <td>19人</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	参加人数	64人	71人	46人	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	参加人数	82人	76人	43人	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	一般企業				受入企業数	41社	24社	32社	参加人数	89人	61人	96人	看護体験				受入病院数	7病院	6病院	5病院	参加人数	34人	19人	18人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																															
参加人数	64人	71人	46人																																															
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																															
参加人数	82人	76人	43人																																															
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																															
一般企業																																																		
受入企業数	41社	24社	32社																																															
参加人数	89人	61人	96人																																															
看護体験																																																		
受入病院数	7病院	6病院	5病院																																															
参加人数	34人	19人	18人																																															
今後の方向性			継続して事業を実施する。																																															

3 雇用対策救済事業費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	2	27,547	27,547	24,401	22,275
目的			季節労働者の通年雇用化を促進するとともに、冬期就業の機会を確保し、就労の安定を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			公共施設の清掃（通年）及び除雪等（冬季）の業務を季節労働者等で組織する企業組合に委託することにより、季節労働者等の安定した就労に取り組んだ。			



	<b>【事業実績】</b>			
	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	公共施設清掃分			
	延べ人工	4,155人工	4,371人工	4,464人工
	実人数	40人	42人	46人
	冬季除雪等分			
	延べ人工	657人工	609人工	520人工
実人数	55人	67人	58人	
今後の方向性	継続して事業を実施する。			

4 地域職業相談室運営管理経費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
3	1	2	2,613	2,613	2,580	2,539												
目的			求職活動を行う市民に職業紹介や職業相談を実施することにより、その利便性向上と就職の促進を図ることを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>登別中央ショッピングセンター・アーニスの2階に設置した登別市地域職業相談室（ジョブガイドのぼりべつ）の管理運営を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>平成29年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>9,906人</td> <td>11,240人</td> <td>11,659人</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>3,175件</td> <td>3,562件</td> <td>3,148件</td> </tr> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用者数	9,906人	11,240人	11,659人	相談件数	3,175件	3,562件	3,148件
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
利用者数	9,906人	11,240人	11,659人															
相談件数	3,175件	3,562件	3,148件															
今後の方向性			引き続き、ハローワーク室蘭と連携し、地域職業相談室を運営する。															

5 若年者等キャリアカウンセリング事業費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																				
3	1	2	3,759	3,759	3,759	3,770																				
目的			若年者等が就職活動等で抱える不安や悩みなどを解消し、自主的・積極的に就職活動ができるよう支援することを目的とする。																							
事業内容及び実績			<p>就職を希望する若年者や未就職卒業者等を対象に、キャリアカウンセラーによる個別の相談やセミナーを実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>平成29年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>個別相談人数</td> <td>171人</td> <td>132人</td> <td>189人</td> </tr> <tr> <td>個別相談回数</td> <td>延べ184回</td> <td>延べ134回</td> <td>延べ204回</td> </tr> <tr> <td>就職支援セミナー</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>セミナー参加人数</td> <td>6人</td> <td>8人</td> <td>7人</td> </tr> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	個別相談人数	171人	132人	189人	個別相談回数	延べ184回	延べ134回	延べ204回	就職支援セミナー	6回	6回	6回	セミナー参加人数	6人	8人	7人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																							
個別相談人数	171人	132人	189人																							
個別相談回数	延べ184回	延べ134回	延べ204回																							
就職支援セミナー	6回	6回	6回																							
セミナー参加人数	6人	8人	7人																							
今後の方向性			継続して事業を実施する。																							

6 労働相談事業助成金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
3	1	2	1,000	1,000	1,000	1,000								
目的			労働問題を抱える市民の相談に応じ、適切な助言や指導等を行うことにより、労働環境の改善及び雇用の安定確保等を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			連合北海道登別地区連合会が行う労働相談事業に対して、実施に要する経費の一部を助成した。 <b>【事業実績】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>労働相談件数</td> <td>9件</td> <td>9件</td> <td>12件</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	労働相談件数	9件	9件	12件
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
労働相談件数	9件	9件	12件											
今後の方向性			労働相談体制の充実を図るため、継続して事業を実施する。											

7 勤労者特別融資積立金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																																		
3	1	2	12,000	12,000	6,000	6,000																																		
目的			市内に居住する勤労者に対して、生活上必要な資金を低利で融資することにより、勤労者の生活の安定と福祉の向上を図ることを目的とする。																																					
事業内容及び実績			市内に居住する勤労者が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を北海道労働金庫に預託した。 <b>【事業実績】</b> (単位：件、千円) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">融資実績</th> <th>第1四半期</th> <th>第2四半期</th> <th>第3四半期</th> <th>第4四半期</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>4～6月</th> <th>7～9月</th> <th>10～12月</th> <th>1～3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規融資件数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>新規融資額</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>500</td> <td>0</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>償還額</td> <td>329</td> <td>269</td> <td>202</td> <td>238</td> <td>1,038</td> </tr> <tr> <td>四半期融資残高</td> <td>5,601</td> <td>5,332</td> <td>5,630</td> <td>5,392</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				融資実績	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	新規融資件数	0	0	1	0	1	新規融資額	0	0	500	0	500	償還額	329	269	202	238	1,038	四半期融資残高	5,601	5,332	5,630	5,392	
融資実績	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計																																			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月																																				
新規融資件数	0	0	1	0	1																																			
新規融資額	0	0	500	0	500																																			
償還額	329	269	202	238	1,038																																			
四半期融資残高	5,601	5,332	5,630	5,392																																				
今後の方向性			融資制度を継続する。																																					

目4 職業訓練センター費（予算説明書P103～P104）

1 事業内職業訓練助成金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	2	2,100	2,100	2,100	2,100
目的			登別職業訓練協会が実施する職業能力開発推進法に基づく認定職業訓練を支援することにより、地域の企業で働く技能労働者の育成を図ることを目的とする。			

<p>事業内容及び実績</p>	<p>事業内職業訓練事業を実施する同協会に対し、当該職業訓練の実施に要する経費の一部を助成した。</p> <p><b>【協会の活動実績】</b>  (職業訓練課程)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年間 木造建築科、建築板金科、建築塗装科  建築設計科</li> <li>・ 1年間 経理事務科、OAシステム科</li> </ul> <table border="1" data-bbox="630 465 1444 739"> <thead> <tr> <th>受講者数</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木造建築科</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>建築板金科</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>建築塗装科</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>建築設計科</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>経理事務科</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>OAシステム科</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	受講者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度	木造建築科	0人	0人	0人	建築板金科	4人	3人	2人	建築塗装科	0人	0人	0人	建築設計科	0人	0人	0人	経理事務科	0人	0人	0人	OAシステム科	0人	0人	0人
受講者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度																										
木造建築科	0人	0人	0人																										
建築板金科	4人	3人	2人																										
建築塗装科	0人	0人	0人																										
建築設計科	0人	0人	0人																										
経理事務科	0人	0人	0人																										
OAシステム科	0人	0人	0人																										
<p>今後の方向性</p>	<p>技能や技術の継承を図るため、継続して支援する。</p>																												

## 第6款 農林水産業費 項1 農業費

### 【主要データ】

#### ①専業・兼業別農家数（農林業センサス）

区分	総数	専業		第1種兼業		第2種兼業	
		実数	割合	実数	割合	実数	割合
2015年	31	18	58.1%	5	16.1%	8	25.8%
2010年	37	17	46.0%	7	18.9%	13	35.1%

※第1種兼業農家：農業所得を主とする兼業農家

※第2種兼業農家：農業所得を従とする兼業農家

### 目2 農業総務費（予算説明書P105～P106）

#### 1 傷病鳥獣等保護経費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	2	1	105	105	100	76
目的			病気やケガをしている野生鳥獣等を保護し、自然に帰すことにより、豊かな自然環境の形成を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			鳥獣等の知識を有する団体に業務を委託し、市民からの通報等により発見した傷病鳥獣等を保護し、自然に帰した。 <b>【事業実績】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護頭(羽)数 9頭(羽)</li> <li>・出動回数 9回</li> <li>・保護鳥獣 野鳥、野生の小動物等</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、傷病鳥獣等を現場の状況に応じて適正に保護するとともに、豊かな自然環境の形成を図っていく。			

#### 2 有害鳥獣駆除経費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																								
3	2	1	4,134	4,134	3,996	3,484																								
目的			有害鳥獣による農林業及び生活環境被害を最小限に食い止めることにより、農林業の振興及び生活環境の維持を図ることを目的とする。																											
事業内容及び実績			市民からの被害及び苦情相談に基づき、有害鳥獣を駆除したほか、ヒグマの出没による罠の設置及び注意喚起を実施した。 <b>【事業実績】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>駆除数</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エゾシカ</td> <td>234頭</td> <td>225頭</td> <td>228頭</td> </tr> <tr> <td>アライグマ</td> <td>270頭</td> <td>228頭</td> <td>182頭</td> </tr> <tr> <td>キツネ</td> <td>29頭</td> <td>15頭</td> <td>10頭</td> </tr> <tr> <td>カラス</td> <td>125羽</td> <td>321羽</td> <td>185羽</td> </tr> <tr> <td>タヌキ</td> <td>118頭</td> <td>69頭</td> <td>35頭</td> </tr> </tbody> </table>				駆除数	平成29年度	平成28年度	平成27年度	エゾシカ	234頭	225頭	228頭	アライグマ	270頭	228頭	182頭	キツネ	29頭	15頭	10頭	カラス	125羽	321羽	185羽	タヌキ	118頭	69頭	35頭
駆除数	平成29年度	平成28年度	平成27年度																											
エゾシカ	234頭	225頭	228頭																											
アライグマ	270頭	228頭	182頭																											
キツネ	29頭	15頭	10頭																											
カラス	125羽	321羽	185羽																											
タヌキ	118頭	69頭	35頭																											

今後の方向性	市民からの被害相談に対応するほか、有害鳥獣の駆除により個体数の適正化を図るなど、引き続き、被害の防止に努める。
--------	---

### 3 農業振興特別補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	741	741	741	1,099
目的			土地改良事業に係る農業者の経済的負担を軽減することにより、土地改良事業を円滑に推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			平成3年以降に実施した土地改良事業（道営農免農道整備事業）に係る受益者負担金相当分を農業者等に補助した。			
今後の方向性			債務負担行為に基づき、償還が終了する平成30年度まで補助を継続する。			

### 4 青年就農給付金（経営開始型）（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	2,250	2,250	2,250	2,250
目的			一定の条件を満たす新規青年就農者に対し、就農直後の所得を確保する給付金を給付することにより、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			地域の農業者が策定した「人・農地プラン」において中心経営体と位置付けられた新規青年就農者に対して、国の制度を活用し、給付金を給付した。 【給付実績】 ・対象者：2人（夫婦で受給） ・給付額：2,250千円			
今後の方向性			給付金の給付を行うことにより、新規青年就農者の確保と定着を図っていく。			

### 5 登別産一次産品普及促進事業費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	349	349	146	416
目的			市内で生産される農水産物の地域内における流通や消費の促進を図り、地域の食材としての認知度を高め、一次産品の価値を高めることを目的とする。			
事業内容及び実績			市内で生産される牛乳や乳製品、登別牛、のぼりべつ豚などの一次産品を対象に、生産者等と協力して、市内で実施されるイベント等でPRするほか、市内の宿泊施設や飲食店での利用促進を図った。			
今後の方向性			引き続き生産者等と協力して、市内の宿泊施設や飲食店での利用促進を図っていく。			

目3 畜産費 (予算説明書P105～P106)

1 胆振西部乳牛検定組合補助金 (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	429	429	429	429
目的			乳質改善に取り組む団体の活動を支援することにより、乳質及び生産乳量の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			乳牛能力検定事業を実施する胆振西部乳牛検定組合に対して、運営費の一部を補助した。 <b>【事業実績】</b> ・組合加入農家 6戸 ・1頭当たり生産乳量 8,461kg ・検定頭数 2,814頭			
今後の方向性			検定成績を活用することで、乳質の向上と生産乳量の高い優良牛の確保を図っていく。			

2 酪農ヘルパー事業運営補助金 (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	668	668	668	672
目的			酪農ヘルパーの普及に取り組む団体を支援することにより、酪農経営の安定的な発展と酪農家の生活環境の改善を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			酪農ヘルパー事業の普及、ヘルパー要員の研修・確保を行う伊達市酪農ヘルパー利用組合に対して、運営費の一部を補助した。 <b>【事業実績】</b> ・加入農家数 9戸 ・利用延べ回数 223回			
今後の方向性			酪農ヘルパーの利用を促進することにより、定期的休暇の取得を図り、畜産経営の進展を目指す。			

3 牧場管理経費 (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	1,550	1,550	1,545	1,426
目的			市内酪農家の育成牛の預託を受け入れることにより、乳牛の飼養管理、畜産農家の労働の省力化を図り、もって乳牛品質の向上及び畜産農家の生活環境の改善を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			指定管理委託により、市牧場(鉾山町)の草地の維持管理等を行うとともに、草地不足の酪農家の育成牛などの受け入れを行った。 <b>【事業実績】</b> ・受入延頭数 2,969頭 ・指定管理委託期間 平成28年度～平成32年度			

今後の方向性	市牧場の利用拡大を推進し、ゆとりある畜産経営の確立を目指す。また、利用の促進を図るため、指定管理者とともに市内酪農家への利用の働きかけを行っていく。
--------	--

#### 4 草地生産力向上支援特別対策事業費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	8,335	8,335	6,526	5,896
目的			草地整備を計画的に進め、良質粗飼料の確保と飼料自給率の向上により、生産性の高い畜産経営の育成及び安定を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			草地畜産基盤整備事業（畜産担い手育成総合整備型）再編整備事業の「西いぶり地区」として参加する市内農家に対して、草地整備に係る事業費の一部を補助した。 <b>【事業実績】</b> ・実施農家 6戸 ・整備面積 18.87ha			
今後の方向性			計画された草地の整備が完了する平成30年度まで引き続き補助を行う。			

### 目4 農地費（予算説明書P105～P106）

#### 1 農業用施設等管理経費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	649	649	518	631
目的			農業用施設を適切に維持管理することにより、農業者や地域住民の生活環境の改善、農業基盤の充実を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			農業用通路や農業用排水路の修繕等を行った。 <b>【事業実績】</b> ・農業用通路修繕 2か所 ・農業用排水路修繕 2か所			
今後の方向性			農業者の経営基盤の充実や地域住民の生活環境の改善を図る。			

### 目5 中山間地域対策費（予算説明書P107～P108）

#### 1 中山間地域等直接支払交付金・中山間地域等直接支払推進事務費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	1,874	1,874	1,874	1,874
目的			農業生産条件が不利な中山間地域の耕作放棄地の発生を防止し、農地の多目的機能を確保することを目的とする。			

事業内容及び実績	<p>中山間地域等直接支払交付金事業を実施し、市牧場を利用する農業者で構成する集落（団体）に対して、交付金を交付した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付対象 集落1か所</li> <li>・交付集落における実施事業 草地の維持管理活動、雨水による草地流亡の補修、家畜伝染病蔓延防止対策など</li> </ul>
今後の方向性	<p>集落協定に基づく急傾斜農地保全のための活動に対して、引き続き国や北海道とともに支援していく。</p>

## 目 6 札内高原館費 （予算説明書 P 107～ P 108）

### 1 札内高原館運営管理経費（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
3	2	1	5,550	5,550	5,486	6,041												
目的			<p>体験学習及びコミュニティ活動を通して農業に対する市民の知識及び理解を深めることにより、地域農業の振興を図ることを目的とする。</p>															
事業内容及び実績			<p>運営管理を指定管理者に委託し、農産物加工に関する体験学習メニューを提供したほか、体育館等を札内地区のコミュニティの場として開放した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用者数</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体験学習</td> <td>224人</td> <td>139人</td> <td>271人</td> </tr> <tr> <td>体育館開放</td> <td>2,260人</td> <td>2,588人</td> <td>2,821人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験学習メニューの提供 (バターづくり、アイスクリームづくり)</li> <li>・体育館等の開放</li> <li>・地場農畜産物等のPRイベント</li> </ul> <p>(運営方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理委託期間 平成27年度～平成29年度</li> </ul>				利用者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度	体験学習	224人	139人	271人	体育館開放	2,260人	2,588人	2,821人
利用者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
体験学習	224人	139人	271人															
体育館開放	2,260人	2,588人	2,821人															
今後の方向性			<p>体験学習やコミュニティ施設の利用促進に向け、引き続き指定管理者と連携し、札内高原館の運営に取り組む。</p>															



## 第6款 農林水産業費 項2 林業費

### 目1 林業振興費 (予算説明書P109～P110)

#### 1 民有林造林推進事業補助金 (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	2	1	2,991	2,991	1,629	1,420
目的			民有林の所有者が実施する植栽、下刈等の活動を支援することにより、森林の荒廃防止や多面的機能の維持、森林資源の充実を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			民有林造林事業のうち、国、北海道から補助を受けた植栽、下刈、間伐等事業を対象に、事業費の一部を補助した。 【事業実績】 ・植栽面積：0ha ・下刈面積：22.22ha			
今後の方向性			民有林に係る下刈等の活動を支援することにより、民有林の造林事業を推進する。			

#### 2 森林愛護啓蒙事業補助金 (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	2	1	107	107	107	107
目的			山火事及び遭難防止、入山者のマナー啓発等の活動を行う団体を支援することにより、森林の保護及び森林に関連した事故の防止を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			森林愛護組合連合会が行う、山火事及び遭難防止の巡視活動、チラシの配布や旗の設置による啓発等の事業に対し、その経費の一部を補助した。 【同連合会の事業内容】 ・山火事注意啓発用の旗等の設置 ・入山者に対する啓発巡視及びチラシの配布			
今後の方向性			引き続き、同連合会が行う活動を支援する。			

#### 3 林業振興経費 (観光経済部農林水産G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	1	815	815	791	677
目的			急傾斜地の保護などを行うことにより、地域住民の安全確保及び生活環境の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			森林の保護や治山施設の効果を高めるため、治山施設の点検と維持補修、保安林の保護等を行った。 【事業実績】 ・治山施設の維持補修、保安林内支障立木の枝払い			
今後の方向性			引き続き、治山施設及び保安林の維持管理を行い、治山施設等の機能保全に取り組む。			

## 第6款 農林水産業費 項3 水産業費

### 【主要データ】

#### ① 漁業経営実態の推移

(各年12月末現在)

区分	動力漁船	経営体数	漁業従事者数	漁獲高	水揚高
平成29年	65隻	38戸	94人	3,097トン	949,635千円
平成28年	67隻	38戸	95人	3,012トン	893,449千円
平成27年	67隻	37戸	95人	5,453トン	1,190,916千円

### 目1 水産業総務費 (予算説明書P111～P112)

#### 1 地場水産物消費拡大(登別漁港まつり)事業補助金(観光経済部農林水産G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	300	300	300	300
目的			いぶり中央漁業協同組合が行う地場水産物のPR事業等を支援することにより、地場水産物の消費拡大や地産地消の推進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			登別漁港まつりにおいて、同協同組合が登別漁港産水産物の消費拡大やPRのため実施する「朝揚げ鮭の抽選即売会」に要する経費の一部を補助した。			
今後の方向性			引き続き、同協同組合が行う「朝揚げ鮭の抽選即売会」を支援する。			

#### 2 登別救難所運営事業補助金(観光経済部農林水産G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	250	250	250	250
目的			登別救難所の活動を支援することにより、安全な漁業活動の推進を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			海難事故の防止啓発や海難事故発生時の救助活動を行う同救難所に対して、運営に要する経費の一部を補助した。 【活動実績】 三救難所合同夏季演習、定期訓練、海難防止パレード、海難事故時の救助活動、各種会議等			
今後の方向性			本市海域では、漁船による海難事故だけではなく、遊漁船の利用が多くレジャー型の海難事故も懸念されることから、引き続き同救難所の活動を支援し、安全で安心な漁業活動及びレジャーの推進を図っていく。			

#### 3 漁業近代化資金利子補給金(観光経済部農林水産G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	535	535	272	396

目的	漁船の購入等に係る漁業者の経済的負担を軽減することにより、漁業資本装備の近代化を促進することを目的とする。
事業内容及び実績	漁業近代化資金融通法に基づく漁業者等の漁業資本装備資金を融資した金融機関に対して、利子補給を行った。 【事業実績】 ・補給率 年1.0%を上限 補給件数 11件
今後の方向性	引き続き、いぶり中央漁業協同組合を通じた本融資制度の周知に努め、更なる漁業資本装備の近代化の促進を図る。

#### 4 ホッキ空貝処分事業補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	216	216	90	141
目的			いぶり中央漁業協同組合が行う漁場整備の取組を支援することにより、「資源管理型漁業」を推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			同協同組合に対して、ホッキ貝の漁場に高密度で分布するホッキ空貝（死殻）の処分に要する経費の一部を補助した。 【事業実績】 ・処分重量 18.71トン			
今後の方向性			ホッキ空貝の残存量が多いことから、引き続き、ホッキ空貝の処分に係る取組を支援する。			

#### 5 水産鮮度保持施設整備事業補助金（前年度繰越事業）（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	繰越予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	231,682	228,425	—
目的			いぶり中央漁業協同組合が行う水産鮮度保持施設の整備を支援することにより、登別漁港利用者の氷不足の解消を図り、水産物の鮮度保持に資することを目的とする。		
事業内容及び実績			北海道の補助事業を活用し、同協同組合に対して、水産鮮度保持施設の整備に係る費用の一部を補助した。		

## 目2 漁港管理費（予算説明書P111～P112）

### 1 登別漁港維持管理事業補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	277	277	277	280
目的			漁港の適切な維持管理を行うことにより、安全で快適な漁業活動の場や地域住民の交流の場を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			いぶり中央漁業協同組合に対して、登別漁港の軽易な維持管理に要する費用と港内照明灯電気料の一部を補助した。			
今後の方向性			引き続き、漁港の維持管理状況の把握に努め、関係機関と連絡調整を行う。			

2 鷺別漁港維持管理事業補助金（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	2	1	110	110	110	103
目的			漁港の適切な維持管理を行うことにより、安全で快適な漁業活動の場や地域住民の交流の場を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			いぶり中央漁業協同組合に対して、鷺別漁港内の照明灯電気料の一部を補助した。			
今後の方向性			引き続き、漁港の維持管理状況の把握に努め、関係機関と連絡調整を行う。			

3 鷺別漁港機能保全事業負担金【新規】（観光経済部農林水産G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
3	2	1	1,500	1,000	651	0								
目的			漁港管理者である北海道が実施する鷺別漁港（鷺別地区）の機能保全事業費の一部を負担することにより、安全で安心な漁港利用の推進を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>「鷺別漁港機能保全計画」に基づき、北海道が国の補助事業を活用して実施する鷺別漁港（鷺別地区）の機能保全工事等に係る費用の一部を負担した。</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">651</td> <td style="text-align: center;">500</td> <td style="text-align: center;">151</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	651	500	151
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
651	500	151												
今後の方向性			機能保全事業費の一部を負担し、安全で安心な漁港利用の推進を図る。											

## 第7款 商工費 項1 商工費

### 【主要データ】

#### ① 事業所数及び従業者数の推移（経済センサス）

区分	平成28年	平成26年	平成24年
事業所数	1,562事業所	1,685事業所	1,660事業所
従業者数	13,712人	15,228人	13,882人

### 目1 商工総務費（予算説明書P113～P114）

#### 1 登別ブランド推進事業補助金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																								
3	1	1	3,000	3,000	1,643	3,614																								
目的			市内の特産品のブランド化等に取り組む登別ブランド推進協議会の活動を支援することにより、登別ブランド事業を推進し、もって地域経済の活性化を図ることを目的とする。																											
事業内容及び実績			<p>登別ブランド推奨品の宣伝や販売促進、販路開拓に向けて支援を行う同協議会に対して、その活動に要する経費を補助した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登別ブランド推奨認定制度の推進</li> <li>・登別閨魔やきそばの認知度向上に向けたPR</li> <li>・イベント出展</li> <li>・旅行雑誌、テレビ等への広告宣伝</li> <li>・リーフレットの発行及び周知に係る支援</li> <li>・登別ブランド推奨品無料試食会の実施に係る支援</li> </ul> <p>●加工食品実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定数</td> <td>2事業者 3商品</td> <td>1事業者 1商品</td> <td>3事業者 5商品</td> </tr> <tr> <td>累計数</td> <td>14事業者31商品</td> <td>14事業者29商品</td> <td>13事業者28商品</td> </tr> </tbody> </table> <p>●ご当地グルメ（登別閨魔やきそば）実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提供店数</td> <td>29店舗</td> <td>30店舗</td> <td>32店舗</td> </tr> <tr> <td>提供食数</td> <td>91,061食</td> <td>86,706食</td> <td>49,186食</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	認定数	2事業者 3商品	1事業者 1商品	3事業者 5商品	累計数	14事業者31商品	14事業者29商品	13事業者28商品	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	提供店数	29店舗	30店舗	32店舗	提供食数	91,061食	86,706食	49,186食
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																											
認定数	2事業者 3商品	1事業者 1商品	3事業者 5商品																											
累計数	14事業者31商品	14事業者29商品	13事業者28商品																											
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																											
提供店数	29店舗	30店舗	32店舗																											
提供食数	91,061食	86,706食	49,186食																											
今後の方向性			新商品の開発や商品の魅力向上、新たな地域資源の掘り起こしを行うとともに、効果的な情報発信を行い、登別ブランドの価値や認知度の向上に努める。																											

#### 2 ものづくり創出支援事業負担金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	1	3,000	3,000	2,800	2,720
目的			市内における新製品、新技術の創出や市場開拓に向けた活動を支援することにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。			

事業内容及び実績	<p>公益財団法人室蘭テクノセンターが実施する「ものづくり創出支援事業」に対して、市内中小企業等が活用した事業に係る経費を負担した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>市内中小企業活用実績</td> <td>件数</td> <td>決算額</td> </tr> <tr> <td>開発の芽育成支援事業</td> <td>1件</td> <td>1,020千円</td> </tr> <tr> <td>商品化推進支援事業</td> <td>3件</td> <td>705千円</td> </tr> <tr> <td>市場開拓支援事業</td> <td>5件</td> <td>1,075千円</td> </tr> </table>	市内中小企業活用実績	件数	決算額	開発の芽育成支援事業	1件	1,020千円	商品化推進支援事業	3件	705千円	市場開拓支援事業	5件	1,075千円
市内中小企業活用実績	件数	決算額											
開発の芽育成支援事業	1件	1,020千円											
商品化推進支援事業	3件	705千円											
市場開拓支援事業	5件	1,075千円											
今後の方向性	市内の中小企業等が「ものづくり創出支援事業」を活用することで、新商品等の開発が促進され、市内産業の育成及び発展に寄与しているため、継続して事業を実施する。												

### 3 創業支援事業費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																
3	1	1	9,175	4,648	3,589	4,149																
目的			市内での創業を考えている者及び創業間もない者を支援することにより、市内における創業を促進するとともに、創業後の経営基盤を安定させ、市内経済の活性化を図ることを目的とする。																			
事業内容及び実績			<p>市内で創業する者に対して、店舗の賃借や改装等に係る経費の一部を補助したほか、創業を希望する者の掘り起こしを行う創業スクールを開催した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空き店舗活用事業補助金</td> <td>9件 うち新規4件</td> <td>13件 うち新規5件</td> <td>10件 うち新規8件</td> </tr> <tr> <td>事業所開設費補助金</td> <td>4件</td> <td>5件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>創業スクール開催数・参加人数</td> <td>10回 17人</td> <td>2回 13人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成27年度の空き店舗活用事業補助金の事業実績は、商店街活性化事業補助金の事業実績について記載しています。          ※平成28年度の創業スクール開催数・参加人数は、企業応援セミナーの事業実績について記載しています。</p>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	空き店舗活用事業補助金	9件 うち新規4件	13件 うち新規5件	10件 うち新規8件	事業所開設費補助金	4件	5件	10件	創業スクール開催数・参加人数	10回 17人	2回 13人	—
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
空き店舗活用事業補助金	9件 うち新規4件	13件 うち新規5件	10件 うち新規8件																			
事業所開設費補助金	4件	5件	10件																			
創業スクール開催数・参加人数	10回 17人	2回 13人	—																			
今後の方向性			市内における創業を推し進めることにより、市内経済の活性化が期待できることから、継続して事業を実施する。																			

### 4 札幌のぼりべつ交流プラザ開催経費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	1	73	73	5	6
目的			札幌のぼりべつ会と市内企業とのネットワークを構築し、札幌圏との経済交流を深めることにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。			

事業内容及び実績	<p>札幌のぼりべつ会と市内企業との交流の場として、札幌のぼりべつ交流プラザを開催した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 6月7日(水)</li> <li>・場所 札幌市</li> <li>・内容 情報交換、講演会、交流会</li> <li>・参加者 札幌のぼりべつ会 17人 登別市 15人(うち経済関係者 4人)</li> </ul>
今後の方向性	<p>情報交換等によって、人脈の形成が図られ、地場産品等の販路拡大や市内経済の活性化への波及効果が期待されることから、継続して事業を実施する。</p>

5 商談会等出展補助金(観光経済部商工労政G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																				
3	1	1	1,000	629	429	563																				
目的			<p>市内事業者等が自ら開発・製造した製品、技術、サービス等の販路開拓に向けた取組を支援することにより、市内経済の活性化を図ることを目的とする。</p>																							
事業内容及び実績			<p>製品の販路拡大等を図るため、各種商談会に出展する市内事業者に対し、補助金を交付した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助事業者数</td> <td>3事業者</td> <td>4事業者</td> <td>7事業者</td> </tr> <tr> <td>補助件数</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>商談件数</td> <td>85件</td> <td>154件</td> <td>271件</td> </tr> <tr> <td>商談成約件数</td> <td>8件</td> <td>5件</td> <td>19件</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	補助事業者数	3事業者	4事業者	7事業者	補助件数	3件	4件	6件	商談件数	85件	154件	271件	商談成約件数	8件	5件	19件
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																							
補助事業者数	3事業者	4事業者	7事業者																							
補助件数	3件	4件	6件																							
商談件数	85件	154件	271件																							
商談成約件数	8件	5件	19件																							
今後の方向性			<p>市内事業者に対し商談会等への出展による販路拡大を促すとともに、商談会等への出展の有用性を認識してもらうため、継続して事業を実施する。</p>																							

6 中小企業相談事業補助金(観光経済部商工労政G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	1	7,000	7,000	6,500	7,000
目的			<p>登別商工会議所中小企業相談所が行う中小企業相談事業を支援することにより、市内中小企業者の経営の安定と発展を図ることを目的とする。</p>			
事業内容及び実績			<p>同相談所が行う金融や税務等を中心とした中小企業相談事業に対して補助を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談事業 1,024件(巡回指導398件、窓口指導626件)</li> <li>・講演会、講習会開催 個別指導3回(参加者7人) 集団指導3回(参加者49人)</li> <li>・金融の斡旋 32件 総額201,530千円</li> </ul>			

今後の方向性	市内中小企業者の経営の安定と発展を図るため、継続して事業を実施する。
--------	------------------------------------

7 中小企業特別融資利子補給金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																
3	1	1	50	50	41	30																
目的			中小企業者等の資金調達に係る負担を軽減することにより、その事業活動を支援し、中小企業者等の経営の安定と発展を図ることを目的とする。																			
事業内容及び実績			<p>中小企業特別融資制度の事業資金の貸付を受けた事業者に対し、利子補給を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b>            (補給率) ・小口事業資金 年0.40%            ・団体事業資金 年1.50%            ・新分野進出支援資金 年0.70%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利子補給実績</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小口事業資金</td> <td>10件</td> <td>8件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>団体事業資金</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>新分野進出支援資金</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>				利子補給実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度	小口事業資金	10件	8件	10件	団体事業資金	0件	0件	0件	新分野進出支援資金	0件	0件	0件
利子補給実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
小口事業資金	10件	8件	10件																			
団体事業資金	0件	0件	0件																			
新分野進出支援資金	0件	0件	0件																			
今後の方向性			中小企業特別融資の新規受付を休止していることから、既存融資分に対する利子補給のみを継続して行う。																			

8 中小企業特別融資積立金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																																		
3	1	1	46,000	46,000	24,000	34,000																																		
目的			中小企業者等に低利の融資を行い、円滑かつ積極的な事業活動を支援することにより、経営の安定と発展を図ることを目的とする。																																					
事業内容及び実績			<p>中小企業者等が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を金融機関に預託した。</p> <p><b>【事業実績】</b>            (資金種別)            一般事業資金、団体事業資金、小口事業資金、事業所開設資金、小規模商工業近代化資金、新分野進出支援資金</p> <p style="text-align: right;">(単位：件、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">融資実績</th> <th>第1四半期</th> <th>第2四半期</th> <th>第3四半期</th> <th>第4四半期</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>4～6月</th> <th>7～9月</th> <th>10～12月</th> <th>1～3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規融資件数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新規融資額</td> <td>4,342</td> <td>1,000</td> <td>0</td> <td>5,000</td> <td>10,342</td> </tr> <tr> <td>償還額</td> <td>2,924</td> <td>3,471</td> <td>2,336</td> <td>3,324</td> <td>12,055</td> </tr> <tr> <td>四半期末融資残高</td> <td>52,842</td> <td>50,371</td> <td>48,035</td> <td>49,711</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				融資実績	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	新規融資件数	1	1	0	1	3	新規融資額	4,342	1,000	0	5,000	10,342	償還額	2,924	3,471	2,336	3,324	12,055	四半期末融資残高	52,842	50,371	48,035	49,711	
融資実績	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計																																			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月																																				
新規融資件数	1	1	0	1	3																																			
新規融資額	4,342	1,000	0	5,000	10,342																																			
償還額	2,924	3,471	2,336	3,324	12,055																																			
四半期末融資残高	52,842	50,371	48,035	49,711																																				
今後の方向性			新規貸付は休止していることから、既存融資分に対する資金の預託のみを継続とするが、市内中小企業を取り巻く経済環境の変化に応じて、新規貸付の再開を検討する。																																					



9 住宅改良促進特別融資積立金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																																		
3	1	1	8,000	8,000	3,000	5,000																																		
目的			市内の建設業者等を活用して住宅改良を行う市民に低利の融資を実施することにより、市民の住環境の向上、中小企業者等の経営の安定と発展を図ることを目的とする。																																					
事業内容及び実績			<p>市民が低利の融資を受けられるよう、市が融資の原資となる積立金を金融機関に預託した。</p> <p><b>【事業実績】</b> (単位：件、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">融資実績</th> <th>第1四半期</th> <th>第2四半期</th> <th>第3四半期</th> <th>第4四半期</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>4～6月</th> <th>7～9月</th> <th>10～12月</th> <th>1～3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規融資件数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>新規融資額</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>償還額</td> <td>240</td> <td>288</td> <td>215</td> <td>269</td> <td>1,012</td> </tr> <tr> <td>四半期末融資残高</td> <td>2,978</td> <td>2,690</td> <td>2,475</td> <td>2,206</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				融資実績	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	新規融資件数	0	0	0	0	0	新規融資額	0	0	0	0	0	償還額	240	288	215	269	1,012	四半期末融資残高	2,978	2,690	2,475	2,206	
融資実績	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計																																			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月																																				
新規融資件数	0	0	0	0	0																																			
新規融資額	0	0	0	0	0																																			
償還額	240	288	215	269	1,012																																			
四半期末融資残高	2,978	2,690	2,475	2,206																																				
今後の方向性			当該融資制度の利用実績が少ないことから、同様の商品を提供している金融機関や関係する団体と協議を行い、必要性などについて検討を行うこととする。																																					

10 再生可能エネルギー普及促進事業費（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	1	328	328	138	532
目的			市民や事業者等の再生可能エネルギーに対する理解促進を図るとともに、市内における未利用エネルギーの利活用に向けた可能性を探ることにより、新たな産業として市内経済の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>西いぶり定住自立圏形成協議会と連携し、講演会を開催したほか、再生可能エネルギーに関する各種事業を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会の開催：1回（参加者16人）</li> <li>・市内小学校でのパネル展の開催：8回</li> <li>・小水力発電装置を活用した環境学習の実施：2回</li> <li>・研修会等への出席：9回</li> <li>・再生可能エネルギー設備導入施設の視察受入：1件</li> </ul>			
今後の方向性			再生可能エネルギーの普及促進を図るため、継続して事業を実施する。			

11 商店街活性化事業補助金（観光経済部商工労政G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	1	4,000	3,102	2,267	2,339
目的			商店街のにぎわい創出に係る事業を支援することにより、商店街の活性化を図り、もって本市における商業の発展に寄与することを目的とする。			

事業内容及び実績	<p>商店会等を対象に、商店街の賑わい創出に向けた事業に要する経費の一部を補助した。</p> <p>また、既存店舗が集客力や買い物環境の向上を目指して行う店舗リフォームに要する経費の一部を補助した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商店街活性化支援事業補助金</td> <td>4件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>店舗リフォーム補助金</td> <td>5件</td> <td>6件</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	商店街活性化支援事業補助金	4件	2件	2件	店舗リフォーム補助金	5件	6件	3件
	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度									
商店街活性化支援事業補助金	4件	2件	2件										
店舗リフォーム補助金	5件	6件	3件										
今後の方向性	継続して事業を実施する。												

12 商工会議所青年部第30回北海道ブロック大会登別大会補助金【新規】  
(観光経済部商工労政G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	1	500	500	500	0
目的			<p>全道の商工会議所青年部で活躍する青年経済人が集う大会に併せて行われる、市内産業の振興に資する事業等を支援することにより、地域経済の発展や経済交流の促進を図ることを目的とする。</p>			
事業内容及び実績			<p>大会の主管団体である登別商工会議所青年部に対し、大会の開催に併せて行われる、市内産業の振興に資する経費の一部を補助した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内への経済効果の波及施策</li> <li>・登別ブランド推奨品をはじめとする特産品情報の発信</li> <li>・大会を通じた登別観光の魅力発信及びリピーターにつなげる施策</li> </ul>			

13 観光まちづくり促進事業補助金【新規】(観光経済部商工労政G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	1	1,200	1,200	1,084	0
目的			<p>登別商工会議所が中心となり組織された「登別観光まちづくり円卓会議」が実施する事業に対し支援することにより、観光地経営の視点による観光地域づくりをすすめ、観光がもたらす経済効果の市内循環を目的とする。</p>			
事業内容及び実績			<p>同会議が実施する観光まちづくり促進事業に要する経費の一部を補助した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登別地区観光まちづくり「ウェルカムゾーン」の調査研究</li> <li>・「観光まちづくり促進セミナー」の実施による知識習得、機運醸成</li> <li>・登別版DMO構築に関する調査研究</li> </ul>			

## 第7款 商工費 項2 観光費

### 【主要データ】

#### ① 観光客入込数の推移

(単位:人)

区分	観光客入込数			左のうちの区分		宿泊客延べ数
	総数	道外客	道内客	日帰り客数	宿泊客数	
平成29年度	4,048,916	2,086,011	1,962,905	2,748,194	1,300,722	1,314,736
平成28年度	3,851,917	1,936,762	1,915,155	2,583,530	1,268,387	1,279,449
平成27年度	3,913,018	1,941,578	1,971,440	2,639,414	1,273,604	1,284,184

#### ② 外国人観光宿泊延数の推移

(単位:人)

区分	総数	左の内訳						
		中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	タイ	その他
平成29年度	518,936	104,450	137,227	164,230	40,143	14,297	8,834	49,755
平成28年度	479,856	86,227	98,717	174,524	40,899	14,809	12,230	52,450
平成27年度	470,502	79,769	75,784	202,358	43,962	14,505	14,733	39,391

### 目1 観光総務費 (予算説明書P115～P116)

#### 1 登別観光協会助成金(観光経済部観光振興G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	3	20,600	20,600	20,600	20,600
目的			観光振興に重要な役割を担う一般社団法人登別観光協会の運営を支援することにより、新しい時代のニーズに対応した観光地づくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			同協会に対して、運営管理に係る経費の一部を助成した。 <b>【助成事業の主な実績】</b> (1) 総会、理事会、役員会等の開催 (2) 観光協会運営管理業務 (3) 会報及び協会ニュースの発行 (4) 街傘の設置事業 (5) 各種研修会、講習会の実施及び観光、温泉に関する調査研究 (6) 親切運動及びホスピタリティの向上 (7) 国内観光関係団体との交流・懇談 (8) 国際交流、親善の実施 (9) 関係機関への陳情・要望			
今後の方向性			魅力ある観光地づくりを推進するため、引き続き、同協会の活動を支援する。			

※「一般社団法人登別国際観光コンベンション協会」については、平成29年度予算事業名と合わせ、「一般社団法人登別観光協会」と表記しています。(以下同じ)

2 フラワーファンタジーロード事業補助金（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	3	650	650	650	650
目的			主要道路の緑化風景を創出することにより、花観光を推進し、誘客に繋げることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>登別市観光ホスピタリティ推進協議会に対して、道道洞爺湖登別線の中央分離帯等への草花の植栽及び維持管理に要する経費の一部を補助した。</p> <p><b>【補助事業の実績】</b></p> <p>(1) 桜坂駐車公園及び中央分離帯除草・植栽            実施時期：7月20日～8月18日            事業内容：道道洞爺湖登別線中登別地区の中央分離帯等の除草・草刈・廃草（期間中3回）及び一年草・多年草の植栽を行った。</p> <p>(2) 桜坂駐車公園おもてなし花壇除草・植栽            実施時期：6月30日～10月9日            事業内容：桜坂駐車公園「おもてなし花壇」の除草、植栽を市連合町内会との連携のもと実施した。</p>			
今後の方向性			登別温泉への主要道路の景観を高め、観光地としてのイメージ向上を図るため、引き続き、同協議会が行う事業を支援していく。			

3 インフォメーションプラザ事業補助金（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	3	3,000	3,000	3,000	3,000
目的			さまざまな観光情報等の発信を通じて観光客の満足度を向上させ、魅力ある観光地づくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>外国人を含む登別市を訪れる観光客に安心して楽しく旅行してもらうため、一般社団法人登別観光協会が行うインフォメーションプラザ事業に対して、それに要する経費の一部を補助した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <p>(1) 観光客への観光案内業務（窓口及び街頭）            (2) 登別観光協会ホームページ及びブログ等の更新業務            (3) 観光イベントや誘客事業等における通訳業務            (4) 観光パンフレットや飲食店メニュー等の翻訳業務</p>			
今後の方向性			観光客の満足度向上を図るため、引き続き、同協会が行う活動を支援する。			

4 観光振興特別対策事業補助金（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	3	44,852	44,852	44,852	44,852
目的			一般社団法人登別観光協会が行う誘客宣伝事業等を支援することにより、市の基幹産業である観光産業の振興を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>同協会が行う誘客宣伝事業等に対して、それに要する経費の一部を補助した。</p> <p><b>【補助事業の主な実績】</b></p> <p>(1) 誘客宣伝事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内、海外向け観光誘客宣伝</li> <li>・広域観光対策の推進、共同宣伝</li> <li>・パンフレット等の作成</li> <li>・ホームページ等の管理</li> </ul> <p>(2) まつりイベント事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別イベント「鬼火が誘う地獄の谷」</li> <li>・第54回登別地獄まつり（8月26日～27日）</li> <li>・第47回登別温泉湯まつり（2月3日～4日）</li> <li>・2018カルルス温泉冬まつり（3月4日）</li> </ul> <p>(3) 環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイパス及び泉源公園等の景観形成の推進</li> <li>・ライトアップ</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、同協会の誘客宣伝事業等を支援する。			

5 観光客誘客促進事業費（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	3	2,128	1,878	1,757	1,597
目的			誘客事業の参加を通して、観光客入込の増加を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>各種観光PRイベント等への参加など、誘客に資する事業に取り組んだ。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光PRイベント等への参加（台湾、東京、仙台、札幌、函館等）</li> <li>・各種行事等における特産品等の提供</li> <li>・新聞広告及び冬の道内観光客誘客に係る広告の掲載</li> <li>・登別市PRキャラクターを活用した誘客宣伝</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、積極的に各種団体等と連携してイベントなどの観光PR事業等へ参加するとともに、登別市PRキャラクターを広く活用した誘客宣伝を図る。			

6 観光ホスピタリティ推進事業補助金（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	3	900	900	900	900
目的			登別市観光ホスピタリティ推進協議会が行う事業を支援することにより、地域ぐるみで観光客におもてなしの心で提供できる取組を推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>観光ボランティアガイド活動などに取組む同協議会に対して、事業に要する経費の一部を補助した。</p> <p><b>【補助事業の実績】</b></p> <p>(1) 自然観察事業            (一般財団法人自然公園財団登別支部と共催)            橘湖散策会（1回目19人、2回目10人、3回目23人）</p> <p>(2) 観光ボランティア支援事業            ・観光ボランティアガイド活動            活動日数 171日間（5月1日～10月31日）            案内人数 4,423人（団体24件、個人1,067件）            ・観光ホスピタリティ全道大会参加            参加者数 11人（開催地：旭川市）</p> <p>(3) 我が街再発見観光市民講座            ・開催日：10月2日            ・参加者数：100人            ・内容：郷土資料館見学、登別温泉地区ホテルでの登別観光協会長の講話</p>			
今後の方向性			登別を訪れる観光客を温かく迎えるおもてなしの心を啓発し、観光客の増加を促進するため、引き続き、同協議会の活動を支援する。			

7 市民が育む登別観光事業費（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
3	1	3	2,220	2,220	2,177	2,158												
目的			市民に登別地獄まつり「鬼踊り」への参加や日帰り入浴を促すことにより、「観光都市のぼりべつ」の一員としての意識や一体感を高めることを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>第54回登別地獄まつり「鬼踊り」の市民参加を促進するため、次の事業を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <p>(1) 登別地獄まつり「鬼踊り」参加促進事業            各町内会で登別地獄まつりの鬼踊りに参加した市民に日帰り入浴券1,000円分（500円×2枚）を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>23団体482人</td> <td>24団体383人</td> <td>14団体302人</td> </tr> <tr> <td>500円券使用枚数</td> <td>708枚</td> <td>766枚</td> <td>604枚</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	参加者数	23団体482人	24団体383人	14団体302人	500円券使用枚数	708枚	766枚	604枚
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
参加者数	23団体482人	24団体383人	14団体302人															
500円券使用枚数	708枚	766枚	604枚															

	<p>(2) 市内温泉ホテル・旅館の利用促進事業 各町内会行事において、市内の温泉ホテル・旅館に20人以上の団体で宿泊・8人以上の団体で日帰り利用する場合、一定金額の利用券を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊 20～50人 30,000円、51人以上 60,000円</li> <li>・ 日帰り 8～19人 5,000円、20～50人 20,000円、51人以上 40,000円</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>交付団体数</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊利用</td> <td>2団体</td> <td>1団体</td> <td>0団体</td> </tr> <tr> <td>日帰り利用</td> <td>41団体</td> <td>44団体</td> <td>46団体</td> </tr> </tbody> </table>	交付団体数	平成29年度	平成28年度	平成27年度	宿泊利用	2団体	1団体	0団体	日帰り利用	41団体	44団体	46団体
交付団体数	平成29年度	平成28年度	平成27年度										
宿泊利用	2団体	1団体	0団体										
日帰り利用	41団体	44団体	46団体										
今後の方向性	引き続き、「観光都市のぼりべつ」の一員としての市民の意識醸成を図る。												

## 8 道内周遊ルート構築事業費（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	3	2,000	2,000	1,998	2,287
目的			道内他自治体と共同で、誘客促進及び受入環境整備事業を展開し、道内周遊ルートを構築することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>札幌市、函館市と共同で、道内周遊ルートの構築を目指し、次の事業を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <p>(1) 交通事業者と連携した情報発信・プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周遊ルート専用冊子、ポスターの作成</li> <li>・ 道外共同プロモーションの実施</li> </ul> <p>(2) 商談会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道内外の商談会に参加して旅行商品造成に向けたセールスコールの実施（東京、仙台、名古屋、大阪、札幌）</li> </ul> <p>(3) 3市周遊旅行商品の造成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雑誌掲載をきっかけに3市の各施設における特典を設定し、エージェン特に対する商品造成を誘導</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、3市の連携を強化して旅行商品の造成及び道内外旅行者に向けたルートの定着化を図る。			

## 目2 観光施設費（予算説明書P115～P116）

### 1 観光施設維持管理経費（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	3	3,177	2,259	1,858	1,964
目的			国立公園内にある各観光施設の維持管理や美化清掃を行い、観光客に快適に利用してもらうことを目的とする。			
事業内容及び実績			観光客の安全を確保し、快適に各施設を利用できるよう、各観光施設の維持管理等を行った。			

	<p><b>【事業実績】</b></p> <p>(1) 国立公園清掃活動費補助金 国立公園内の清掃美化に取り組む一般財団法人自然公園財団登別支部に補助金を交付した。</p> <p>(2) カルルス温泉駐車場清掃業務 カルルス温泉駐車場トイレ等の清掃をカルルス温泉町内会への委託により実施した。</p>
今後の方向性	安全・安心な魅力ある観光地づくりを推進するため、引き続き観光施設の適切な維持管理と景観の美化向上に努める。

## 2 観光施設維持管理委託料（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	3	1,000	1,000	1,000	1,000
目的			国立公園内にある各観光施設の維持管理や美化清掃を行い、観光客に快適に利用してもらうことを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>観光客が快適に利用できるよう、国立公園内にある各観光施設について、一般社団法人登別観光協会への委託により維持管理を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大湯沼川天然足湯木道修繕</li> <li>・地獄谷展望台修繕</li> <li>・地獄谷周辺遊歩道照明器具修繕</li> <li>・鬼火の路ライト修繕</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、国立公園内にある各観光施設の適切な維持管理に努める。			

## 3 観光案内看板等整備事業費（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	3	1,250	1,250	1,242	1,240
目的			観光案内看板の整備、改修を行うことにより、観光客の利便性向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>観光案内看板について、破損や老朽化が進んでいることから、多言語表記にするなど、一部改修を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR登別駅前の交通案内看板の更新</li> <li>・その他観光案内看板の修繕</li> </ul>			

## 目3 温泉供給管理費（予算説明書P115～P116）

### 1 温泉供給施設維持管理経費（観光経済部観光振興G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
3	1	3	12,141	12,141	10,810	11,109



<p>目的</p>	<p>上登別地区への安定的な温泉供給を図り、観光地の多様性を確保し、もって魅力ある観光地づくりの推進を図ることを目的とする。</p>												
<p>事業内容及び実績</p>	<p>上登別地区への温泉供給及び温泉供給施設の維持や補修等を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>給湯管やポンプ場等の点検整備</li> <li>温泉供給事業施設維持管理業務委託、温泉配管修繕</li> </ul> </li> </ul> <table border="1" data-bbox="628 577 1455 775"> <thead> <tr> <th>供給件数</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業用</td> <td>2件 うち休止 0件</td> <td>2件 うち休止 1件</td> <td>2件 うち休止 1件</td> </tr> <tr> <td>一般用</td> <td>27件 うち休止 5件</td> <td>27件 うち休止 4件</td> <td>27件 うち休止 4件</td> </tr> </tbody> </table>	供給件数	平成29年度	平成28年度	平成27年度	営業用	2件 うち休止 0件	2件 うち休止 1件	2件 うち休止 1件	一般用	27件 うち休止 5件	27件 うち休止 4件	27件 うち休止 4件
供給件数	平成29年度	平成28年度	平成27年度										
営業用	2件 うち休止 0件	2件 うち休止 1件	2件 うち休止 1件										
一般用	27件 うち休止 5件	27件 うち休止 4件	27件 うち休止 4件										
<p>今後の方向性</p>	<p>引き続き、温泉供給施設の適切な維持管理に努める。</p>												

## 第8款 土木費 項1 土木管理費

### 目1 土木総務費 (予算説明書P117～P118)

#### 1 のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業費 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	1	2	378	378	288	331
目的			市民との協働による、きれいなまちづくりの推進を目的とする。			
事業内容及び実績			2人以上で構成する団体が道路・公園・河川敷など公共施設の里親となり、清掃や美化のボランティア活動を行うアダプトプログラムを実施した。 <b>【事業実績】</b> ・参加団体数 42 団体 ・主な活動個所 51 か所 (道路 22 か所 公園 16 か所 河川 13 か所)			
今後の方向性			継続的に実施する。			

## 第8款 土木費 項2 道路橋梁費

### 目1 道路橋梁総務費 (予算説明書P119～P120)

#### 1 道路台帳図作成委託料 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	3	1	3,000	3,000	2,916	2,916
目的			新規認定した路線等の現況測量及び台帳作成等を行うことにより、市道を適切に管理することを目的とする。			
事業内容及び実績			市道の現況測量・台帳作成を委託により実施した。 <b>【事業実績】</b> ・現況測量・台帳作成 1 件			
今後の方向性			新認定路線及び道路改良等における道路台帳図及び調書の追加・修正を行うため、継続的に実施する。			

#### 2 市道用地確定測量委託料 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	3	1	5,946	5,338	5,298	3,596
目的			市道用地の現況測量や用地確定測量を行うことにより、市道を適切に管理することを目的とする。			
事業内容及び実績			道路整備を完了している市道で未処理用地となっている用地の現況測量や用地確定測量を行った。 <b>【事業実績】</b> ・用地確定測量 3 件 ・その他 1 件			

今後の方向性	市道・排水路用地の未処理用地の適切な管理を行うため、継続的に実施する。
--------	-------------------------------------

### 3 市道用地買収費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	3	1	1,500	0	0	294
目的			未処理用地の買収を行うことにより、市道を適切に管理することを目的とする。			
事業内容及び実績			平成29年度においては、未処理用地の買収は行わなかった。			
今後の方向性			道路・排水路用地の適切な管理を行うため、必要に応じ買収を進める。			

## 目2 道路維持費（予算説明書P119～P120）

### 【主要データ】

#### ① 市道延長等の推移

区分	平成29年度末	平成28年度末	平成27年度末	平成26年度末	平成25年度末
市道延長	295,516 m	295,621 m	295,684 m	295,019 m	295,430 m
舗装延長	270,018 m	270,124 m	270,187 m	269,327 m	269,135 m
舗装率	91.4 %	91.4 %	91.4 %	91.3 %	91.1 %

### 1 ロードマーク設置費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	3	1,500	1,389	1,383	1,383
目的			ロードマークを復元又は新設することにより、通行車両の安全を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			車道センターライン及び外側線等の区画線塗布を行った。 【事業実績】 破線 L=2,040m、実線 L=3,750m、ドット線 L=89m			
今後の方向性			車両走行による摩擦や除雪により、消耗し不明確となっている区画線等について継続的に施工を行う。			

### 2 除雪対策経費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	3	1	55,000	127,400	125,590	90,889
目的			冬期間の市道管理を適切に行うことにより、歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			業務委託により、市道の除排雪や凍結防止剤の散布を行った。			

	<b>【事業実績】</b> ・車道除雪 1,146 路線 除雪延長 L=268.5km ・歩道除雪 102 路線 除雪延長 L= 62.5km ・融雪剤散布 191 路線 散布実延長 L= 60.0km								
	<table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>平成 29 年度</td> <td>平成 28 年度</td> <td>平成 27 年度</td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td>125,590 千円</td> <td>90,889 千円</td> <td>77,437 千円</td> </tr> </table>	区分	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	決算額の推移	125,590 千円	90,889 千円	77,437 千円
区分	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度						
決算額の推移	125,590 千円	90,889 千円	77,437 千円						
今後の方向性	継続的に実施する。								

### 3 冬道対策経費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	3	1	6,463	8,035	8,035	6,532
目的			冬期間の市道管理を適切に行うことにより、歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			すべり止め用砂箱及びロードヒーティングの補修、凍結防止剤等の購入を行った。			
今後の方向性			坂道や交差点等の安全確保のため、ロードヒーティング及び砂箱等の補修や凍結防止剤の購入等を継続的に行う。			

### 4 市道常時補修費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	3	1	81,100	77,775	77,660	80,531
目的			市道の維持管理を適切に行うことにより、歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			市道の補修、排水清掃、草刈り、パトロール等を実施した。			
今後の方向性			市道の安全確保のため、補修や排水清掃等の維持管理を継続的に行う。			

### 5 道路付属施設整備事業費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額											
4	3	1	28,620	17,401	17,398	31,497											
目的			道路及び道路の付属施設であるトンネルや街路灯、擁壁、法面などを点検し、補修することで歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。														
事業内容及び実績			落石防護網の補修、擁壁の調査及び路面下の空洞調査を行った。 <b>【事業実績】</b> ・大湯沼1号線の落石防護網の補修 420 m <sup>2</sup> ・登別温泉中央通りの擁壁調査 一式 ・市道空洞調査 10.6km <b>【財源内訳】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td colspan="3">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>市債</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>17,398</td> <td>10,015</td> <td>6,100</td> <td>1,283</td> </tr> </table>				事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	17,398	10,015	6,100	1,283
事業費	財源内訳																
	国庫支出金	市債	一般財源														
17,398	10,015	6,100	1,283														

今後の方向性	事故等を未然に防ぐため、継続して事業を実施する。
--------	--------------------------

### 目3 道路新設改良費 (予算説明書P119～P120)

#### 1 道路排水対策事業費 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
2	3	1	186,000	186,000	184,240	166,883								
目的			大雨に伴う道路冠水による交通障害、宅面浸水等の被害防除を目的とする。											
事業内容及び実績			<p>大雨による道路冠水を防止、軽減するため、市内全域に係る基本計画及び各箇所の実施計画に基づき、実測実施設計、対策工事、排水清掃等を実施した。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実測実施設計 一式</li> <li>・対策工事 7か所</li> <li>・排水清掃 一式</li> <li>・河川浚渫 一式</li> </ul> <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>184,240</td> <td>159,300</td> <td>24,940</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	184,240	159,300	24,940
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
184,240	159,300	24,940												
今後の方向性			大雨等による道路冠水を軽減するため、継続して事業を実施する。											

#### 2 市道舗装排水整備事業費 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
4	3	1	150,000	150,000	148,278	109,385								
目的			市内の幹線道路及び生活道路の改良等を行うことにより、総合的な道路交通網の整備や歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良工事 新生7号線 外11路線 L=878.1m</li> <li>・排水路工事 幌別21号線 外6路線 L=155.8m</li> <li>・舗装工事 鷲別学田路線 外1路線 L=170.0m</li> </ul> <p>【財源内訳】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>148,278</td> <td>129,500</td> <td>18,778</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	148,278	129,500	18,778
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
148,278	129,500	18,778												
今後の方向性			市民からの要望等を踏まえ、継続して道路整備を行う。											

#### 3 道道上登別室蘭線東通改良受託事業費 (都市整備部都市政策G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	3	1	153,225	251,555	251,529	71,380

目的	市の総合的な交通網整備を推進することで、道路交通の円滑化や道路利用者の安全を確保することを目的とする。
事業内容及び実績	北海道により進められている道道上登別室蘭線東通の拡幅改良事業のうち、用地買収及び物件移転等の補償業務を北海道から委託を受けて実施した。 【事業実績】 ・用地買収 一式 ・物件移転等補償 一式
今後の方向性	事業の円滑な推進のため、引き続き対象となる土地に係る用地補償業務を進める。

#### 目 4 橋梁維持費 (予算説明書 P119～P122)

##### 1 橋梁維持補修経費 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	3	1	2,451	2,451	2,403	2,180
目的			橋梁の維持管理を適切に行うことにより、歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。			
事業内容及び実績			橋梁の維持管理・補修を実施した。 【事業実績】 ・排水装置補修 一式 ・その他橋梁補修 一式			
今後の方向性			日常のパトロールや橋梁点検の結果等を基に、橋梁施設の維持管理・補修を行う。			

##### 2 橋梁長寿命化事業費 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額											
4	3	1	45,526	37,398	37,227	29,874											
目的			橋梁の延命化によるライフサイクルコストの縮減と維持管理費の平準化を行うことを目的に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の修繕を行うことにより、歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。														
事業内容及び実績			橋梁の補修設計、補修工事及び点検を行った。 【事業実績】 ・橋梁補修設計 3橋 (美園橋、五色橋、新サト岡志別橋) ・橋梁補修 2橋 (美園橋、第二鷺別橋) ・橋梁点検 15橋 【財源内訳】														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37,227</td> <td>19,265</td> <td>14,900</td> <td>3,062</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	37,227	19,265	14,900	3,062
事業費	財源内訳																
	国庫支出金	市債	一般財源														
37,227	19,265	14,900	3,062														
今後の方向性			橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕・点検を行う。														

## 第8款 土木費 項3 河川費

### 目2 河川維持費 (予算説明書P123～P124)

#### 1 河川維持補修経費 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	1	4,572	4,572	4,232	4,517
目的			河川の維持管理を適切に行うことにより、治水対策の推進及び環境維持・安全性の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			河川フェンスの修繕、河川築堤の草刈り等を実施した。 <b>【事業実績】</b> ・上鷲別富岸川フェンス補修等 一式 ・河川築堤草刈委託 河川敷地 (L=3,930m A=21,860㎡) (上鷲別富岸川、新徳消川、ヤンケシ川、ポンヤンケシ川、徳消川、伏古別川、シミズ川)			
今後の方向性			河川敷地及び施設の維持管理・補修等を適切に行い、治水対策の推進を図る。			

## 第8款 土木費 項4 都市計画費

### 目1 都市計画総務費 (予算説明書P125～P126)

#### 1 空家等対策事業費【新規】(都市整備部都市政策G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	3	6	1,647	1,647	503	0
目的			総合的かつ計画的な空家等対策を実施することにより、市民が安全で安心して暮らすことができるまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			空家等への通報への対応、空家等対策審議会の立ち上げ、空き家情報登録制度の創設などを行った。 <b>【事業実績】</b> ・空家等対策審議会の開催 3回 ・特定空家等の認定 5件 ・空き家情報登録制度の登録件数 31件 ・市内空家等把握件数 330件			
今後の方向性			引き続き、管理不全の空き家の所有者等に対し適切に管理するよう働きかけるとともに、空家等の利活用の促進、発生抑制のための対策を行う。また、特定空家等への対策として必要に応じて調査及び認定等の取組を行う。			

#### 2 景観みどり推進経費 (都市整備部都市政策G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	1	2	453	453	122	201

目的	良好な景観と豊かなみどりを守り、育て、つくり、これらを次の世代へ継承していくことを目的とする。
事業内容及び実績	登別市景観とみどりの条例に基づき、良好な景観と豊かなみどりづくりの推進に向けた取組を行った。 【事業実績】 ・景観・みどり審議会の開催 1回 ・景観・みどり推進会議（庁内会議）の開催 5回 ・景観・みどり推進会議（実践活動）の開催 9回
今後の方向性	条例に基づく各種案件の指定に向け、審議会への諮問など関係事務を進めるとともに、引き続き、市と推進会議が協働し、景観・みどりづくりに関する活動を行う。

## 目 2 公園管理費 （予算説明書 P 125～ P 126）

### 1 街区公園等清掃交付金（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	2	1	620	620	605	610
目的			街区公園等の維持管理を町内会の協力を得ながら行うことにより、生活に身近な公園等の景観を保持するなど、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			地域の身近な憩いの場として利用される街区公園等の維持管理の一部に協力する町内会に対して、その要する経費として交付金を交付した。 【事業実績】 ・実施町内会 40 町内会 ・実施公園数 51 か所			
今後の方向性			地域の身近な憩いの場である公園や広場を大切にするという意識を高めるためにも、町内会の協力を得ながら街区公園等の維持管理を行う。			

### 2 公園維持管理経費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	2	1	85,407	85,407	84,860	84,268
目的			市内 135 か所の公園・広場や街路樹の適切な維持管理を行うことにより、生活に身近な公園・広場等を保全し、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。			
今後の方向性			施設の老朽化が全般的に進んでいる状況にある中、公園・広場を安全で安心して利用できるよう、適切な維持管理を行う。			

※当初予算額等には、下記 4 事業のほか事務費含む



○登別ビーチパーク分

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	15,073	15,073	15,003	14,947
事業内容及び実績	登別ビーチパークの維持管理を行った。			

○指定管理者維持管理公園分

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	36,772	36,772	36,770	36,758
事業内容及び実績	亀田記念公園、若草中央公園、富岸公園、新川公園、らいば公園及び川上公園（Aゾーン）の維持管理を行った。			

○キウシト湿原分

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	4,274	4,274	4,200	4,353
事業内容及び実績	キウシト湿原の維持管理を行った。			
	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	来園者数	5,017人	5,537人	5,425人

○その他公園分

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	28,945	28,945	28,544	27,857
事業内容及び実績	登別ビーチパーク、キウシト湿原、指定管理者による維持管理公園（岡志別の森運動公園含）を除く、126か所の公園・広場と街路樹の維持管理を行った。			

3 都市公園施設長寿命化事業費（都市整備部土木・公園G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	2	1	40,894	33,554	32,228	29,823
目的			都市公園施設の計画的な改築等を行うことにより、施設の長寿命化を図るとともに、利用者の安全・安心を確保し、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			公園施設の改築、修繕等を行った。 【事業実績】 ・公園施設改築 6か所 ・実施設計 一式 ・公園施設修繕 一式 【財源内訳】			
			事業費	財源内訳		
				国庫支出金	市債	一般財源
			32,228	14,653	14,100	3,475
今後の方向性			計画的に公園施設の改築、修繕を実施する。			

目3 緑化推進費 (予算説明書P125～P126)

1 緑化推進経費 (都市整備部土木・公園G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	2	1	3,877	3,877	3,865	3,958
目的			市民参加による各種事業を行うことにより、みどり豊かなまちづくりを推進することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>緑化の推進やみどりに対する意識の高揚を図るため、市民参加により各種事業を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民緑化推進事業 公共施設に植栽する樹木や花苗を町内会等へ配布した。</li> <li>・沿道美化事業 道道弁景幌別線などの沿道へ花苗を植栽した。</li> <li>・試験育苗事業 6団体の参加のもと、ビニールハウス内で花苗の試験育苗を行い、その花苗を公共花壇等へ植栽した。</li> <li>・みどりの講習会 剪定実技教室、春の花の寄せ植え講習会、種から花を育てよう～ベゴニア～を開催した。</li> <li>・グリーンデータバンク 家庭で育てられなくなった樹木の有効活用を図るため、提供希望のあった樹木の紹介を行った。</li> </ul>			
今後の方向性			市民参加による各種緑化事業を行うとともに、みどりを大切にするという意識を高めるためにも、沿道等への植栽後の維持管理について市民と協働で行う。			

第8款 土木費 項5 住宅費

【主要データ】

① 市営住宅管理戸数の推移 (年度末現在)

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
市営住宅管理戸数	1,422戸	1,442戸	1,448戸

目2 建築指導費 (予算説明書P129～P130)

1 民間建築物の耐震化に対する支援 (都市整備部建築住宅G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	2	2	11,744	593,161	5,570	64,423
目的			民間所有の住宅・建築物の耐震性向上に向けた取組に対して支援を行うことにより、地震発生時の住宅・建築物の倒壊等による被害の軽減を図ることを目的とする。			

今後の方向性	市内の住宅・建築物の耐震化を促進するため、支援を行う。
--------	-----------------------------

※当初予算額等は、前年度繰越事業を除く

○要緊急安全確認大規模建築物耐震化促進事業補助金（翌年度繰越事業）

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	9,644	587,591	0	64,423
事業内容及び実績	<p>耐震改修促進法の改正に伴い、耐震診断の実施が義務付けられたホテル・旅館等の大規模建築物について、所有者が行う耐震化に対し、その費用の一部を補助するため予算計上したが、年度内に完了しないことから、その一部を翌年度に繰り越した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補強設計実施棟数 1棟（未完了）</li> <li>・耐震改修実施棟数 2棟（未完了）</li> </ul>			

○要緊急安全確認大規模建築物耐震化促進事業補助金（前年度繰越事業）

	繰越予算額	決算額	前年度決算額											
	8,050	8,050	—											
事業内容及び実績	<p>耐震改修促進法の改正に伴い、耐震診断の実施が義務付けられたホテル・旅館等の大規模建築物について、所有者が行う耐震化に対し、その費用の一部を補助した。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補強設計実施棟数 1棟</li> </ul> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>道支出金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,050</td> <td>2,012</td> <td>4,025</td> <td>2,013</td> </tr> </tbody> </table>			事業費	財源内訳			国庫支出金	道支出金	一般財源	8,050	2,012	4,025	2,013
事業費	財源内訳													
	国庫支出金	道支出金	一般財源											
8,050	2,012	4,025	2,013											

○要緊急安全確認大規模建築物耐震化促進事業補助金（単独分）【新規】

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	0	5,570	5,570	0
事業内容及び実績	<p>耐震改修促進法の改正に伴い、耐震診断の実施が義務付けられたホテル・旅館等の大規模建築物のうち、旧補助制度（補助率：補助対象耐震改修費用の23%以内）を活用して既に耐震改修を終えた建築物の所有者に対し、公平性等の観点から、補助率が嵩上げされた新補助制度（補助率：2/3（66.6%）以内）に準じて遡及的に補助した。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助対象棟数 1棟</li> </ul>			

○民間特定既存耐震不適格建築物耐震化促進事業補助金

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	2,000	0	0	0

事業内容及び実績	耐震化が努力義務となっている多数の者が利用する民間特定既存耐震不適格建築物について、所有者が行う耐震診断の実施に対し、その費用の一部を補助するため予算計上したが、申請が無かったことから、その全額を補正予算で減額した。
----------	--

○木造住宅耐震化促進事業補助金

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	100	0	0	0
事業内容及び実績	耐震化が努力義務となっている木造住宅について、所有者が行う耐震診断に対し、その費用の一部を補助するため予算計上したが、申請が無かったことから、その全額を補正予算で減額した。			

2 耐震改修促進計画策定事業費（前年度繰越事業）（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	繰越予算額	決算額	前年度決算額
4	2	2	2,163	2,163	—
目的			市内の住宅・建築物の耐震性の向上を図ることにより、地震による建築物の倒壊被害から市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止することを目的とする。		
事業内容及び実績			市内の住宅・建築物の耐震化を促進するため、北海道耐震促進改修計画が見直しされたこと等を踏まえ、登別市耐震改修促進計画について見直し、期間を平成32年度までとして策定した。		

目3 住宅建設費（予算説明書P129～P130）

1 市営住宅（幌別東団地）外壁改修事業費（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
4	2	2	10,700	10,700	10,692	9,072								
目的			老朽化した既存市営住宅の改修を行うことにより、入居者が快適で安心して生活できる市営住宅の機能の維持を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			市営住宅幌別東団地の外壁及びベランダ（防水）の改修工事を行った。 <b>【事業実績】</b> ・改修棟数 1棟 ・工事内容 ベランダ側の外壁下地改修、塗装 ベランダ（防水）改修 <b>【財源内訳】</b>											
			<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td colspan="2">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>10,692</td> <td>8,000</td> <td>2,692</td> </tr> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	10,692	8,000	2,692
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
10,692	8,000	2,692												

今後の方向性	市営住宅幌別東団地は1号棟を除き、老朽化が著しいことから、継続的かつ計画的に改修を行う。
--------	--

2 市営住宅（千代の台団地）建替事業費（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額											
4	2	2	81,829	75,500	68,411	46,554											
目的			老朽化した千代の台団地の建替えを実施することにより、入居者が安全で安心して快適に暮らせる住まいを提供することを目的とする。														
事業内容及び実績			建替えに係る既存入居者の仮移転、既存住棟の除却及び1号棟の実施設計を行った。 <b>【財源内訳】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>68,411</td> <td>40,914</td> <td>26,100</td> <td>1,397</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	68,411	40,914	26,100	1,397
事業費	財源内訳																
	国庫支出金	市債	一般財源														
68,411	40,914	26,100	1,397														
今後の方向性			住宅に困窮する市民の居住の安定を確保するとともに、居住性能の向上を図るため、老朽化した市営住宅（千代の台団地）の建替えを実施する。														

3 市営住宅（登別温泉団地）浄化槽改修事業費（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
4	2	2	4,990	4,536	4,536	297								
目的			老朽化した既存の単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に改修することにより、入居者が快適で安心して生活ができるよう住環境の改善を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			登別温泉団地1号棟の単独処理浄化槽を新たに合併処理浄化槽へ改修するため、実施設計を行った。 <b>【財源内訳】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,536</td> <td>4,500</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	4,536	4,500	36
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
4,536	4,500	36												
今後の方向性			平成31年3月、事業完了予定である。											

4 市営住宅給水設備改修事業費【新規】（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	2	2	9,160	8,500	8,500	0
目的			受水槽給水方式となっている中高層の市営住宅について、水道本管の圧力で給水を行う直結給水方式に改修することにより、停電時においても安定した給水を確保し、入居者が快適で安全な生活ができるよう住環境の改善を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			既存受水槽方式から直結給水方式への改修を実施するための調査を実施した。			

5 市営住宅物置改修事業費【新規】（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
4	2	2	6,600	6,340	6,340	0
目的			老朽化した市営住宅物置の改修を行うことにより、入居者が快適で安全な生活ができるよう住環境の改善を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			市営住宅柏木団地物置（2号棟、3号棟）の改修を実施した。			
今後の方向性			入居者が快適で安全な生活ができる住環境の改善等のため、老朽化した物置を順次建替又は外壁等改修を行う。			

6 市営住宅周辺整備事業費【新規】（都市整備部建築住宅G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
4	2	2	3,900	3,480	3,480	0								
目的			老朽化した市営住宅付帯施設の改修等を行うことにより、入居者が快適で安全な生活ができるよう住環境の改善を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			柏木団地集会所の屋根の葺替え及び柏木団地10号棟の外灯1基の取替を行った。 <b>【財源内訳】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,480</td> <td>1,900</td> <td>1,580</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	3,480	1,900	1,580
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
3,480	1,900	1,580												

## 第9款 消防費 項1 消防費

### 【主要データ】

#### ① 火災発生件数の推移

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
火災発生件数	17件	17件	16件
うち建物火災	10件	12件	10件

#### ② 救急車出動件数の推移

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
救急車出動件数	2,232件	2,343件	2,203件

### 目1 常備消防費 (予算説明書P131～P132)

#### 1 救急救命士養成事業費(消防本部総務G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	2	3	2,800	2,800	2,755	2,726
目的			救急救命士を養成し、救急救命体制の強化を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			一般財団法人救急振興財団救急救命東京研修所での研修を経て、職員1人が資格を取得した。			
今後の方向性			救急救命士養成計画に基づき職員を養成する。			

#### 2 消防職員防火衣更新事業費【新規】(消防本部総務G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額											
2	3	2	6,486	18,314	17,512	0											
目的			消防職員の防火衣を更新することにより、消防活動の強化、高度化を図ることを目的とする。														
事業内容及び実績			<p>消防職員の防火衣については、更新後10年以上が経過し防火性能の低下がみられること、また、平成29年3月の「消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン」改訂により安全基準が見直しされたことを踏まえ、消防活動の安全性を早急に確保するため、72式を更新した。</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>繰入金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17,512</td> <td>10,662</td> <td>1,800</td> <td>5,050</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳			道支出金	繰入金	一般財源	17,512	10,662	1,800	5,050
事業費	財源内訳																
	道支出金	繰入金	一般財源														
17,512	10,662	1,800	5,050														

目 3 消防施設費 (予算説明書 P133～P134)

1 消防支署新庁舎建設事業費 (消防本部総務 G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
2	3	2	80,493	72,194	72,194	6,059								
目的			登別温泉支署と登別支署の統合支署を建設することにより、効率的かつ効果的な消防体制の強化を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			用地を購入し、建設地の地質調査、基本設計及び実施設計を実施した。 <b>【財源内訳】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72,194</td> <td>56,700</td> <td>15,494</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	72,194	56,700	15,494
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
72,194	56,700	15,494												
今後の方向性			平成 32 年度の供用開始に向け、平成 30 年度は造成工事、本体工事の一部を実施する。											

2 高規格救急自動車更新事業費【新規】(消防本部総務 G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額														
1	2	3	33,743	29,689	29,641	0														
目的			老朽化した高規格救急自動車を更新することにより、救急活動の強化を図ることを目的とする。																	
事業内容及び実績			消防署配置の高規格救急自動車 1 台を更新した。 <b>【財源内訳】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="4">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>道支出金</th> <th>財産収入</th> <th>繰入金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29,641</td> <td>3,000</td> <td>38</td> <td>26,428</td> <td>175</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳				道支出金	財産収入	繰入金	一般財源	29,641	3,000	38	26,428	175
事業費	財源内訳																			
	道支出金	財産収入	繰入金	一般財源																
29,641	3,000	38	26,428	175																



## 第10款 教育費 項1 教育給務費

### 目3 指導教育研究費 (予算説明書P135～P138)

#### 1 不登校・いじめ等対策経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	1	218	218	171	151
目的			不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対応することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>教育指導専門員による教育相談や教職員研修会の開催、学習資料・広報紙による啓発等を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育指導専門員2人配置 月～金9:00～17:00</li> <li>・教育相談及びいじめ相談電話 5件(随時受付)</li> <li>・校長会・教頭会の代表、各小中学校教諭等と構成する不登校・いじめ等対策会議 2回(5月・2月)</li> <li>・教職員を対象とした研修会 2回(6月・11月)</li> <li>・「いじめ学習資料」等の配布 1回(各小中学校に配布)</li> <li>・広報紙「手をつなぐ親と子」1回発行(教育広報に登載)</li> <li>・ふれあいサポート懇談会 2回(6月・10月)</li> <li>・自然体験(鷺別岳登山) 1回(8月)</li> <li>・不登校等支援関係者情報交流懇談会 1回(2月)</li> </ul>			
今後の方向性			不登校やいじめ問題の解決には、児童生徒、保護者、学校、関係機関等との相互連携が不可欠であることから、教職員のスキル向上のための継続的な研修等を実施する。			

#### 2 スクールカウンセラー活用事業費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
5	2	1	50	50	44	49								
目的			不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対応することを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>臨床心理士の資格を持つスクールカウンセラー3人を学校に配置し、児童生徒等の相談に対応しカウンセリング体制の充実を図った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置校及び日数(拠点校方式)</li> </ul> <p>幌別中学校28日、緑陽中学校28日、鷺別中学校28日          ※1校につき週1日配置。拠点校方式とし、必要に応じ、各小中学校のカウンセリングに対応した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>185件</td> <td>198件</td> <td>280件</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	相談件数	185件	198件	280件
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
相談件数	185件	198件	280件											
今後の方向性			児童生徒の抱える問題が多様化し、相談内容も複雑化していることから、引き続き専門家によるカウンセリング機能の充実を図る。											

3 心の教室相談員活動経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
5	2	1	178	178	139	147												
目的			不登校やいじめ等を未然に防止するため、生徒が心にゆとりを持ち、ストレスをためることのない環境をつくることを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>生徒の悩み相談等に応じる心の教室相談員を各中学校に配置した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置人数 各校1人（週2～3日）</li> <li>・配置日数 幌別中学校83日、西陵中学校80日、鷲別中学校88日、緑陽中学校101日（登別中学校選考中）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>34件</td> <td>89件</td> <td>69件</td> </tr> <tr> <td>来室者数</td> <td>1,073人</td> <td>732人</td> <td>845人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	相談件数	34件	89件	69件	来室者数	1,073人	732人	845人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
相談件数	34件	89件	69件															
来室者数	1,073人	732人	845人															
今後の方向性			学校生活上の悩みや人間関係の不安等によるストレスを和らげるため、生徒が気軽に相談できるよう、引き続き地域の人材を活用した相談体制の充実を図る。															

4 スクールソーシャルワーカー活用事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	1	25	25	17	6
目的			不登校やいじめ等を未然に防止するとともに、それらの問題に早期かつ適切に対応することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>教育委員会にスクールソーシャルワーカーを2人配置し、不登校やいじめの解決に向け各小中学校へ派遣し支援を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、家庭、関係機関訪問</li> <li>・児童生徒と面談</li> <li>・保護者と懇談</li> <li>・関係機関実施のケース会議の参加</li> <li>・道主催の研修会への参加</li> </ul>			
今後の方向性			生徒指導にあたっている教職員との懇談やケース会議への積極的な参加に重点を置き、家庭と学校間の連携を図る。			

5 いじめ重大事案対策委員会経費【新規】（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	1	91	91	0	0
目的			いじめによる重大事案発生時における調査等を行う組織を設置することで、重大事案の対処および再発防止を図ることを目的とする。			

事業内容及び実績	<p>教育、心理、人権擁護等の専門的知識及び経験を有する方などから4人を選任し、登別市重大事案対策委員会委員を委嘱した。</p> <p>なお、5人目については、委員会招集時に登別市PTA連合会より選任することとしている。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重大事案発生件数：0件</li> </ul>
今後の方向性	<p>万が一の重大事案の発生時には、速やかに委員会を招集し調査審議を行う。</p>

6 学校図書館司書配置事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算	最終予算額	決算額	前年度決算額												
5	2	1	104	104	86	71												
目的			<p>学校図書館司書を配置することにより、学校図書館の機能向上を図ることを目的とする。</p>															
事業内容及び実績			<p>学校図書館司書4人を各小学校に配置し、学校図書館の運営に参画することで、児童が利用しやすい学校図書館を実現するための環境整備を図るとともに、児童の読書活動を推進するため多様な支援活動を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書籍の陳列方法や内容紹介の工夫</li> <li>・季節や行事に適した図書室の環境整備</li> <li>・読書推進のためのイベントの企画及び実施</li> <li>・長期休業期間中の図書室開放</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用児童数</td> <td>28,398人</td> <td>24,733人</td> <td>21,673人</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>42,474冊</td> <td>42,104冊</td> <td>36,344冊</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用児童数	28,398人	24,733人	21,673人	貸出冊数	42,474冊	42,104冊	36,344冊
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
利用児童数	28,398人	24,733人	21,673人															
貸出冊数	42,474冊	42,104冊	36,344冊															
今後の方向性			<p>児童が図書への興味関心を維持できるよう継続する。</p>															

7 特色ある学校づくり推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	5,380	5,000	4,270	4,288
目的			<p>地域の特性を生かした特色ある教育を行うことにより、豊かな人間性を育むとともに、地域への愛着を育てることを目的とする。</p>			
事業内容及び実績			<p>総合的な学習の時間や生活科等において、各学校の特色ある学校づくりを推進するための各種事業を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登別温泉入浴体験事業（各小学校3年生、370人参加）</li> <li>・総合的な学習活動研究推進事業（全小中学校） <ul style="list-style-type: none"> <li>講師講演 8件（小学校8件）</li> <li>野外体験学習（小学校）18回（バス借上げ14件） （中学校）4回（バス借上げ4件）</li> <li>職場体験学習等（中学校）6回（バスチケット136枚）</li> </ul> </li> </ul>			

	・生活科実施等経費（各小学校1・2年生） 花いっぱい運動（一年草購入 43ケース（8校））
今後の方向性	豊かな人間性、地域への愛着を育むのに有益な事業であることから、事業内容を随時検討しながら実施する。

8 自然体験学習推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	1,365	1,365	1,289	1,302
目的			地域の特性を生かした自然体験学習を推進することにより、児童生徒の社会性・自主性を育むことを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>ネイチャーセンターにおいて、宿泊研修や炊事遠足などの自然体験学習を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数等 小学校5年生（8校、411人参加） 中学校1年生（2校、171人参加）</li> <li>・実施内容 自然遊び体験、ものづくり体験、屋外調理実習、周辺散策、炊事等</li> </ul>			
今後の方向性			自然体験学習は、教室では学ぶことができない事柄に触れる良い機会であり、児童生徒に学ぶことの楽しさを実感させることができる事業であることから、継続して実施する。			

9 小中学校情報教育推進事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	35,332	33,661	33,570	32,428
目的			情報化社会の中で、様々な情報を主体的に選択・活用することができる能力を育むことを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>パソコン等の情報通信機器を小中学校等に配置し、授業・校務等において積極的に活用することで、情報教育の推進及び校務の効率化を図った。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン設置台数 小学校 200台、中学校 205台、学校事務 13台、 教員用 274台、学校図書館 13台、教育委員会 9台</li> </ul>			
今後の方向性			情報通信機器を積極的に活用することにより、児童生徒の学習への関心や理解の深化に努めるとともに、情報活用能力の育成及び情報モラルの定着を図る。			

10 コミュニティスクール活動支援事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	1,150	1,150	636	641

目的	学校・保護者・地域が一体となった「コミュニティスクール」の活動を支援・推進することにより、三者の意見が反映される「地域と共にある学校づくり」を実現することを目的とする。																		
事業内容及び実績	<p>全小中学校にコミュニティスクールを設置し、町内会や社会福祉関係者、PTA役員等を委員に任命し、各校で学校運営に係る会議を開催した。また、放課後の時間を活用し、小学校では地域住民による学習サポート、中学校では退職教員による学習指導を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>委員数</td> <td>全小中学校</td> <td>計110人</td> </tr> <tr> <td>会議開催回数</td> <td>全小中学校</td> <td>計41回</td> </tr> </table> </li> <li>・放課後学習サポート <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>講師数</td> <td>小学校 8校</td> <td>計94人</td> </tr> <tr> <td>学習サポート回数</td> <td>小学校 8校</td> <td>計97回</td> </tr> </table> </li> <li>・放課後学習指導 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>講師数</td> <td>中学校 2校</td> <td>計 5人</td> </tr> <tr> <td>学習指導回数</td> <td>中学校 2校</td> <td>計110回</td> </tr> </table> </li> </ul>	委員数	全小中学校	計110人	会議開催回数	全小中学校	計41回	講師数	小学校 8校	計94人	学習サポート回数	小学校 8校	計97回	講師数	中学校 2校	計 5人	学習指導回数	中学校 2校	計110回
委員数	全小中学校	計110人																	
会議開催回数	全小中学校	計41回																	
講師数	小学校 8校	計94人																	
学習サポート回数	小学校 8校	計97回																	
講師数	中学校 2校	計 5人																	
学習指導回数	中学校 2校	計110回																	
今後の方向性	子どもの生きる力の育成、地域の教育力・活力の向上のため、継続してコミュニティスクールの活動を支援する。																		

11 言語障害通級指導教室運営経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
5	2	2	761	761	723	152												
目的			言語障がい児教育の充実・伸展を図ることを目的とする。															
事業内容及び実績			<p>言語治療を必要とする幼児児童を対象に、ことばの教室を開設し、幼児部・小学部の入級判定や保護者との教育相談、言語指導を行った。</p> <p>また、平成30年度より鷺別小学校に開設されることばの教室の備品整備を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>通級児童数</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼児部</td> <td>41人</td> <td>42人</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>小学部</td> <td>65人</td> <td>66人</td> <td>62人</td> </tr> </tbody> </table>				通級児童数	平成29年度	平成28年度	平成27年度	幼児部	41人	42人	44人	小学部	65人	66人	62人
通級児童数	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
幼児部	41人	42人	44人															
小学部	65人	66人	62人															
今後の方向性			言語治療を必要とする幼児・児童の個別指導への環境を整えながら、言語障がい教育の充実を図る。															

12 特別支援教育振興費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	362	362	362	362

目的	心身に障がいのある児童生徒の能力と個性を伸ばし、将来における社会人としての自立と社会参加を促すことを目的とする。
事業内容及び実績	特別支援教育の指導内容の研究・交流事業等を実施した。 【事業実績】 ・小中学校特別支援学級の合同学習を通じた交流事業 ・全道研究集会への参加 ・地区研修交流会への参加 ・地区会報の発行
今後の方向性	障がいのある児童生徒の自立と社会参加能力向上のため、特別支援教育の振興を図る。

13 教育研究会運営事業補助金（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	600	600	600	600
目的			教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>教職員等により構成される登別市教育研究会に対し、各部会活動や研修会等の活動に要する経費の一部を補助した。</p> <p>【教育研究会の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究部会の開催（計4回） 14部会（事務、養護、進路指導、コンピュータ、特別支援教育、道徳、英語、保健体育、図工・美術、音楽、理科、算数・数学、社会、国語）</li> <li>・運営委員会の開催（計3回）</li> <li>・道内視察研修（参加人数3人）</li> </ul>			
今後の方向性			教職員の知識、指導力等の資質向上を図ることは市全体の教育レベルの向上につながるため、引き続き、登別市教育研究会の活動を支援する。			

14 教育実践研究奨励経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	521	521	275	345
目的			実践奨励校において教育実践研究を実施し、その成果を小中学校で共有することにより、教育レベルの向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>実践奨励校ごとに研究主題を定め、その成果を公開研究会で発表するとともに、研究紀要を作成した。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践奨励校（原則2か年とし、登別市教育委員会が指定） 平成29年度 10校 （新規）幌別西小学校、青葉小学校、鷺別小学校、若草小学校、幌別中学校、登別中学校</li> </ul>			

	<p>(継続) 幌別小学校、幌別東小学校、登別小学校、緑陽中学校</p> <p>・実践奨励校における研究内容          実践奨励校は、学校独自又は近隣校と共同で組織的、計画的に研究を行う。研究の領域・分野は、学習指導、道徳教育、教育課程など17分野から選択し実施する。平成29年度は7校が「学習指導」、3校が「道徳教育」を研究主題に取り上げ、研究に取り組んだ。</p>
今後の方向性	公開研究会等において結果の共有を行い、教職員の資質向上と学校教育の充実を図る。

15 教育指導研究奨励等経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	3,063	3,063	2,646	7,296
目的			指導方法の研究等を行うことにより、学校教育の一層の充実を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			指導方法の研究において必要な指導書及び参考図書等の購入や、各種教育研究団体の活動に要する経費の一部を負担した。			
今後の方向性			学校教育の更なる向上のため、引き続き、教職員の研究活動の充実を図る。			

16 学校図書システム広域化事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	260	260	249	248
目的			学校図書システムの運用を西いぶり定住自立圏の連携事業として共同実施することにより、運用経費の縮減、セキュリティの強化、運用の効率化・安定化を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			西いぶり定住自立圏における連携事業として、室蘭市と共同で学校図書システムの更新及び運用を行うこととし、これに要する費用を室蘭市に負担金として支出した。			
今後の方向性			運用費用の縮減、セキュリティの強化、運用の効率化・安定化を図るため、共同運用を継続する。			

17 情報教育システム広域化事業費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	6,395	6,395	6,054	7,539
目的			情報教育システムの運用を西いぶり定住自立圏の連携事業として共同実施することにより、運用経費の縮減、セキュリティの強化、運用の効率化・安定化を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			西いぶり定住自立圏における連携事業として、室蘭市、伊達市、壮瞥町と共同実施する情報教育システムの運用に係る費用を室蘭市に負担金として支出した。			

今後の方向性	運用費用の縮減とセキュリティの強化、運用の効率化・安定化を図るため、共同運用を継続する。
--------	--

#### 目 4 交流教育推進費 (予算説明書 P 137～ P 138)

##### 1 外国青年招致経費 (教育部学校教育 G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	18,659	18,659	18,060	17,369
目的			英語を使ったコミュニケーション能力の育成を図ることにより、国際化社会で活躍することができる人材を育てることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>小学校での外国語活動や中学校での英語指導において、ALT を各小中学校に週 1 日以上派遣し、英語を使用したコミュニケーション能力の育成や、地域における国際交流の推進を図った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置人数 4 人 (小学校 2 人、中学校 2 人)</li> <li>・ALT の活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校での外国語活動 延べ372日</li> <li>中学校での英語指導 延べ372日</li> <li>冬季休業期間中の学校図書室開放でのイベント参加</li> <li>通学合宿へのボランティア参加</li> </ul> </li> </ul>			
今後の方向性			児童生徒の発達段階に適した国際理解や英語を使ったコミュニケーション能力の育成、外国人と積極的に関わろうとする姿勢の育成を図るため、ALT の招致を継続する。			

#### 目 5 生涯学習推進費 (予算説明書 P 137～ P 138)

##### 1 学校支援地域本部事業費 (教育部社会教育 G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	3	3,039	3,039	2,764	2,668
目的			地域で学校をサポートするシステムを構築することにより、地域教育力の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>学校支援地域本部実行委員会を中心に、学校・家庭・地域が連携して各中学校区で地域の特色を生かした学校支援事業を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <p>ふれあい農園、世代間交流、音楽を楽しむ会等</p>			
今後の方向性			地域の特色を生かし、各校の要望に合わせた支援活動を実施する。			



目6 教育財産管理費 (予算説明書P137～P138)

1 教育施設運営管理委託料 (市民会館・鷺別公民館・総合体育館・陸上競技場)  
(教育部社会教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																				
5	1	1	63,562	63,562	63,562	63,562																				
目的			市民が活発に文化・スポーツ活動を行うことができる環境を整えることにより、市民の健全な心身の育成を図ることを目的とする。																							
事業内容及び実績			指定管理者への委託により社会教育施設の運営管理を行った。 <b>【事業実績】</b> ・指定管理者 一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団 ・委託期間：平成28年度～平成32年度																							
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>利用者数</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民会館</td> <td>54,404人</td> <td>63,126人</td> <td>71,806人</td> </tr> <tr> <td>鷺別公民館</td> <td>26,296人</td> <td>27,979人</td> <td>32,785人</td> </tr> <tr> <td>総合体育館</td> <td>58,736人</td> <td>55,750人</td> <td>22,924人</td> </tr> <tr> <td>陸上競技場</td> <td>3,963人</td> <td>8,192人</td> <td>13,397人</td> </tr> </tbody> </table>				利用者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度	市民会館	54,404人	63,126人	71,806人	鷺別公民館	26,296人	27,979人	32,785人	総合体育館	58,736人	55,750人	22,924人	陸上競技場	3,963人	8,192人	13,397人
利用者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度																							
市民会館	54,404人	63,126人	71,806人																							
鷺別公民館	26,296人	27,979人	32,785人																							
総合体育館	58,736人	55,750人	22,924人																							
陸上競技場	3,963人	8,192人	13,397人																							
今後の方向性			指定管理者制度を活用し、市民が利用しやすい環境の提供に努める。																							

2 市民会館整備事業費【新規】(教育部社会教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
5	3	1	11,589	8,997	8,997	0								
目的			市民会館の修繕を行うことにより、市民が安全・安心に文化活動を行うことのできる環境の整備を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			老朽化している屋外高圧受電設備内の更新工事を実施した。 <b>【財源内訳】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,997</td> <td>6,700</td> <td>2,297</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	8,997	6,700	2,297
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
8,997	6,700	2,297												
今後の方向性			市民が安全・安心に文化活動を行うことのできる環境の整備を図るため、市民会館の修繕を行う。											

目7 教育諸費 (予算説明書P137～P140)

1 児童生徒健康診断等経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	1	18,071	17,831	17,411	17,878

目的	児童生徒の健康保持及び増進を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	市内小中学校の児童生徒並びに新入学児童の健康診断等を実施した。 【事業実績】 ・全員実施：結核検診、尿検査、内科検診、歯科検診 ・小1・中1：心臓検診、眼科検診、耳鼻科検診 ・新入学児童健康診断受診者 309人 ・フッ化物洗口：全小中学校で実施 ・学校薬剤師による環境衛生調査
今後の方向性	引き続き、法定健診項目を確実に実施する。また、フッ化物洗口の実施により、児童生徒のう歯の予防に努める。

## 2 児童生徒遠距離通学費補助金（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	2,603	2,603	2,028	2,113
目的			バスで通学する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			バスで通学する児童生徒の保護者に対して、通学に要する費用の一部を補助した。 【事業実績】			
			補助実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			小学校2校	5人	4人	4人
			中学校3校	61人	74人	74人
今後の方向性			児童生徒の通学の安全性を確保し、保護者の経済的負担を軽減するため、引き続き支援を行う。			

## 3 スクールバス・スクールタクシー運行経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	12,425	11,926	11,588	12,029
目的			学校統合に伴い遠隔地から通学する児童生徒の負担及び保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。			
事業内容及び実績			遠隔地に居住する児童生徒を学校へ送迎するスクールバス・スクールタクシーを運行した。 ・スクールバス カルルス地区・上登別地区・登別温泉地区・中登別地区に居住する児童を登別小学校へ送迎 ・スクールタクシー 札幌市内に居住する児童生徒を幌別小学校、幌別中学校へ送迎 【事業実績】			
			対象人数	平成29年度	平成28年度	平成27年度
			幌別小学校	2人	2人	2人
			幌別中学校	1人	2人	3人
			登別小学校	28人	32人	28人

今後の方向性	対象者を的確に把握し、引き続きスクールバス及びスクールタクシーの運行を実施する。
--------	--

## 第10款 教育費 項2 小学校費

### 【主要データ】

#### ①小学校児童数等の推移

(各年度5月1日現在)

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
小学校数	8校	8校	8校	8校	8校
児童数	2,186人	2,239人	2,395人	2,402人	2,446人
学級数	107学級	106学級	105学級	102学級	105学級
うち特別支援学級数	22学級	21学級	19学級	15学級	15学級

### 目1 学校管理費 (予算説明書P141～P142)

#### 1 スキー授業推進経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	4,619	4,619	4,012	3,581
目的			地域の自然を生かし、地域に根ざした魅力ある学習活動を推進することにより、豊かな人間性を育むとともに、地域への愛着を育てることを目的とする。			
事業内容及び実績			冬期間のスポーツとして、スキーの推進を図った。 <b>【事業実績】</b> ・対象児童：各小学校5・6年生 (登別小学校は全校児童) 幌別小学校(90人) 幌別西小学校(98人) 幌別東小学校(25人) 青葉小学校(113人) 鷺別小学校(90人) 若草小学校(97人) 富岸小学校(156人) 登別小学校(延べ260人)			
今後の方向性			冬期間の体力及び健康の維持増進を図るとともに、豊かな人間性、地域への愛着を育てるため、事業を継続する。			

#### 2 特別活動推進経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	240	240	236	386
目的			集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、自主性や社会性等を育むことを目的とする。			
事業内容及び実績			各学校の特色や児童の発達段階などを踏まえ、児童による自主的・実践的な活動を助長した。 <b>【事業実績】</b> ・小学校における特別活動 学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事			

今後の方向性	集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な姿勢の育成を図る。
--------	--

### 3 特別支援教育推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																
5	2	2	1,453	1,453	1,254	1,441																
目的			心身に障がいのある児童の自立や社会参加を促進することを目的とする。																			
事業内容及び実績			<p>特別支援学級を設置し、児童一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校数</td> <td>8校</td> <td>8校</td> <td>8校</td> </tr> <tr> <td>特別支援学級数</td> <td>22学級</td> <td>21学級</td> <td>19学級</td> </tr> <tr> <td>児童数</td> <td>75人</td> <td>56人</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	学校数	8校	8校	8校	特別支援学級数	22学級	21学級	19学級	児童数	75人	56人	50人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
学校数	8校	8校	8校																			
特別支援学級数	22学級	21学級	19学級																			
児童数	75人	56人	50人																			
今後の方向性			児童の状況に即した教育環境を更に整備し、特別支援教育の推進を図る。																			

## 目2 施設管理費（予算説明書P141～P142）

### 1 小学校地下タンク整備事業費（教育部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
5	2	2	1,573	1,404	1,404	1,340								
目的			児童などが安全で安心して学校生活を送ることができるよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>老朽化した富岸小学校地下タンクについて、腐食防止措置としてFRP内部コーティング工事を実施した。</p> <p><b>【財源内訳】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,404</td> <td>1,000</td> <td>404</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	1,404	1,000	404
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
1,404	1,000	404												
今後の方向性			児童生徒等が安心して学校生活を送ることが出来るよう、教育環境の改善を図る。											

### 2 幌別西小学校耐震化・改修事業費（翌年度繰越事業）【新規】（教育部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	16,680	174,217	9,666	0
目的			地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備することを目的とする。			

事業内容及び実績	耐震診断（２次診断）の結果を踏まえ、幌別西小学校校舎の耐震化等に係る実施設計を行った。 なお、校舎の耐震化及び外壁改修工事を行うため補正予算を計上し、翌年度に繰り越した。 【財源内訳】							
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td colspan="2">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>9,666</td> <td>7,200</td> <td>2,466</td> </tr> </table>	事業費	財源内訳		市債	一般財源	9,666	7,200
事業費	財源内訳							
	市債	一般財源						
9,666	7,200	2,466						
今後の方向性	地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備する。							

3 富岸小学校耐震化・改修事業費（翌年度繰越事業）【新規】（教育部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額							
5	2	2	6,025	116,840	5,757	0							
目的			地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備することを目的とする。										
事業内容及び実績	耐震診断（２次診断）の結果を踏まえ、富岸小学校校舎の耐震化等に係る実施設計を行った。 なお、校舎の耐震化、外壁改修及び防水工事を行うため補正予算を計上し、翌年度に繰り越した。 【財源内訳】												
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td colspan="2">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>5,757</td> <td>4,300</td> <td>1,457</td> </tr> </table>						事業費	財源内訳		市債	一般財源	5,757	4,300
事業費	財源内訳												
	市債	一般財源											
5,757	4,300	1,457											
今後の方向性			地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備する。										

4 鶯別小学校建替事業費（前年度繰越事業）（教育部総務G）

章	節	施策	繰越予算額	決算額	前年度決算額										
5	2	2	423,300	391,532	1,394,060										
目的			老朽化した学校施設を改築することにより教育環境の改善、地域コミュニティの場として活用できるよう整備を図ることを目的とする。												
事業内容及び実績	耐震診断（２次診断）の結果を踏まえて実施した鶯別小学校校舎及び屋内運動場の全面改築に合わせ、既設建物の解体及びグラウンド等の屋外環境の整備を行った。 【財源内訳】														
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td colspan="3">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>市債</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>391,532</td> <td>50,171</td> <td>331,000</td> <td>10,361</td> </tr> </table>					事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	391,532	50,171	331,000
事業費	財源内訳														
	国庫支出金	市債	一般財源												
391,532	50,171	331,000	10,361												

目3 教育振興費 (予算説明書P141～P142)

1 要保護・準要保護就学援助費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
5	2	1	32,176	36,627	33,716	31,540								
目的			教育の機会均等の理念に基づき、義務教育を円滑に推進することを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>低所得により援助が必要であると認められた児童の保護者に対し、就学に必要な学用品等の経費の一部を援助した。</p> <p>また、4月入学予定の新入学準備金について、早期受給希望者に対し、3月に支給した。</p> <p>なお、対象世帯について、平成29年度より生活保護基準の1.3倍まで拡大した。</p> <p><b>【補助内容】</b> 給食費、学用品費、通学費、医療費、修学旅行費、校外活動費、PTA会費</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象児童数</td> <td>470人</td> <td>465人</td> <td>456人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	対象児童数	470人	465人	456人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
対象児童数	470人	465人	456人											
今後の方向性			児童の保護者への経済的支援として、就学に必要な学用品費等経費の一部を援助する。											

2 特別支援教育就学奨励費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
5	2	2	1,913	1,913	1,445	958								
目的			特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的支援を行うことを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>特別支援学級の就学に必要な経費の一部を援助した。</p> <p><b>【補助内容】</b> 学校給食費、通学に要する交通費(通学費)、交流及び共同学習に要する交通費、修学旅行費、校外活動等参加費、学用品等購入費、新入学児童生徒学用品費等</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象児童数</td> <td>41人</td> <td>30人</td> <td>34人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	対象児童数	41人	30人	34人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
対象児童数	41人	30人	34人											
今後の方向性			特別支援教育の普及奨励を図るため、特別支援学級に在籍している児童の保護者に対して、適切な援助を行う。											

## 第10款 教育費 項3 中学校費

### 【主要データ】

#### ①中学校生徒数等の推移

(各年度5月1日現在)

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
中学校数	5校	5校	5校	5校	5校
生徒数	1,128人	1,185人	1,139人	1,145人	1,161人
学級数	45学級	49学級	45学級	44学級	46学級
うち特別支援学級数	11学級	11学級	10学級	10学級	9学級

### 目1 学校管理費 (予算説明書P143～P144)

#### 1 中学校体育連盟助成金 (教育部学校教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	1	1,400	1,400	1,400	1,400
目的			スポーツを通して生徒の心身の健康を増進するとともに、学校間の親睦と交流を深めることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>中学校の体育活動振興のために活動する中学校体育連盟に対し、その活動に必要な経費の一部を助成した。</p> <p><b>【連盟の活動実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会の開催 (春季、秋季)</li> <li>・理事会及び専門委員会の開催 (計2回)</li> <li>・胆振西部及び胆振二地区中体連大会への参加等</li> </ul>			
今後の方向性			中学校体育連盟が主催する体育大会等は、生徒の部活動等における目標となるものであり、体育振興、健康増進、生徒間交流などに果たす役割は大きいため、引き続き、活動を支援する。			

#### 2 特別活動推進経費 (教育部学校教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	2,820	2,820	2,517	2,968
目的			集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、自主性や社会性等を育むことを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>各学校の特色や生徒の発達段階などを踏まえ、生徒による自主的・実践的な活動を助長した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校における特別活動 学級活動、生徒会活動、部活動、学校行事</li> </ul>			
今後の方向性			集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な姿勢の育成を図る。			

3 特別支援教育推進経費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																
5	2	2	660	660	544	804																
目的			心身に障がいのある生徒の自立や社会参加を促進することを目的とする。																			
事業内容及び実績			<p>特別支援学級を設置し、生徒一人ひとりの教育的ニーズを踏まえて、自立や社会参加に向けて必要な支援を行った。</p> <p>【事業実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校数</td> <td>5校</td> <td>5校</td> <td>5校</td> </tr> <tr> <td>特別支援学級数</td> <td>11学級</td> <td>11学級</td> <td>10学級</td> </tr> <tr> <td>生徒数</td> <td>29人</td> <td>32人</td> <td>29人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	学校数	5校	5校	5校	特別支援学級数	11学級	11学級	10学級	生徒数	29人	32人	29人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																			
学校数	5校	5校	5校																			
特別支援学級数	11学級	11学級	10学級																			
生徒数	29人	32人	29人																			
今後の方向性			生徒の状況に即した教育環境を更に整備し、特別支援教育の推進を図る。																			

目2 施設管理費（予算説明書P143～P144）

1 西陵中学校屋上防水改修事業費【新規】（教育部総務G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
5	2	2	7,200	6,977	6,977	0								
目的			生徒などが安心して学校生活を送ることができるよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>老朽化した西陵中学校校舎の屋上防水改修工事を実施した。</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,977</td> <td>5,200</td> <td>1,777</td> </tr> </tbody> </table>				事業費	財源内訳		市債	一般財源	6,977	5,200	1,777
事業費	財源内訳													
	市債	一般財源												
6,977	5,200	1,777												

2 登別中学校耐震化・改修事業費（前年度繰越事業）（教育部総務G）

章	節	施策	繰越予算額	決算額	前年度決算額											
5	2	2	141,803	126,954	10,638											
目的			地震に対して倒壊等の危険性がある校舎等の耐震化及び改修を行うことにより、安全・安心な教育環境を整備することを目的とする。													
事業内容及び実績			<p>耐震診断(2次診断)の結果を踏まえ、登別中学校校舎の耐震改修、外壁改修、屋根改修及び、渡り廊下改築工事を実施した。</p> <p>【財源内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>126,954</td> <td>17,747</td> <td>106,100</td> <td>3,107</td> </tr> </tbody> </table>			事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	126,954	17,747	106,100	3,107
事業費	財源内訳															
	国庫支出金	市債	一般財源													
126,954	17,747	106,100	3,107													



3 登別中学校便所洋式化事業費（前年度繰越事業）（教育部総務G）

章	節	施策	繰越予算額	決算額	前年度決算額											
5	2	2	13,412	11,222	—											
目的			生徒等が安心して学校生活を送ることができるよう、教育環境の改善を図ることを目的とする。													
事業内容及び実績			登別中学校便所について和式から洋式に改修した。 <b>【財源内訳】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,222</td> <td>4,078</td> <td>7,100</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table>			事業費	財源内訳			国庫支出金	市債	一般財源	11,222	4,078	7,100	44
事業費	財源内訳															
	国庫支出金	市債	一般財源													
11,222	4,078	7,100	44													

目3 教育振興費（予算説明書P143～P144）

1 要保護・準要保護就学援助費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
5	2	1	30,171	33,993	33,453	28,675								
目的			教育の機会均等の理念に基づき、義務教育を円滑に推進することを目的とする。											
事業内容及び実績			低所得により援助が必要と認められた生徒の保護者に対し、就学に必要な学用品等の経費の一部を援助した。 また、4月入学予定の新入学準備金について、早期受給希望者に対し、3月に支給した。 なお、対象世帯について、平成29年度より生活保護基準の1.3倍まで拡大した。 <b>【補助内容】</b> 給食費、学用品費、通学費、医療費、修学旅行費、校外活動費、PTA会費 <b>【事業実績】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象生徒数</td> <td>284人</td> <td>266人</td> <td>278人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	対象生徒数	284人	266人	278人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
対象生徒数	284人	266人	278人											
今後の方向性			生徒の保護者への経済的支援として、就学に必要な学用品費等経費の一部を援助する。 また、平成30年度より、生徒会費やクラブ活動費についても補助対象とする。											

2 特別支援教育就学奨励費（教育部学校教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	1,006	1,006	887	1,150
目的			特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的支援を行うことを目的とする。			

事業内容及び実績	特別支援学級への就学に必要な費用の一部を援助した。 【補助内容】 学校給食費、通学に要する交通費（通学費）、職場実習に要する交通費（職場実習交通費）、交流及び共同学習に要する交通費、修学旅行費、校外活動等参加費、学用品等購入費、新入学児童生徒学用品費等 【事業実績】			
	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
	対象生徒数	17人	21人	15人
今後の方向性	特別支援学級の普及奨励を図るため、特別支援学級に在籍している生徒の保護者に対して適切な援助を行う。			

## 第10款 教育費 項4 社会教育費

### 目1 社会教育総務費（予算説明書P145～P146）

#### 1 胆振女性リーダー養成研修経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
1	4	2	110	110	49	47
目的			地域で活動する女性を女性教育の先進地に派遣し、女性リーダーとしての資質の向上と地域づくりのための団体活動の活性化を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			胆振管内社会教育共同事業として、女性教育の振興等を活動目的としている国立女性教育会館が開催するワークショップに地域で活動している女性を派遣し、女性リーダーの育成を図った。 【事業実績】 ・期間 8月24日（木）～27日（日） ・研修内容 「男女共同参画推進フォーラム」へ参加 ・派遣人数 1人 ・事前研修 8月4日（金）（登別市民会館） ・事後研修 10月23日（月）（登別市民会館）			
今後の方向性			今後は地域で活動する人を国立女性教育会館が開催するワークショップへ派遣することにより、地域活動の活性化と男女共同参画社会の推進を図る。			

#### 2 市民生涯学習推進講座経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	1	1	889	889	621	512
目的			市民が生涯を通じて学習活動を行うことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を図ることを目的とする。			

今後の方向性	<p>家庭教育学級については、園児や児童を持つ保護者の家庭における教育力を高めるため、幼稚園、小学校、保護者へ目的等について説明を行い、内容の充実を図る。</p> <p>市民マイプラン講座については、学習会等の活動を支援することで、市民の学習意欲を喚起する。</p> <p>登別ときめき大学については、知識の充実を図るとともに、まちづくりを担う人材の育成のため、講座の充実と参加者の増加に努める。</p>
--------	--

○家庭教育学級経費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
	364	364	176	209
事業内容及び実績	<p>家庭の教育力を高めるため、幼稚園・小学校、保護者の連携による各学級の学習会のほか、講演会（全体学習会）、活動展を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育学級 12学級（小学校8、幼稚園4）にて、38回開催</li> <li>・全体学習会 勉強会 演 題：親子で取り組む！夏休みの過ごし方 実施日：7月12日（水） 講 師：北海道教育庁胆振教育局教育支援課 社会教育指導班 川崎真也氏 参加者：12人</li> <li>講演会 演 題：子どものこづかいと親子のかかわり 実施日：11月12日（日） 講 師：北海道金融広報委員会 横井規子氏 参加者：19人</li> <li>・活動展 実施日：11月6日（月）～9日（木） 場 所：登別市民会館</li> </ul>			

○市民マイプラン講座経費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
	150	150	70	50								
事業内容及び実績	<p>市民が自主的に企画し、複数人規模で行う学習等の活動に講師を派遣した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師料 1団体あたり年1回、5,000円</li> <li>・講座内容 ハーモニカ練習、初心者ヨガ教室、アロマブローチ作り等</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>区分</td> <td>平成29年度</td> <td>平成28年度</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>利用団体</td> <td>14団体</td> <td>10団体</td> <td>20団体</td> </tr> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用団体	14団体	10団体	20団体
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度									
利用団体	14団体	10団体	20団体									

○登別ときめき大学経費

	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
	375	375	375	253								
事業内容及び実績	<p>登別ときめき大学事務局主催の基礎コースと他団体主催の連携コースで、それぞれ講座を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎コース 事務局主催により計9講座実施 アイヌ神謡集超入門、健康につながる食育、南極での生活と食について 等</li> <li>・連携コース 他団体等主催により122講座実施 ミズバショウ観察会、初心者英会話教室、きずなシンポジウム 等</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数</td> <td>87人</td> <td>91人</td> <td>85人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	登録者数	87人	91人	85人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度									
登録者数	87人	91人	85人									

3 P T A 連 合 会 助 成 金 ( 教 育 部 社 会 教 育 G )

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	2	300	300	300	300
目的			<p>研修活動や単位P T Aの連携協力等を行う登別市P T A連合会を支援することにより、子どもたちの豊かな人間性を育むことを目的とする。</p>			
事業内容及び実績			<p>市内の小中学校及び高校等のP T Aで構成される登別市P T A連合会に対し、その活動に要する経費の一部を助成した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <p>研究大会の開催、教育講話会・交流会の開催、母親研修会の開催、広報紙の発行等</p>			
今後の方向性			<p>子どもたちの豊かな人間性を育むため、登別市P T A連合会の活動を支援する。</p>			

4 登別市文化・スポーツ振興財団事業補助金 ( 教 育 部 社 会 教 育 G )

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	1	1	4,909	4,909	4,887	4,909
目的			<p>文化やスポーツ活動の振興を図る一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の実施する事業を支援することにより、文化振興及びスポーツ推進を図ることを目的とする。</p>			
事業内容及び実績			<p>同財団に対して、文化・スポーツ活動へのきっかけとなる初心者向けの教室や芸術鑑賞事業、スポーツ大会などの実施に要する経費の一部を補助した。</p> <p><b>【補助事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化教室 9事業</li> <li>事業内容 初心者英会話教室等</li> <li>参加人数 128人</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞 2事業 事業内容 道新ジュニアクラシック等 参加人数 1,231人</li> <li>・スポーツ教室 9事業 事業内容 初心者レディースゴルフ教室等 参加人数 642人</li> <li>・スポーツ大会 4事業 事業内容 市民ソフトボール（夏・秋）等 参加人数 257人</li> <li>・共催事業 4事業 事業内容 市民ミニバレー大会等 参加人数 912人</li> </ul>
今後の方向性	市民ニーズを的確に把握し、効果的に事業を実施することにより、文化及びスポーツの振興を図る。

5 登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	1	1	11,749	11,749	10,953	11,279
目的			一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の活動を支援することにより、質の高い文化やスポーツ活動の振興を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			同財団に対して、その運営に要する経費を補助した。			
今後の方向性			文化及びスポーツの振興を図るため、引き続き補助する。			

目2 婦人研修施設費（予算説明書P145～P146）

1 婦人研修の家維持管理経費（市民生活部市民協働G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	1	1	1,582	1,582	1,553	1,260
目的			婦人の生活文化や教養の向上を図るとともに、地域住民の活動拠点として住民同士の連携を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			町内会等が指定管理者となっている8か所の婦人研修の家の維持管理を行ったほか、施設修繕を実施した。 【修繕実績】 ・若草婦人研修の家：和室床修繕			
今後の方向性			指定管理者である町内会等と連携し、適切な維持管理に努める。			

目 4 図書館費 (予算説明書 P145～P148)

【主要データ】

① 購入図書冊数等の推移

区分	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度
購入図書冊数	6,096 冊	6,002 冊	6,121 冊
蔵書冊数	160,684 冊	157,493 冊	158,592 冊
貸出登録者数	24,794 人	27,970 人	23,059 人
貸出冊数	203,612 冊	218,954 冊	239,977 冊
本館	119,771 冊	133,376 冊	140,161 冊
アーニス分館	16,551 冊	18,326 冊	17,929 冊
移動図書館車	20,131 冊	21,241 冊	23,654 冊
鷺別配本所	32,581 冊	32,605 冊	33,840 冊
登別配本所	3,541 冊	3,470 冊	3,762 冊
登別温泉配本所	703 冊	563 冊	815 冊
団体貸出	10,394 冊	9,373 冊	19,816 冊
相互貸借冊数	1,738 冊	1,370 冊	2,000 冊
市民 1 人当貸出冊数	4.20 冊	4.46 冊	4.84 冊

1 図書館運営管理経費 (教育部図書館)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	1	1	9,452	9,852	9,215	7,170
目的			図書館資料の整備と読書推進事業の実施、配本所の機能強化に努めることにより、市民の教育文化の向上に寄与することを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>図書館資料の整備と市民の求める資料の提供に努めるとともに、すべての市民を対象にした読書推進事業を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生の読書感想文コンクール 応募件数 449件</li> <li>・小中学生の読書感想画コンクール 応募件数 78件</li> <li>・年長児の読書感想画募集 応募件数 258件</li> <li>・「めがねおじさんのにんぎょうげきと工作」(5月20日) 講師：降幡行雄氏 参加人数 96人</li> <li>・「紙人形ウレシパ劇場」(11月3日) 講師：富樫利一氏 参加人数 16人</li> <li>・ふるさと再発見講座「郷土資料をデータベースに」(12月9日) 講師：高森繁美氏 参加人数 26人</li> <li>・絵本講座「大人だからこそうけとめられるもの続」(1月20日) 講師：瀧内智子氏 参加人数 43人</li> <li>・アイヌ文化講座「アイヌ民族の歴史を学ぼう」(2月17日) 講師：富樫利一氏 参加人数 26人</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域文化講座「たたら製鐵講座」（2月24日） 講師：石崎勝男氏 参加人数 16人</li> <li>・「はじめての油絵」（全2回）（7月15日、7月29日） 講師：高木三千子氏 参加人数 計12名</li> <li>・「ブックリスト」（小学生向けのお薦め本）発行 (年2回)</li> </ul>
今後の方向性	「地域の社会関係資本」「教育的資源」としての機能を積極的に果たすため、市民のニーズに応えられるよう多様な資料の収集・提供に努めるとともに、本に親しむ機会を創出する事業を企画・展開する。

## 2 移動図書館車運行業務委託料（教育部図書館）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	1	1	5,087	5,087	5,087	5,087
目的			市民が地域で図書館サービスを利用できる環境を整えることにより、市民の教育文化の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			移動図書館車の効率的な運行と巡回サービスの向上を図るため、運行業務を委託した。 <b>【事業実績】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間運行日数 223日</li> <li>・委託期間 平成28年度～平成29年度</li> </ul> 業務委託は平成29年度をもって終了した。			

## 3 図書館ネットワークサービス広域化事業費（教育部図書館）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	1	1	648	648	636	634
目的			近隣市との図書館相互利用を可能にすることにより、市民が図書館を利用しやすい環境を整えることを目的とする。			
事業内容及び実績			定住自立圏の連携事業として、登別・室蘭・伊達の3市の図書館情報システムや図書資料等を一体で運用・利用した。 <b>【事業実績】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室蘭、伊達に配送した登別の図書冊数 28,916冊</li> <li>・登別に配送された室蘭、伊達の図書冊数 20,337冊</li> </ul>			
今後の方向性			利用者の利便性の更なる向上を図るため、弾力的に物流業務を進める。 また、Windows10への対応のため、パソコン及びシステムの更新を進める。			

## 4 アーニス分館運営管理経費（教育部図書館）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	1	1	5,924	5,924	5,840	5,805

目的	図書館アーニス分館を運営することにより、図書等の充実、バリアフリー化、夜間及び祝日の開館による利便性の向上を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	<p>図書館分館を運営し、高齢者を対象とした大活字本の充実、雑誌資料の拡充、インターネットを活用したデジタル資料・データベースの提供を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間開館日数 290日</li> <li>・年間利用者数 8,600人（団体貸出数含まず）</li> <li>・オンライン・データベース 3種類</li> </ul>
今後の方向性	蔵書の種類、開館日や開館時間を本館と差別化し、市民ニーズに応えられるよう努める。

5 ブックスタート・ライブラリースタート事業費（教育部図書館）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額															
5	1	1	1,028	1,028	870	982															
目的	本にふれる機会を提供することにより、乳幼児の読書意欲の向上と図書館の利用を促進することを目的とする。																				
事業内容及び実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート 4カ月児健診時に絵本3冊と絵本リストやアドバイス集、コットンバッグを配布した。</li> <li>・ライブラリースタート 3歳児健診時に事業を説明したチラシを配付し、その後来館した際に、施設のサービスや事業、利用方法等を紹介するとともに、本1冊を提供した。</li> </ul> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者数</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブックスタート</td> <td></td> <td>291人</td> <td>326人</td> <td>553人</td> </tr> <tr> <td>ライブラリースタート</td> <td></td> <td>121人</td> <td>88人</td> <td>67人</td> </tr> </tbody> </table>							利用者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度	ブックスタート		291人	326人	553人	ライブラリースタート		121人	88人	67人
	利用者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度																	
ブックスタート		291人	326人	553人																	
ライブラリースタート		121人	88人	67人																	
今後の方向性	平成30年度の実施方法での配布率を検証し、利用者ニーズの状況によっては別事業への転換や事業廃止を検討する。																				

6 移動図書館車更新事業費【新規】（教育部図書館）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額											
5	1	1	13,732	11,984	11,983	0											
目的	移動図書館車を更新することにより、市民が地域で図書館サービスを利用できる環境を整えることを目的とする。																
事業内容及び実績	<p>移動図書館車を更新した。</p> <p><b>【財源内訳】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>寄附金</th> <th>繰入金</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,983</td> <td>8,000</td> <td>3,600</td> <td>383</td> </tr> </tbody> </table>						事業費	財源内訳			寄附金	繰入金	一般財源	11,983	8,000	3,600	383
事業費	財源内訳																
	寄附金	繰入金	一般財源														
11,983	8,000	3,600	383														



目5 青少年対策費 (予算説明書P147～P148)

1 放課後子ども教室推進事業費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																																
1	3	1	3,479	3,479	3,408	3,387																																
目的			放課後に子どもたちが安全・安心して過ごすことができる活動拠点(居場所)を設けることにより、子育て環境の整備を図ることを目的とする。																																			
事業内容及び実績			<p>小学校の余裕教室や体育館に、子どもたちの安全・安心な活動拠点として放課後子ども教室を設置し、委託先である実行委員会を主体に、地域の方々の協力を得て、様々な体験活動や交流活動などの取組を推進した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置地区                     <ul style="list-style-type: none"> <li>鷺別地区放課後子ども教室</li> <li>幌別東小学校区放課後子ども教室</li> </ul> </li> <li>・運営方法                     <ul style="list-style-type: none"> <li>各地区で放課後子ども教室実行委員会へ委託</li> </ul> </li> <li>・主な活動内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>宿題、百人一首、工作、読み聞かせ、自分たちで考えた遊び、バドミントン、大なわとび、ドッジボールなど</li> </ul> </li> <li>・行事                     <ul style="list-style-type: none"> <li>季節行事や児童クラブとの合同行事など(もちつき、流しそうめん、クリスマス会など)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【活動実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鷺別地区放課後子ども教室                     <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開設日数</td> <td>94日</td> <td>95日</td> <td>94日</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>144人</td> <td>162人</td> <td>149人</td> </tr> <tr> <td>延べ参加人数</td> <td>4,043人</td> <td>4,268人</td> <td>4,205人</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>・幌別東小学校区放課後子ども教室                     <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開設日数</td> <td>94日</td> <td>88日</td> <td>88日</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>46人</td> <td>51人</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>延べ参加人数</td> <td>1,857人</td> <td>1,849人</td> <td>1,651人</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	開設日数	94日	95日	94日	登録者数	144人	162人	149人	延べ参加人数	4,043人	4,268人	4,205人	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	開設日数	94日	88日	88日	登録者数	46人	51人	49人	延べ参加人数	1,857人	1,849人	1,651人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																			
開設日数	94日	95日	94日																																			
登録者数	144人	162人	149人																																			
延べ参加人数	4,043人	4,268人	4,205人																																			
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度																																			
開設日数	94日	88日	88日																																			
登録者数	46人	51人	49人																																			
延べ参加人数	1,857人	1,849人	1,651人																																			
今後の方向性			実行委員会を主体に地域と連携を図りながら、引き続き実施する。																																			

2 通学合宿 みんなで学ぶ「子ども村」(教育部社会教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
2	2	1	2,060	1,818	1,818	2,366
目的			共同生活を行う機会を提供することにより、基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けるとともに、協調性や責任感を育むことを目的とする。			

事業内容及び実績	<p>小学生（5～6年生）がネイチャーセンターで支援ボランティアの協力を得て共同生活をし、自然体験や学習活動を行いながら学校へ通う「通学合宿」を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <p>5月 9日（火）～ 5月 13日（土）  5月 23日（火）～ 5月 27日（土）  11月 7日（火）～ 11月 11日（土）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ参加人数</td> <td style="text-align: center;">114人</td> <td style="text-align: center;">132人</td> <td style="text-align: center;">167人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	延べ参加人数	114人	132人	167人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度						
延べ参加人数	114人	132人	167人						
今後の方向性	<p>実行委員会を主体に、地域ボランティア団体等との連携や、北海道教育委員会の学校サポーター派遣事業の活用を図りながら、引き続き実施する。</p>								

### 3 少年の主張大会経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	3	27	27	27	27
目的			<p>子どもたちが、論理的に考える力や自分の考えを正しく理解してもらう力、広い視野と柔軟な発想、創造性を身につけるとともに、青少年の健全育成に対する市民の理解を得ることを目的とする。</p>			
事業内容及び実績			<p>中学生が日常生活での体験や日ごろ考えていることなどについて発表を行う少年の主張大会を開催した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <p>・開催日：6月6日（火） 場所：緑陽中学校</p>			
今後の方向性			<p>青少年が社会に向けて意見などを発信する重要な機会であることから、引き続き実施する。</p>			

### 4 青少年育成指導経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	3	782	782	625	636
目的			<p>青少年非行の未然防止を図り、青少年が健やかに育つ環境を構築するとともに、模範となる青少年の健全育成を図ることを目的とする。</p>			

事業内容及び実績	<p>青少年センターを運営し、専任指導員や青少年指導委員による巡回等を行った。</p> <p>鷲別・緑陽中学校区、明日・西陵・幌別・登別中学校区の2区分による通常巡回。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年センター <ul style="list-style-type: none"> <li>青少年支援員 1人</li> <li>専任指導員 1人</li> <li>青少年指導委員 58人</li> </ul> </li> <li>・青少年問題協議会委員 13人</li> <li>・活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>青少年センター巡回活動 371日</li> <li>特別巡回 54日</li> <li>こども110番スタディちゃんの家登録数 459件</li> </ul> </li> </ul>
今後の方向性	<p>青少年非行や犯罪被害等の未然防止に向け、地域や関係団体と連携を図りながら引き続き巡回等を実施する。</p>

5 成人祭経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	3	279	279	231	173
目的			<p>新成人が大人としての自覚をもち、意識の向上を図ることを目的とする。</p>			
事業内容及び実績			<p>市内に勤務する青年や専門学校生、高校生で組織する登別市成人祭実行委員会の主催により成人祭を開催した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 1月7日（日）</li> <li>・場所 登別市民会館</li> <li>・出席者数 368人（対象者544人、出席率67.64%）</li> <li>・事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>第一部 式典(市長等式辞/議長祝辞/二十歳の誓い)</li> <li>第二部 アトラクション(卒業中学校担任等ビデオレター/卒業中学校対抗ゲーム/抽選会/集合写真)</li> </ul> </li> </ul>			
今後の方向性			<p>実行委員会を中心として、事業内容の改善を図りながら、時勢に合った成人祭を開催する。</p>			

6 子ども会活動振興助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	3	830	830	830	830
目的			<p>子どもたちの「生きる力」と健全な心身の育成を図ることを目的とする。</p>			

事業内容及び実績	<p>子どもたちの健全育成のために活動する登別市子ども会育成連絡協議会に対して、その活動に要する経費の一部を助成した。</p> <p><b>【協議会の自主事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加盟団体数 40団体（7地区連）</li> <li>・主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>育成者研修会 11月18日（土） 参加人数 50人</li> <li>かるた大会 1月14日（日） 参加人数 40人</li> </ul> </li> </ul>
今後の方向性	<p>青少年の健全育成は行政だけでなく地域の関係者の協力が不可欠であるため、同協議会への支援を継続する。</p>

## 目 6 郷土資料館費 （予算説明書 P 147～ P 148）

### 1 郷土資料館運営管理経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
5	3	2	2,503	2,503	2,423	1,993								
目的			郷土に関する資料を市民に供することにより、ふるさと登別を愛する心を育てることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>郷土の歴史、民俗、産業、文化に関する資料を収集、保管、展示する郷土資料館の運営管理を行った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入館者数</td> <td>3,017人</td> <td>3,852人</td> <td>3,437人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展及び企画展の開催</li> <li>・常設展示の一部改編</li> <li>・市内外小中学生の見学受入れ</li> <li>・資料寄贈の受入れ 寄贈資料 1,008点</li> </ul>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	入館者数	3,017人	3,852人	3,437人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
入館者数	3,017人	3,852人	3,437人											
今後の方向性			市内外から郷土に関する資料を収集し、市民が利用しやすい様に整理・保管する。また、特別展・企画展を通して郷土の歴史・文化を普及・啓発する。											

## 目 7 文化振興費 （予算説明書 P 147～ P 150）

### 1 文化振興助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	3	1	800	800	800	800
目的			地域に根ざした文化振興活動を行う文化団体を支援することにより、市民が文化に親しむことのできるまちづくりの推進を図ることを目的とする。			

事業内容及び実績	<p>本市における文化の振興と裾野拡大のために活動を行う登別市文化協会に対して、その活動に要する経費の一部を助成した。</p> <p><b>【協会の事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加盟団体数：29団体 1,107人</li> <li>・活動内容</li> </ul> <p>[主催・主管事業]</p> <p>機関誌・文芸誌の発行（年1回） 等</p> <p>第53回市民文化祭 等</p> <p>[参画事業]</p> <p>第41回道民芸術祭第48回胆振芸術祭</p> <p>市民活動センターへの参画</p> <p>（のぼりん文化講座への協力） 等</p>
今後の方向性	同協会を支援することで、市民が文化に親しむことのできるまちづくりを目指す。

## 2 児童・生徒文化振興助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額																							
5	3	1	800	800	493	797																							
目的			文化活動を行う児童生徒の保護者の負担を軽減することにより、児童生徒の文化活動の推進を図ることを目的とする。																										
事業内容及び実績			<p>市内の小中学校、高等学校等に通う児童生徒又は市内に居住する児童生徒が、全国大会及び全道大会に参加する場合に要する経費の一部を助成した。</p> <p><b>【助成実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">全道大会</td> <td>件数</td> <td>13件</td> <td>9件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>169人</td> <td>140人</td> <td>192人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全国大会</td> <td>件数</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>5人</td> <td>23人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>				区分		平成29年度	平成28年度	平成27年度	全道大会	件数	13件	9件	14件	人数	169人	140人	192人	全国大会	件数	2件	1件	1件	人数	5人	23人	2人
区分		平成29年度	平成28年度	平成27年度																									
全道大会	件数	13件	9件	14件																									
	人数	169人	140人	192人																									
全国大会	件数	2件	1件	1件																									
	人数	5人	23人	2人																									
今後の方向性			児童生徒の文化振興を図るため、文化活動に係る大会に参加する児童生徒の支援を行う。																										

## 3 西いぶり定住自立圏文化事業負担金（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	3	1	1,000	1,000	906	944
目的			市民がより質の高い文化に触れる機会を設けることにより、地域文化の振興を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			西いぶり定住自立圏（登別・室蘭・伊達・豊浦・壮瞥・洞爺湖）で実行委員会を組織し、3市の負担金により輪番で文化事業を行った。			

	<b>【事業実績】</b> ・開催市 室蘭市 ・演目 札幌交響楽団 室蘭公演 ・開催日 10月22日（日） ・会場 室蘭市文化センター大ホール ・来場者数 1,175人
今後の方向性	今後も広域的な文化交流事業として取り組み、西胆振全体の文化振興の推進を図る。

#### 4 文化伝承館運営管理経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	3	2	319	319	316	285
目的			郷土の歴史や文化を伝承することにより、市民の教育・文化の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			郷土資料館ボランティアグループS L Gの協力を得て郷土の歴史や文化に関する学習会等を開催するなど、文化伝承館の運営管理を行った。 <b>【事業実績】</b> 布ぞうり作り、ベこもち作り、らくがん作り、おひな様人形作り等 17事業			
今後の方向性			引き続き、郷土資料館ボランティアグループS L Gとともに、体験学習の内容の充実を図る。			

#### 5 のぼりべつ文化交流館運営管理経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
5	3	2	3,472	3,472	3,257	2,799												
目的			埋蔵文化財に接する機会を設けることにより、郷土に対する理解を深めるとともに、作品展示の場を設けることで市民の文化活動を推進することを目的とする。															
事業内容及び実績			市内で発掘・出土した埋蔵文化財の保管・展示、体験学習、市民の作品展示などを行った。 <b>【事業実績】</b> ・市内で出土した埋蔵文化財の展示 ・体験学習（縄文太鼓をつくろう等）の実施 ・市内外小学校の見学受入れ ・市民の文化作品の展示等															
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>来館者数</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示</td> <td>1,759人</td> <td>1,517人</td> <td>1,579人</td> </tr> <tr> <td>貸館</td> <td>1,923人</td> <td>1,555人</td> <td>1,735人</td> </tr> </tbody> </table>				来館者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度	展示	1,759人	1,517人	1,579人	貸館	1,923人	1,555人	1,735人
来館者数	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
展示	1,759人	1,517人	1,579人															
貸館	1,923人	1,555人	1,735人															
今後の方向性			引き続き、魅力ある博物館づくりのため、事業内容の充実に努める。															

6 文化財保護経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	3	2	400	400	210	305
目的			郷土を形作る文化財の保護と活用を図ることにより、ふるさと登別に対する理解を深め、大切にすることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>市民に対し指定文化財等の周知を図るほか、文化財に関する調査・研究や保護活動を実施するとともに、文化財の活用等を図った。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的つながりのあるマチとの交流の促進</li> <li>・市内の文化財の保護・管理</li> <li>・講座（縄文文化・アイヌ文化・古文書）・講演</li> <li>・埋蔵文化財事前協議</li> <li>・史跡名勝天然記念物等の事務手続き 等</li> </ul>			
今後の方向性			市民がふるさと登別に対する理解を深めことができるよう、文化財の保護と活用を図る。			

目 8 自然体験学習施設費（予算説明書 P 149～ P 150）

1 ネイチャーセンター運営管理経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
2	2	1	39,756	39,756	39,450	38,611								
目的			自然体験活動の拠点施設を運営管理することにより、市民の自然に関する意識の向上を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>指定管理者への委託により、ネイチャーセンターの運営管理を行い、鉾山地区の自然を活用した体験活動を推進した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者 特定非営利活動法人 登別自然活動支援組織モモンガくらぶ</li> <li>・委託期間 平成29年度～平成33年度</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来館者数</td> <td>23,685人</td> <td>23,679人</td> <td>25,351人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	来館者数	23,685人	23,679人	25,351人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
来館者数	23,685人	23,679人	25,351人											
今後の方向性			引き続き、指定管理者への委託により運営管理を行い、ネイチャーセンターを拠点とした各種プログラムの実施など、自然とふれあう魅力の向上を図る。											

## 第10款 教育費 項5 保健体育費

### 目1 保健体育総務費 (予算説明書P151～P152)

#### 1 子ども健康・体力改善事業費(教育部社会教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	2	1	5,525	5,525	5,506	5,938
目的			市内小学校にスポーツ指導員を派遣し、運動指導や教員の補助等を行うことにより、子どもたちの健康増進と運動能力の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			特定非営利活動法人おにスポへの委託により、全小学校の体育授業等にスポーツ指導員を派遣し、教員と連携した運動指導や教員の補助等を実施した。			
今後の方向性			毎年行われる全国体力運動能力調査の結果を踏まえ、指導の内容等を検討するとともに、運動が苦手な子どもたちも楽しく運動できるような全校共通の取組を進め、効果を検証しながら事業を実施する。			

#### 2 体育協会助成金(教育部社会教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	4	1	800	800	800	800
目的			市民の健全なスポーツ活動の普及及び発展を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>スポーツ団体の育成、スポーツの推進と裾野拡大のために活動を行っている登別市体育協会に対し、その活動に要する経費の一部を助成した。</p> <p><b>【協会の事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加盟団体数等 15団体 加盟人数 2,114人</li> <li>・活動内容 加盟団体事業への援助、スポーツ指導者の育成、スポーツ表彰、胆振管内軽スポーツフェスタへの参加、姉妹都市交流事業への支援</li> </ul>			
今後の方向性			本市のスポーツ活動の推進を図るため、引き続き助成する。			

#### 3 生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成経費(教育部社会教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	4	1	540	540	467	131
目的			生涯スポーツの振興と市民の健康増進及び体力向上を図ることを目的とする。			



事業内容及び実績	<p>市民ラジオ体操会を実施するとともに、市民スポーツ・健康フェスティバルに要する経費の一部を負担した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民ラジオ体操会           <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 7月29日（土）</li> <li>開催場所 若草小学校、幌別小学校</li> <li>参加人数 282人</li> </ul> </li> <li>市民スポーツ・健康フェスティバル           <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 10月1日（日）</li> <li>開催場所 岡志別の森運動公園、市民プール他</li> </ul> </li> </ul>
今後の方向性	生涯スポーツの振興及び市民の健康増進に繋がる事業を引き続き実施する。

#### 4 スポーツ少年団育成助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	4	1	500	500	500	500
目的			子どもたちのスポーツ振興を図る登別市スポーツ少年団本部を支援することにより、子どもたちの体力づくり及びスポーツ技術の向上を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>スポーツを通じて少年の心身を鍛えるために、市内のスポーツ少年団を指導育成する登別市スポーツ少年団本部に対して、その活動に要する経費の一部を助成した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加盟団体数等 21団体 加盟人数 301人</li> <li>活動内容           <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ少年団育成事業、リーダー養成事業（各種交流会・研修会への参加）、競技別交流会、指導者・母集団養成事業、加盟団体への助成、姉妹都市交流事業支援</li> </ul> </li> </ul>			
今後の方向性			子どもたちのスポーツ活動の推進や普及を図るため、引き続き助成する。			

#### 5 児童生徒スポーツ振興助成金（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	4	1	2,500	2,500	2,281	1,751
目的			スポーツ活動を行う児童生徒の保護者の負担を軽減することにより、児童生徒のスポーツ活動の推進を図ることを目的とする。			

事業内容及び実績	市内の小中学校、高等学校に在籍する児童生徒及び市内に居住する児童生徒が、国際大会、全国大会及び全道大会に参加する場合に、要する経費の一部を助成した。				
	【助成実績】				
	区分		平成29年度	平成28年度	平成27年度
	全道大会	件数	75件	62件	61件
		人数	590人	426人	460人
	全国大会	件数	12件	12件	10件
人数		52人	36人	40人	
国際大会	件数	1件	0件	0件	
	人数	1人	0人	0人	
今後の方向性	児童生徒のスポーツ振興を図るため、スポーツ活動に係る大会に参加する児童生徒の支援を行う。				

#### 6 スポーツ推進委員会経費（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	4	1	476	476	405	335
目的			スポーツ行事への参画や軽スポーツなどの普及活動を行うスポーツ推進委員会の活動を支援することにより、体育・スポーツの振興を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			スポーツ推進委員会を設置し、各種スポーツイベントへの協力や軽スポーツの普及等を行った。 <b>【事業実績】</b> ・委員数 15人 ・活動実績 市民ラジオ体操会における体操指導、 市民スポーツ・健康フェスティバルへの参画、 軽スポーツの指導員としての派遣 など			
今後の方向性			引き続き、スポーツ推進委員会の活動を支援し、本市における体育・スポーツの振興を図る。			

#### 7 6市町スポーツ交流会事業費（教育部社会教育G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	4	1	140	140	140	138
目的			6市町（登別・室蘭・伊達・洞爺湖・豊浦・壮瞥）の小学生のスポーツ交流を推進することにより、児童の健全育成を図ることを目的とする。			

事業内容及び実績	<p>6市町の小学校3～6年生を対象としたスポーツ大会の開催を支援した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第6回西胆振6市町小学生スポーツ交流会</li> <li>開催日 5月27日(土)</li> <li>場 所 室蘭市入江運動公園陸上競技場</li> <li>参加人数 492人(うち登別市参加児童123人)</li> </ul>
今後の方向性	<p>6市町の児童の交流と健全育成を図るため、西いぶり定住自立圏構想の対象事業として、引き続き実施する。</p>

8 学校開放事業費(教育部社会教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額												
5	4	1	337	201	51	39												
目的			<p>学校の屋内運動場を開放することにより、地域におけるスポーツ活動を促進し、市民の健康・体力づくりの増進を図ることを目的とする。</p>															
事業内容及び実績			<p>スポーツ活動の普及及び振興を図るため、市内小中学校等の屋内運動場を市民へ開放した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開放校 10校 (小学校8校、中学校1校、のぼりべつ文化交流館)</li> <li>開放期間 4月1日～2月28日 ※のぼりべつ文化交流館は、11月30日まで</li> <li>管理方式 利用団体による自主管理</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>利用実績</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>70団体</td> <td>77団体</td> <td>79団体</td> </tr> <tr> <td>利用人数</td> <td>21,061人</td> <td>23,195人</td> <td>24,370人</td> </tr> </tbody> </table>				利用実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度	団体数	70団体	77団体	79団体	利用人数	21,061人	23,195人	24,370人
利用実績	平成29年度	平成28年度	平成27年度															
団体数	70団体	77団体	79団体															
利用人数	21,061人	23,195人	24,370人															
今後の方向性			<p>学校の屋内運動場を開放し、スポーツ振興を図るとともに、利用団体による自主管理が適切に行われるよう、引き続き管理する。</p>															

9 2020東京オリパラで夢を育むスポーツ推進事業費(教育部社会教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	4	1	1,000	1,000	918	1,200
目的			<p>2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを契機として、子どもたちの夢を育み、スポーツの活性化を図ることを目的とする。</p>			

事業内容及び実績	<p>元オリンピック選手である小椋 久美子 氏を招へいし、講演会や実技指導を実施した。</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小椋久美子さんトークショー&amp;実技指導</li> </ul> <p>開催日 10月1日(日)</p> <p>会場 登別市総合体育館</p> <p>対象者</p> <p>(1) トークショー 制限なし</p> <p>(2) 実技指導 小学生以上</p> <p>参加者数 486人(うち実技指導受講者 217人)</p>
今後の方向性	子どもたちの夢を育み、スポーツの活性化を図るため、引き続き実施する。

## 目2 体育施設費 (予算説明書P151～P152)

### 1 岡志別の森運動公園等運営管理経費(教育部社会教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	4	1	13,601	13,601	13,570	14,173
目的			施設を利用する市民の健康増進と余暇活動の充実を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			<p>指定管理者への委託により、岡志別の森運動公園及び川上公園(Bゾーン)の運営管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者 北海道曹達(株)幌別事業所</li> <li>・委託期間 平成28年度～平成32年度</li> </ul>			
今後の方向性			引き続き、指定管理者への委託により運営管理を行い、市民の健康増進と余暇活動の充実を図る。			

## 目3 青少年会館費 (予算説明書P151～P152)

### 1 青少年会館運営管理経費(教育部社会教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
5	4	1	10,718	10,854	10,849	10,534								
目的			レクリエーション活動等を推進することにより、青少年の健全な育成を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>市内2か所にある青少年会館の運営管理を委託により行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託先 公益社団法人登別市シルバー人材センター</li> </ul> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>44,724人</td> <td>45,315人</td> <td>49,465人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用者数	44,724人	45,315人	49,465人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
利用者数	44,724人	45,315人	49,465人											

今後の方向性	青少年の健全育成を推進する場としての活用のほか、市民のスポーツ振興の場の一つとして、安心・安全に利用できる施設環境を維持する。
--------	---

#### 目4 市民プール費 (予算説明書P151～P152)

##### 1 市民プール運営管理経費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
5	4	1	62,528	62,528	62,431	61,709								
目的			市民の健康増進と余暇活動の充実を図ることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>市民プールの運営管理を指定管理者に委託し、施設管理のほか、各種水泳教室・運動教室などの実施を通じて市民の健康増進と余暇の健全な活用を図った。</p> <p><b>【事業実績】</b>  指定管理者 一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団  委託期間 平成28年度～平成32年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>114,743人</td> <td>119,868人</td> <td>118,687人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	利用者数	114,743人	119,868人	118,687人
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
利用者数	114,743人	119,868人	118,687人											
今後の方向性			引き続き、指定管理者への委託により、運営管理を行うほか、施設の安定稼働と利用者の安全な施設利用のために必要な設備の点検や修繕を計画的に実施していく。											

##### 2 市民プールバスパック業務委託料 (教育部社会教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額								
5	4	1	30	30	10	8								
目的			市民が市民プールを利用しやすい環境を整えることを目的とする。											
事業内容及び実績			<p>路線バス運賃と入館料を組み合わせた市民プールバスパックを販売した。</p> <p>・委託先 一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団</p> <p><b>【事業実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成29年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販売枚数</td> <td>61枚</td> <td>53枚</td> <td>51枚</td> </tr> </tbody> </table>				区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度	販売枚数	61枚	53枚	51枚
区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度											
販売枚数	61枚	53枚	51枚											

##### 3 市民プール整備事業費 (教育部社会教育G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
5	4	1	6,956	6,696	6,696	5,633
目的			市民プールの設備等を整備することにより、市民が安全・安心にプールを利用できるよう、施設環境の改善を図ることを目的とする。			

<p>事業内容及び実績</p>	<p>日常点検や定期点検の結果などを踏まえ、設備等の大規模改修を実施した。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リラクゼーションプール・プールの床修繕</li> </ul> <p>【財源内訳】</p> <table border="1" data-bbox="647 392 1334 510"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> <tr> <th>市債</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,696</td> <td>4,500</td> <td>2,196</td> </tr> </tbody> </table>	事業費	財源内訳		市債	一般財源	6,696	4,500	2,196
事業費	財源内訳								
	市債	一般財源							
6,696	4,500	2,196							
<p>今後の方向性</p>	<p>引き続き、計画的に施設環境の整備を実施する。</p>								

## 第11款 公債費 項1 公債費

### 【主要データ】

#### ① 公債費にかかる財政指標の推移

(単位：%)

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
公債費比率	13.8	14.5	14.3
実質公債費比率	12.7	13.7	14.4

#### ② 市債（元金）年度末残高の推移

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成28年度	平成27年度
一般会計	23,713,521	24,275,334	24,438,548
学校給食事業特別会計	9,462	10,487	11,516
簡易水道事業特別会計	172,089	155,725	140,059
計	23,895,072	24,441,546	24,590,123

### 目1 元金 (予算説明書P153～P154)

#### 1 市債償還元金 (総務部財政G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	2,398,713	2,398,713	2,398,713	2,385,115
目的			市の財政運営において、建設事業債や臨時財政対策債などを借入れし、世代間負担の公平性の確保や平準化を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			平成27年度までに借入れた市債に係る元金の償還を行った。			

### 目2 利子 (予算説明書P153～P154)

#### 1 市債償還利子 (総務部財政G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	222,543	205,746	205,581	236,226
目的			市の財政運営において、建設事業債や臨時財政対策債などを借入れし、世代間負担の公平性の確保や平準化を図ることを目的とする。			
事業内容及び実績			平成28年度までに借入れた市債に係る利子の償還を行った。			

#### 2 一時借入金利子 (総務部財政G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	4,000	4,000	53	396
目的			歳出予算の支出に係る当該年度内の資金調達を目的とする。			

事業内容及び実績	一時借入金に係る利子分の償還を行った。
----------	---------------------

### 目 3 公債諸費 (予算説明書 P 153～ P 154)

#### 1 公債発行等手数料 (総務部財政 G)

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	334	334	334	343
目的			証券発行による市債の登録及び償還手数料を支出することにより、支払事務等を円滑に行うことを目的とする。			
事業内容及び実績			北海道市町村職員共済組合より平成15年度及び平成16年度に借入れた市債の元利償還に係る手数料を支出した。			



## 第12款 給与費 項1 給与費

### 【主要データ】

#### ①職員数（全会計）

区分	平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	年度当初	年度末	年度当初	年度末	年度当初	年度末
職員	428人	424人	428人	420人	434人	432人
嘱託	167人	167人	168人	166人	163人	162人
計	595人	591人	596人	586人	597人	594人

※職員数には市長・副市長・教育長を含めていません。

※嘱託数には法律相談員、嘱託医、心の教室相談員、スクールカウンセラーを含めていません。

#### ②平均給与・平均年齢・ラスパイレス指数

区分	平均給与月額	平均年齢	ラスパイレス指数
平成29年度	348,300円	39歳9月	95.7（全道30位）
平成28年度	350,420円	40歳3月	95.4（全道30位）
平成27年度	353,501円	40歳1月	95.0（全道30位）

※平均給与月額・平均年齢は、各年度4月1日現在。（全会計）

※給与月額＝給料＋諸手当

### 目1 職員給与費（予算説明書P155～P156）

#### 1 職員等給与経費・非常勤職員等公務災害経費（総務部人事・行政管理G）

章	節	施策	当初予算額	最終予算額	決算額	前年度決算額
6	3	1	3,589,779	3,593,903	3,576,259	3,675,818

区分	最終予算額	決算額	前年度決算額
給料	1,339,199	1,337,556	1,331,009
職員手当等計	1,333,143	1,331,730	1,461,029
扶養手当	44,137	43,745	44,126
地域手当	306	306	488
単身赴任手当	0	0	432
超過勤務手当	91,381	91,381	81,397
期末手当	315,199	315,198	315,994
勤勉手当	212,009	212,009	201,341
寒冷地手当	29,971	29,884	30,567
通勤手当	13,916	13,823	13,588

区分	最終予算額	決算額	前年度決算額
特殊勤務手当	12,449	12,122	11,874
管理職手当	37,666	37,650	37,413
管理職員特別勤務手当	300	57	304
退職手当	246,693	246,692	401,713
嘱託手当	251,557	251,544	244,193
住居手当	38,453	38,428	39,733
夜勤手当	12,121	12,121	11,766
児童手当	26,985	26,775	26,105
共済費	525,842	522,742	503,508
貸金	290,000	278,696	265,231
福祉協会負担金	990	987	984
退職手当積立金	103,780	103,780	106,100
災害補償費	500	381	7,546
役務費	449	390	416
合計	3,593,903	3,576,259	3,675,818

※決算額については、各費目において切上げているため、合計額と一致しません。

# 別 表 目 次

別表 1	平成 2 9 年度一般会計歳入決算の状況	194
別表 2	平成 2 9 年度一般会計歳出決算の状況	195
別表 3	市税の決算状況	196
別表 4	自主財源と国・道依存財源の状況	197
別表 5	市債の状況	198
別表 6	積立金の状況	199
別表 7	財政指標の状況	200

## 別表 1

## 平成 29 年度一般会計歳入決算の状況

(単位：千円・%)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入済額 構 成 比	平成28年度 決 算 額	対前年 度伸率
1 市 税	5,175,924	5,615,343	5,179,647	54,352	381,344	24.4	5,187,664	△ 0.2
2 地 方 譲 与 税	150,800	147,238	147,238			0.7	147,573	△ 0.2
3 利 子 割 交 付 金	8,700	9,003	9,003			0.0	5,131	75.5
4 配 当 割 交 付 金	10,100	12,769	12,769			0.1	9,511	34.3
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	12,900	12,895	12,895			0.1	5,713	125.7
6 地 方 消 費 税 交 付 金	888,500	888,767	888,767			4.2	835,573	6.4
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	10,100	9,381	9,381			0.0	9,975	△ 6.0
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	37,200	36,704	36,704			0.2	25,059	46.5
9 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	300	300	300			0.0	300	0.0
10 地 方 特 例 交 付 金	26,603	26,603	26,603			0.1	24,365	9.2
11 地 方 交 付 税	5,664,790	5,678,931	5,678,931			26.7	5,568,300	2.0
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	9,100	7,362	7,362			0.0	8,206	△ 10.3
13 分 担 金 及 び 負 担 金	101,532	133,171	117,204	102	15,865	0.6	120,457	△ 2.7
14 使 用 料 及 び 手 数 料	554,336	646,462	544,535	16	101,911	2.6	546,020	△ 0.3
15 国 庫 支 出 金	3,594,737	3,409,796	3,409,796			16.1	3,640,053	△ 6.3
16 道 支 出 金	2,124,052	1,842,497	1,842,497			8.7	1,157,659	59.2
17 財 産 収 入	60,374	31,941	31,839		102	0.1	32,517	△ 2.1
18 寄 附 金	179,481	137,982	137,982			0.6	170,468	△ 19.1
19 繰 入 金	468,648	434,647	434,647			2.0	483,585	△ 10.1
20 繰 越 金	482,338	482,338	482,338			2.3	672,717	△ 28.3
21 諸 収 入	402,267	516,694	403,686		113,008	1.9	461,769	△ 12.6
22 市 債	2,110,900	1,836,900	1,836,900			8.6	2,221,900	△ 17.3
歳 入 合 計	22,073,682	21,917,724	21,251,024	54,470	612,230	100.0	21,334,515	△ 0.4

## 別表 2

## 平成 29 年度一般会計歳出決算の状況

(単位：千円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	支 出 済 額		平成28年度 決 算 額	対 前 年 度 伸 率
					対 予 算 比	構 成 比		
1 議 会 費	153,752	151,103		2,649	98.3	0.7	147,647	2.3
2 総 務 費	1,017,054	916,390	4,378	96,286	90.1	4.4	1,098,178	△ 16.6
3 民 生 費	8,052,097	7,856,437		195,660	97.6	38.0	7,200,380	9.1
4 衛 生 費	1,460,930	1,433,147		27,783	98.1	6.9	1,412,803	1.4
5 労 働 費	68,577	59,307		9,270	86.5	0.3	56,653	4.7
6 農 林 水 産 業 費	271,147	263,193		7,954	97.1	1.3	35,095	649.9
7 商 工 費	219,883	185,144		34,739	84.2	0.9	223,419	△ 17.1
8 土 木 費	2,697,511	2,081,481	552,491	63,539	77.2	10.1	1,891,789	10.0
9 消 防 費	201,111	195,187		5,924	97.1	0.9	189,702	2.9
10 教 育 費	1,707,295	1,357,373	275,634	74,288	79.5	6.6	2,298,616	△ 40.9
11 公 債 費	2,608,793	2,604,679		4,114	99.8	12.6	2,622,077	△ 0.7
12 給 与 費	3,593,903	3,576,259		17,644	99.5	17.3	3,675,818	△ 2.7
13 予 備 費	21,629			21,629	0.0	0.0		—
歳 出 合 計	22,073,682	20,679,700	832,503	561,479	93.7	100.0	20,852,177	△ 0.8

別表3

## 市 税 の 決 算 状 況

(単位：千円・%)

税 目	区 分	調定額	収入済額	収納率	収入済額 構 成 比	平成28年度		収入済額 対前年度伸率
						収入済額	収納率	
普 通 税	現年課税分	4,608,326	4,555,408	98.9	87.9	4,558,753	98.7	△ 0.1
	滞納繰越分	387,412	58,449	15.1	1.1	68,463	15.2	△ 14.6
	計	4,995,738	4,613,857	92.4	89.0	4,627,216	91.3	△ 0.3
1. 市 民 税	現年課税分	2,195,798	2,173,134	99.0	42.0	2,172,908	98.7	0.0
	滞納繰越分	116,695	36,930	31.6	0.7	42,608	30.7	△ 13.3
	計	2,312,493	2,210,064	95.6	42.7	2,215,516	94.7	△ 0.2
個 人	現年課税分	1,898,189	1,876,366	98.9	36.2	1,895,699	98.6	△ 1.0
	滞納繰越分	111,704	35,190	31.5	0.7	41,604	31.5	△ 15.4
	計	2,009,893	1,911,556	95.1	36.9	1,937,303	94.3	△ 1.3
法 人	現年課税分	297,609	296,768	99.7	5.8	277,209	99.6	7.1
	滞納繰越分	4,991	1,740	34.9	0.0	1,004	14.9	73.3
	計	302,600	298,508	98.6	5.8	278,213	97.6	7.3
2. 固 定 資 産 税	現年課税分	1,917,151	1,888,102	98.5	36.4	1,870,804	98.5	0.9
	滞納繰越分	266,119	20,151	7.6	0.4	24,594	8.0	△ 18.1
	計	2,183,270	1,908,253	87.4	36.8	1,895,398	85.9	0.7
固 定 資 産 税	現年課税分	1,874,116	1,845,067	98.4	35.6	1,822,121	98.4	1.3
	滞納繰越分	266,119	20,151	7.6	0.4	24,594	8.0	△ 18.1
	計	2,140,235	1,865,218	87.2	36.0	1,846,715	85.6	1.0
国 有 資 産 等 所 在 市 町 村 交 付 金	現年課税分	43,035	43,035	100.0	0.8	48,683	100.0	△ 11.6
	滞納繰越分	—	—	—	—	—	—	—
	計	43,035	43,035	100.0	0.8	48,683	100.0	△ 11.6
3. 軽 自 動 車 税	現年課税分	91,019	89,814	98.7	1.7	85,418	97.9	5.1
	滞納繰越分	4,598	1,368	29.8	0.0	1,261	26.4	8.5
	計	95,617	91,182	95.4	1.8	86,679	94.2	5.2
4. 市 た ば こ 税	現年課税分	404,358	404,358	100.0	7.8	429,623	100.0	△ 5.9
	滞納繰越分	—	—	—	—	—	—	—
	計	404,358	404,358	100.0	7.8	429,623	100.0	△ 5.9
目 的 税	現年課税分	567,531	561,847	99.0	10.9	555,589	99.0	1.1
	滞納繰越分	52,074	3,943	7.6	0.1	4,859	8.0	△ 18.9
	計	619,605	565,790	91.3	11.0	560,448	90.1	1.0
5. 入 湯 税	現年課税分	200,805	200,805	100.0	3.9	195,583	100.0	2.7
	滞納繰越分	—	—	—	—	—	—	—
	計	200,805	200,805	100.0	3.9	195,583	100.0	2.7
6. 都 市 計 画 税	現年課税分	366,726	361,042	98.5	7.0	360,006	98.4	0.3
	滞納繰越分	52,074	3,943	7.6	0.1	4,859	8.0	△ 18.9
	計	418,800	364,985	87.2	7.0	364,865	85.6	0.0
合 計	現年課税分	5,175,857	5,117,255	98.9	98.8	5,114,342	98.7	0.1
	滞納繰越分	439,486	62,392	14.2	1.2	73,322	14.3	△ 14.9
	計	5,615,343	5,179,647	92.2	100.0	5,187,664	91.2	△ 0.2

別表 4

## 自主財源と国・道依存財源の状況

(単位：千円・%)

区 分	平成29年度		平成28年度		決算額増減 A-B	構成比増減 a-b
	決算額 A	構成比 a	決算額 B	構成比 b		
◎ 自 主 財 源	7,331,878	34.5	7,675,197	36.0	△ 343,319	△ 1.5
市 税	5,179,647	24.4	5,187,664	24.3	△ 8,017	0.1
分担金及び負担金	117,204	0.6	120,457	0.6	△ 3,253	0.0
使用料及び手数料	544,535	2.6	546,020	2.6	△ 1,485	0.0
財 産 収 入	31,839	0.1	32,517	0.1	△ 678	0.0
寄 附 金	137,982	0.6	170,468	0.8	△ 32,486	△ 0.2
繰 入 金	434,647	2.0	483,585	2.3	△ 48,938	△ 0.3
繰 越 金	482,338	2.3	672,717	3.1	△ 190,379	△ 0.8
諸 収 入	403,686	1.9	461,769	2.2	△ 58,083	△ 0.3
◎ 国・道依存財源	13,919,146	65.5	13,659,318	64.0	259,828	1.5
地 方 譲 与 税	147,238	0.7	147,573	0.7	△ 335	0.0
利 子 割 交 付 金	9,003	0.0	5,131	0.0	3,872	0.0
配 当 割 交 付 金	12,769	0.1	9,511	0.1	3,258	0.0
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	12,895	0.1	5,713	0.0	7,182	0.1
地 方 消 費 税 交 付 金	888,767	4.2	835,573	3.9	53,194	0.3
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	9,381	0.0	9,975	0.1	△ 594	△ 0.1
自 動 車 取 得 税 交 付 金	36,704	0.2	25,059	0.1	11,645	0.1
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	300	0.0	300	0.0	0	0.0
地 方 特 例 交 付 金	26,603	0.1	24,365	0.1	2,238	0.0
地 方 交 付 税	5,678,931	26.7	5,568,300	26.1	110,631	0.6
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	7,362	0.0	8,206	0.0	△ 844	0.0
国 庫 支 出 金	3,409,796	16.1	3,640,053	17.1	△ 230,257	△ 1.0
道 支 出 金	1,842,497	8.7	1,157,659	5.4	684,838	3.3
市 債	1,836,900	8.6	2,221,900	10.4	△ 385,000	△ 1.8
合 計	21,251,024	100.0	21,334,515	100.0	△ 83,491	0.0

※自主財源、国・道依存財源のそれぞれの合計において、表示単位未満を四捨五入しているため、各款の決算額及び構成比が別表1の数値と一致しない場合があります。

別表 5

## 市 債 の 状 況

(単位：千円)

会 計 区 分	平成28年度末 現 在 高	平成 29 年 度 発 行 額	平成29年度元利償還金			平成29年度末 現 在 額	
			元	金 利	子 計		
一 般 会 計	総 務 債	2,724,029	21,000	397,093	9,481	406,574	2,347,936
	民 生 債	671,029	70,100	87,025	8,051	95,076	654,104
	衛 生 債	1,610,522	206,900	219,311	11,224	230,535	1,598,111
	農 林 水 産 業 債	62,745	500	20,258	1,068	21,326	42,987
	商 工 債	27,433	0	1,908	186	2,094	25,525
	土 木 債	5,296,142	364,400	561,896	64,367	626,263	5,098,646
	消 防 債	556,163	56,700	52,739	1,948	54,687	560,124
	教 育 債	3,264,726	473,100	311,244	26,381	337,625	3,426,582
	臨時財政対策債	8,065,668	644,200	554,285	54,299	608,584	8,155,583
	退 職 手 当 債	1,964,068	0	187,822	28,422	216,244	1,776,246
	災 害 復 旧 債	32,809	0	5,132	153	5,285	27,677
	小 計	24,275,334	1,836,900	2,398,713	205,580	2,604,293	23,713,521
学 校 給 食 事 業 特 別 会 計	学 校 給 食 事 業 債	10,487	0	1,025	99	1,124	9,462
	小 計	10,487	0	1,025	99	1,124	9,462
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	簡 易 水 道 事 業 債	155,725	19,900	3,536	2,233	5,769	172,089
	小 計	155,725	19,900	3,536	2,233	5,769	172,089
合 計	24,441,546	1,856,800	2,403,274	207,912	2,611,186	23,895,072	



別表 6

## 積立金の状況

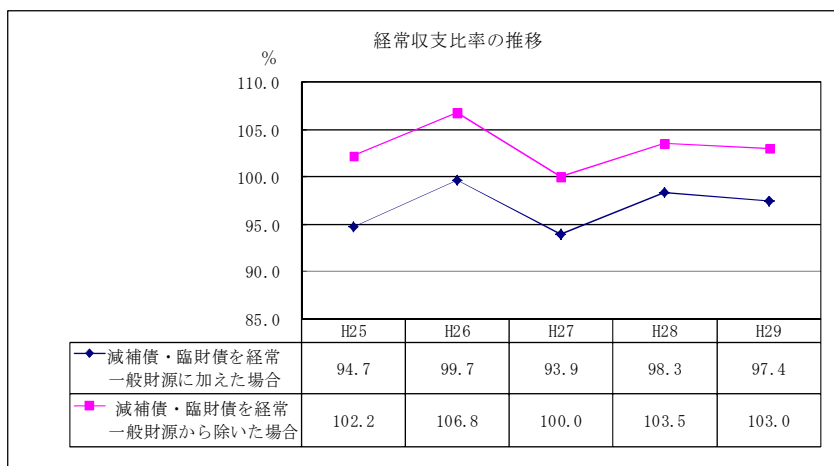
(単位：千円)

基金名	平成28年度末 現在高	当該年度中増減		平成29年度末 現在高
		積立額	処分額	
登別市財政調整基金	586,176	102	140,000	446,278
登別市減債基金	87,339	26	9,844	77,521
特定目的基金	1,243,078	270,466	251,803	1,261,741
登別市退職手当積立金	578,534	119,189	180,000	517,723
登別市観光開発基金	61,550	10,007	0	71,557
墓地管理基金	2,218	375	0	2,593
いきいき人とまち基金	10,917	5,001	1,533	14,385
登別市生涯学習振興基金	36,166	86	0	36,252
登別市社会福祉事業基金	17,781	182	0	17,963
登別市おもいやり基金	24,201	0	0	24,201
登別市一般廃棄物処理施設整備基金	162,455	25,113	0	187,568
登別市新図書館建設基金	139,250	79	0	139,329
登別市消防施設等整備基金	25,228	0	25,228	0
ふるさとまちづくり応援基金	164,730	56,279	45,042	175,967
登別市庁舎整備基金積立金	20,048	54,155	0	74,203
小計	1,916,593	270,594	401,647	1,785,540
介護給付費準備基金	573,560	7,506	0	581,066
国民健康保険給付費等準備基金	1,272	0	0	1,272
運用基金	480,011	6,200	6,115	480,096
登別市土地開発基金	480,011	6,200	6,115	480,096
積立額	219,655	6,200	0	225,855
土地保有分	260,356	0	6,155	254,201
合計	2,971,436	284,300	407,762	2,847,974

北海道市町村備荒資金組合納付金	平成28年度末 現在高	当該年度中増減		平成29年度末 現在高
		積立額	処分額	
備荒資金組合納付金	636,189	2,743	0	638,932
普通納付金	80,357	803	0	81,160
超過納付金	555,832	1,940	0	557,772

## 別表 7 財政指標の状況

### ● 経常収支比率

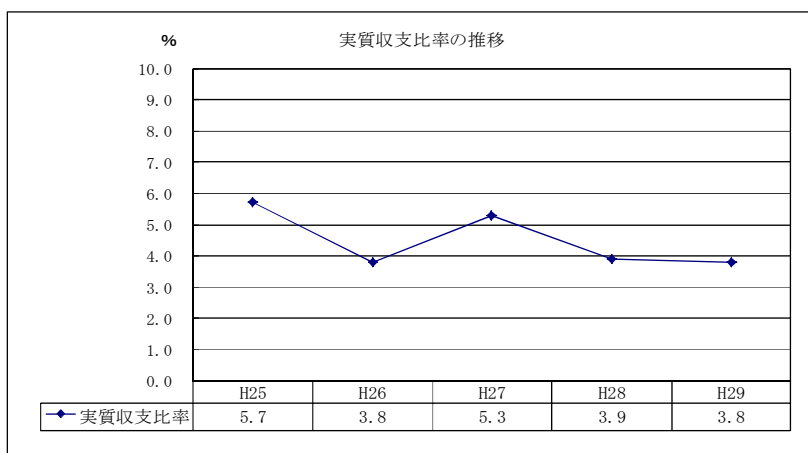


※減補償～減収補てん債（特例分）、臨財債～臨時財政対策債

経常収支比率は、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、市税、普通交付税など毎年度定期的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補てん債（特例分）及び臨時財政対策債の合計額に占める割合です。この指標は、経常的経費に経常一般財源がどの程度充当されているかを見るものであり、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表します。

平成 29 年度は、扶助費や繰出金の増加などにより、経常一般財源を充当する経常経費が増加しましたが、地方消費税交付金や普通交付税、臨時財政対策債などが経常一般財源を充当する経常経費を上回る増加となったことから、対前年度比で 0.9 ポイント改善しました。

### ● 実質収支比率



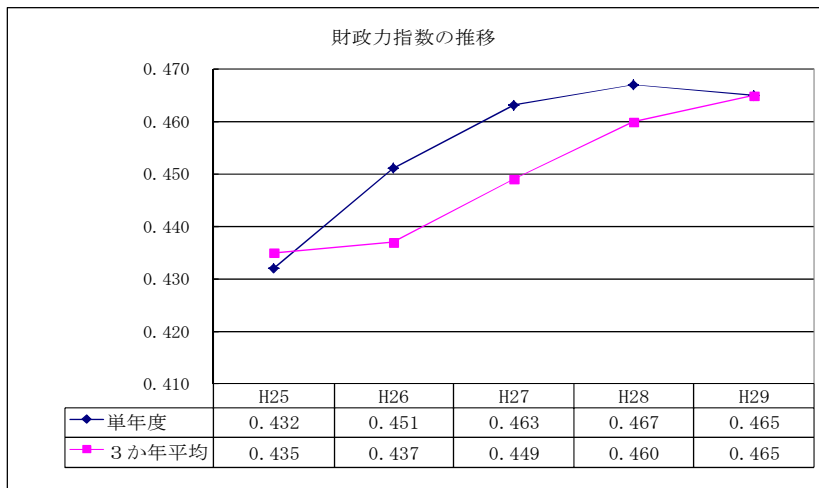
実質収支比率は、実質収支の標準財政規模に対する割合で、実質収支比率が正数の場合は実質収支の黒字、負数の場合は赤字を示します。

※実質収支 ～当該年度の歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した額です。

※標準財政規模～地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税及び臨時財政対策債を加算したものです。

平成 29 年度は、実質収支で約 4.3 億円の黒字を確保したことから、前年度に引き続き正数となっています。

## ●財政力指数



財政力指数は、地方公共団体の財政力を示す指数で、普通交付税の算定における基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値です。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいこととなり、財源に余裕があるといえます。

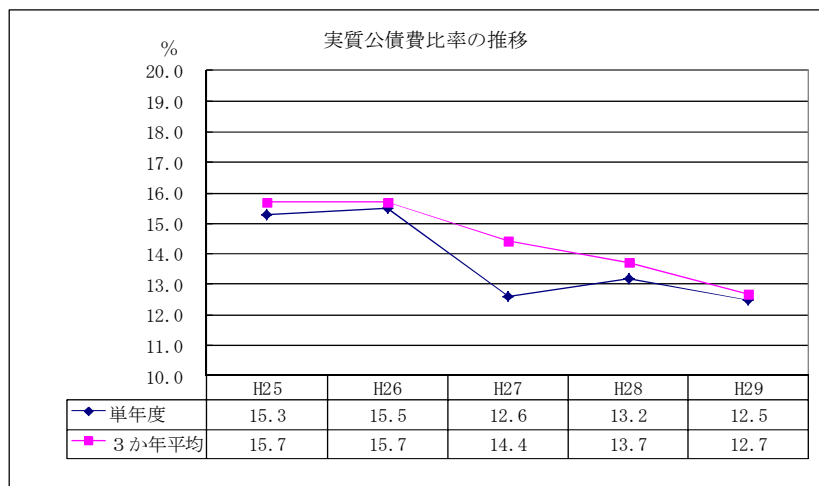
平成 29 年度は、個別算定経費の増加などにより基準財政需要額が増加したことなどから、対前年度比で単年度の指数は低下しましたが、平成 29 年度の単年度の指数が、算定の対象外となる平成 26 年度の単年度の指数を上回ることから、3 か年平均は上昇しました。

## ●実質赤字比率・連結実質赤字比率

実質赤字比率は、標準財政規模に占める一般会計等（一般会計に学校給食事業特別会計を加えたもの）の赤字額の割合であり、一般会計等の赤字額がどれほどの規模であることを示し、連結実質赤字比率は、特別会計及び公営企業を含むすべての会計の赤字額の割合であり、市の赤字額がどれほどの規模であることを示します。

平成 29 年度においては、すべての会計において赤字が生じていないため、実質赤字比率、連結実質赤字比率共に「なし」となりました。

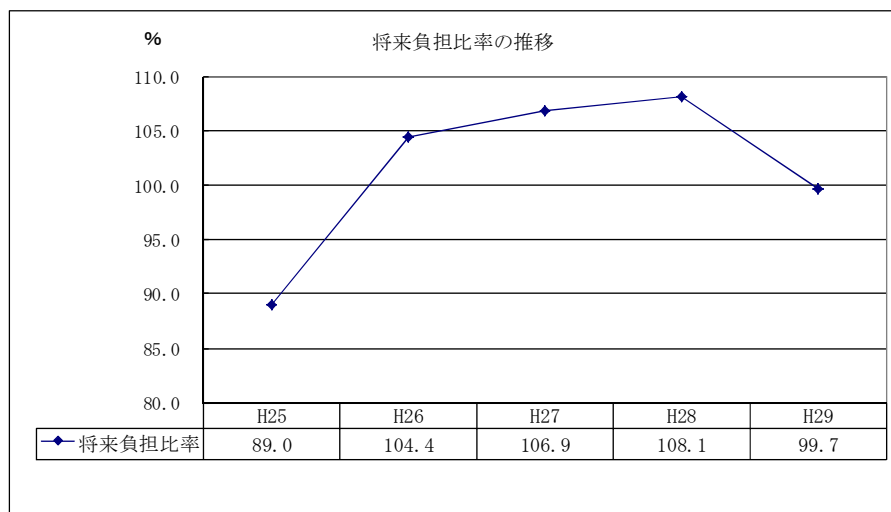
## ●実質公債費比率



実質公債費比率は、市債の元利償還金、公営企業の元利償還金に対する繰出金、一部事務組合が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等を合算した額の標準財政規模に占める割合を示すものです。この指標の3か年平均が18%以上の場合、市債を発行する際に知事の許可が必要となるほか、平成19年度からは健全化判断比率として位置付けられ、比率が25%以上になると財政健全化計画、35%以上になると財政再生計画を定める必要があります。

平成29年度は、元利償還金の減少などに加え、標準財政規模が増加したことなどにより、単年度の比率で0.7ポイント改善しました。また、平成29年度の単年度の比率が、算定の対象外となる平成26年度の単年度の比率を下回ることから、3か年平均についても1.0ポイント改善しました。

### ●将来負担比率



将来負担比率は、市税や普通交付税などの収入額に占める市債残高や退職手当引当金などの市が将来的に負担しなければならない額の割合であり、市の将来負担額がどれほどの規模であるかを示すもので、この指標が350%以上の場合、財政健全化計画を定める必要があります。

平成29年度においては、地方債現在高などの将来負担額が減少したことに加え、標準財政規模が増加したことなどにより、比率は前年度から8.4ポイント改善しました。

### ●資金不足比率

資金不足比率は、各公営企業（水道事業会計、下水道事業会計、簡易水道事業特別会計、カルルス温泉スキー場事業特別会計）の事業規模に占める資金不足額の割合です。

平成29年度においては、資金不足を生じた公営企業がなかったため、すべての公営企業で比率は「なし」となりました。

## 2. 登別市土地開発基金運用状況報告書

様式（第7条関係）

平成29年度登別市土地開発基金運用状況調書																	
	前年度末現在高							決算年度中増減高				決算年度末現在高					
	基金総額	公用地等		貸付金		現金	基金増加額	公用地等		貸付金	基金総額	公用地等		貸付金		現金	
		地積価額	総額	内訳	地積価額			総額	内訳								
												繰替運用	土地開発公社	繰替運用	土地開発公社		
総括	円 480,011,392	m <sup>2</sup> 111,027.21	円 260,355,973	円	円	円	円 219,655,419	円 84,118	m <sup>2</sup> -341.65	円 -6,115,000	円	円 480,095,510	m <sup>2</sup> 110,685.56	円 254,240,973	円	円	円 225,854,537
(内訳) 新規積立								84,118									
土地取得																	
土地処分									341.65	6,115,000							

決算年度中増減高内訳	区	分	基金増加額	左記内訳				公用地等増減		左記内訳				貸付金減	左記内訳				
				積立金	運用益金			取得	譲渡	繰替運用	土地開発公社	取得	譲渡		繰替運用	土地開発公社			
					公用地等譲	貸付金											地積価額	地積価額	地積価額
						繰替運用	土地開発公社												
総括			円 84,118	円 44,062	円 40,056	円	円	m <sup>2</sup> -341.65	円 -6,115,000	m <sup>2</sup>	円	m <sup>2</sup> 341.65	円 6,115,000	円	円	円	円	円	
(内訳) 預金利子			84,118	44,062	40,056								(6,115,222)						
土地取得																			
土地処分								-341.65	-6,115,000			341.65	6,115,000						

注 譲渡価格の（ ）書きは、運用益を含めた額である。

平成30年3月31日

登別市長 小笠原 春一